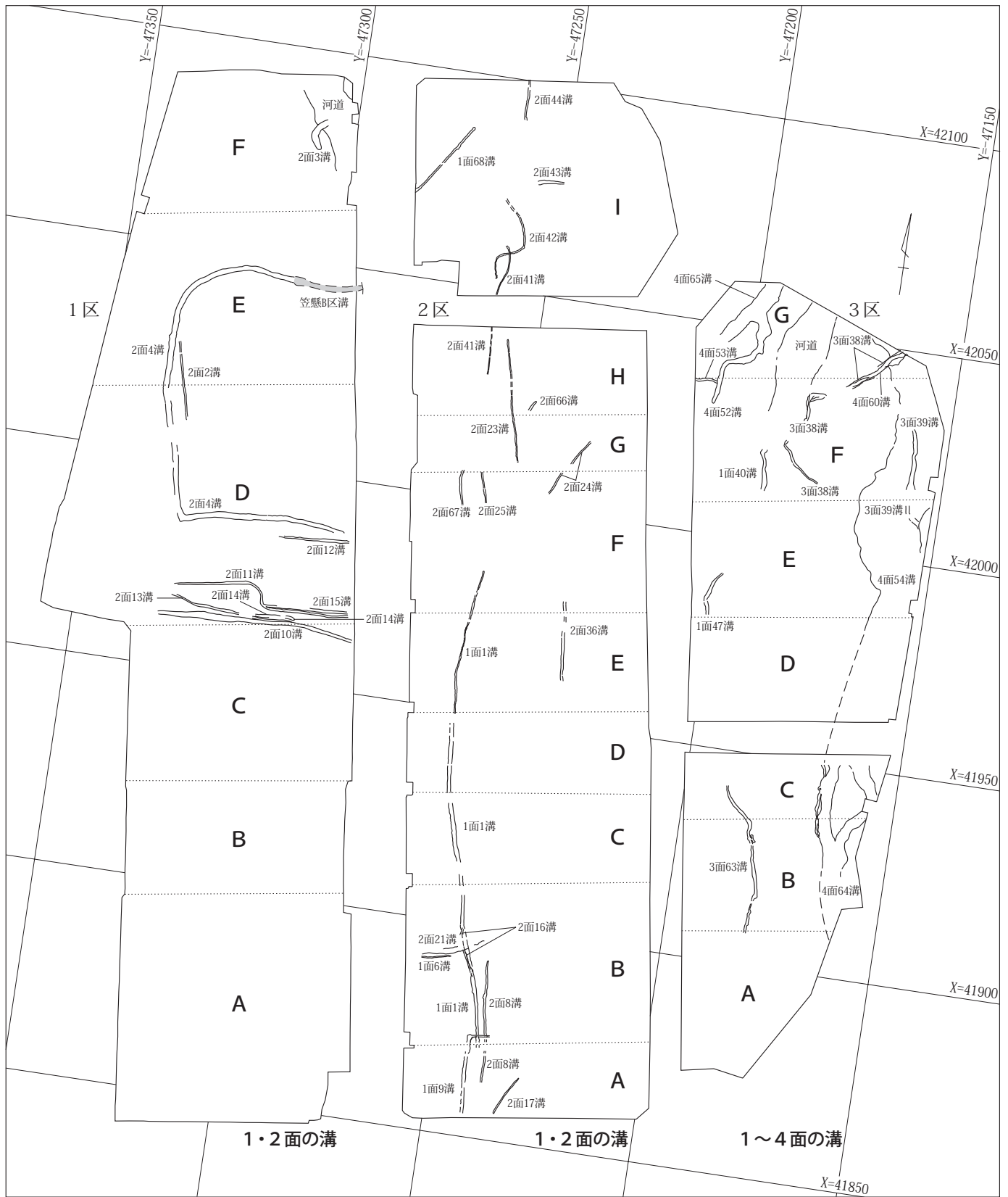
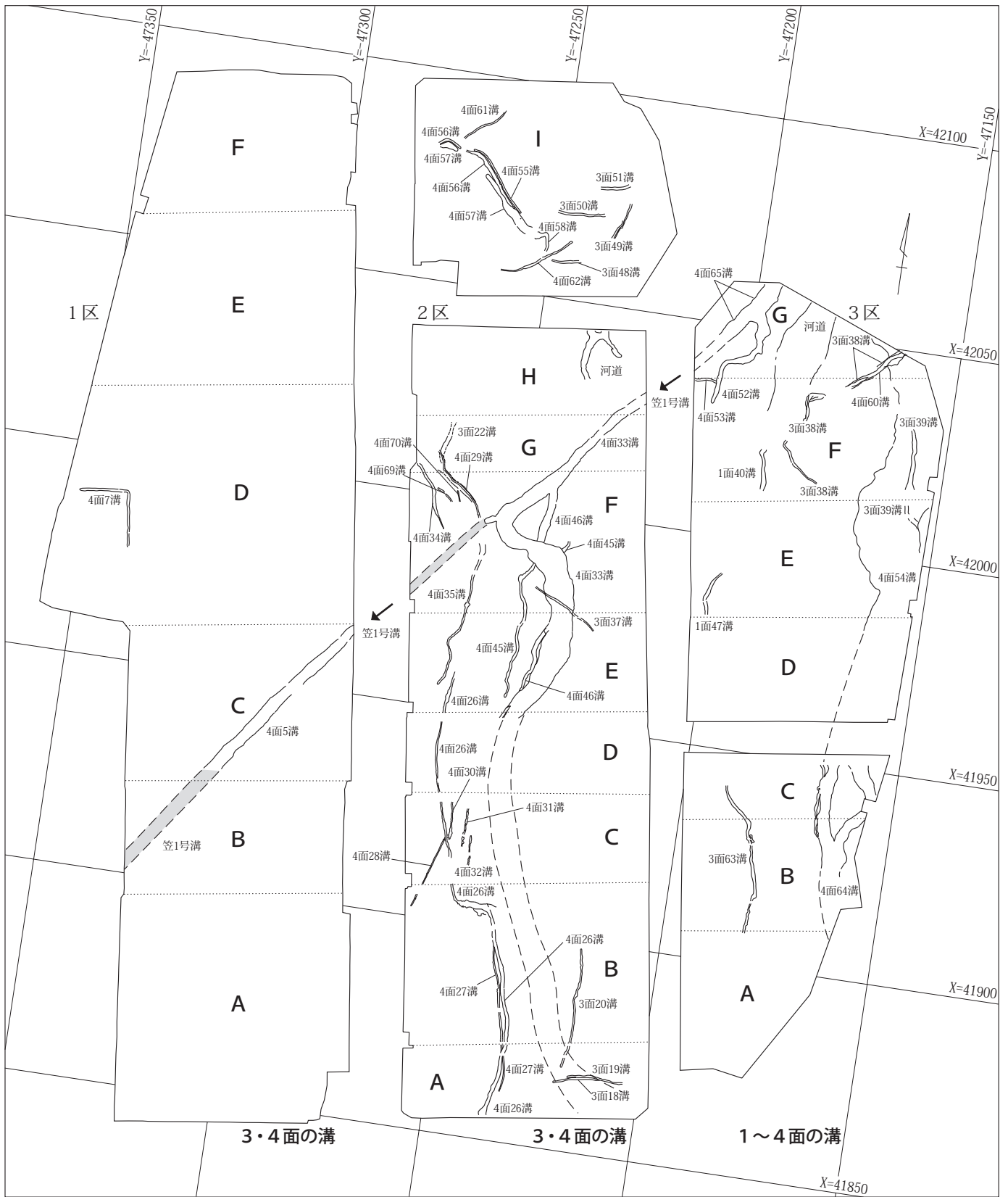


9 溝



第154図 1～3区調査された溝1



■ 笠懸村教育委員会調査分(笠1号溝)

0 1:1,300 50m

第155図 1～3区調査された溝2

検出した溝は、合計69条であった。ここで報告する溝状遺構は、自然流路は含まれていないが、自然流路的な傾向が強いものでも、人為的な管理下に置かれた可能性のあるものについては取り扱うこととした。各区、面ごとに報告したい。

溝は、窪んでいるため必然的に水が滞留するものであるが、水路として水流機能を主目的にするものと、それ以外の機能(防御・区画など)を目的にするものがある。宮久保遺跡では、水路として機能した可能性のあるものがほとんどである。

各区の検出状況は、1区11条、2区47条、3区11条と2区からの検出が最も多い。溝が水利と深く関わるという遺構の性質上、生産域と考えられる2区から多く検出されるのは当然とあって良いだろう。

1区は、表土下がすべての時代の確認面ということもあって、1面の調査である。出土遺物、浅間山および榛名山の噴火に起因する降下火山灰(テフラ)の堆積状況により判断し、古墳時代から近世にかけての溝状遺構が検出された。溝の覆土中にAs-B軽石を含むものが8条(2・3・4・10～13・15号溝)、Hr-FA・As-C軽石を含むものの2条、不明1条であった。1区の溝状遺構の特徴としては、居住域もしくは何らかの空間を区画する方形状に画した遺構(4・7号溝)の存在である。また、検出された遺構のほとんどは、人為的色彩が濃いというのも特色と言える。また、5号溝は、2区4面33号溝・3区4面65号溝・笠懸1号溝と接続し、遺跡地を北東方向から南西方向に直線上に貫く規模の大きな遺構と考えられ、組織的開発の一端がうかがえる(第154・155図)。

2区では、1面4条、2面14条(面の確定ができなかった21号溝は、覆土の検証から2面相当とした)、3面9条、4面20条の検出があった。2区検出の溝は、水流を主目的に掘削・利用されたと考えられるものが多い。1面9号溝・68号溝(石組暗渠排水)は、昭和62年の土地改良前まで利用されていたもので、68号溝は、参考資料としてその一部分を報告するものである。2面検出の溝は、不明のものを除いてすべてがAs-B軽石を覆土中に含むものであった。3面検出の溝は、埋没土が不明(48～51号溝)のものを除いて、As-B軽石の灰層を伴う軽石または軽石(純層)のみが確認され、古代末期の廃絶が考えられるものであった。4面からは、覆土中にHr-FA・As-C軽石を

含むものがほとんどである。27・69・70号溝は埋没土が不明で、55・58・62号溝からはHr-FA・As-C軽石は確認されなかった。Hr-FA・As-C軽石を覆土中に含む33号溝からは、古墳時代5世紀前半代の土師器類が出土していることから、Hr-FA・As-C軽石を含む遺構の年代がある程度絞り込めると考えられる。

3区では、1～3面で5条、4面6条が検出された。40・47号溝は1面、38・39・63号溝は3面の検出で、38・63号溝は灰層を伴うAs-B軽石が確認されている。4面検出の52・64号溝は覆土中にHr-FA・As-C軽石が含まれるが、54・60・65号溝は確認できなかった。53号溝は不明であった。

1区1～5面

2号溝(第156・157図、PL.57)

位置 1区D E 2面、北X=42016、Y=-47334～南X=42008、Y=-47329。

重複 5号住居、1号竪穴状遺構と重複。本遺構が1号竪穴状遺構より古く、5号住居より新しい。

平面形状 北方向から南方向へ直線状に走行。

長軸方位 N-14°-W。

規模 検出全長19m、幅0.33～0.45m、深さ0.07～0.18m。底面の比高差はほとんどない。

埋没土層 灰黄褐色土・にぶい褐色土主体。3層が観察され、As-B軽石と思われる軽石を含む。断面形は丸みを帯びた逆台形状。

遺物 図示する遺物はないが、土師器・須恵器片が0.265kg出土した。

所見 4号溝とはほぼ並行するが、北側延長線上で交わる可能性がある。埋没土から、本遺構の時期は中・近世と推定される。

4号溝(笠懸B区溝)(第156・157図、PL.57・58)

位置 1区D E 2面、北東X=42042、Y=-47314～北西X=42037、Y=-47335～南西X=41985、Y=-47327～南東X=41987、Y=-47288へコの字状に展開。

重複 5・18・21・23・28・29号住居、1号竪穴状遺構、118・133・139号土坑と重複。1号竪穴状遺構より古く、その他すべてのものより本遺構が新しい。



第156図 1区DE2面2・4号溝1と4号溝出土遺物

平面形状 東方向から西方向へ、北方向から南方向へ、西方向から東方向への方形区画をなす。南西部コーナーは、ほぼ直角に曲折するが、南辺部は南に緩やかな弧を描きながら東進する。西辺部は直線的に北進し、区画中央付近で東にわずかに折れて、大きく湾曲しながら東へと進む形状で、逆コの字状。笠懸B区溝と同一遺構で、笠懸B区溝は北辺部につながる(第156図参照)。東辺部については、削平された可能性があるが不明。

長軸方位 南西部コーナー付近：主軸N-15°-W、N-75°-E。

規模 検出全長120(含笠懸分137)m、幅0.85~1.62m、深さ0.07~0.4m。

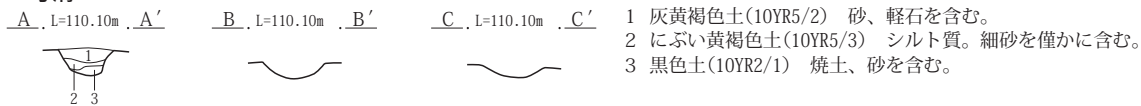
埋没土層 黒褐色土・暗褐色土主体。土層記録地点ごとに若干の様相の違いがあるが、概ね上層にAs-B軽石、下層に砂・細砂層、上層から下層までに礫を比較的多く含

む。断面形は逆台形状。

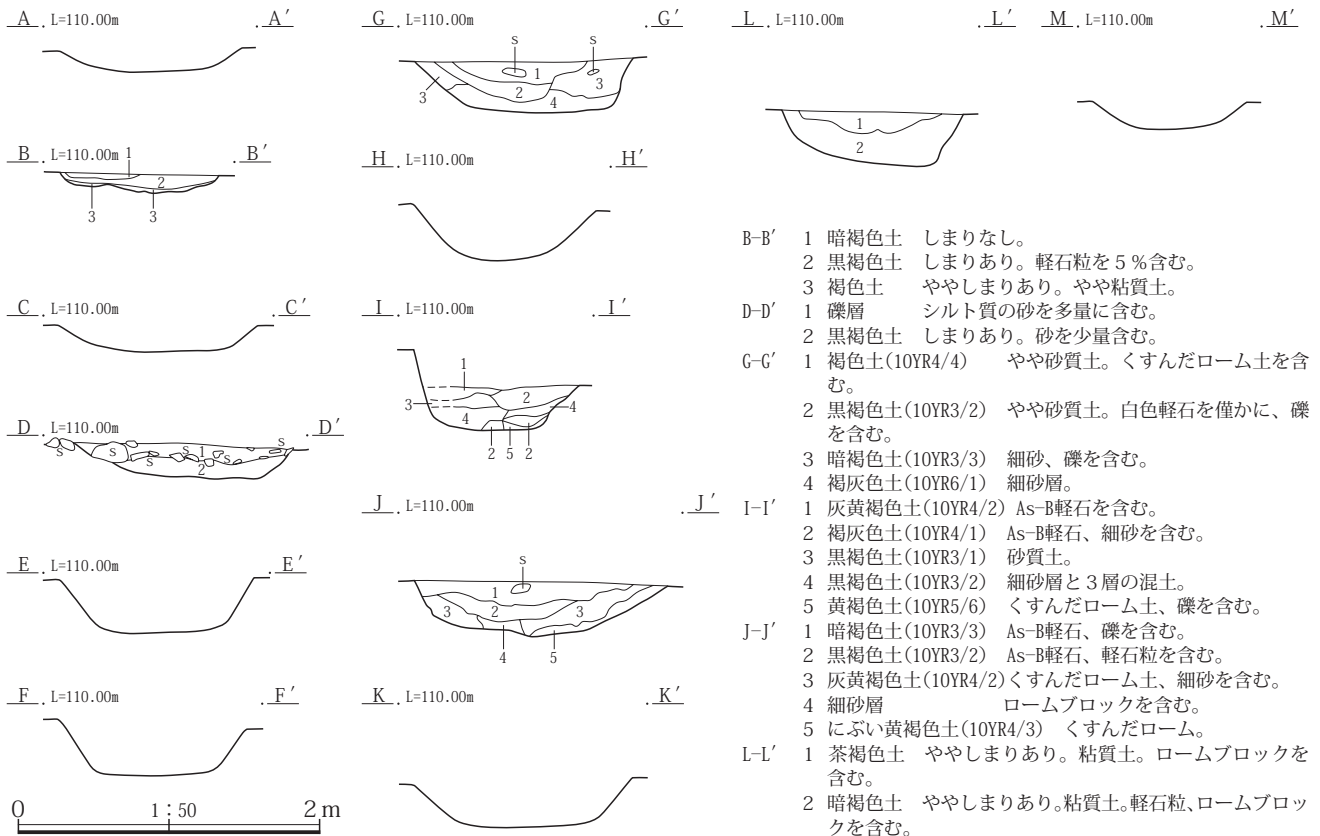
遺物 土師器・須恵器合わせて1.2kgのほか、鉄製品1、蛇紋岩製の管玉2が出土した。

所見 溝底面の標高は、最も高い地点が北西コーナー付近で109.79m、最も低い地点は南辺部中央付近で109.12m、比高差は0.67mを計る。各地点の標高を考えると、水流を伴う水路とは考えられず、低層に砂質土が見られることから、水の滞留が考えられる性質の溝といえることができる。4号溝の区画内には、住居・土坑・掘立柱建物・柵・溝などが存在するが、重複および位置関係などから、掘立柱建物・柵などの建物群と深い関連性が認められ、これらの建物群を画する溝とすることができる。他に4号溝との関連を直接的に想定できる遺構はないが、本溝に並行する2号溝は、その関連性を拒まれるものではない。埋没土から、本遺構の時期は中・近世と推定される。

2号溝



4号溝



第157図 1区DE2面2・4号溝2

3号溝(第158図、PL.58)

位置 1区F2面、北X=42076、Y=-47306～南X=42082、Y=-47306。

重複 河道(流路)と重複。本遺構が新しい。

平面形状 北東方向から南西方向へ、直線的にくの字状におれて南東方向へ。

長軸方位 N-47°-E、N-30°-W。

規模 検出全長9.1m、幅1.1～1.6m、深さ0.54～0.74m。底面の比高差は0.12m、北が低い。

埋没土層 黒褐色土・褐色土主体。6層が観察された。

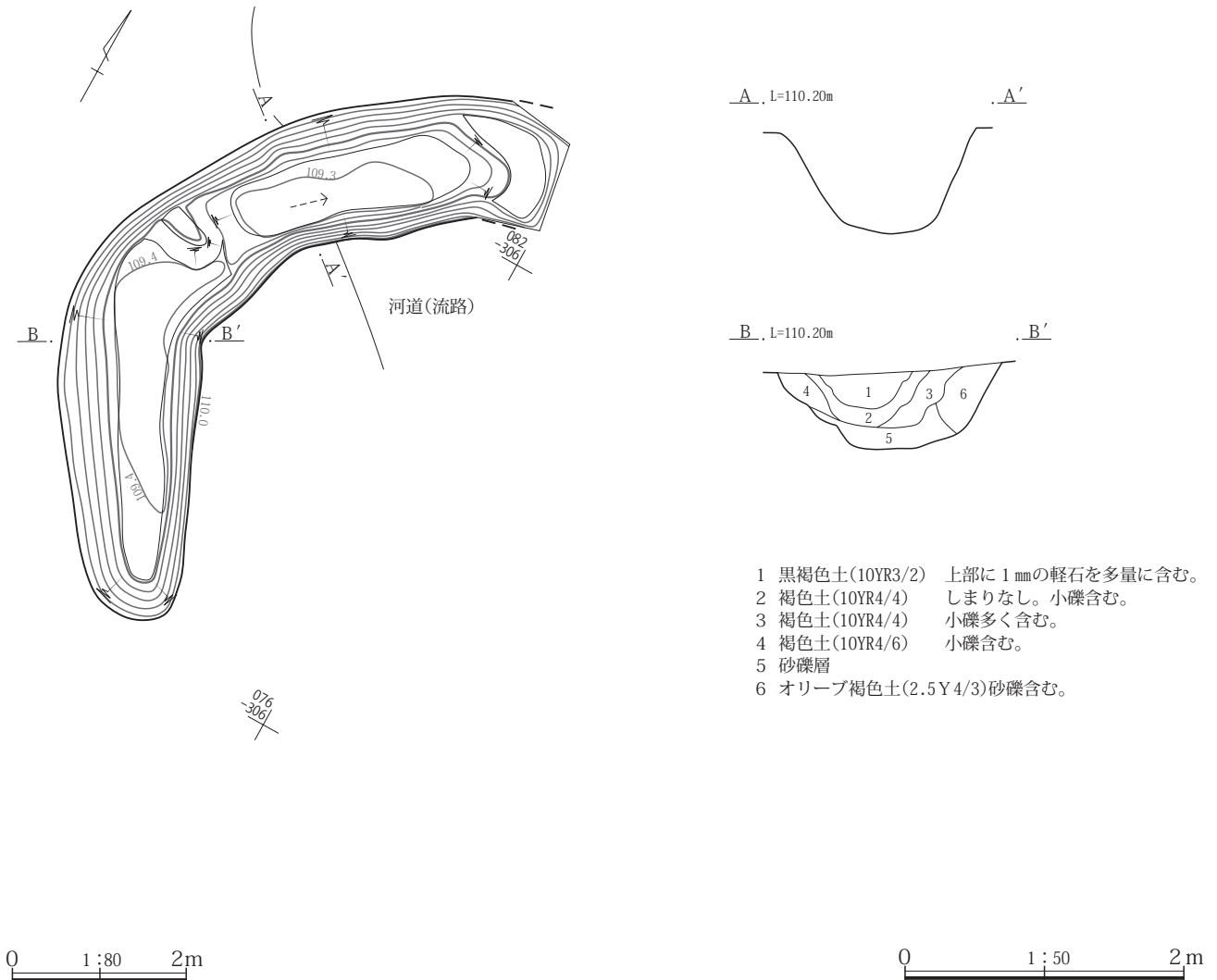
断面形はU字状を呈し、As-B軽石と思われる軽石を多量に含む。

遺物 出土遺物はない。

所見 本遺構の勾配は、南から河道(流路)に向かって下るもので、地形的な自然勾配に逆行する形で掘削されている。河道に排水する機能を持たせたものと考えられる。

※河道(流路)については、調査記録がなく、詳細な報告ができない。幅11m以上と推定される。

3号溝



第158図 1区F2面3号溝

5号溝(33・65号溝、笠懸1号溝)(第159～161図、PL.58・59)

位置 整理作業の過程で、笠懸調査分を含め4つの溝を一連の遺構と推定した。1区C D 4面、北東X=42042、Y=-47314～南西X=41987、Y=-47288。2区E～G 4面、北東X=42025、Y=-47229～南西X=41949、Y=-47245。3区G 4面 北東X=42059、Y=-47194～南西X=42045、Y=-47205。笠懸A区・C区・東武線側道区。

重複 1区10号溝、42号土坑、笠懸3号井戸と重複。本遺構が古い。2区45・46号溝と重複。46号溝は関連遺構で、屈曲部でのバイパス的な機能を持つ。本遺構は45号溝より新しい。

平面形状 3区G(65号溝)より2区G、F(33号溝)・笠懸A区(1号溝)を経て、1区C(5号溝)・笠懸C区・笠懸東武線側道区に至るほぼ直線的に南西方向に流下する。2区33号溝は、2区Fで笠懸1号溝と分岐し、33号溝本流は2区を南流する。笠懸C区、3区および2区では、自然流路的な様相を持つが、1区Cより下流では、概ね丸底状の底面を持ち、人為的に掘削・管理されていた可能性が高い。

長軸方位 N-37°-E。

規模 検出全長260m以上、幅2.0～3.0m(笠懸最下流部4.2m)、深さ1区0.14～0.58m。2区0.26～0.80m。3区0.67～0.76m。底面標高は、3区G 65号溝109.11m、2区F 33号溝108.61m、1区C 5号溝108.21m、南西が低い。

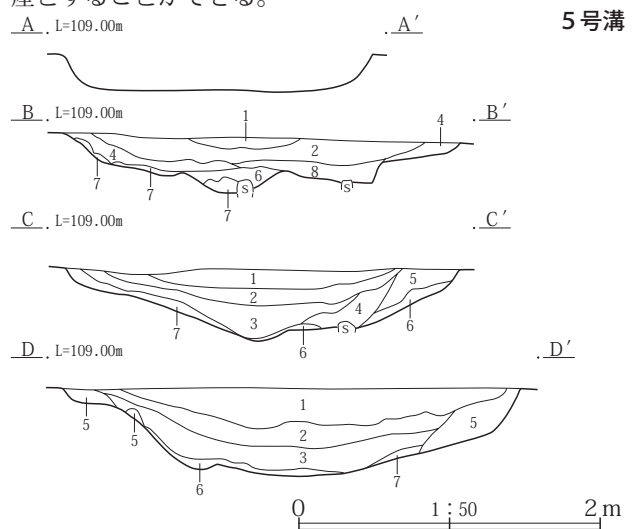
埋没土層 黒褐色土・暗褐色土主体。下流域は粘性が強い傾向を示し、上流域では砂層が確認できた。全般に礫の混入が認められ、Hr-FA・As-C軽石が含まれる。地層断面図の観察から、As-B軽石降下時には、本遺構はほぼ埋没していたものと考えられる。断面形は丸底状または逆台形状。

遺物 図示した遺物のほか、およそ3.55kgの土師器が出土した。遺物出土状況は、5号溝中央から南西側に集中し、3層の堆積が終わる前後(溝底面より+0.1～0.4m)に遺棄または流れ込む状況で出土した。

出土遺物は、いずれも土師器である。1・2は埴。1は内外面、2は外面にハケ目を残す。3・4は小型壺、3は外面頸部にハケ目、胴部ヘラナデ。4は外面ヘラ削り、内面ヘラナデ。5～9は高杯で、5は脚部が直立し

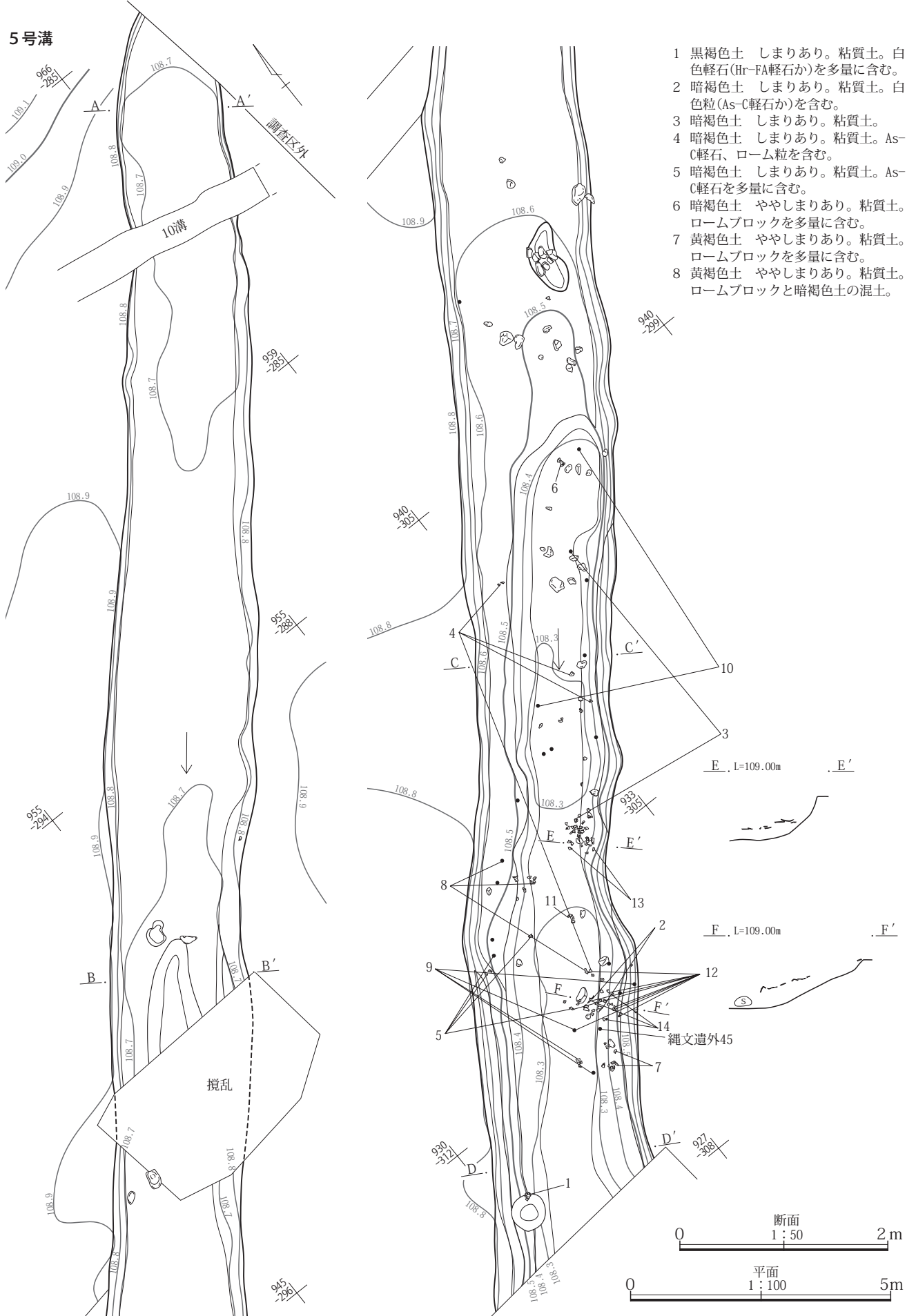
てから大きく開き、杯身部外面にハケ目を残す。6・9は脚部がハの字状に大きく開き、6は杯身部口縁部内外面ともヘラ磨き、脚部内面に輪積痕を残す。7は杯身部口縁内外面にハケ目を残す。10は退化したS字状口縁を持つ甕で、外面頸部から胴部にかけてハケ目を残す。大型の甕または壺の底部と思われる14は底部・胴部ともに外面ヘラ削り、内面ヘラナデが施される。壺13は大型で、頸部に突帯を貼り付け後刺突文を巡らせる。11も頸部に突帯を巡らせ、指頭痕を残す。壺12は、頸部外面ヘラナデ、胴部外面はハケ目後ヘラ削りが施される。

所見 5・33・65号溝は、八王子丘陵西辺部沿いに流下する小河川から分岐した支流で、南西方向へ直線上に流下する。3区東側では、川幅20m以上の自然流路が確認され、3区G北東部70m付近でこの自然流路から本遺構(65号溝)は分岐し、南西方向にほぼ直線的に流下する。小河川からの分岐直後は、自然流路的な色彩が強いが2区で33号溝と分岐した下流域では人為的な様相を持つ。33号溝本流は、そのまま自然流路的な特徴を持って南流し、浅い広がりを持った形状となる。関連遺構である46号溝は、人為的に掘削された可能性が高く、用水管理のための溝状遺構と考えられる。この分岐後は、先述の通り、南西方向へ遺跡地を一貫し、集落構成を考える上で、極めて重要な遺構と言える。出土遺物は、5世紀の前半の様相を示し、埋没土層の観察からは、As-B軽石降下時にはほぼ埋没が終了していると判断できる。また、出土遺物の様相からは、9・13号住居との関連性を考える必要がある。出土遺物や埋没土層から、古墳時代5世紀の前半代の所産とすることができる。

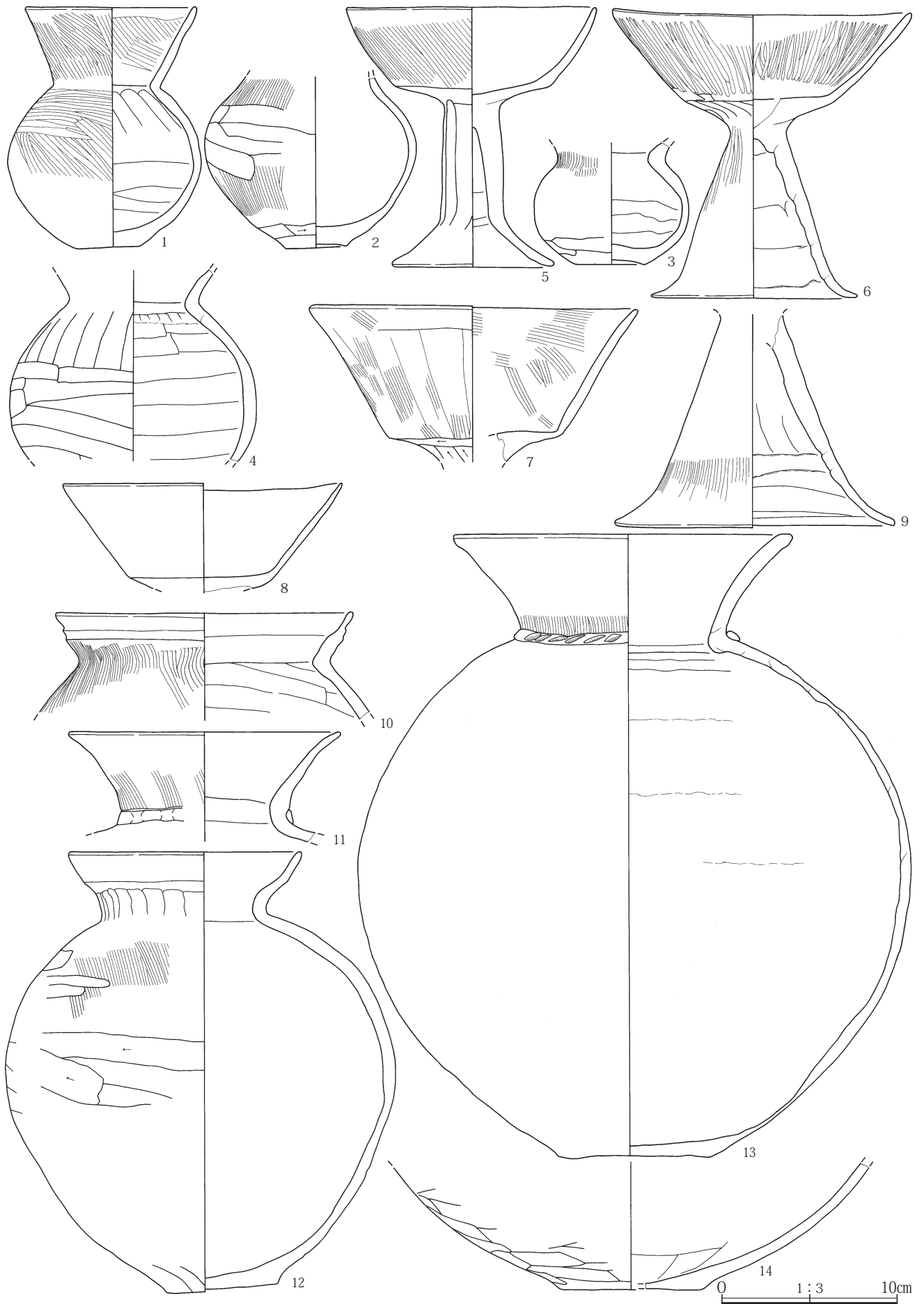


第159図 1区C D 4面5号溝1

5号溝



第160図 1区CD4面5号溝2



第161図 1区CD4面5号溝出土遺物

7号溝(第162図、PL.59)

位置 1区D4面、北西X=42891、Y=-47237～東X=41989、Y=-47340～南X=41976、Y=-47338。

重複 3号掘立柱建物、96・148号土坑、401・445号ピットと重複。3号掘立柱建物より古く、96号土坑より新しい。

平面形状 西方向から東方向の角へ、角から南方向へ直角・直線に曲がる。

長軸方位 南北N-8°-W、東西N-97°-E。

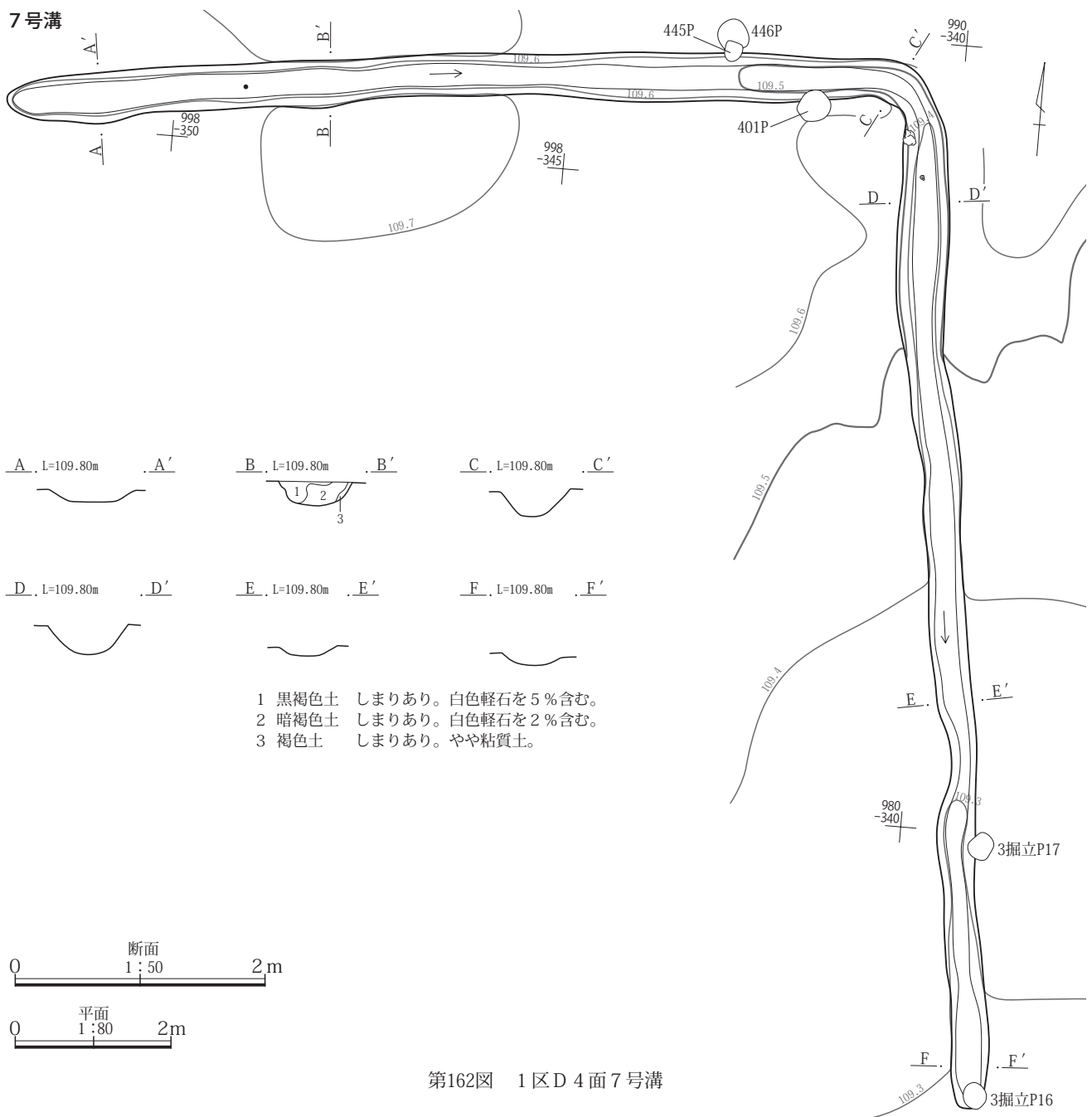
規模 検出全長24.6m、幅0.15～0.3m、深さ0.05～0.07m。底面の標高は、南東部が最も低く北西部が高い。

比高差は0.33m。

埋没土層 黒褐色土・暗褐色土主体。3層が観察され、Hr-FA・As-C軽石を含む。断面形は逆台形状もしくは丸底状を呈す。

遺物 図示し得る遺物はなく、覆土中から0.07kgの土師器・須恵器片が出土した。

所見 直角に折れる形状から、空間を区画するための遺構とすることができるが、区画内には削平が進んでいるためか、該当する遺構の検出はなかった。3号掘立柱建物の時期をAs-B軽石降下後とすると、平安時代以前の所産で、96号土坑埋没以降とすることができる。



12号溝(第163図、PL.61)

位置 1区C D 2面、西X=41984、Y=-47287～東X=41985、Y=-47287。

重複 69号土坑と重複。本遺構が古い。

平面形状 西方向から東方向へ直線状。

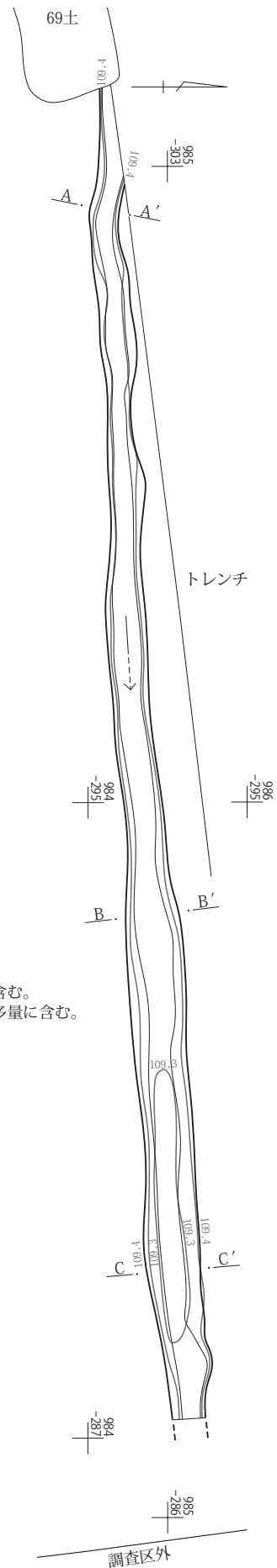
長軸方位 N-86°-E。

規模 検出全長16.8m、幅0.3～0.72m、深さ0.08～0.18m。底面の比高差は0.1m、東が低い。

埋没土層 暗褐色土主体。2層が観察された。As-B軽石を含む。断面形は逆台形状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 土師器片が1片出土した。

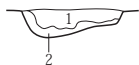
所見 埋没土から、本遺構の時期は中・近世と推定される。



A . L=109.70m . A'



B . L=109.70m . B'



- 1 暗褐色土 しまりあり。As-B軽石、ローム粒を少量含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロックを多量に含む。

C . L=109.70m . C'



第163図 1区C D 2面12号溝

10号溝(第164・165図、PL.60・61)

位置 1区C D 2面、西X=41961、Y=-47329～東X=41961、Y=-47283。

重複 24～26号住居、5・13号溝と重複。本遺構が24～26号住居、5号溝より新しい。13号溝とは新旧不明。

平面形状 西方向から東方向へほぼ直線状であるが、中央より東側で南にわずかに折れる。

長軸方位 N-89°-W。

規模 検出全長46.2m、幅0.57～1.74m、深さ0.15～0.51m。底面の比高差は0.52mで、東が低い。

埋没土層 黒褐色土・暗褐色土主体。4～6層が観察された。レンズ状に堆積し、As-B軽石・礫を含む。断面形は逆台形状を呈し、安定した掘り込み。

遺物 覆土から土師器甕1、覆土中から0.34kgの土師器・須恵器片が出土した。

所見 埋没土から、本遺構の時期は中・近世と推定される。

11号溝(第166・167図、PL.60・61)

位置 1区C D 2面、西X=41969、Y=-47326～東X=41967、Y=-47306～南東X=41967、Y=-47305～東X=41967、Y=-47284。

重複 28号住居、15号溝と重複。本遺構が新しい。15号溝は本溝と並行し関連する遺構とすることができる。

平面形状 西方向から東方向、北方向から南方向、西方向から東方向へクランク状に屈曲。

長軸方位 西N-80°-E、東N-89°-E。

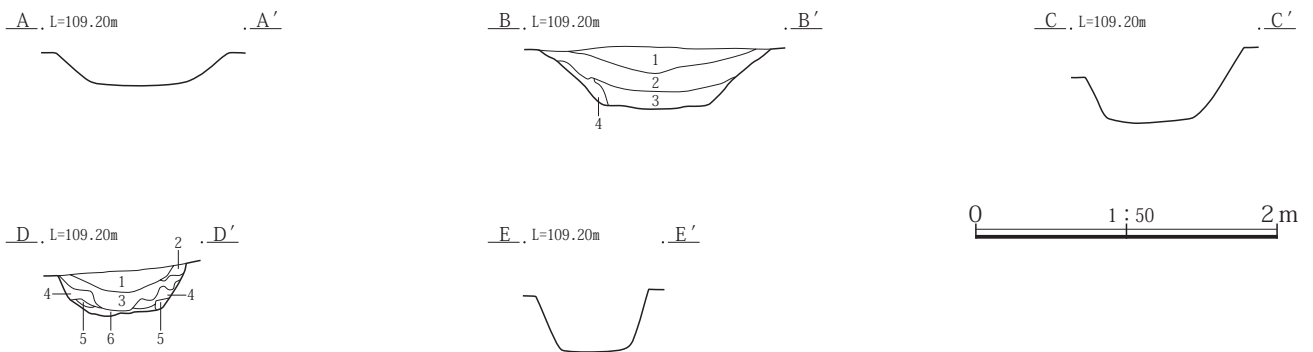
規模 検出全長45.2m、幅0.37～0.75m、深さ0.14～0.3m。底面の比高差は東西で0.03mとほぼ同レベル。

埋没土層 暗褐色土・褐色土主体。3層が観察された。As-B軽石を含み、断面形は丸底状または逆台形状。

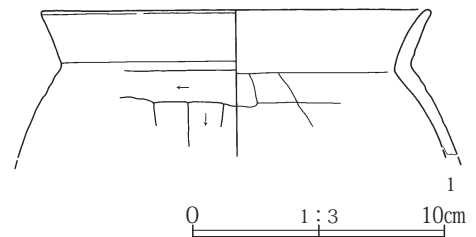
遺物 溝の底面から土師器甕1が、覆土中から0.24kgの土師器・須恵器片が出土した。

所見 15号溝との並行部分は掘り直しと考えられる。埋没土から、本遺構の時期は中・近世と推定される。

10号溝



- B-B' 1 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。粘質土。As-B軽石を2%・Hr-FP軽石1%、褐色粒を僅かに含む。
 2 黒褐色土(10YR2/2) しまりあり。粘質土。As-B軽石3%、炭化物を僅かに含む。
 3 黒褐色土(10YR2/2) 粘質土。As-B軽石を1%含む。
 4 黒褐色土(10YR2/2) 粘質土。As-B軽石を僅かに含む。
- D-D' 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。As-B軽石、ローム粒を少量含む。
 2 茶褐色土 壁崩落土。
 3 暗褐色土 しまりあり。非常に粘質土。ローム粒を多量に含む。
 4 黄褐色土 しまりあり。非常に粘質土。ローム土を多量に含む。
 5 褐色土 ロームブロック主体。
 6 暗褐色土 しまりあり。ローム粒を含む。

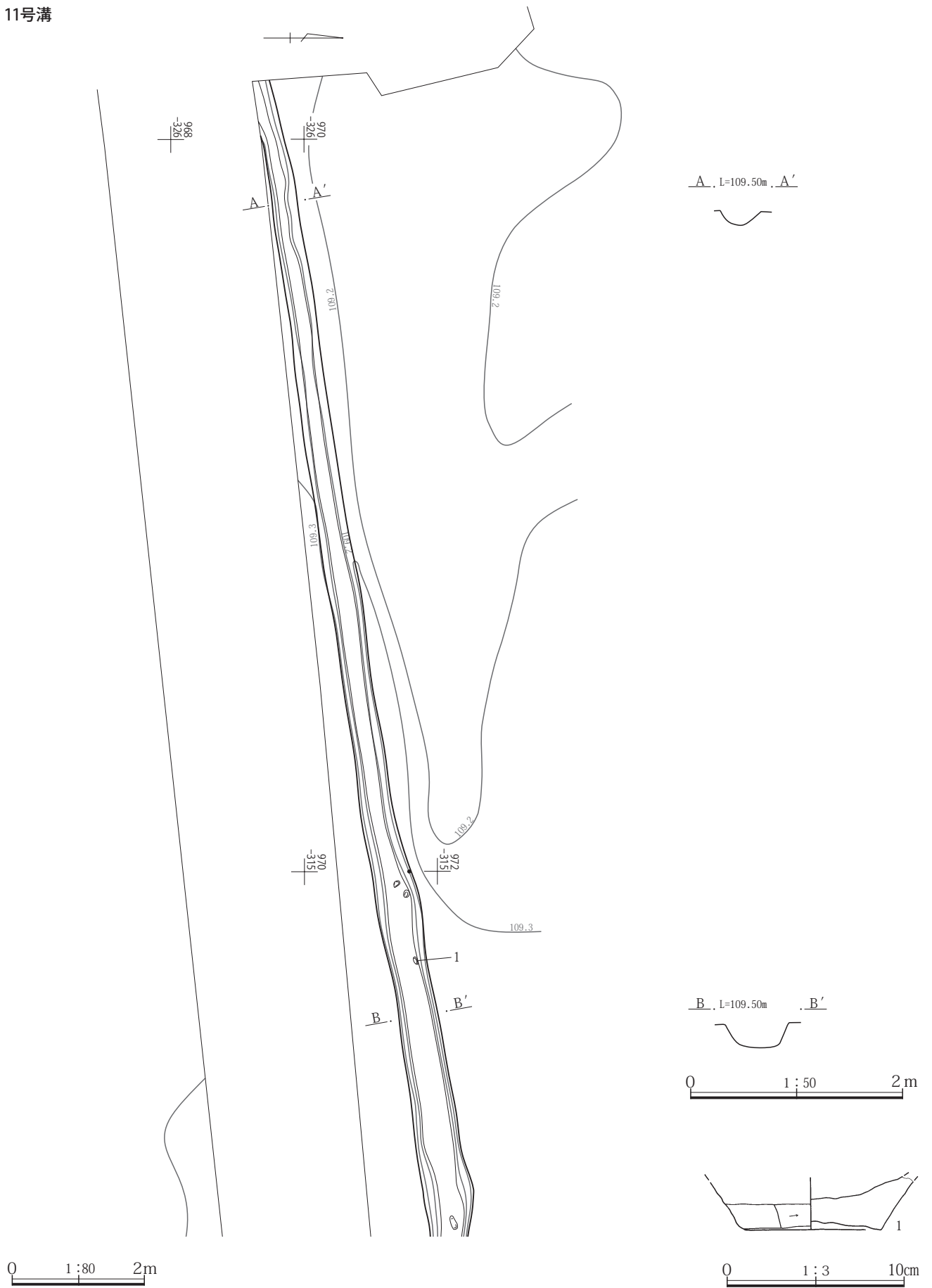


第164図 1区C D 2面10号溝1と出土遺物

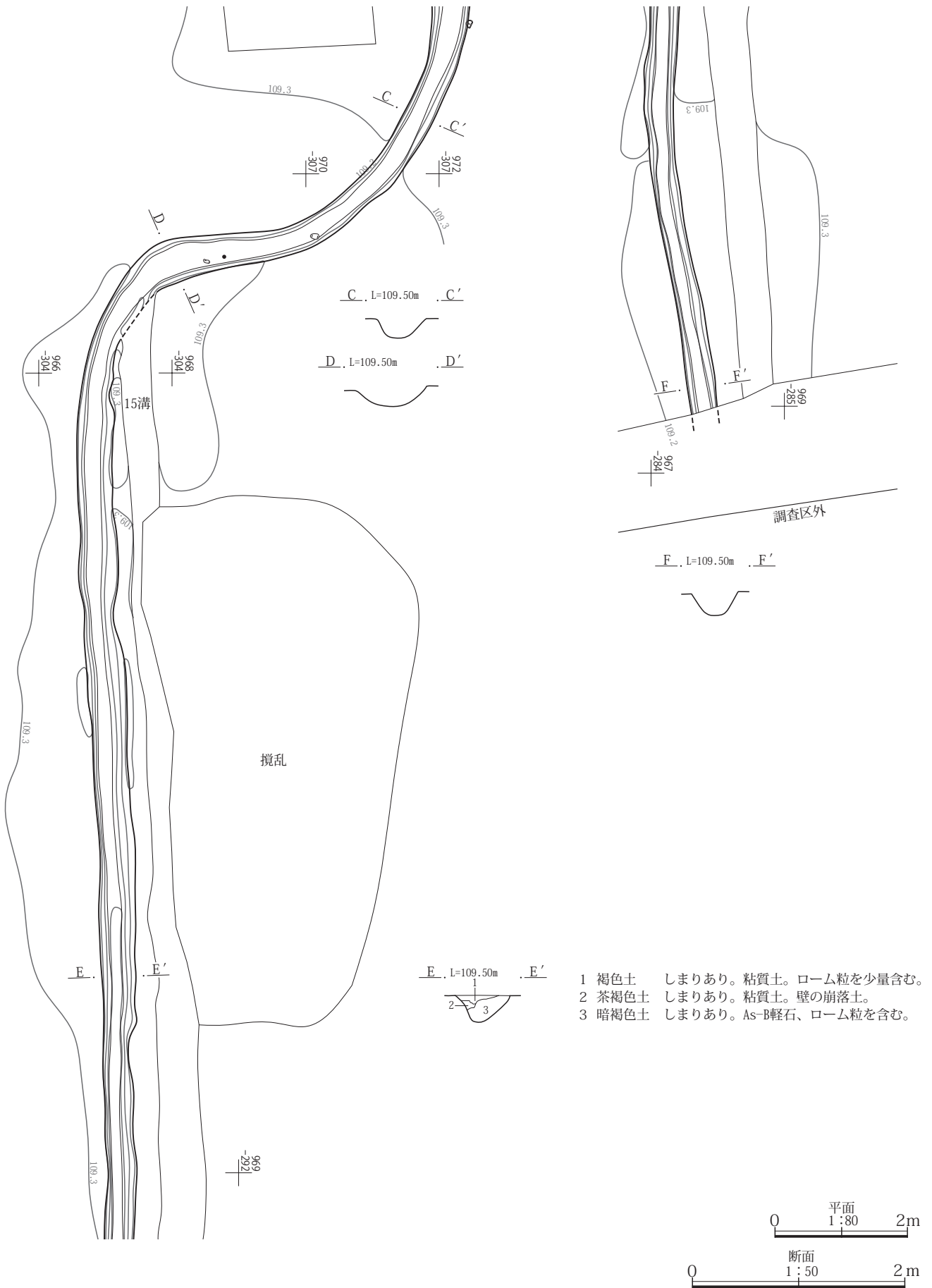
10号溝



11号溝



第166図 1区C D 2面11号溝1と出土遺物



第167図 1区C D 2面11号溝2

13号溝(第168図、PL.60・61)

位置 1区CD2面、西X=41966、Y=-47326～東X=41964、Y=-47298。

重複 25号住居、10号溝と重複。本遺構が25号住居より新しい。10号溝とは新旧不明。

平面形状 西南西方向から東南東方向へ直線状。

長軸方位 N-88°-W。

規模 検出全長29.4m、幅0.29～0.7m、深さ0.06～

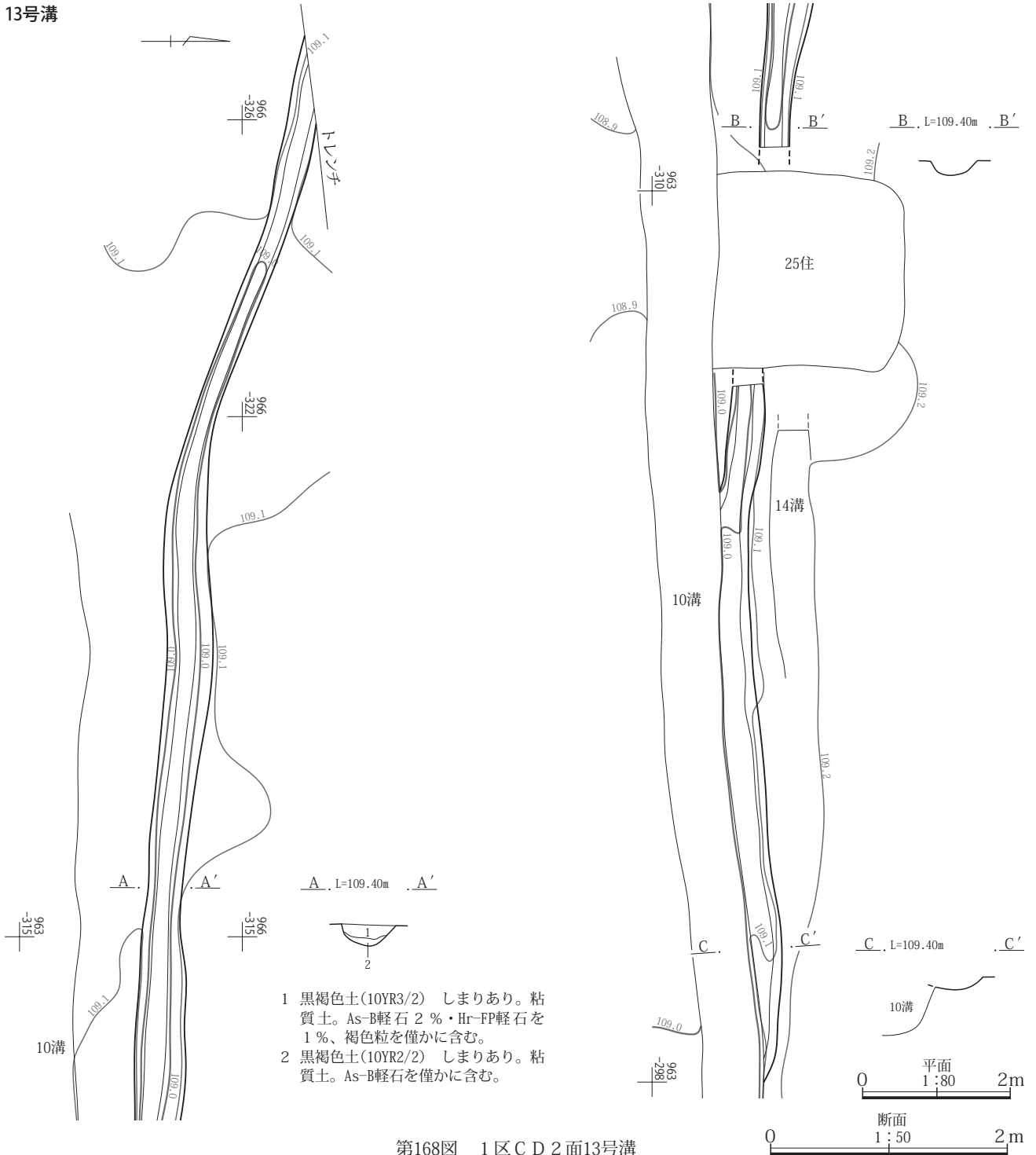
0.24m。底面の比高差は東西で0.04mとほぼ同レベル。

埋没土層 黒褐色土主体。2層が観察された。As-B軽石を含む。断面形は逆台形状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 出土遺物はない。

所見 埋没土から、本遺構の時期は中・近世と推定される。

13号溝



第168図 1区CD2面13号溝

14号溝(第169図、PL.60・61)

位置 1区CD2面、西X=41965、Y=-47297～東X=41964、Y=-47306。

重複 なし。

平面形状 西方向から東方向へ直線状。13号溝とほぼ並行する。底面までの掘り込みが浅く、詳細は不明。

長軸方位 N-88°-E。

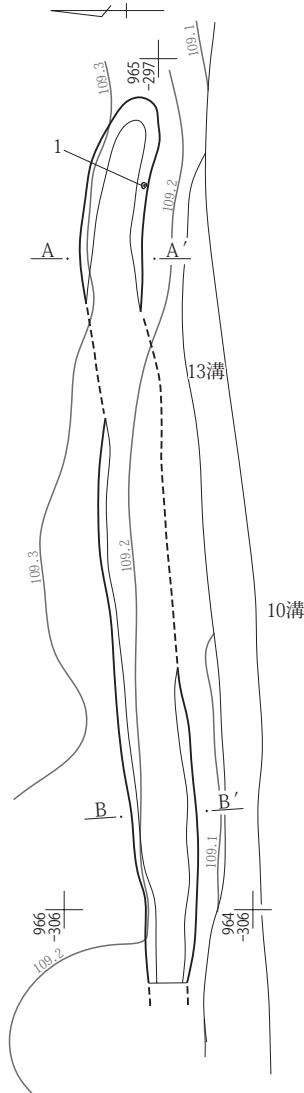
規模 検出全長9.4m、幅0.43～0.73m、深さ0.07～0.11m。

埋没土層 暗褐色土1層が観察された。

遺物 溝底面から+4cmで須恵器高台付椀1が出土した。

所見 判断材料がなく、時期等詳細は不明。

14号溝



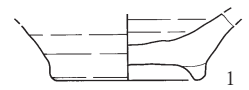
A, L=109.50m, A'



B, L=109.50m, B'



1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を多量に含む。



平面 1:80 0 2m

断面 1:50 0 2m

0 1:3 10cm

第169図 1区CD2面14号溝と出土遺物

15号溝



15号溝(第170図、PL.60・61)

位置 1区C D 2面、西X=41967、Y=-47305～東X=41968、Y=-47285。

重複 11号溝と重複。本遺構が古い。

平面形状 西方向から東方向へ直線状。

長軸方位 N-87°-E。

規模 検出全長20.1m、幅0.43～0.70m、深さ0.25～0.29m。底面の比高差は、東西で0.06mと東がわずかに高い。

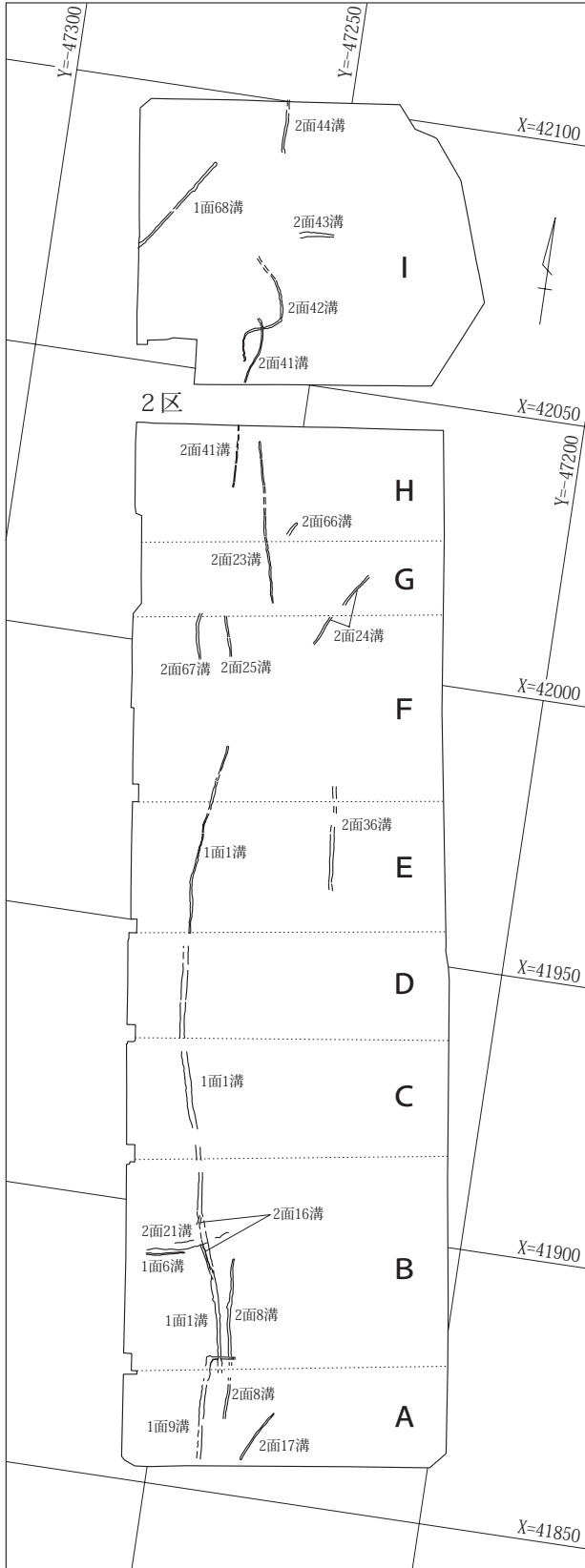
埋没土層 暗褐色土主体。3層が観察された。断面形は葉研状または逆台形状。

遺物 図示し得る遺物はなく、覆土中から0.13kgの土師器・須恵器片が出土した。

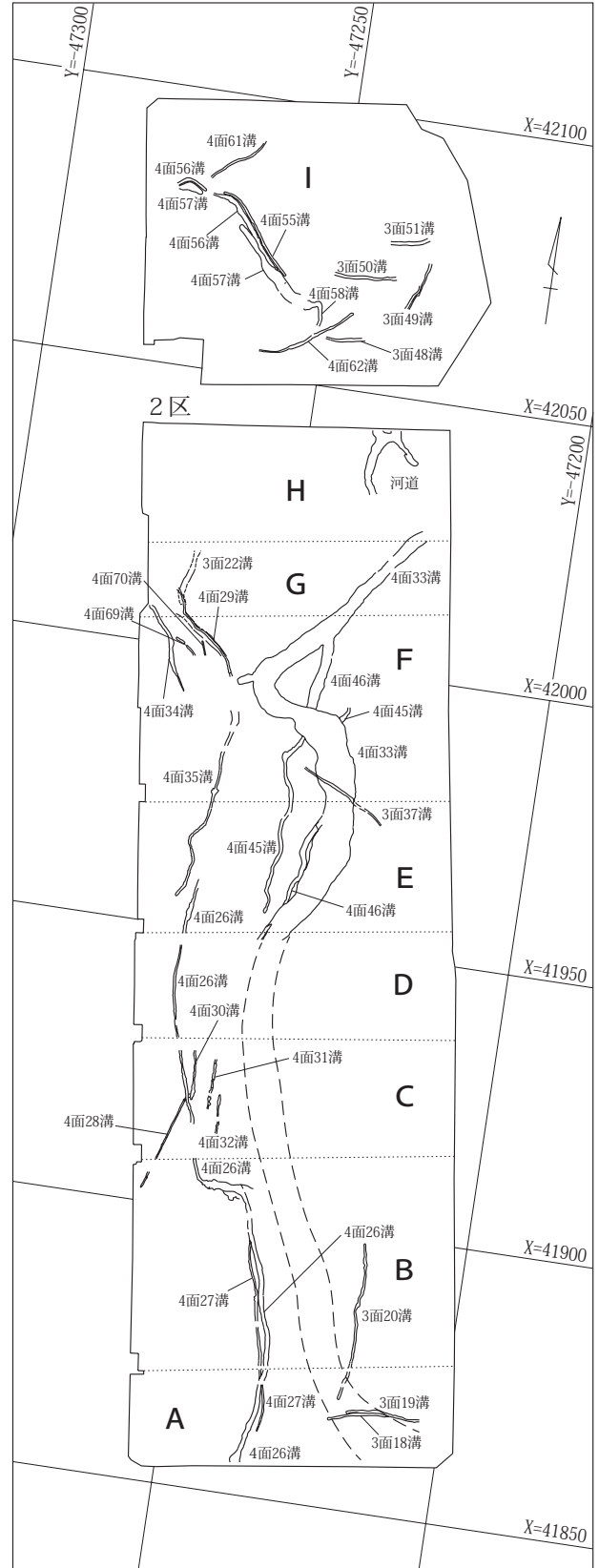
所見 11号溝の本遺構との並行部分は、掘り直したものと考えられる。こうしたことから、本遺構の時期は中・近世と推定される。

第170図 1区C D 2面15号溝

2区1・2面



2区3・4面



0 1:1,300 50m

第171図 2区調査された溝

2区1面

1号溝(第172・173図、PL.62)

位置 2区B～F 1面、北X=41983、Y=-47239～南X=41872、Y=-47239。

重複 9号溝と重複。本遺構が古い。

平面形状 北方向から南方向へ直線状に近いが、北側でわずかに湾曲する部分がある。笠懸1号溝周辺の溝と接続する可能性がある。本遺構の2区D～Bにかけて東側に沿って畦畔状の高まりが認められた。

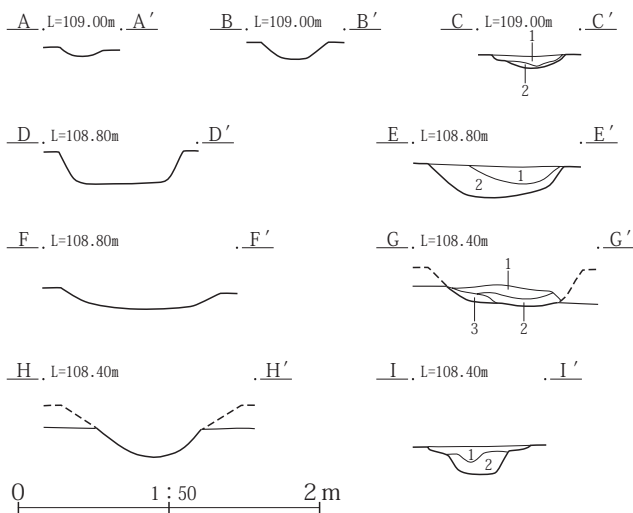
長軸方位 N-8°-W。

規模 検出全長114m、幅0.07～1.45m、深さ0.01～0.3m。底面の比高差は0.96m、南が低い。

埋没土層 黒褐色土・暗褐色土主体。断面図毎に3～4層が観察された。As-B軽石を含む。断面形は皿状もしくは丸底状を呈す。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 0.2kgの土師器片の他、須恵器片2片・在地系土器の焙烙片が出土した。掲載遺物はない。

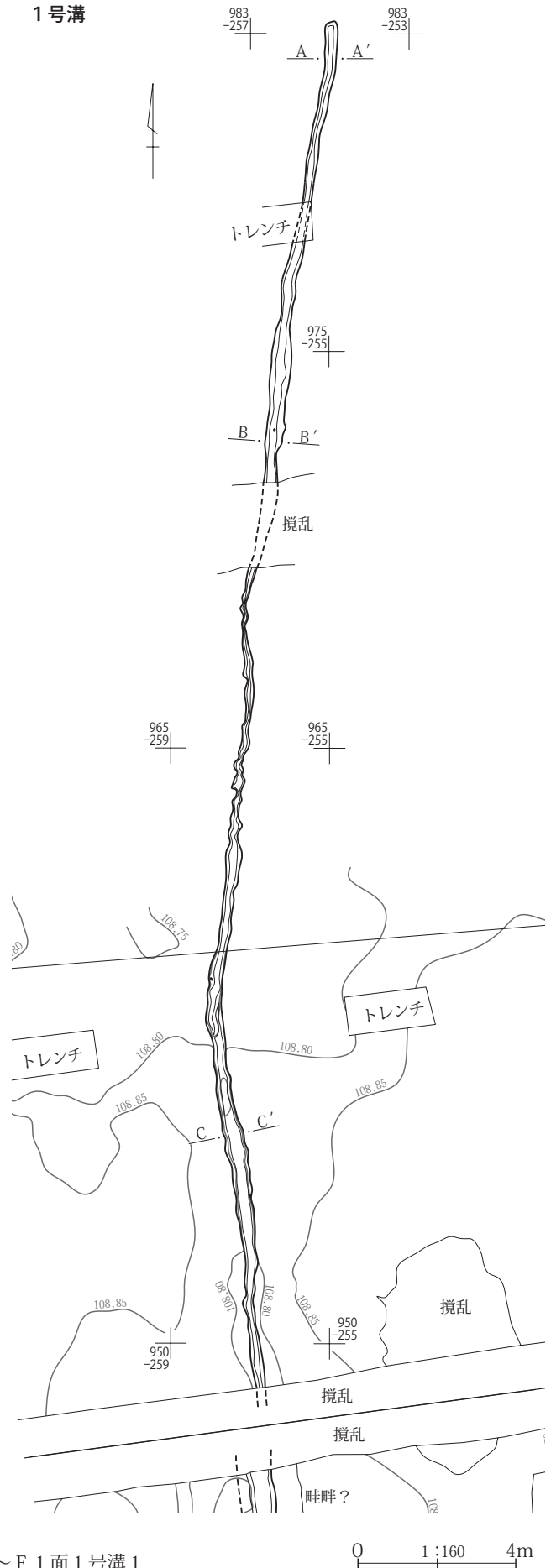
所見 1面検出。覆土中にAs-B軽石を含むことから、中・近世と推定されるが、近世関連の出土遺物はない。遺構の東側に沿う畦畔状の高まりの東一帯の平坦地は水田面と考えられるため、用水路としての性格が想定される。

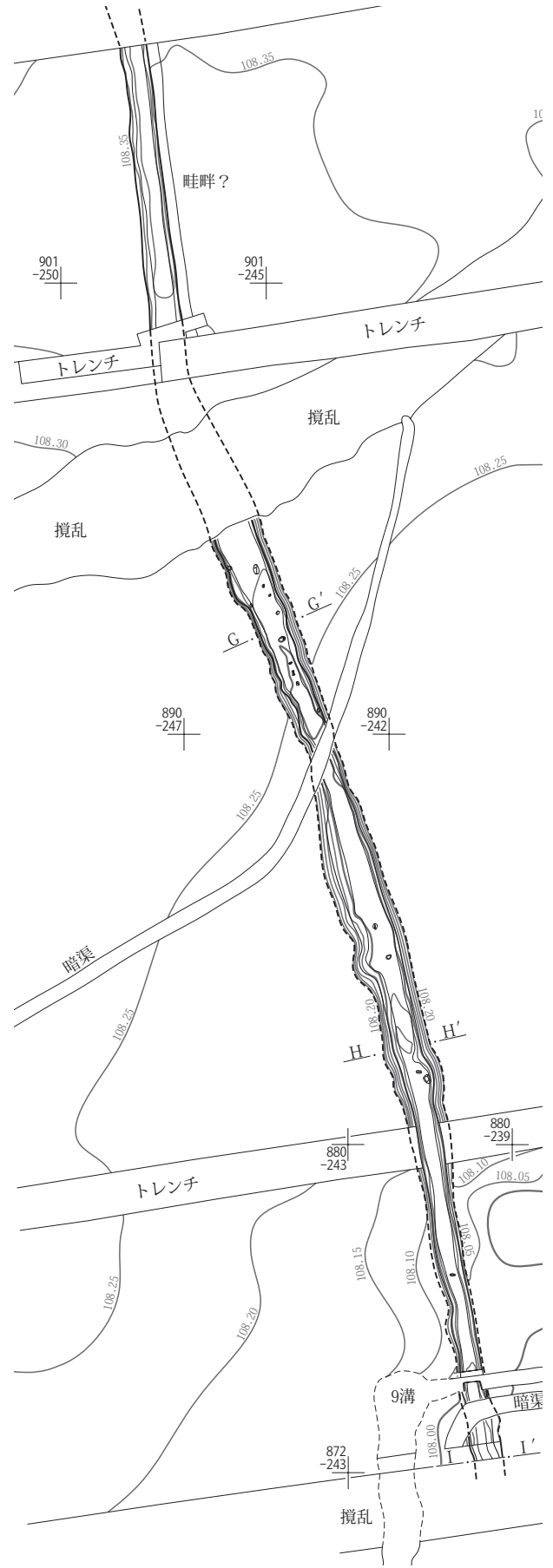
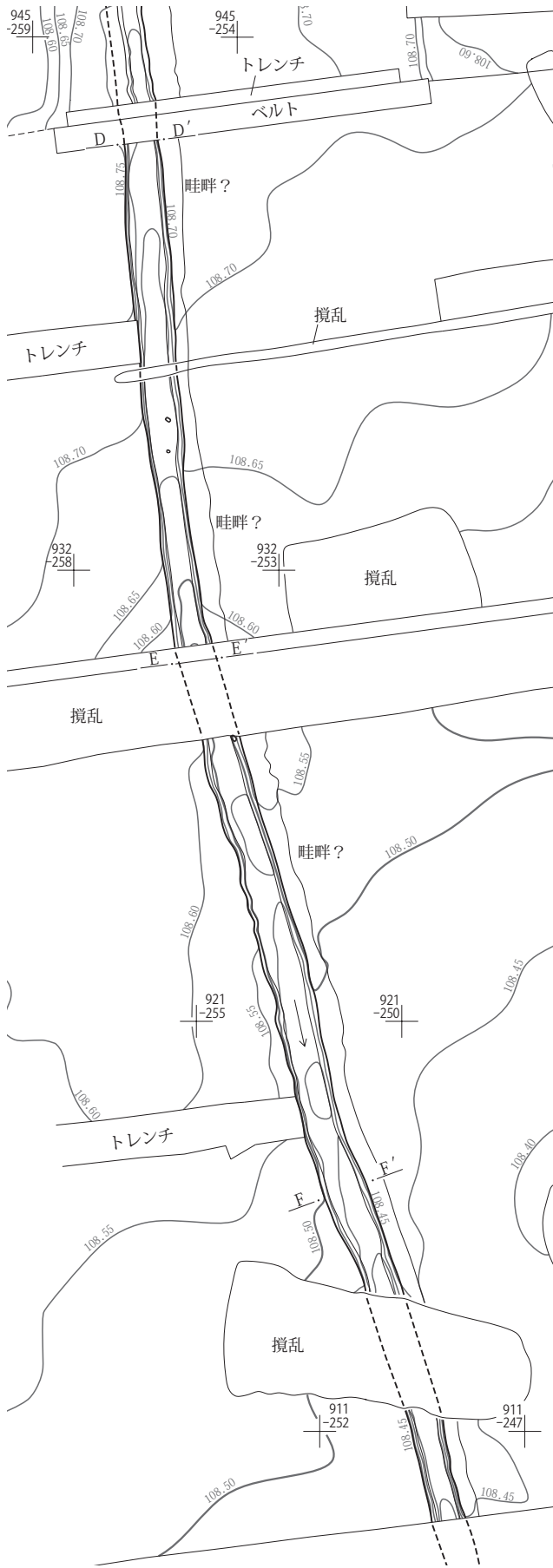


- C-C' 1 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり。粘質土。軽石粒を5%含む。
2 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。粘質土。
- E-E' 1 黒褐色土(10YR3/1) As-B軽石、細砂粒を僅かに含む。
2 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。粘質土。
- G-G' 1 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり。As-B軽石、ロームブロックを少量含む。
2 黒褐色土(10YR3/2) シルト質。As-B軽石を少量含む。
3 にぶい黄褐色土(10YR7/4)粘質土。ローム粒を多量に含む。
- I-I' 1 黒褐色土(10YR3/1) As-B軽石、細砂粒を僅かに含む。
2 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。粘質土。

第172図 2区B～F 1面1号溝1

1号溝





第173図 2区B~F 1面1号溝2

0 1:160 4m

6号溝(第174図、PL.63)

位置 2区B1面、東X=41892、Y=-47255～西X=41890、Y=-47255。

重複 なし。

平面形状 東方向から西方向へ直線状。

長軸方位 N-80°-E。

規模 検出全長7.00m、幅0.15～0.30m、深さ0.05～0.07m。底面の比高差は0.02m、西が低い。

埋没土層 暗褐色土主体。1層が観察された。As-B軽石を含む。断面形は皿状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 土師器2片が出土した。

所見 1面検出。覆土中にAs-C軽石を含む。中・近世と推定される。

9号溝(第175図、PL.63)

位置 2区A B 1面、東X=41874、Y=-47237～西X=41874、Y=-47242～南X=41855、Y=-47240。

重複 1号溝と重複。本遺構が新しい。

平面形状 東方向から西方向、北方向から南方向へ鉤手状(ほぼ直角)に曲がる。

長軸方位 東西N-77°-E、南北N-3°-W。

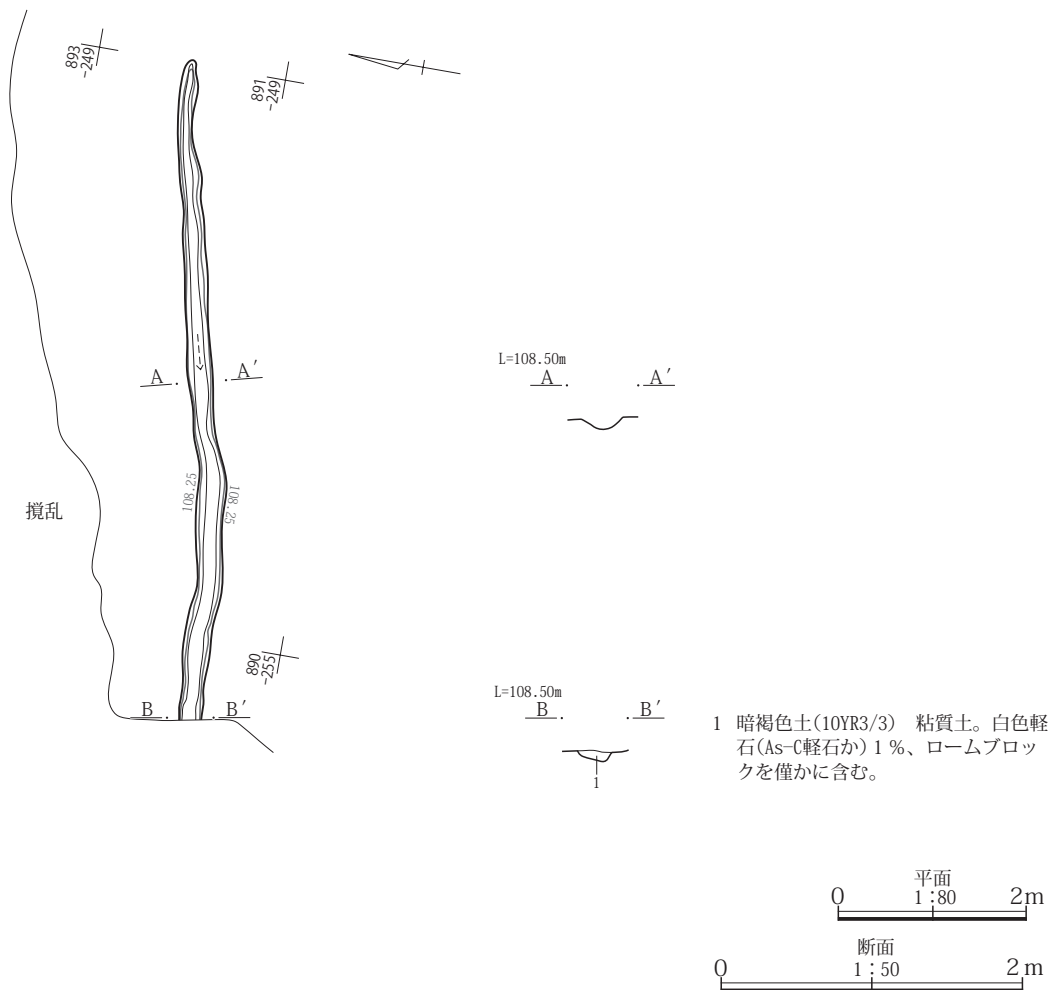
規模 検出全長22.9m、幅0.30～0.87m、深さ0.60～0.32m。底面の比高差は0.19m、南が低い。

埋没土層 不明。断面形状は逆台形状を呈す。

遺物 磁器片が出土している。

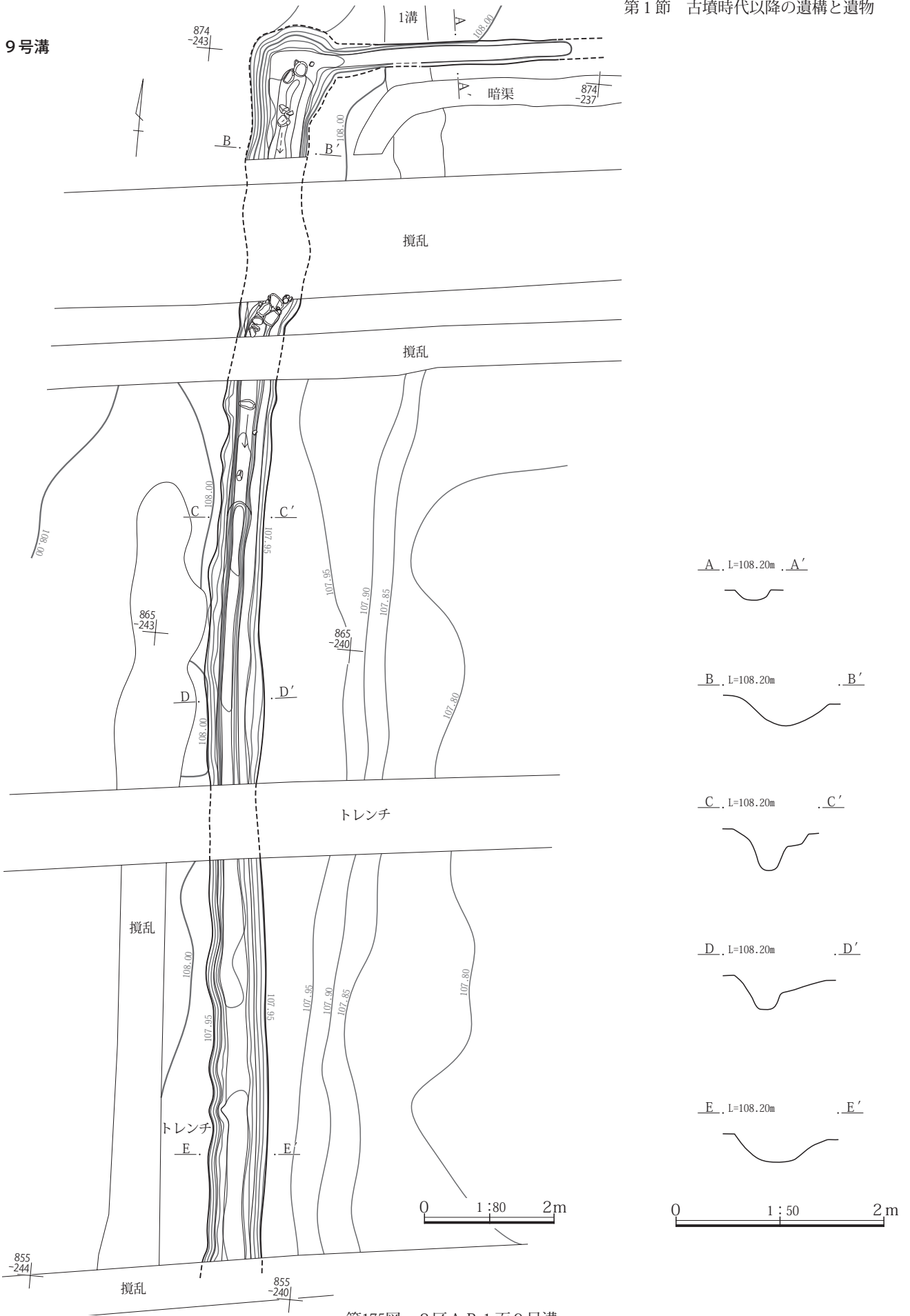
所見 昭和62年度土地改良工事前の農道および地割りに沿った遺構と考えられ、近年の暗渠排水路にも並行しているため、土地改良前まで使用されていた用水路と考えられる。

6号溝



第174図 2区B1面6号溝

9号溝



第175図 2区A B 1面9号溝

68号溝(石組暗渠排水)(第176図、PL.63)

位置 2区I1面、北東X=42087、Y=-47272～南西X=42069、Y=-47284。

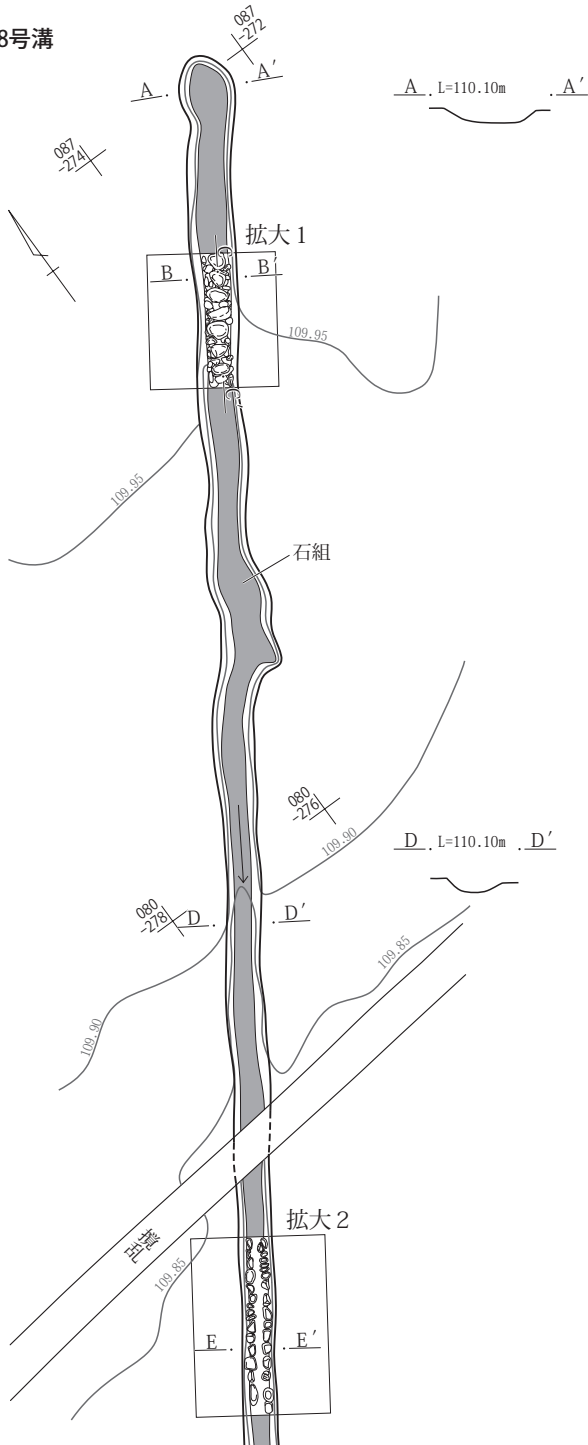
重複 なし。

平面形状 北東方向から南西方向へ直線状。石組暗渠。

長軸方位 N-34°-E。

規模 検出全長21m、幅0.34～0.70m、深さ0.03～0.17m。底面の比高差は0.27m、南西が低い。

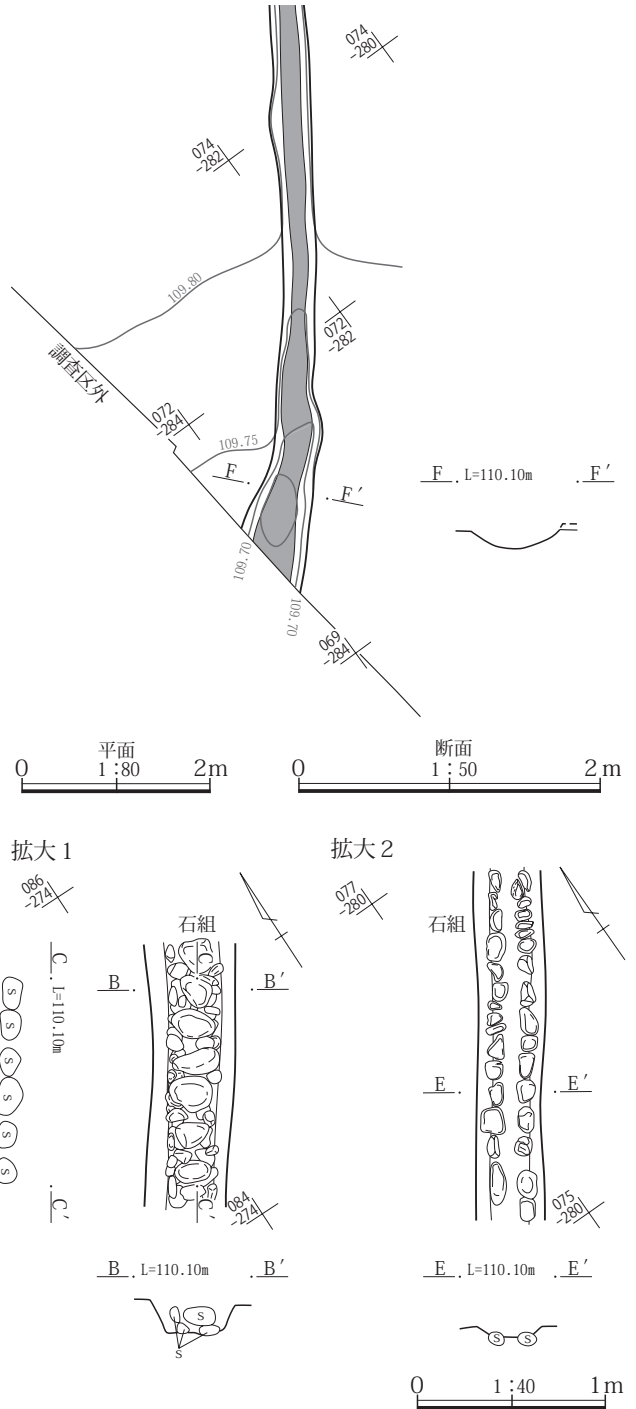
68号溝



埋没土層 不明。

遺物 なし。

所見 底面に2列の石列を配置し、大ぶりの蓋石を小礫で支える暗渠排水施設。礫はいずれも河床礫。昭和62年の土地改良工事以前の農道に沿って築かれている。昭和62年度の土地改良時にも暗渠排水施設が設けられているが、それ以前のものとして、一例として取り上げた。



第176図 2区I1面68号溝

2区2面

8号溝(第177図、PL.63)

位置 2区A B 2面、北X=41891、Y=-47240～南X=41856、Y=-47237。

重複 1号耕作痕群、1面9号溝と重複。

平面形状 北方向から南方向へ直線状。

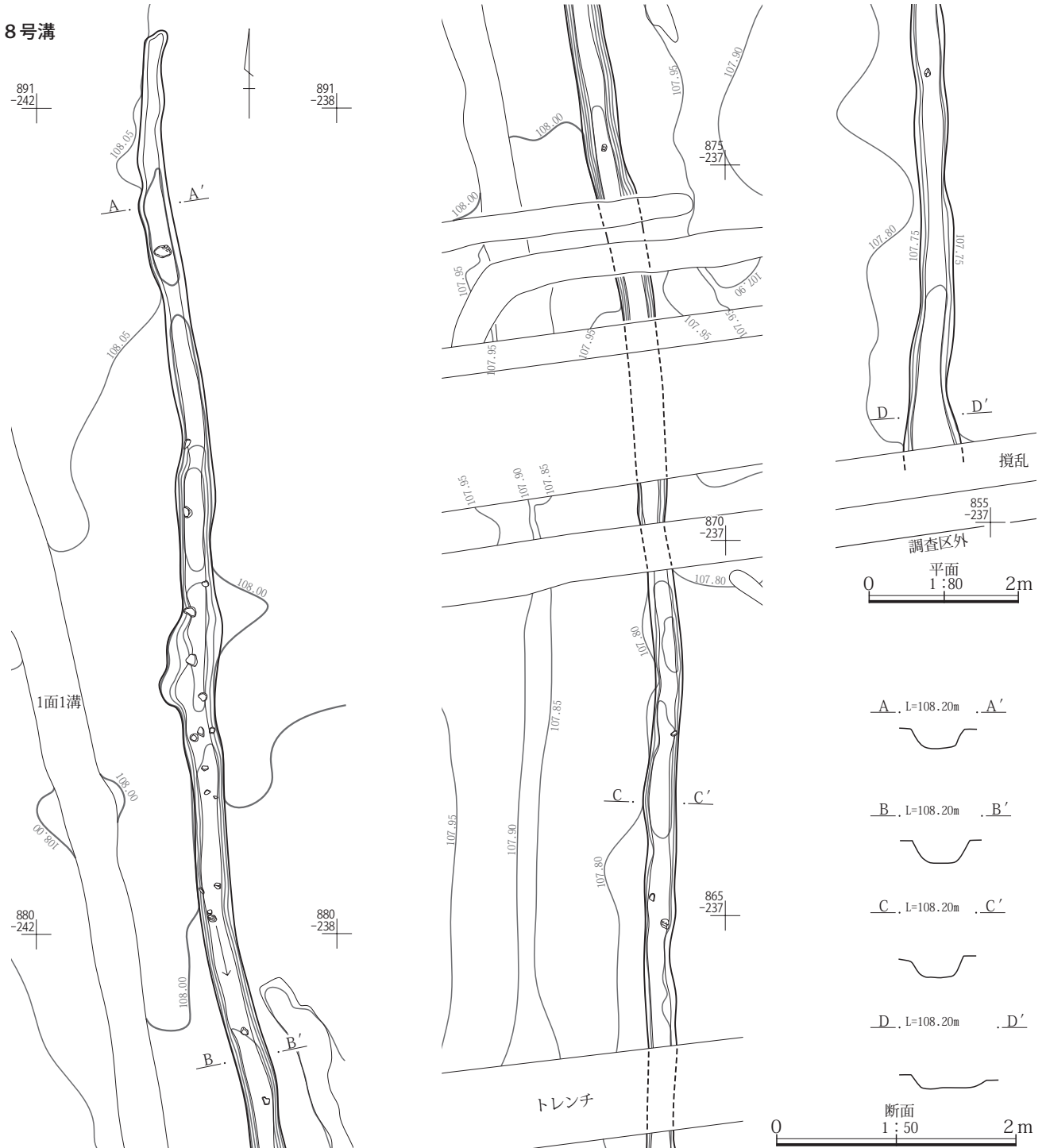
長軸方位 N-4°-W。

規模 検出全長36.3m、幅0.25～0.7m、深さ0.05～0.17m。底面の比高差は0.32m、南が低い。

埋没土層 礫を含むが詳細は不明。断面形は、逆台形状を呈す。

遺物 0.04kgの土師器片と磁器片が出土した。

所見 2面検出ということから、本遺構の時期は中・近世と推定される。



第177図 2区A B 2面8号溝

16号溝(第178図、PL.63)

位置 2区B2面、北X=41898、Y=-47247～南X=41887、Y=-47243。

重複 21号溝、1号耕作痕群と重複。本遺構が新しい。

平面形状 北方向から南方向へ直線状。

長軸方位 N-16°-W。

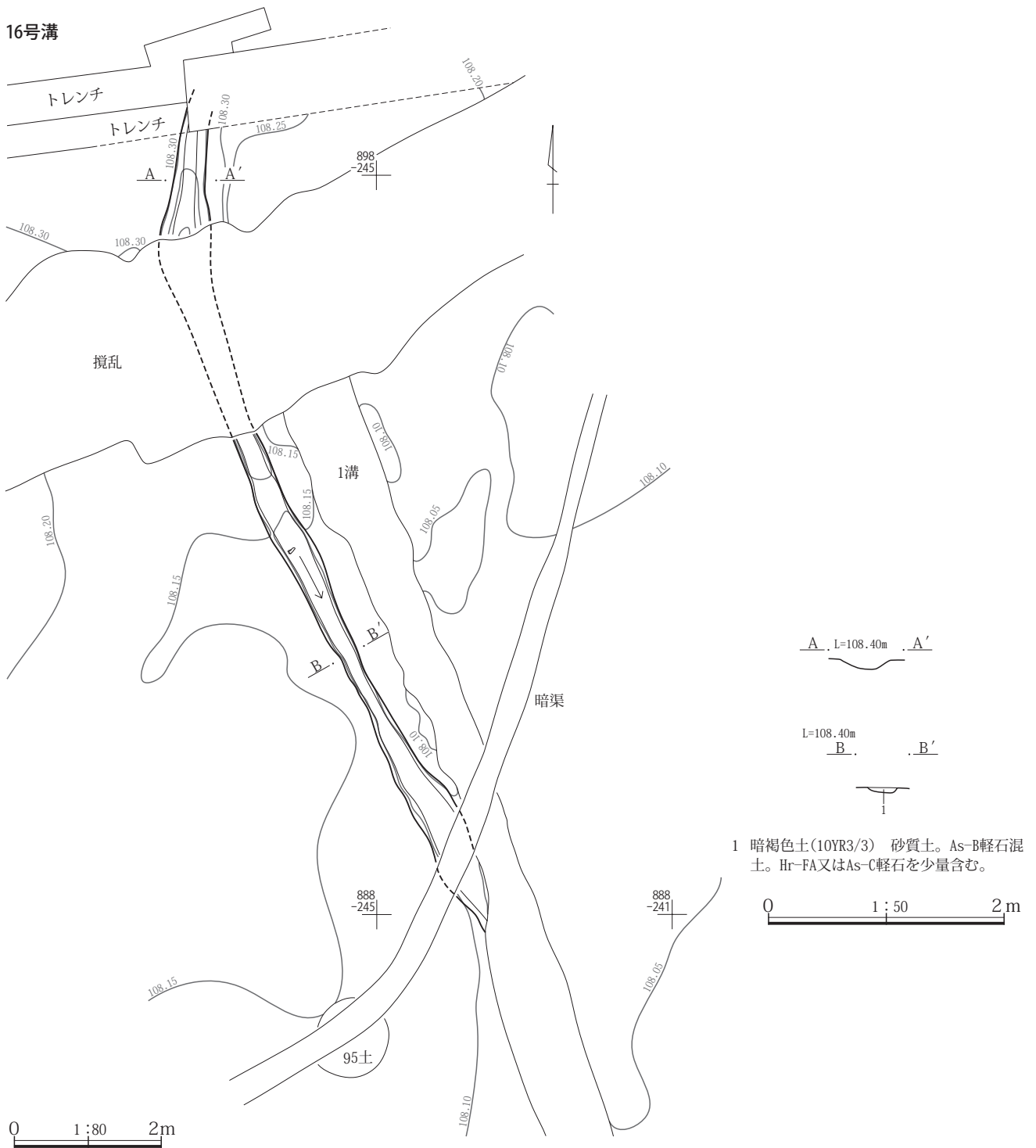
規模 検出全長12.1m、幅0.22～0.60m、深さ0.03～

0.09m。底面の比高差は0.17m、南が低い。

埋没土層 暗褐色土主体。1層が観察された。As-B軽石を含む。断面形は皿状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 出土遺物はない。

所見 2面検出ということから、本遺構の時期は中・近世と推定される。



第178図 2区B2面16号溝

17号溝(第179図、PL.64)

位置 2区A 2面、北東X=41865、Y=-47228～南西
X=41856、Y=-47232。

重複 1号耕作痕群と重複。

平面形状 北東方向から南西方向へ直線状。

長軸方位 N-28°-E。

規模 検出全長10.3m、幅0.16～0.33m、深さ0.02～

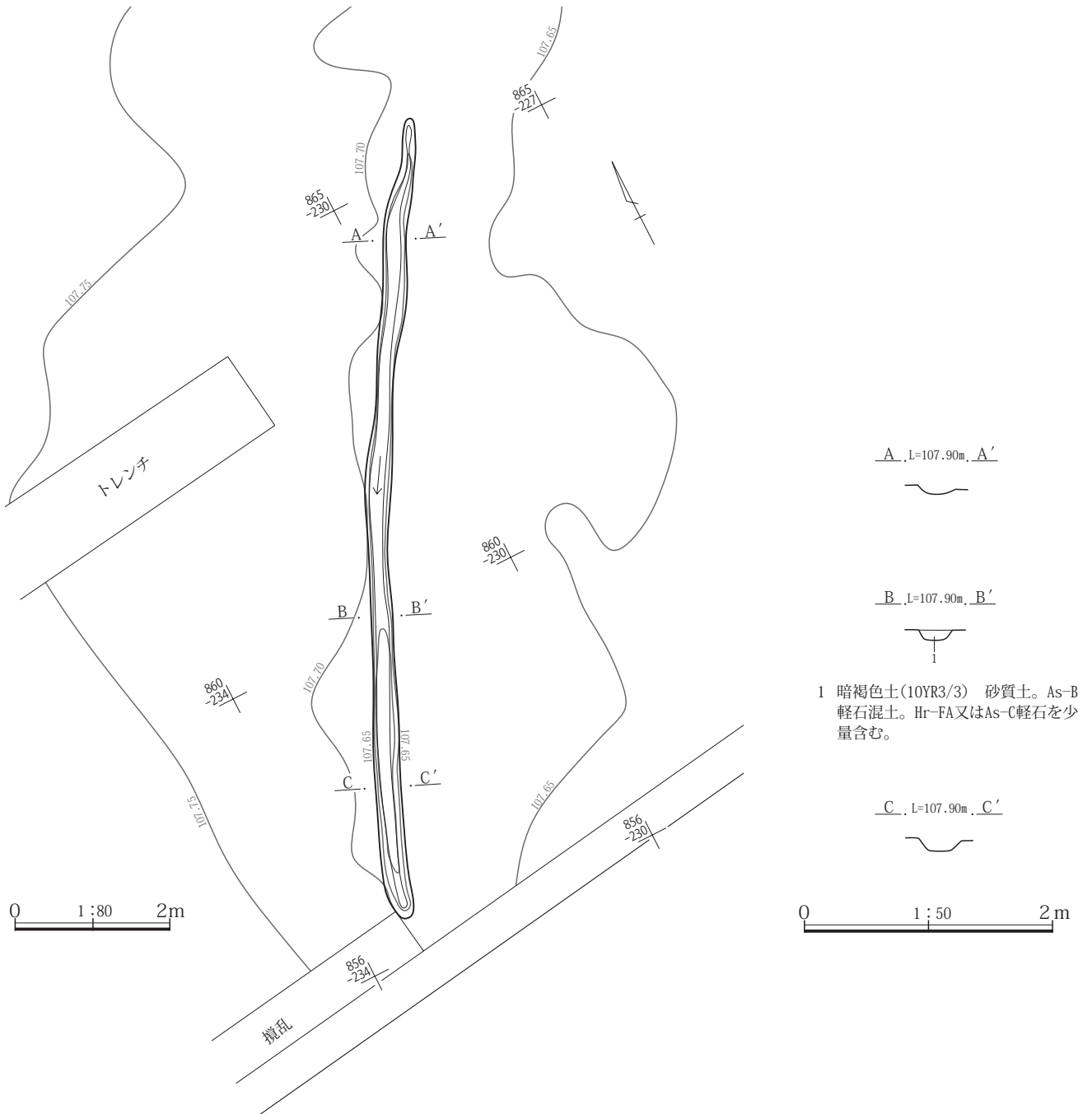
0.11m。底面の比高差は0.05m、南が低い。

埋没土層 暗褐色土主体。1層が観察された。As-B軽石を含む。断面形は逆台形状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 出土遺物はない。

所見 本遺構の時期は中・近世と推定される。

17号溝



第179図 2区A 2面17号溝

23号溝(第180図、PL. 4-8)

位置 2区GH2面、北西X=42038、Y=-47258～南東X=42010、Y=-47250。

重複 なし。

平面形状 北方向から南方向へ直線状。

長軸方位 N-14°-W。

規模 検出全長29.00m、幅0.16～0.40m、深さ0.01～0.06m。底面の比高差は0.05m、南東が低い。

埋没土層 褐色土主体。1層が観察された。As-B混土。断面形は皿状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 出土遺物はない。

所見 本遺構の時期は中・近世と推定される。

66号溝(第180図、PL. 4-8)

位置 2区H2面、北東X=42025、Y=-47248～南西X=42022、Y=-47250。

重複 なし。

平面形状 北方向から南方向へ直線状。

長軸方位 N-30°-E。

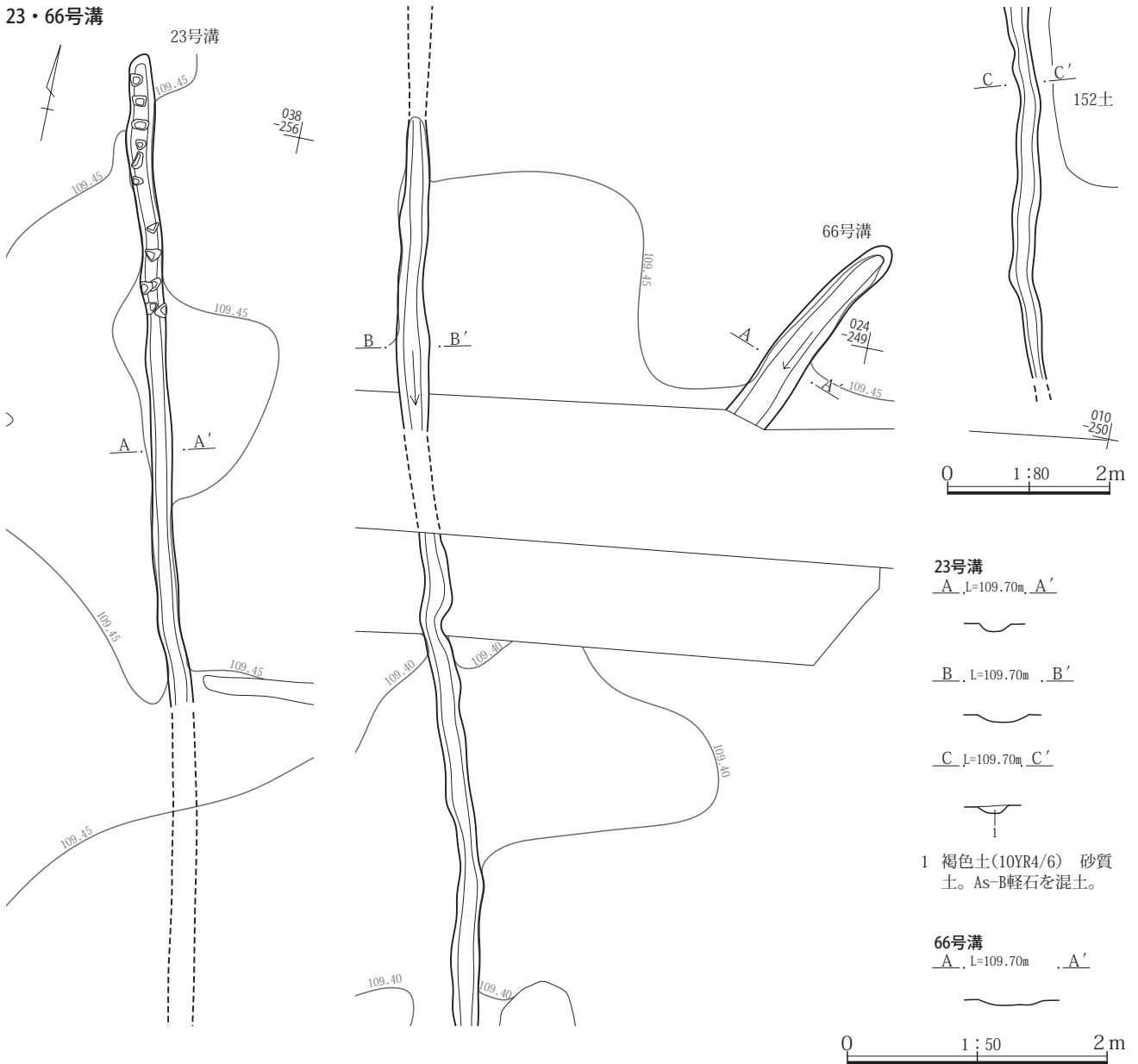
規模 検出全長2.80m、幅0.40～0.52m、深さ0.02～0.03m。底面の比高差は0.02m、南が低い。

埋没土層 不明。

遺物 出土遺物はない。

所見 掘り込みも浅く、詳細は不明。

23・66号溝



第180図 2区GH2面23号溝、H2面66号溝

24号溝(第181図、PL. 64)

位置 2区F G 2面、北東X=42017、Y=-47234～南西X=41004、Y=-47242。

重複 7号畑と重複。

平面形状 北東方向から南西方向へ直線状。

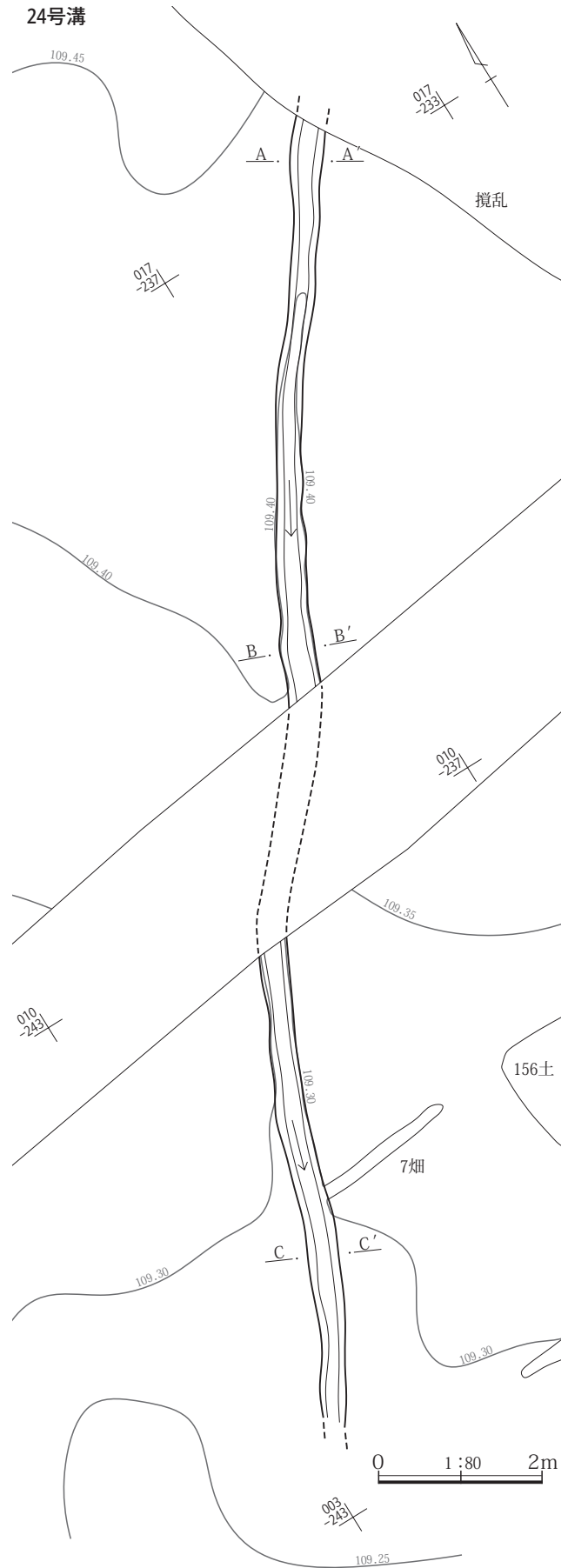
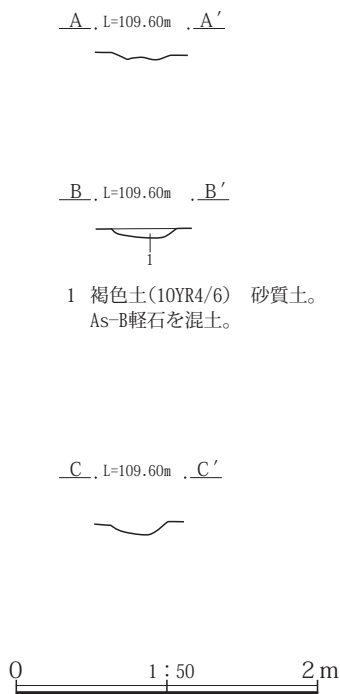
長軸方位 N-31°-E。

規模 検出全長16.00m、幅0.30～0.42m、深さ0.02～0.05m。底面の比高差は0.17m、南西が低い。

埋没土層 褐色土主体。1層が観察された。As-B軽石を含む。断面形は皿状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 出土遺物はない。

所見 本遺構の時期は中・近世と推定される。



第181図 2区F G 2面24号溝

25号溝(第182図、PL.64)

位置 2区F2面、北西X=42006、Y=-47259～南東X=41999、Y=-47256。

重複 5号畑と重複。本遺構が古い。

平面形状 北方向から南方向へ直線状。

長軸方位 N-16°-E。

規模 検出全長7.50m、幅0.23～0.46m、深さ0.02～0.05m。底面の比高差は0.06m、南が低い。

埋没土層 褐色土主体。1層が観察された。As-B軽石を含む。断面形は皿状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 出土遺物はない。

所見 本遺構の時期は中・近世と推定される。

67号溝(第182図、PL.4-8)

位置 2区F2面、北X=42006、Y=-47263～南X=41998、Y=-47262。

重複 22号溝、5号畑と重複。

平面形状 北方向から南方向へ直線状。

長軸方位 N-6°-W。

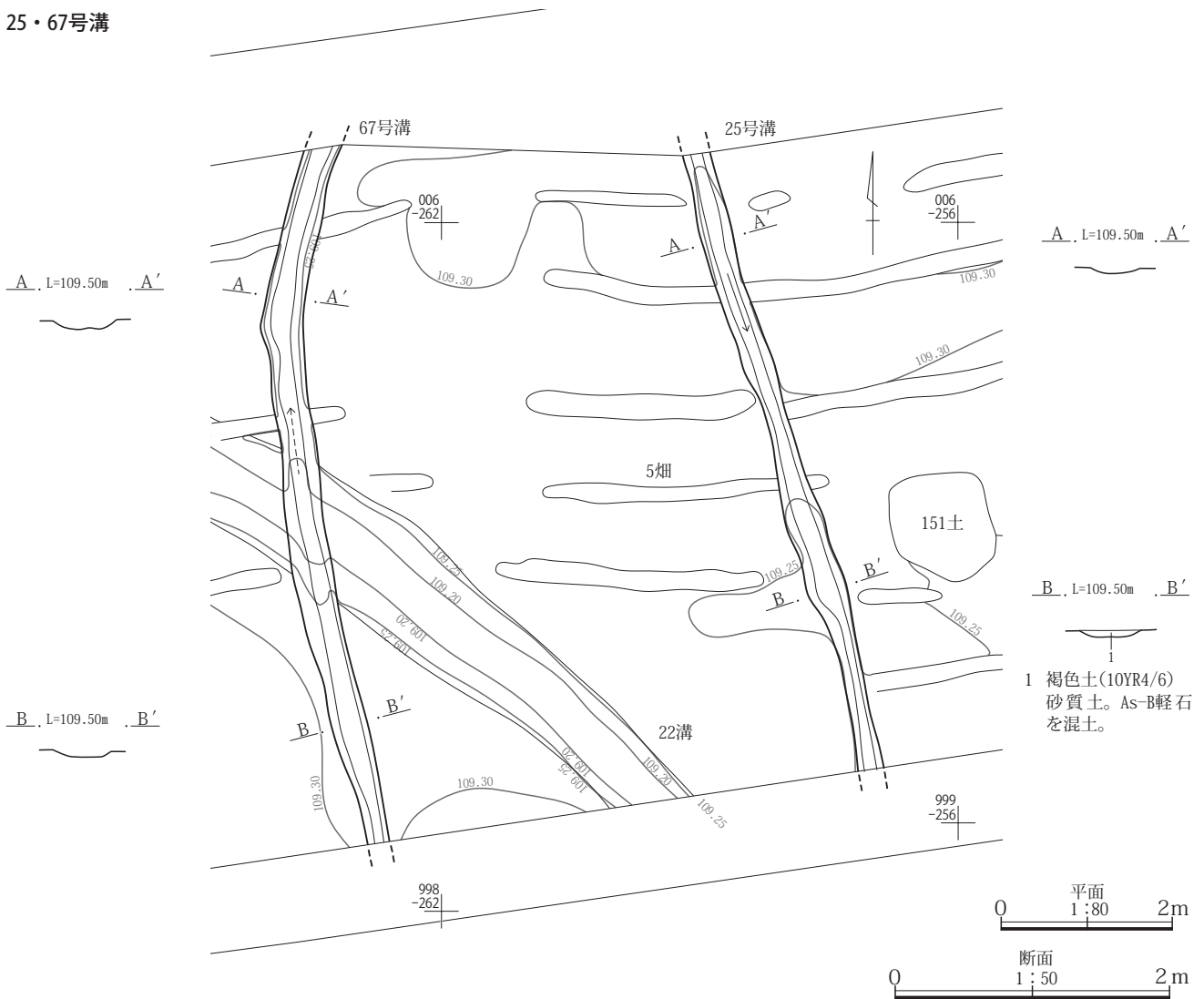
規模 検出全長8.30m、幅0.26～0.50m、深さ0.02～0.04m。底面の比高差は0.03m、北が低い。

埋没土層 不明。

遺物 出土遺物はない。

所見 25号溝とはほぼ並行する。詳細は不明。

25・67号溝



第182図 2区F2面25・67号溝

36号溝(第183図、PL.64)

位置 2区E F 2面、北X=41978、Y=-47234～南X=41961、Y=-47232。

重複 1・2号畑と重複。

平面形状 北方向から南方向へ直線状。

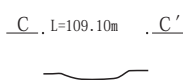
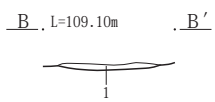
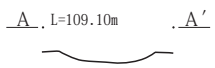
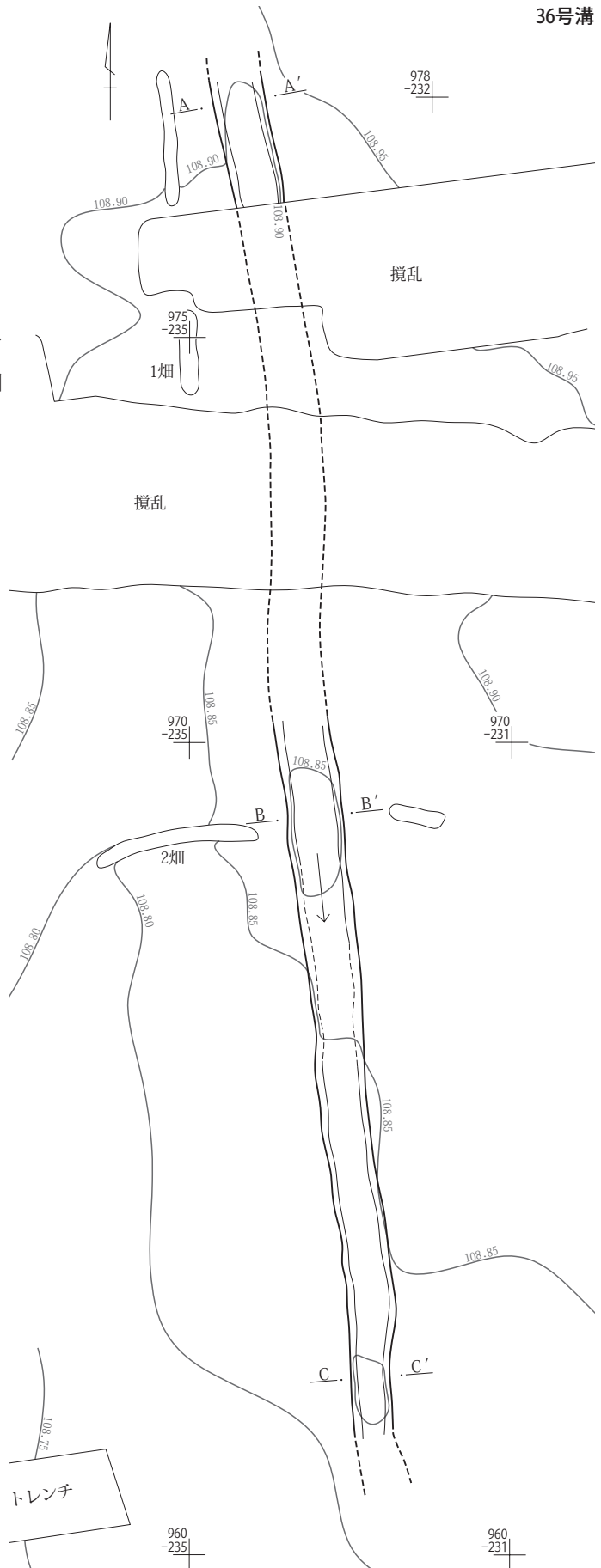
長軸方位 N-6°-W。

規模 検出全長16.90m、幅0.50～0.70m、深さ0.01～0.07m。底面の比高差は0.07m、南が低い。

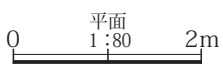
埋没土層 褐色土主体。1層が観察された。As-B軽石を含む。断面形は皿状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 出土遺物はない。

所見 本遺構の時期は中・近世と推定される。



1 褐色土(10YR4/4) しまりあり。As-B軽石を15%含む。



第183図 2区E F 2面36号溝

41号溝(第184図、PL.64・65)

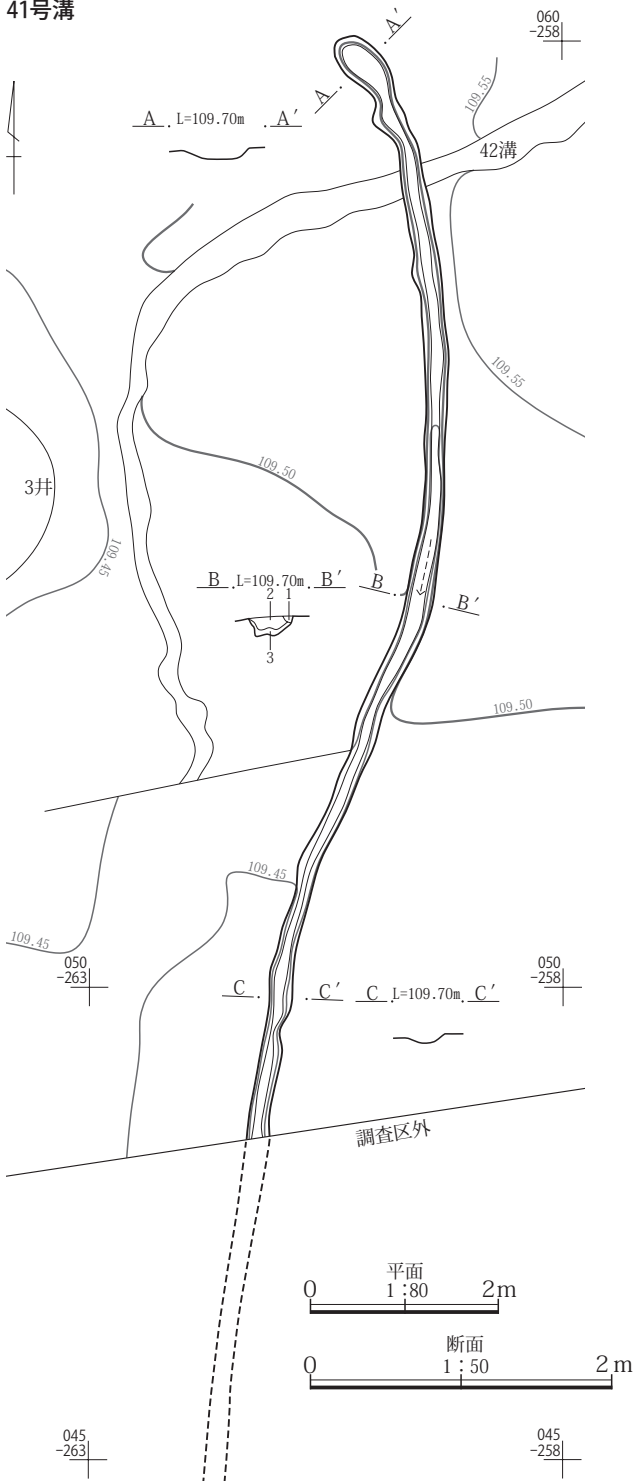
位置 2区I2面、北X=42060、Y=-47260～南X=42029、Y=-47261。

重複 42号溝・6号畑と重複。

平面形状 北方向から南方向へやや蛇行し、その後は直線的に南下。

長軸方位 N-2°-E。

41号溝

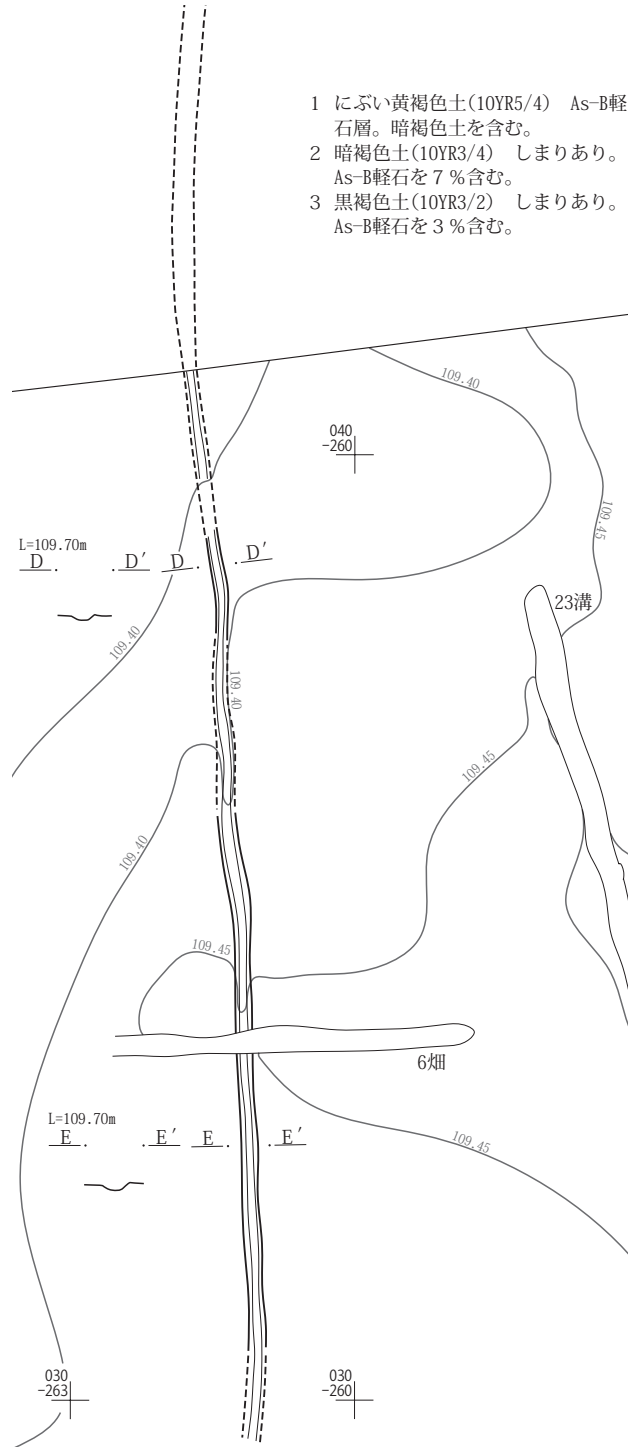


規模 検出全長31.10m、幅0.12～0.40m、深さ0.01～0.11m。底面の比高差は0.09m、南が低い。

埋没土層 黒褐色土・暗褐色土主体。3層が観察された。As-B軽石を含む。断面形は逆台形状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 出土遺物はない。

所見 本遺構の時期は中・近世と推定される。



第184図 2区I2面41号溝

42号溝(第185図、PL.64・65)

位置 2区I2面、北西X=42070、Y=-47261～南X=42060、Y=-47256～南西X=42057、Y=-47262～南X=42052、Y=-47261。

重複 41号溝と重複。

平面形状 北方向から南方向へクランク状に蛇行。

長軸方位 南北N-19°-W、東西N-71°-E、南北N-14°-W。

規模 検出全長24.1m、幅0.13～0.47m、深さ0.03～0.11m。底面の比高差は0.11m、南方向が低い。

埋没土層 暗褐色土・にぶい黄褐色土主体。2層が観察された。As-B軽石を含む。断面形は丸底状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 出土遺物はない。

所見 本遺構の時期は中・近世と推定される。



第185図 2区I2面42号溝

43号溝(第186図、PL.65)

位置 2区I2面、西X=42075、Y=-47254～東X=42076、Y=-47249。

重複 なし。

平面形状 西方向から東方向へ直線状。攪乱により全容不明。

長軸方位 N-84°-E。

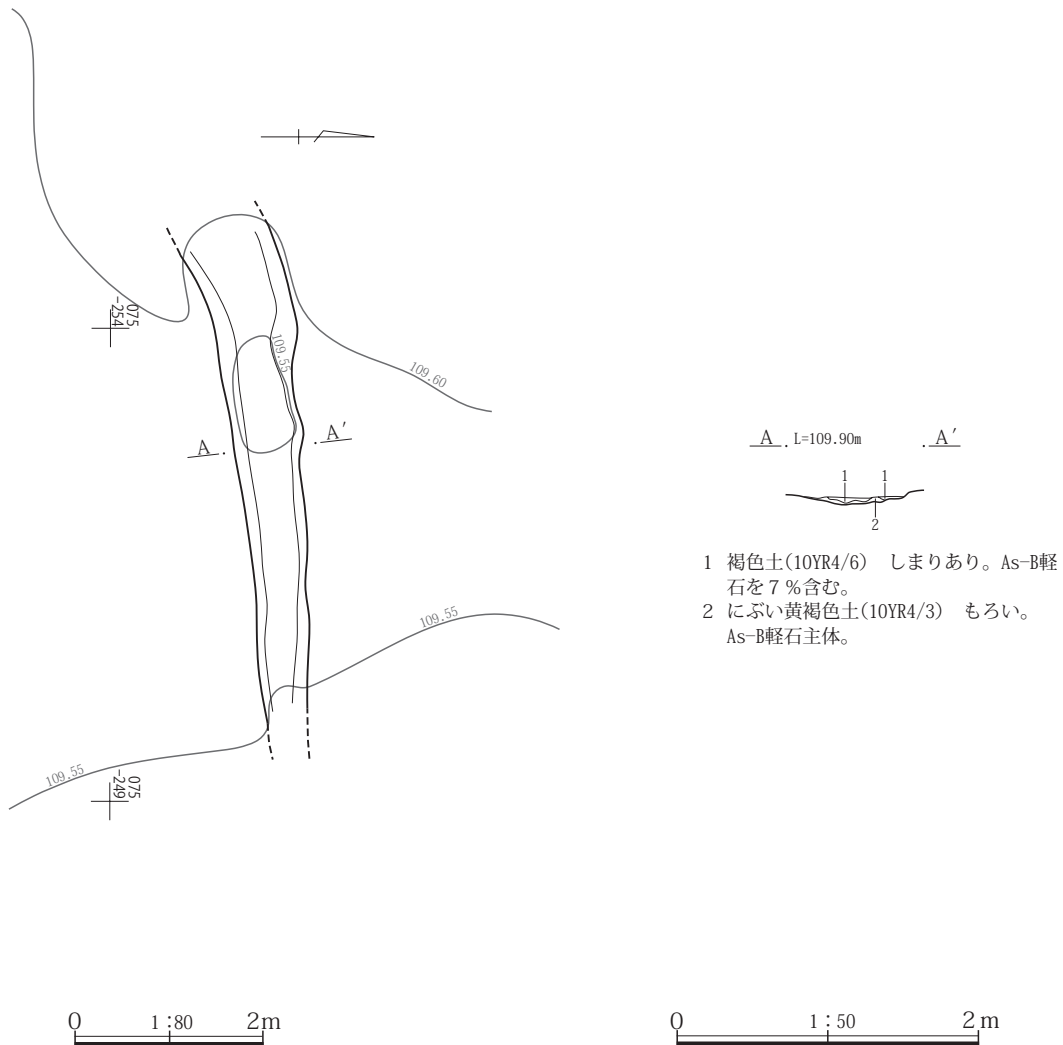
規模 検出全長5.50m、幅0.45～0.90m、深さ0.01～0.05m。底面の比高差はない。

埋没土層 褐色土・にぶい黄褐色土主体。2層が観察された。As-B軽石を含む。断面形は皿状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 出土遺物はない。

所見 本遺構の時期は中・近世と推定される。

43号溝



第186図 2区I2面43号溝

44号溝(第187図、PL.65)

位置 2区I2面、北X=42099、Y=-47260～南X=42090、Y=-47260。

重複 5号耕作痕群と重複。

平面形状 北方向から南方向へ直線状。

長軸方位 N-3°-W。

規模 検出全長9.80m、幅0.30～0.56m、深さ0.04～

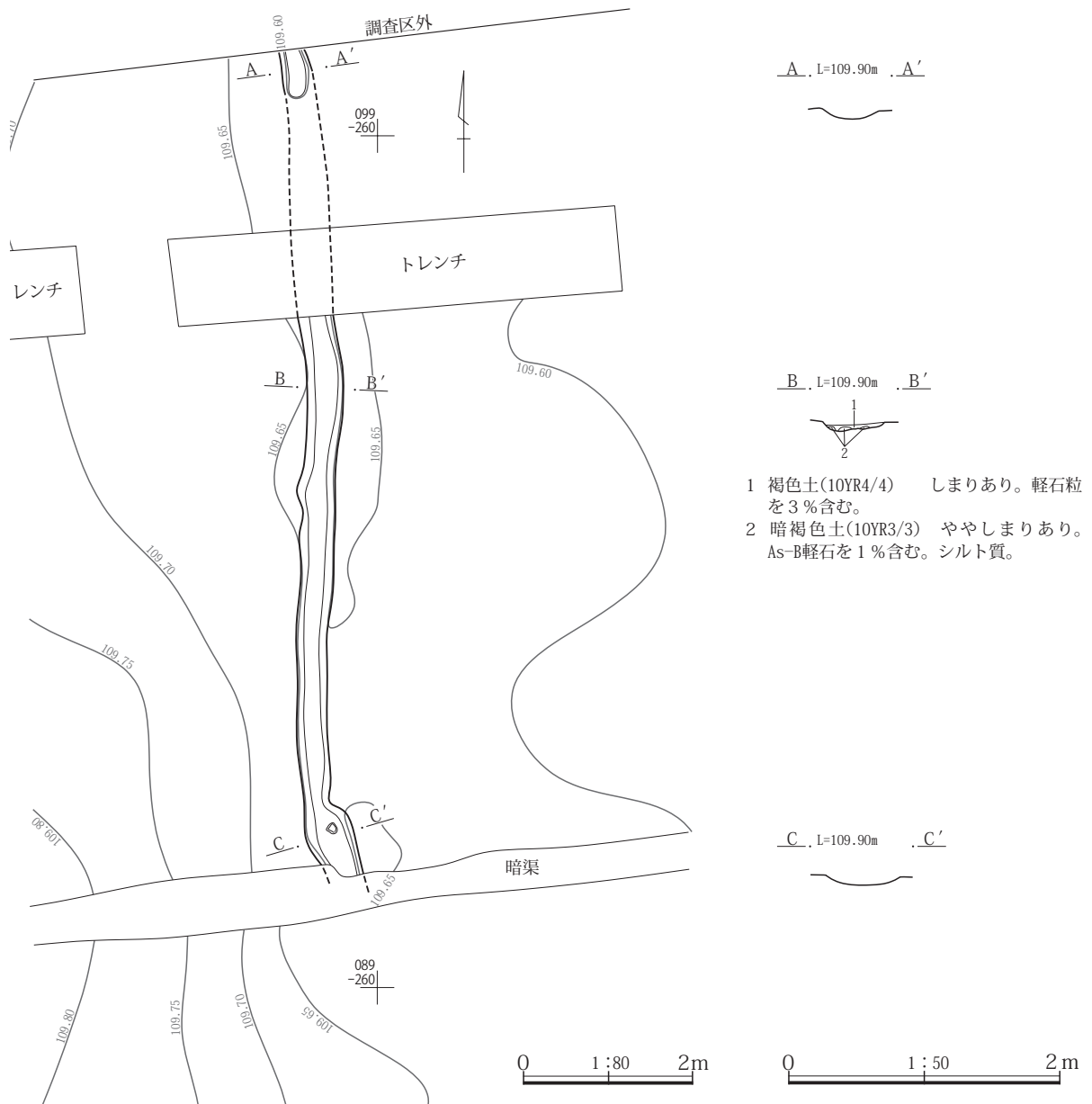
0.07m。底面の比高差はほとんどない。

埋没土層 暗褐色土・褐色土主体。2層が観察された。As-B軽石を含む。断面形は皿状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 出土遺物はない。

所見 本遺構の時期は中・近世と推定される。

44号溝



第187図 2区I2面44号溝

2区第2・3面

21号溝(第188図、PL.65)

位置 2区B2面、北東X=41897、Y=-47241～南西X=41891、Y=-47255。

重複 16号溝、116・117号土坑、1号耕作痕群と重複。16号溝、116・117号土坑より本遺構が古い。

平面形状 北東方向から南西方向へほぼ直線上に走行する。

長軸方位 N-69°-E。

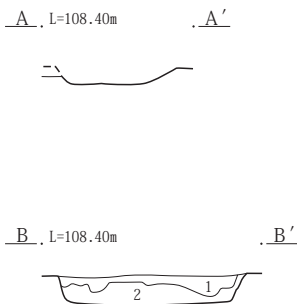
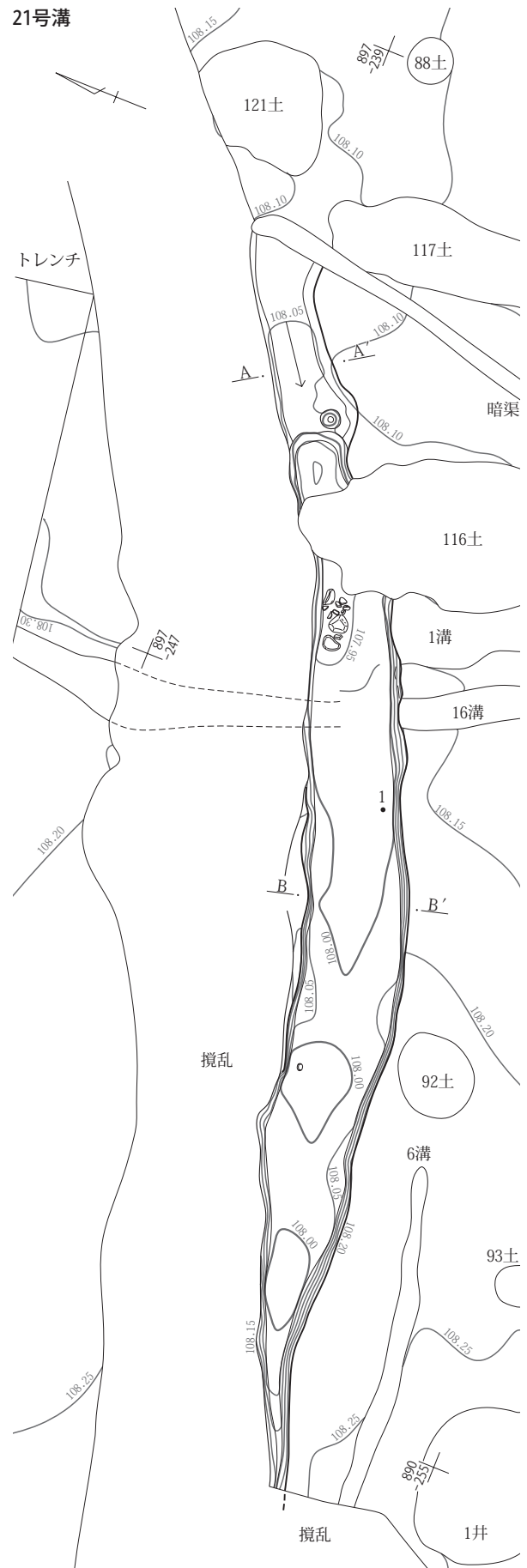
規模 検出全長15.7m、幅1.3m、深さ0.06～0.26m。底面の比高差は0.08m、南西が低い。

埋没土層 黒褐色土・暗褐色土主体。2層が観察された。As-B軽石を含む。断面形は逆台形状。遺構確認面から底面まで浅い。

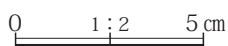
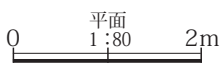
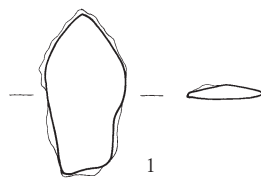
遺物 鉄製品の破片1が底面から+17cmで出土。覆土中から土師器片1片が出土した。

所見 本遺構の時期は中・近世と推定される。

21号溝



- 1 暗褐色土(10YR3/4) 砂質土。As-B軽石混土層。Hr-FA軽石・As-C軽石を少量含む。シルト質。
- 2 黒褐色土(10YR2/3) As-B軽石混土。Hr-FA軽石・As-C軽石、ロームブロックを含む。



第188図 2区B2・3面21号溝と出土遺物

2区3面

18・19号溝(第189図、PL.66)

位置 2区A3面、西X=41865、Y=-47220～東X=41868、Y=-47209。

重複 18・19号溝と互いに切り合い関係にある。1号耕作痕群とも重複。両溝ともに1号耕作痕群より古い。

平面形状 西方向から東方向へ直線状に走行し、18号溝は19号溝より1.8mほど西に長い。

長軸方位 N-79°-E。

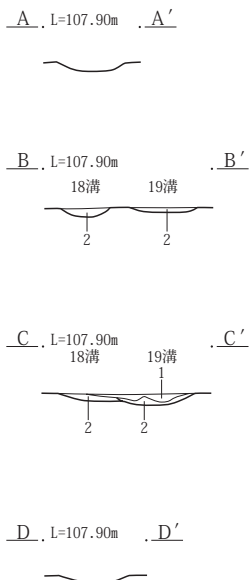
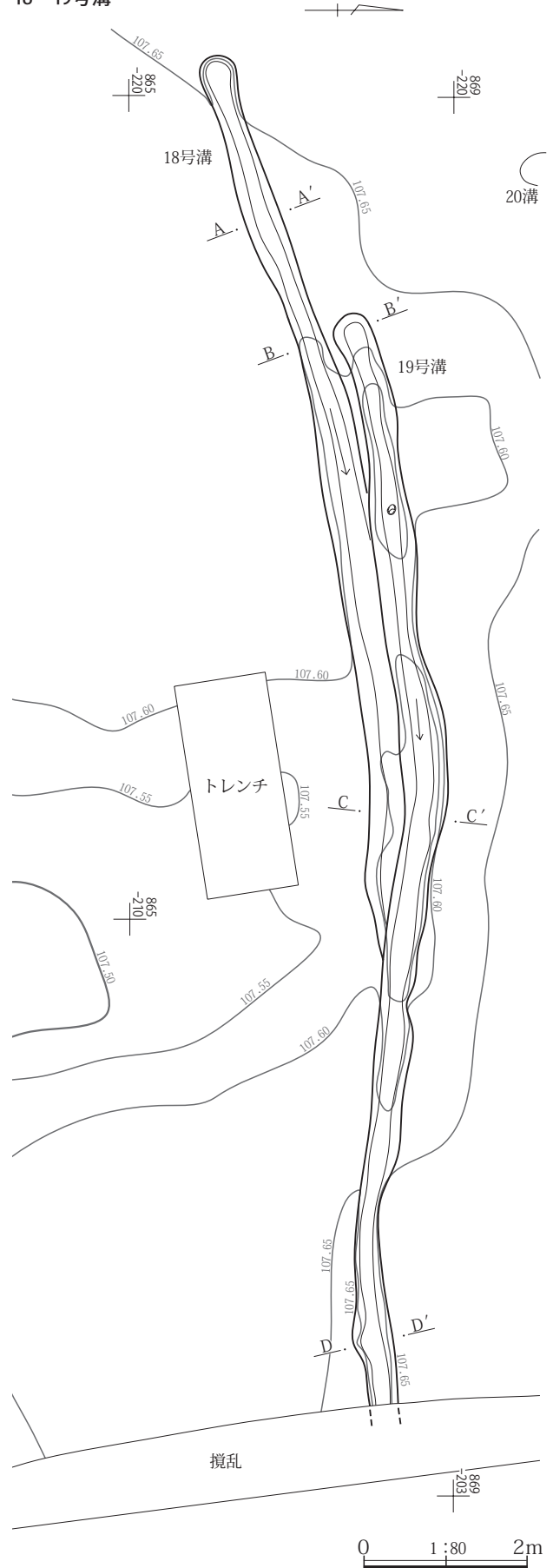
規模 検出全長18号溝11.30m・19号溝13.4m、幅0.29～0.57m、深さ0.02～0.09m。18号溝の底面の比高差は0.1m、東が低いが、19号溝は0.11m西が低い。

埋没土層 灰層を伴うAs-B軽石が堆積する。断面形は皿状。遺構確認面から底面まで浅いが、As-B軽石降下時に並存していたと考えられ、関連遺構とすることができる。

遺物 出土遺物はない。

所見 18・19号溝の新旧関係は明確でないが、掘り直しなどの掘削後にAs-B軽石が降下し、両溝が廃絶されたと考えられる。遺構の性格等推し量れないが、古代末期の所産と考えられる。

18・19号溝



- 1 にぶい赤褐色土(2.5YR4/3) As-B軽石層。さらさら。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR5/3) As-B軽石を含む。

第189図 2区A3面18・19号溝

20号溝(第190図、PL.66)

位置 2区A B 3面、北X=41898、Y=-47218～南X=41869、Y=-47219。

重複 1号耕作痕群と重複。本遺構が古い。

平面形状 北方向から南方向へほぼ直線状に南下。

長軸方位 N-1°-E。

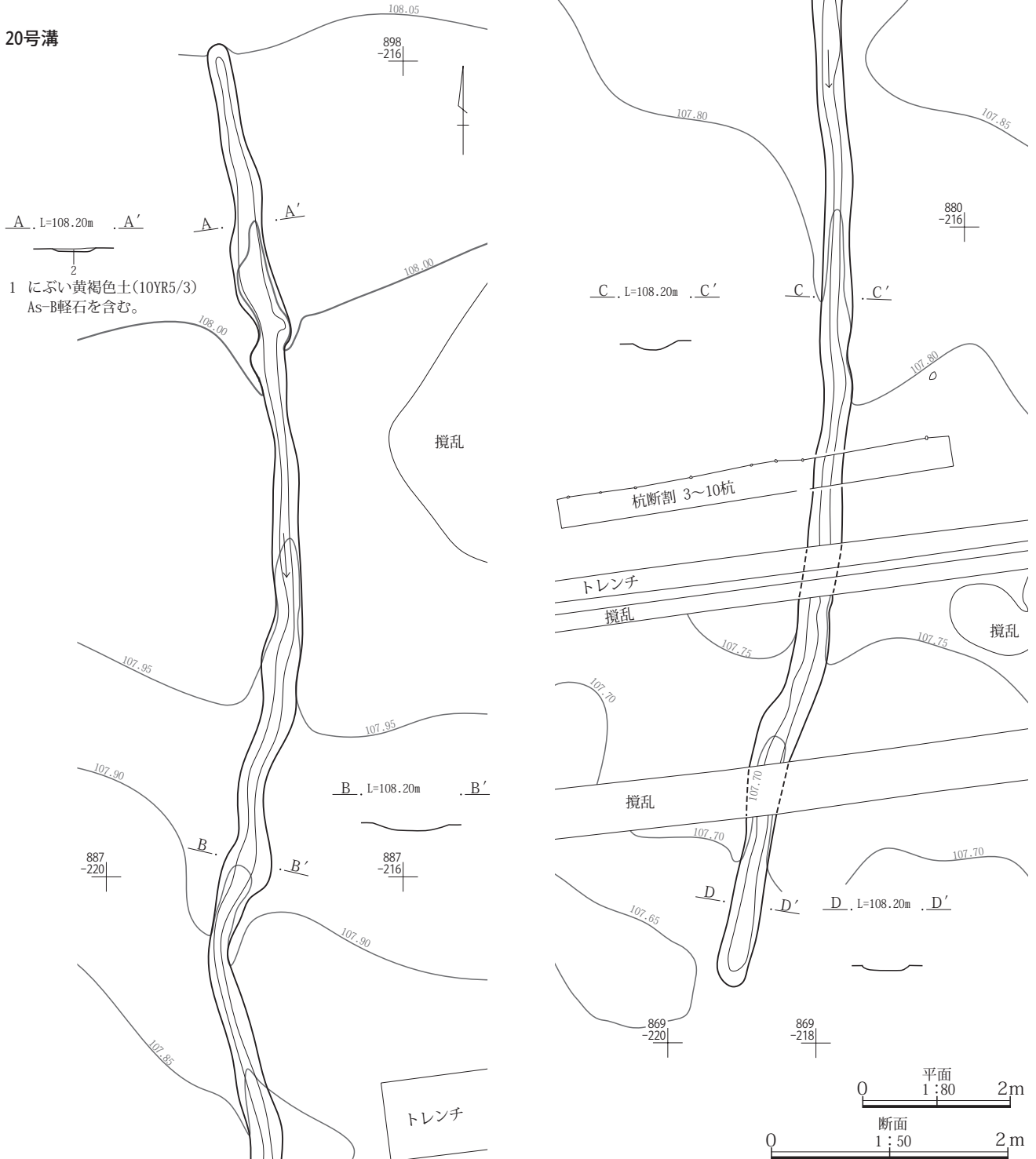
規模 検出全長28.8m、幅0.23～0.63m、深さ0.01～

0.04m。底面の比高差は0.36m、南が低い。

埋没土層 灰層を伴うAs-B軽石が堆積する。1層が観察された。断面形は皿状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

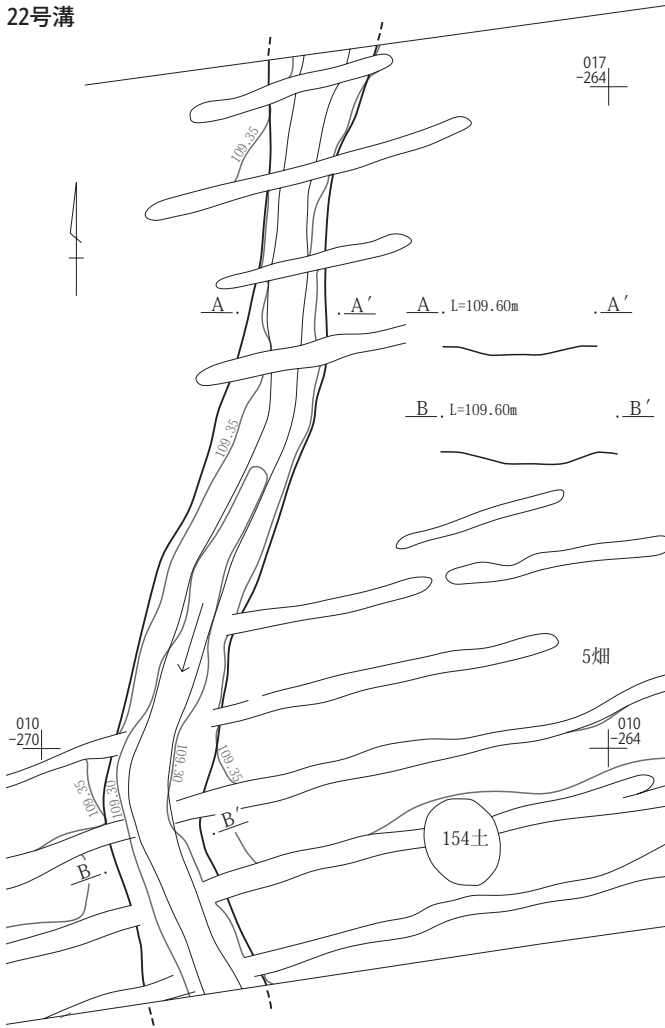
遺物 出土遺物はない。

所見 遺構の性格等推し量れないが、古代末期の所産と考えられる。



第190図 2区A B 3面20号溝

22号溝



22号溝(第191図、PL.4-8)

位置 2区F G 3面、北X=42017、Y=-47226～南X=42005、Y=-47268～南東X=41999、Y=-47259。

重複 67号溝、5号畑と重複。本遺構が古い。

平面形状 北北東方向から南南西方向へ、北北西方向から南南東方向へ直線状。くの字状を呈す。

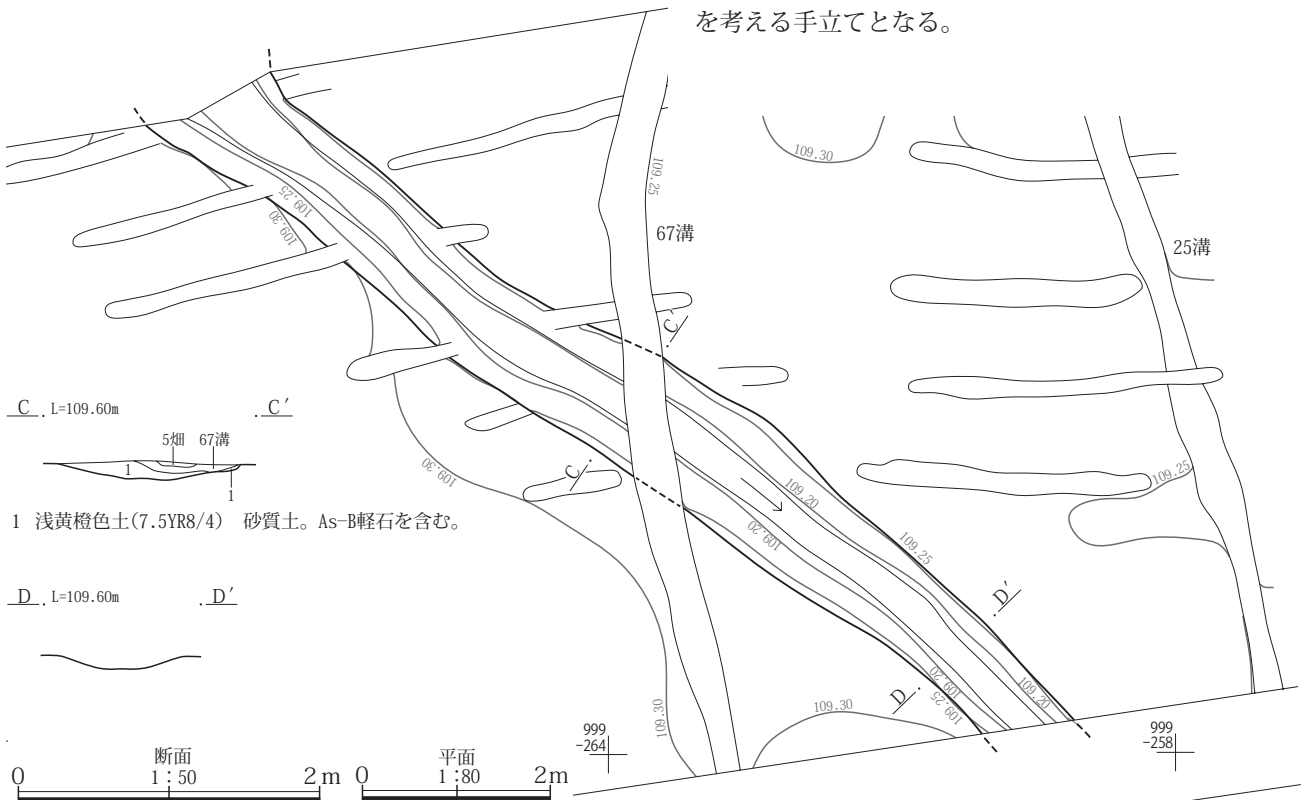
長軸方位 N-14°-E、N-52°-W。

規模 検出全長23.00m、幅0.67～1.25m、深さ0.03～0.1m。底面の比高差は0.14m、南が低い。

埋没土層 浅黄褐色土(As-B軽石)を最下層で確認した。断面形は皿状で浅い。As-B軽石降下後に埋没したものと考えられる。

遺物 出土遺物はない。

所見 極めて浅い掘り込みであるが、底面にAs-B軽石が確認され、As-B軽石降下時までは溝として機能していたと言える。遺構の性格等推し量れないが、古代末期の所産と考えられる。また、5号畑や67号溝の覆土がAs-B軽石混土層であることから、これらの遺構が掘削されたときには本遺構は埋没しており、セクション図の切り合い関係は、22号溝→As-B軽石降下→67号溝→5号畑という時間軸の流れを示している。さらに、67号溝・5号畑はAs-B軽石混土層を覆土としており、これらの遺構の時期を考える手立てとなる。



1 浅黄褐色土(7.5YR8/4) 砂質土。As-B軽石を含む。

第191図 2区F G 3面22号溝

37号溝(第192図、PL.67)

位置 2区E3面、北西X=41981、Y=-47241南東X=41973、Y=-47227。

重複 なし。

平面形状 西北西方向から東南東方向へ直線状。

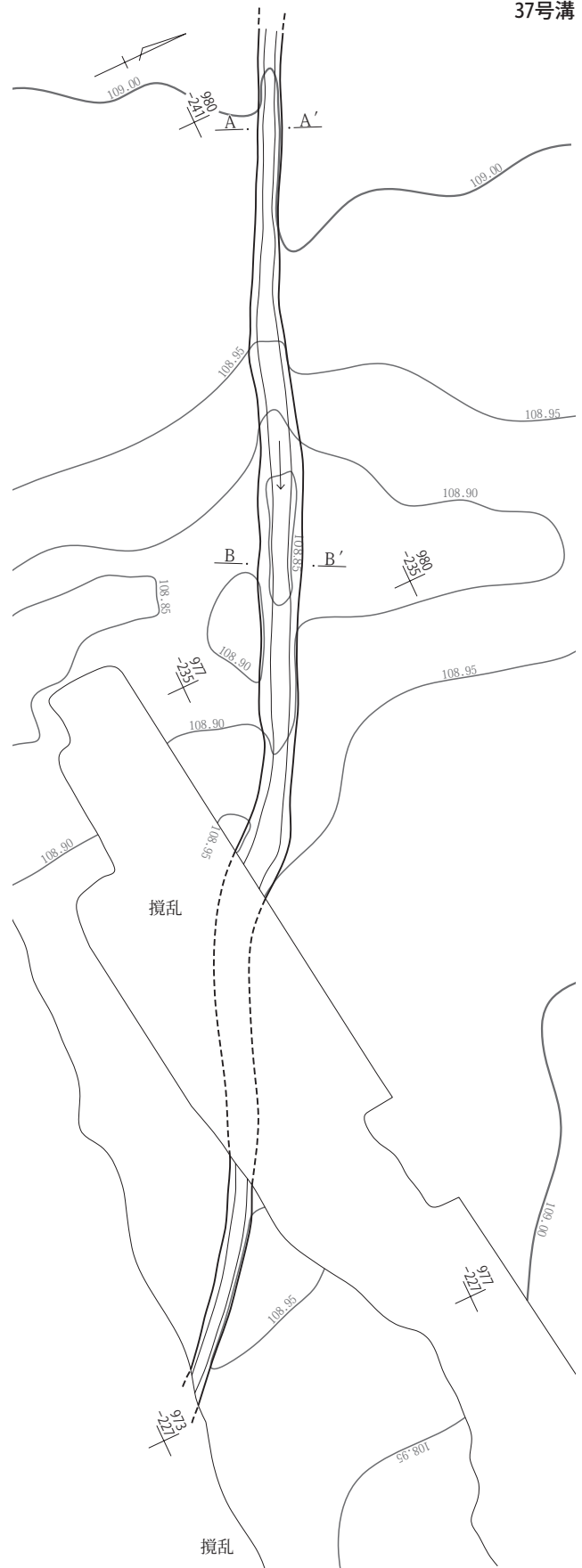
長軸方位 N-60°-W。

規模 検出全長16.6m、幅0.22~0.57m、深さ0.01~0.06m。底面の比高差は0.07m、南東が低い。

埋没土層 灰層を伴うAs-B軽石が堆積する。1層が観察された。断面形は皿状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 出土遺物はない。

所見 遺構の性格等推し量れないが、As-B軽石の堆積状況から、古代末期の所産と考えられる。



A . L=109.10m . A'

B . L=109.10m . B'

1 As-B軽石層 上位に灰層。

平面
1:80
0 2m

断面
1:50
0 2m

第192図 2区E3面37号溝

48号溝(第193図、PL.67)

位置 2区I3面、西X=42058、Y=-47248～東X=42059、Y=-47242。

重複 なし。

平面形状 東方向から西方向へ直線状。

長軸方位 N-82°-E。

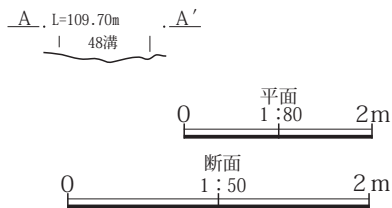
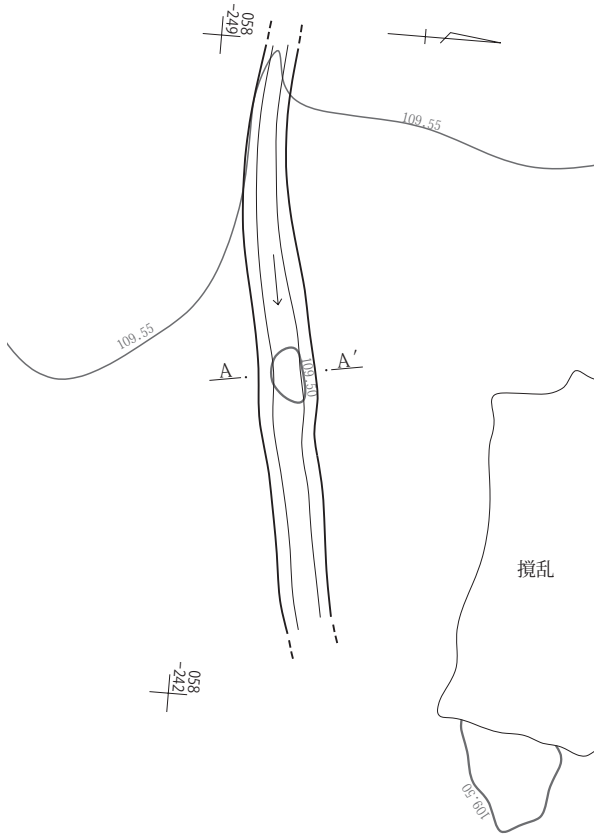
規模 検出全長6.40m、幅0.34～0.62m、深さ0.01～0.06m。底面の比高差は0.03m、東が低い。

埋没土層 不明。浅い皿状の底面。

遺物 出土遺物はない。

所見 古代の遺構と推定される。

48号溝



第193図 2区I3面48号溝

49号溝(第194図、PL.67)

位置 2区I3面、北東X=42073、Y=-47232～X=42067、Y=-47235。

重複 なし。

平面形状 北北東方向から南南西方向へ直線状。

長軸方位 N-19°-E。

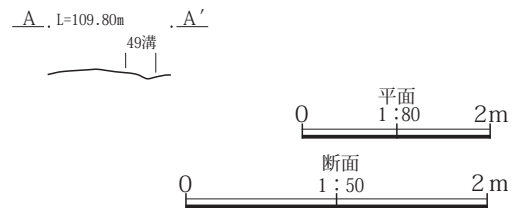
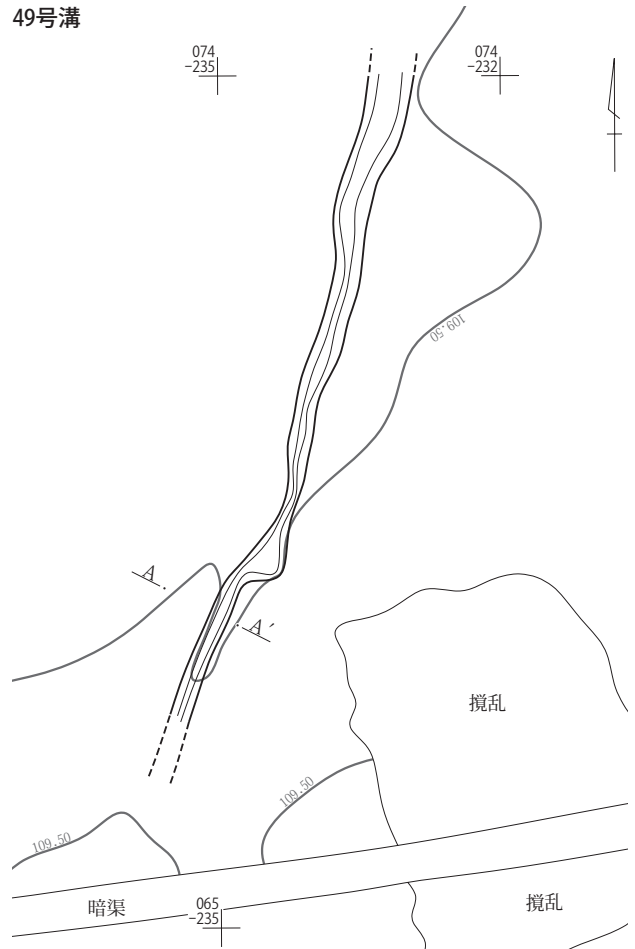
規模 検出全長7.30m、幅0.12～0.44m、深さ0.02～0.05m。底面の比高差は0.07m、北東が低い。

埋没土層 不明。浅い皿状の底面。

遺物 出土遺物はない。

所見 古代の遺構と推定される。

49号溝



第194図 2区I3面49号溝

50号溝(第195図、PL.67)

位置 2区I3面、西X=42070、Y=-47249～東X=42070、Y=-47239。

重複 なし。

平面形状 西方向から東方向へ直線状。

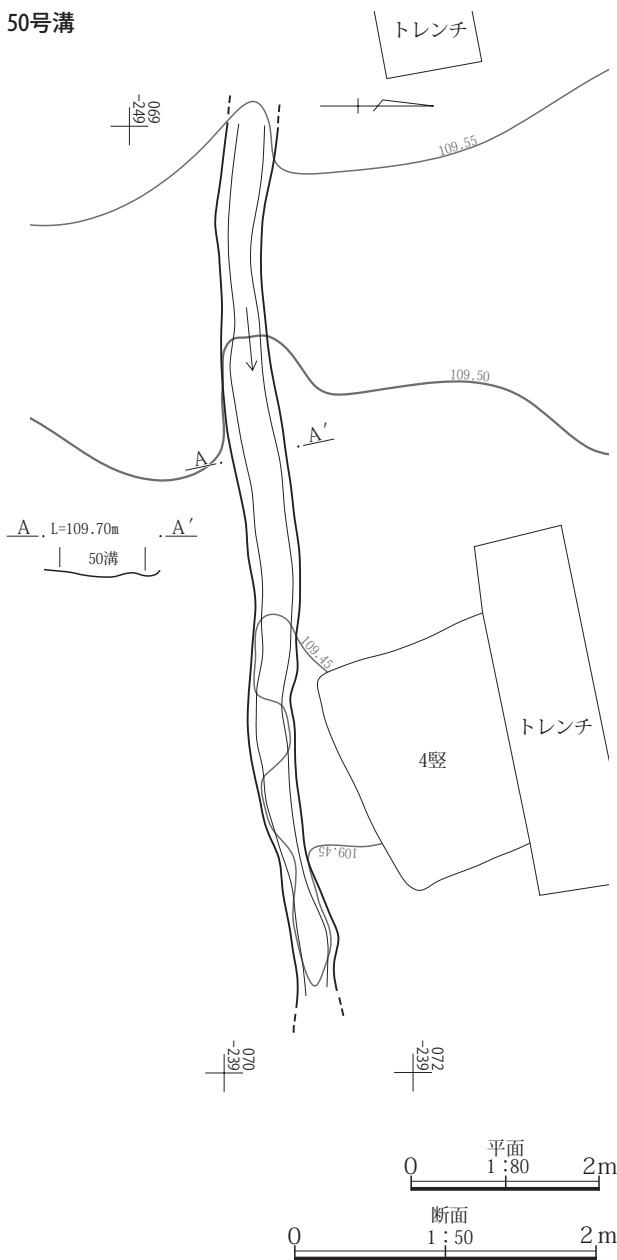
長軸方位 N-85°-E。

規模 検出全長9.60m、幅0.30～0.59m、深さ0.02～0.05m。底面の比高差は0.09m、東が低い。

埋没土層 不明。浅い皿状の底面。

遺物 出土遺物はない。

所見 古代の遺構と推定される。



第195図 2区I3面50号溝

51号溝(第196図、PL.67)

位置 2区I3面、西X=42077、Y=-47239～東X=42078、Y=-47234。

重複 なし。

平面形状 東方向から西方向へ直線状。

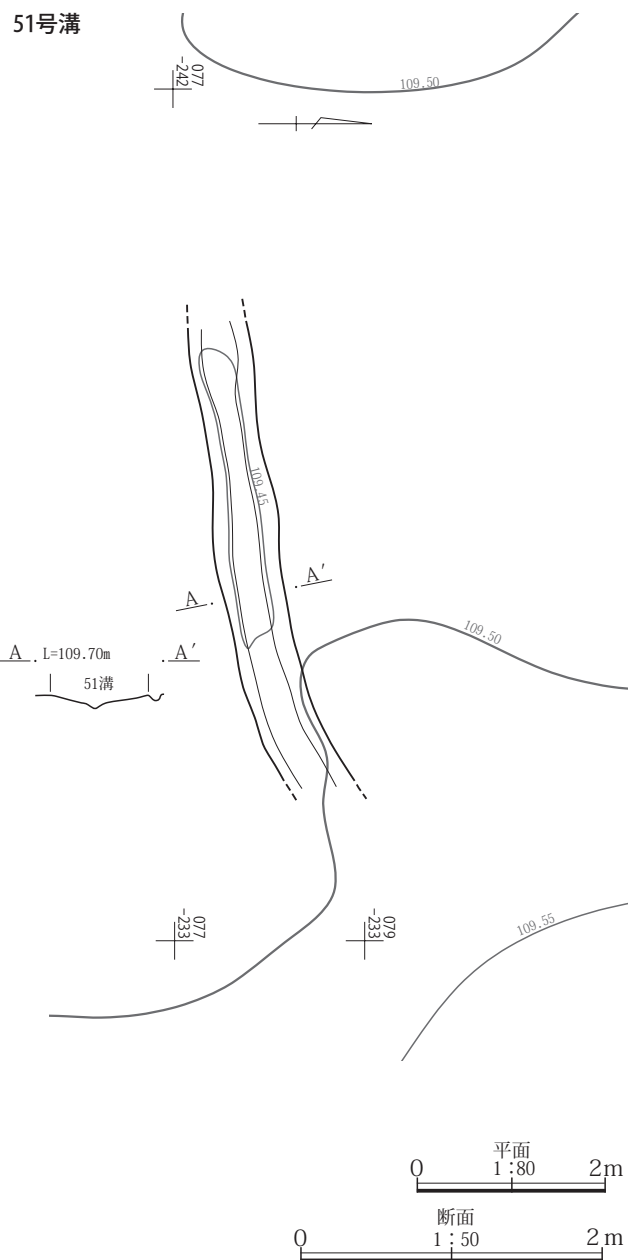
長軸方位 N-80°-E。

規模 検出全長5.30m、幅0.55～0.70m、深さ0.03～0.05m。底面の比高差はほとんどない。

埋没土層 不明。浅い皿状の底面。

遺物 出土遺物はない。

所見 古代の遺構と推定される。



第196図 2区I3面51号溝

2区4面

26号溝(第197～199図、PL.68)

位置 2区A～E 4面、北X=41958、Y=-47258～東X=41905、Y=-47250～南X=41904、Y=-47242～南X=41855、Y=-47235。

重複 27・28・30号溝、180号土坑、406号ピットと重複。本遺構が180号土坑より古く、27・28・30号溝・406号ピットより新しい。

平面形状 北方向から南方向へわずかに湾曲しながら南下し、2区Bで東に屈曲し、再び湾曲しながら南下する。

長軸方位 北N-16°-W、東西N-85°-W、南N-17°-W。

規模 検出全長114.00m、幅0.22～2.8m、深さ0.06～0.26m。底面の標高は北109.59m、南107.50mで比高差1.19m、南が低い。

埋没土層 黒褐色土・暗褐色土主体。3層が観察された。Hr-FA・As-C軽石を含む。断面形は皿状または丸底状を呈す。遺構確認面からの掘り込みは浅く、詳細不明。

遺物 覆土中から2.85kgの土師器片が出土した。須恵器杯1は、覆土中からの出土である。

所見 覆土中にHr-FA・As-C軽石を含む。As-B軽石降下以前に埋没したものと考えられる。

27号溝(第197～199図、PL.69)

位置 2区A B 4面、北X=41895、Y=-47239～南X=41862、Y=-47232。

重複 26号溝と重複。本遺構が26号溝より古い。

平面形状 北方向から南方向へ蛇行する。

長軸方位 N-10°-W。

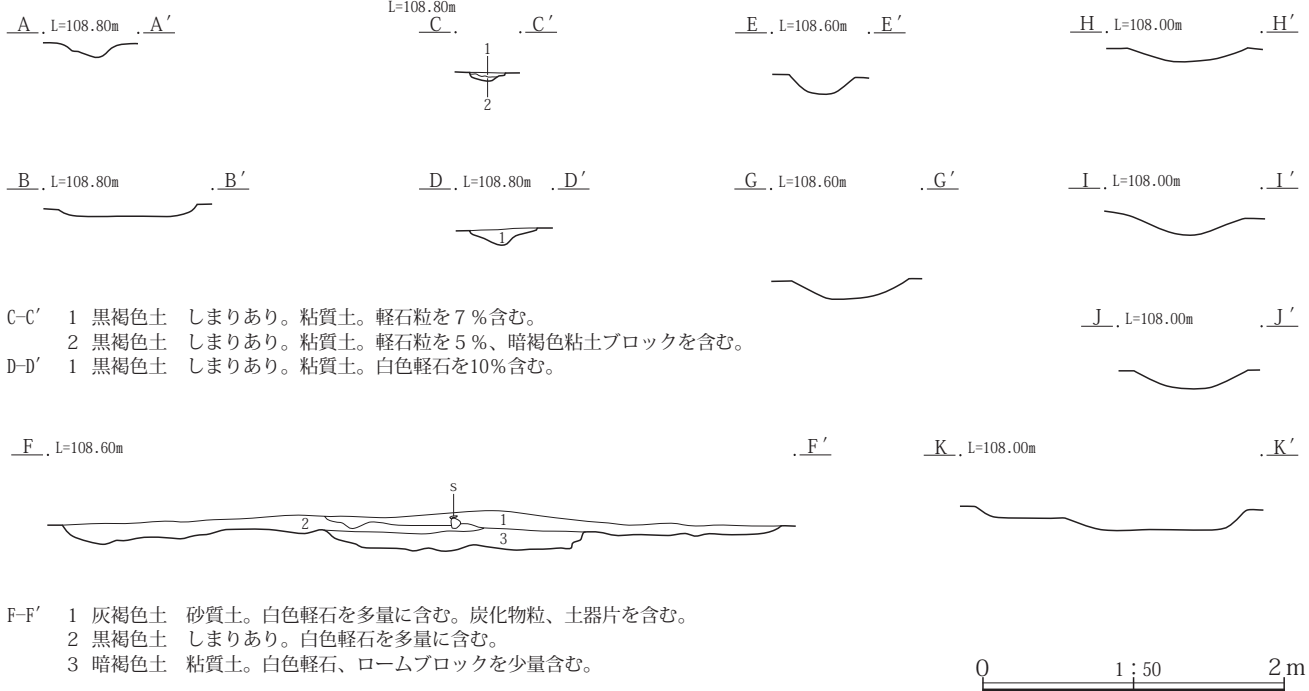
規模 検出全長35.3m、幅0.17～0.63m、深さ0.05～0.09m。底面の比高差は0.38m、南が低い。

埋没土層 不明。断面形は丸底もしくは皿状を呈す。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 土師器片が1片出土した。

所見 Hr-FA・As-C軽石を含む土層と考えられるが、詳細は不明。

26号溝



- C-C' 1 黒褐色土 しまりあり。粘質土。軽石粒を7%含む。
- 2 黒褐色土 しまりあり。粘質土。軽石粒を5%、暗褐色粘土ブロックを含む。
- D-D' 1 黒褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石を10%含む。

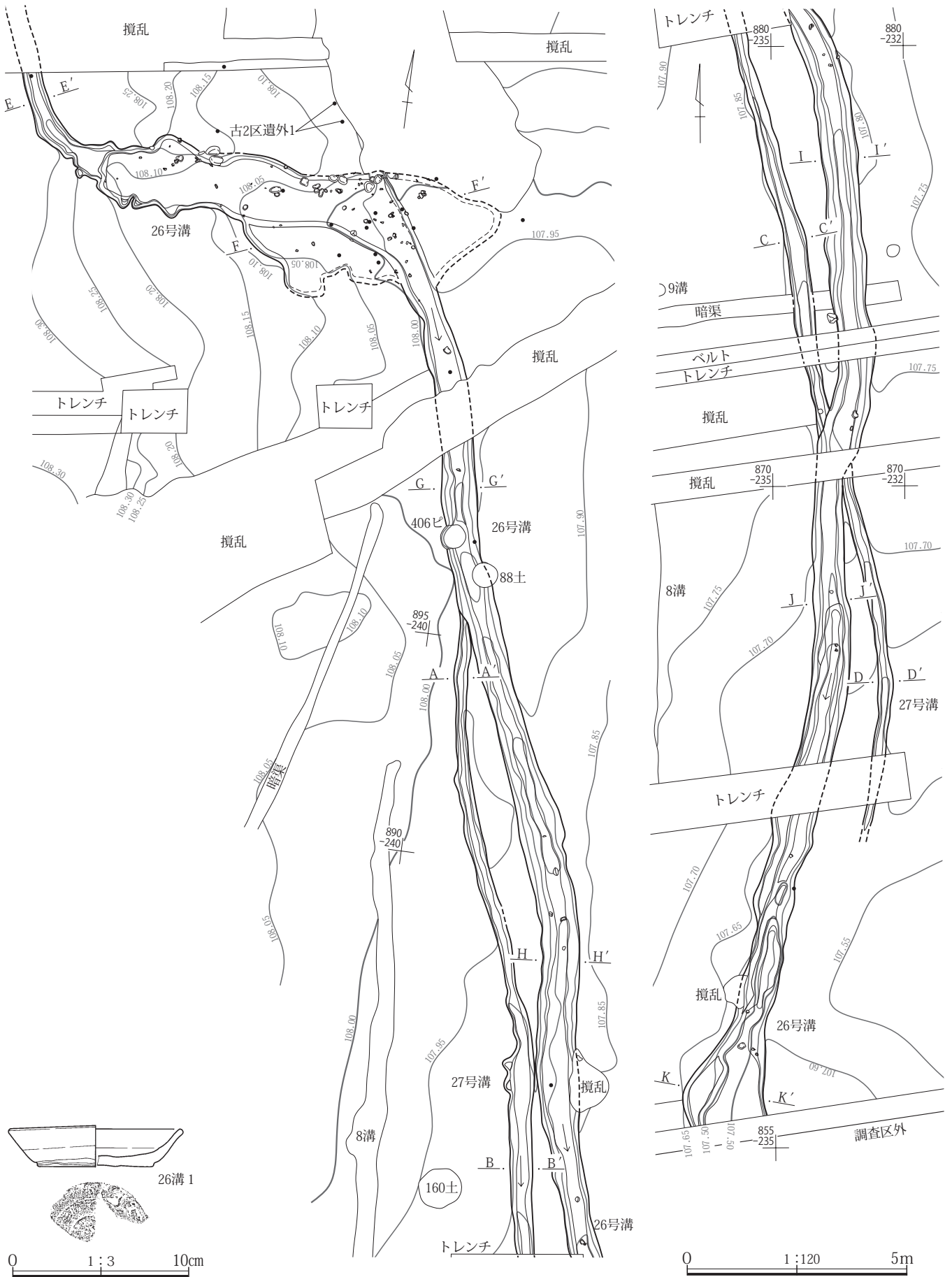
- F-F' 1 灰褐色土 砂質土。白色軽石を多量に含む。炭化物粒、土器片を含む。
- 2 黒褐色土 しまりあり。白色軽石を多量に含む。
- 3 暗褐色土 粘質土。白色軽石、ロームブロックを少量含む。

第197図 2区A～E 4面26号溝1、A B 4面27号溝1

26・27号溝



第198図 2区A~E 4面26号溝2、A B 4面27号溝2



第199図 2区A～E 4面26号溝3と出土遺物、A B 4面27号溝3

28号溝(第200図、PL.67)

位置 2区BC4面、北東X=41919、Y=-47254～南西X=41902、Y=-47260。

重複 26号溝と重複。本遺構が26号溝より古い。

平面形状 北北東方向から南南西方向へほぼ直線状に、26号溝と交差しながら南下する。土層注記や位置関係から、30号溝と接続する可能性が高いと判断される。

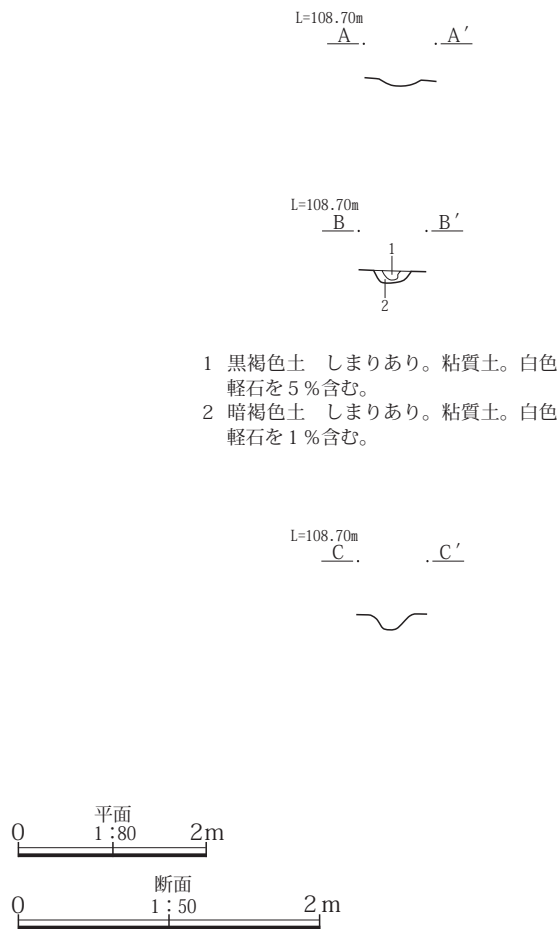
長軸方位 N-18°-E。

規模 検出全長18.2m、幅0.18～0.32m、深さ0.06～0.11m。底面の比高差は0.21m、南が低い。

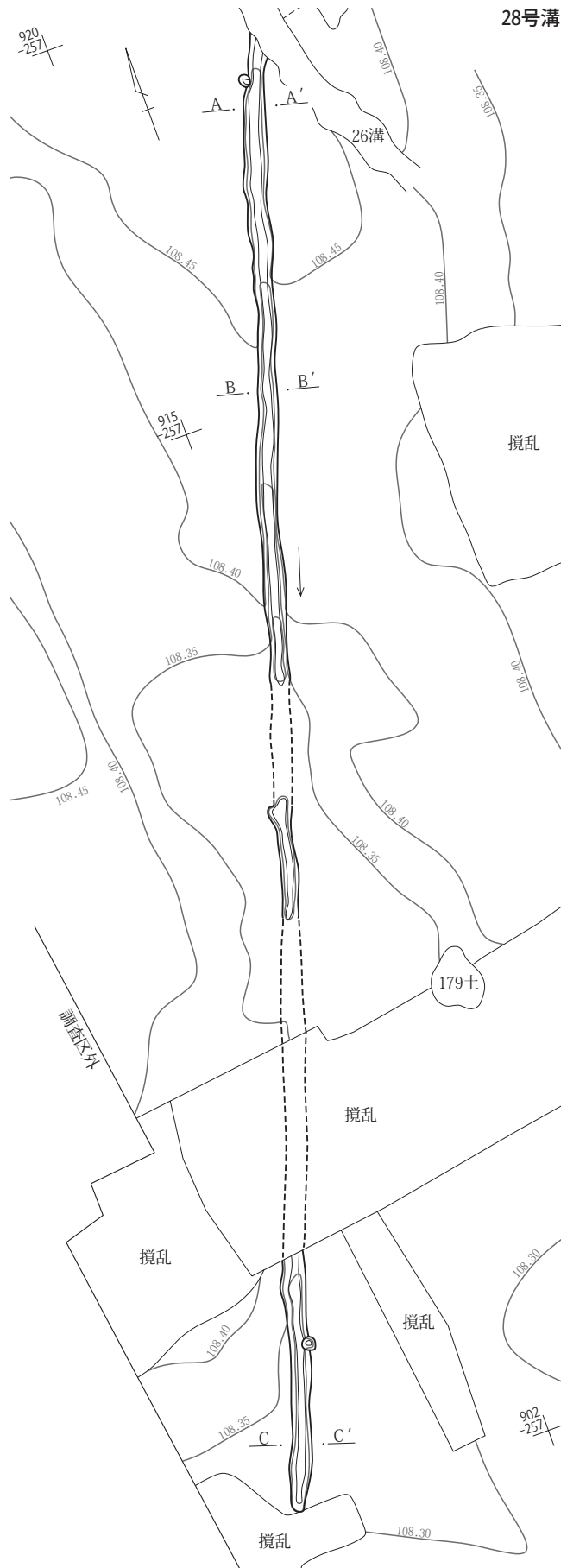
埋没土層 黒褐色土・暗褐色土主体。2層が観察された。Hr-FA・As-C軽石を含む。断面形は皿状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 出土遺物はない。

所見 As-B軽石降下以前に埋没したと考えられる。



28号溝



第200図 2区BC4面28号溝

29号溝(第201図、PL.69)

位置 2区F G 4面、北西X=42009、Y=-47268～南東X=41996、Y=-47257。

重複 なし。

平面形状 北西方向から南東方向へわずかに屈折しながら走行する。笠懸1号溝周辺の溝1条と、接続すると想定できる。

長軸方位 N-40°-E。

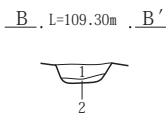
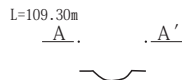
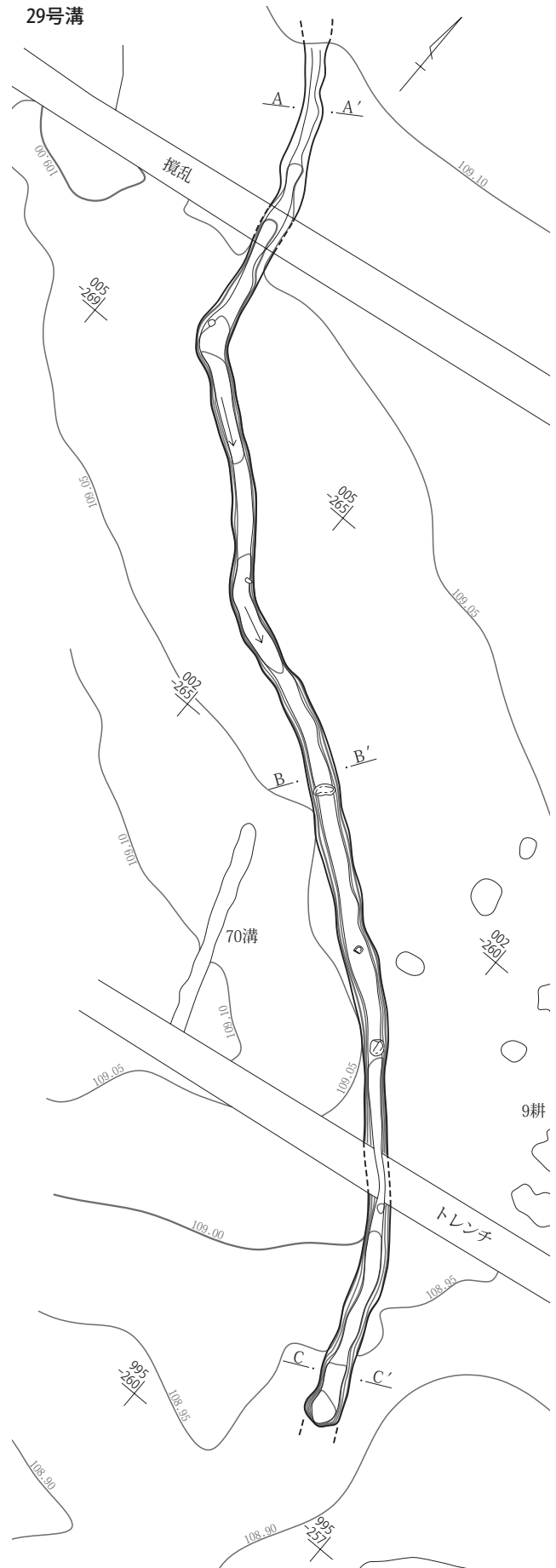
規模 検出全長18.00m、幅0.18～0.46m、深さ0.05～0.17m。底面の比高差は0.33m、南東が低い。

埋没土層 黒褐色土主体。2層が観察された。Hr-FA・As-C軽石を含む。断面形は逆台形状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

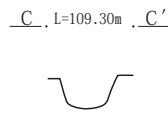
遺物 掲載遺物はない。0.09kgの土師器・須恵器片が出土した。

所見 As-B軽石降下以前に埋没したと考えられる。

29号溝



- 1 黒褐色土(10YR3/2) Hr-FA軽石・As-C軽石を少量含む。
- 2 褐色土(10YR4/4) 軽石粒、砂粒を含む。



第201図 2区F G 4面29号溝

30号溝(第202・203図、PL.69)

位置 2区C4面、北X=41927、Y=-47253～南X=41919、Y=-47253。

重複 26号溝と重複。本遺構が古い。

平面形状 北方向から南方向へ直線状、南端が鉤手状に曲がり、28号溝と接続すると想定した。平面・断面ともに不規則で一様でない。

長軸方位 N-3°-W。

規模 検出全長9.00m、幅0.2～0.73m、深さ0.03～0.08m。底面の比高差は0.02m、北が低い。

埋没土層 黒褐色土主体。2層が観察された。Hr-FA・As-C軽石を含む。断面形は皿状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 出土遺物はない。

所見 As-B軽石降下以前に埋没したと考えられる。

31号溝(第202・203図、PL.69)

位置 2区C4面、北X=41926、Y=-47250～南X=41918、Y=-47250。

重複 なし。

平面形状 北方向から南方向へ直線状。平面・断面ともに不規則で一様でない。

長軸方位 N-3°-E。

規模 検出全長7.80m、幅0.20～0.57m、深さ0.01～0.02m。底面の比高差は0.02m、南が低い。

埋没土層 暗褐色土主体。2層が観察された。Hr-FA・As-C軽石を含む。断面形は皿状、詳細は不明。

遺物 出土遺物はない。

所見 As-B軽石降下以前に埋没したと考えられる。

32号溝(第202・203図、PL.70)

位置 2区C4面、北X=41920、Y=-47248～南X=41913、Y=-47248。

重複 なし。

平面形状 北方向から南方向へ直線状。平面・断面ともに不規則で一様でない。

長軸方位 N-4°-W。

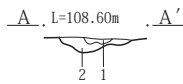
規模 検出全長7.10m、幅0.15～0.46m、深さ0.02～0.06m。底面の比高差は0.07m、南が低い。

埋没土層 暗褐色土主体。1層が観察された。Hr-FA・As-C軽石を含む。断面形は皿状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 出土遺物はない。

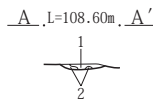
所見 As-B軽石降下以前に埋没したと考えられる。

30号溝



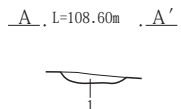
- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石を5%含む。
- 2 黒褐色土 しまりあり。粘質土。軽石粒を1%含む。

31号溝



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石を3%含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。褐色粘土粒を僅かに含む。

32号溝

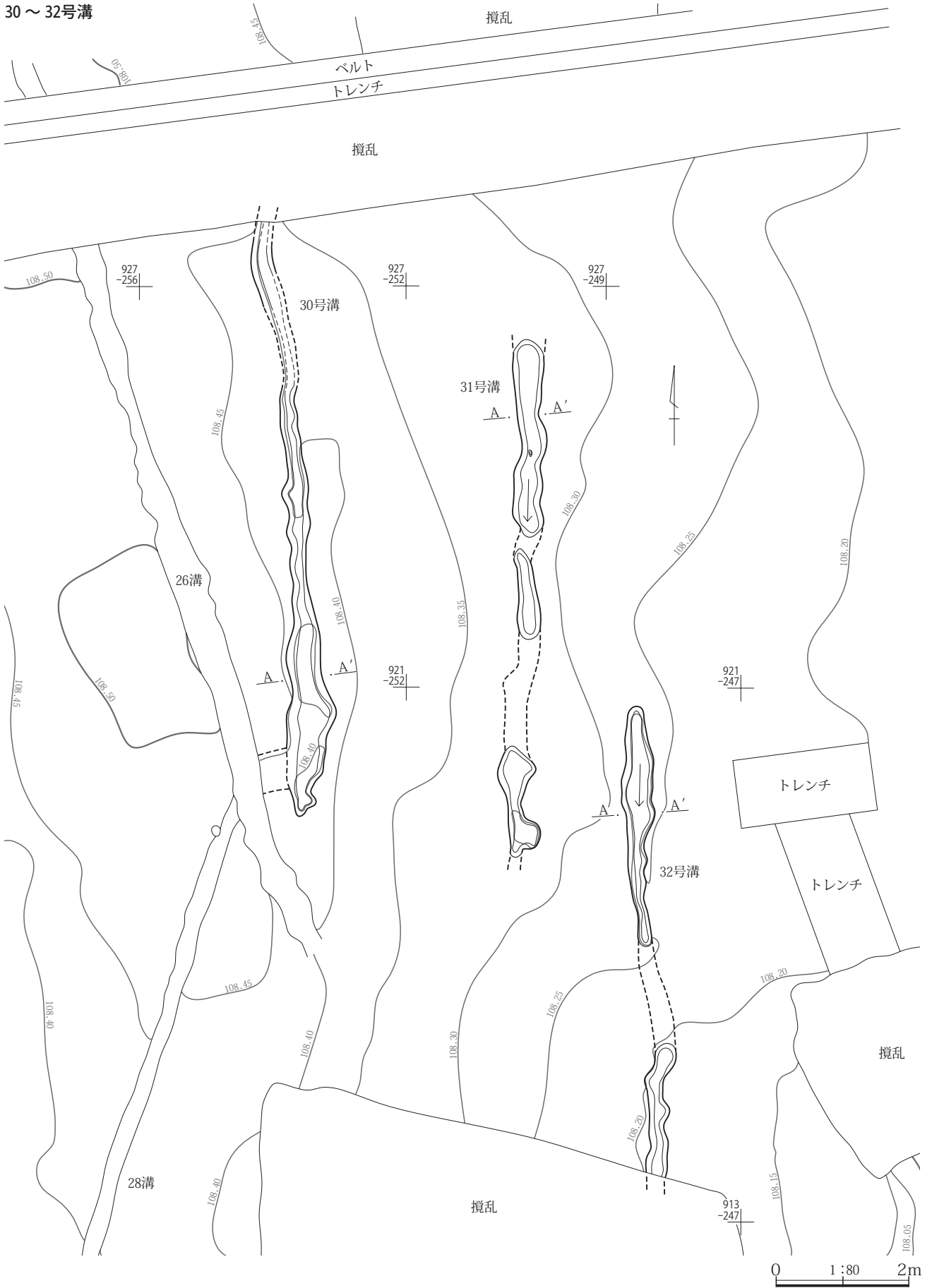


- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石を5%含む。



第202図 2区C4面30～32号溝1

30～32号溝



第203図 2区C 4面30～32号溝2

33号溝(第204・205図、PL.70・71)

位置 2区H～E(推定でD～A)4面、北東X=42025、Y=-47229～南西X=41995、Y=-47250～南東X=41975、Y=-47235～推定南東X=41860、Y=-47215。

重複 45・46号溝と重複。本遺構が46号溝より新しいが、46号溝は33号溝のバイパス的役割を想定できる。

平面形状 北東方向から南西方向へ、くの字状に屈曲して南東方向へ、湾曲して南西方向へ、2区D以南は溝幅を広めながら南東方向に流下すると判断される。2区Eでは、本流に平行して長さ16m、幅0.5～1.15m、深さ0.31～0.6mの溝が走行する(調査時に46号溝の延長部分として処理されたが、走行の方位や埋没土の堆積状況などから、33溝と一体の遺構として考えることとした)。

くの字状の屈曲部から笠懸1号溝に接続し、1区5号溝、再び笠懸1号溝となって南西方向に流下し、集落域と生産域を貫く2本の支川になる。33号溝は、65号溝(3区4面)と同一遺構で、最上流部は八王子丘陵西辺部の小河川と考えられる。笠懸1号溝周辺の溝は、1号溝と接続した1条の他は2区4面の29・34・35号溝と接続する。

長軸方位 N-40°-E、N-54°-W、N-19°-E、N-13°-W。

規模 検出全長93.50(推定195.5)m、幅1.84～6.90m、深さ0.26～0.8m。底面の標高は2区G北108.89m、2区E南107.76m、比高差は1.13m、南が低い。

埋没土層 黒褐色土・暗褐色土・褐灰色土主体。中位層でHr-FA・As-C軽石、下位層では砂層が確認された。本遺構がほぼ埋没した後にAs-B軽石が堆積している。断面形は逆台形状。

遺物 図示した遺物の他、1.53kgの土師器が出土した。出土状況は、笠懸1号溝との分岐点より北側と分岐後の本流の2地点から出土している。底面付近からの出土はなく、いずれも覆土中で、同一遺構の5号溝と同様の傾向が認められる。小型甕1は輪積痕を残すが、摩耗のため調整等は不明。2～5は壺形土器。2は直口壺で口縁部横ナデ、頸部にヘラ削り、内面ヘラナデが施される。3・4は小型壺、摩耗が激しい。3は胴部内面ヘラナデ。5は底部付近ヘラ削り痕を残す。6の滑石製勾玉は覆土中から出土した。

所見 本遺構は、八王子丘陵西辺部を流れる小河川より分岐した3区4面65号溝から33号溝へと流下し、さらに

笠懸1号溝との分岐後は南東方向へ分かれて流下するものである。

本遺構は、水田面の可能性のある2区D～Aを流下するもので、埋没土への砂混入など流水の形跡が見られることから、灌漑用溝と考えられる(第155図)。また、笠懸1号溝との分岐地点では、33号溝のバイパス的な役割を持つ46号溝が掘削されており、人為的な管理下にあることをうかがわせる。65号溝を基点とするこれらの溝は、一方が集落域へ(5号溝方向)、もう一方が生産域へ(2区D～A方向)という、極めて重要な役割を持つ遺構といえることができる。

出土遺物や埋没土層から、古墳時代5世紀の前半代の所産とすることができる。

46号溝(第204・205図、PL.70・71)

位置 2区E F 4面、北X=42005、Y=-47240～南X=41992、Y=-47241。

重複 33・45号溝と重複。33号溝のバイパス的な役割を想定できる。

平面形状 北方向から南方向へ直線状。

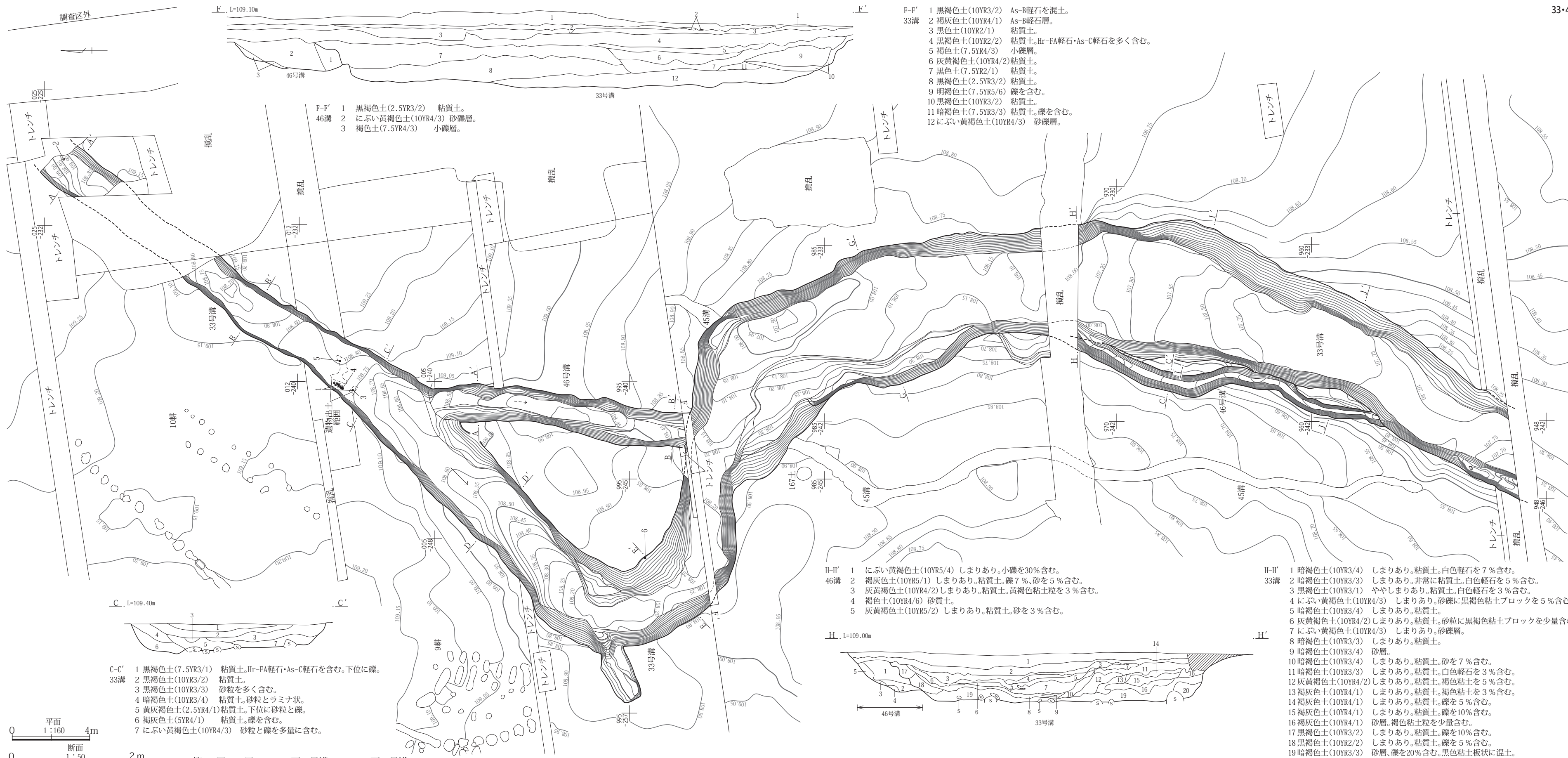
長軸方位 N-7°-E。

規模 検出全長51.5m、幅0.40～2.1m、深さ0.31～0.59m。底面の比高差は0.19m、南が低い。

埋没土層 にぶい黄褐色土・灰黄褐色土主体。5層が観察された。断面形は逆台形状。

遺物 覆土中から土師器が3片出土した。

所見 33号溝より早い段階で埋没した可能性が高いが、As-B軽石降下時には、33号溝・46号溝ともに埋没しており、並存していた可能性がある。



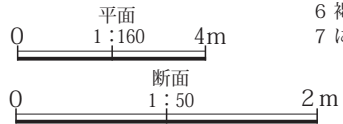
- F-F' 1 黒褐色土(10YR3/2) As-B軽石を混土。
 33溝 2 褐灰色土(10YR4/1) As-B軽石層。
 3 黒色土(10YR2/1) 粘質土。
 4 黒褐色土(10YR2/2) 粘質土。Hr-FA軽石・As-C軽石を多く含む。
 5 褐色土(7.5YR4/3) 小礫層。
 6 灰黄褐色土(10YR4/2)粘質土。
 7 黒色土(7.5YR2/1) 粘質土。
 8 黒褐色土(2.5YR3/2) 粘質土。
 9 明褐色土(7.5YR5/6) 礫を含む。
 10 黒褐色土(10YR3/2) 粘質土。
 11 暗褐色土(7.5YR3/3) 粘質土。礫を含む。
 12 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 砂礫層。

- F-F' 1 黒褐色土(2.5YR3/2) 粘質土。
 46溝 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 砂礫層。
 3 褐色土(7.5YR4/3) 小礫層。

- H-H' 1 にぶい黄褐色土(10YR5/4) しまりあり。小礫を30%含む。
 46溝 2 褐灰色土(10YR5/1) しまりあり。粘質土。礫7%、砂を5%含む。
 3 灰黄褐色土(10YR4/2)しまりあり。粘質土。黄褐色粘土粒を3%含む。
 4 褐色土(10YR4/6) 砂質土。
 5 灰黄褐色土(10YR5/2) しまりあり。粘質土。砂を3%含む。

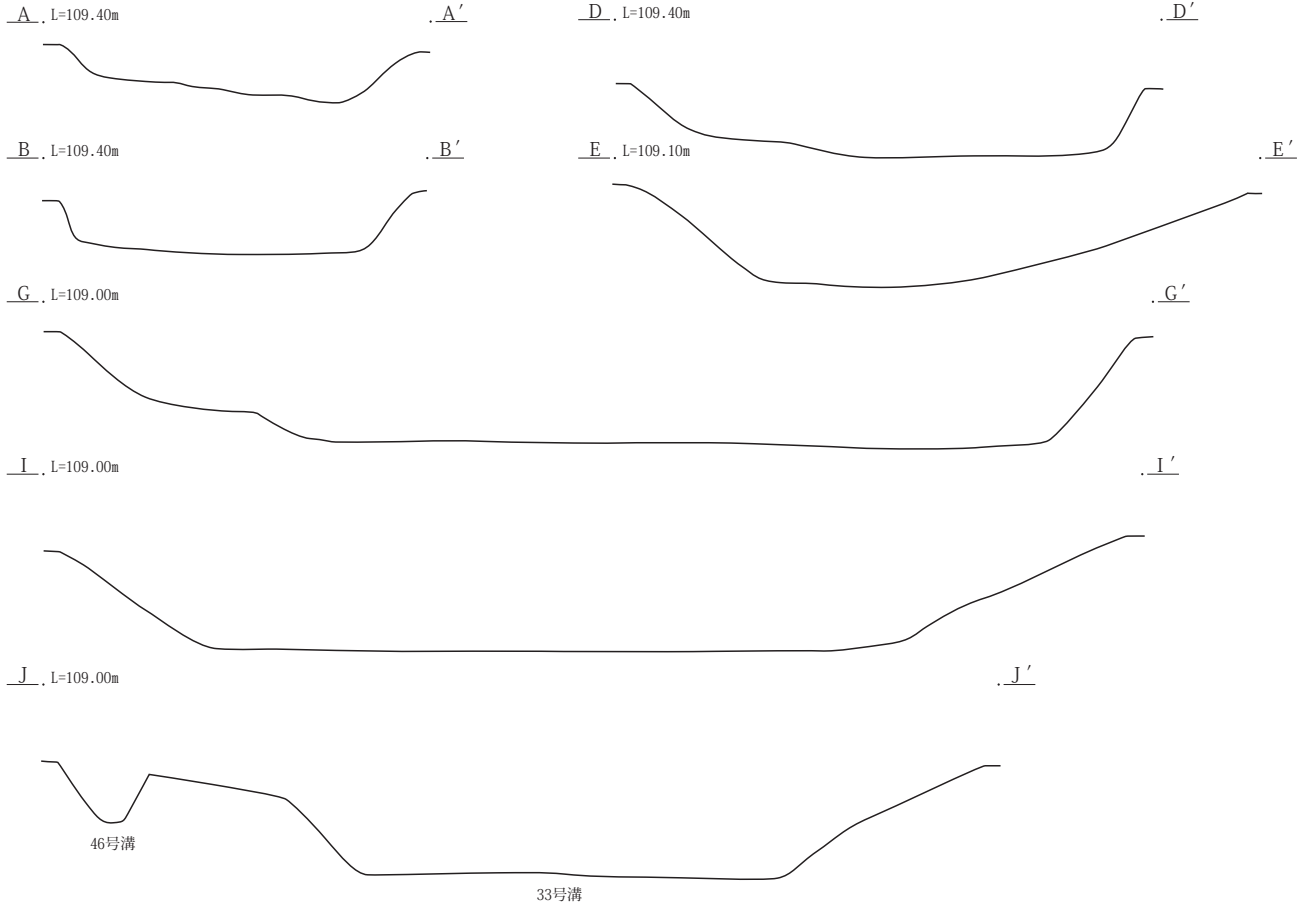
- H-H' 1 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり。粘質土。白色軽石を7%含む。
 33溝 2 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。非常に粘質土。白色軽石を5%含む。
 3 黒褐色土(10YR3/1) ややしまりあり。粘質土。白色軽石を3%含む。
 4 にぶい黄褐色土(10YR4/3) しまりあり。砂礫に黒褐色粘土ブロックを5%含む。
 5 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり。粘質土。
 6 灰黄褐色土(10YR4/2)しまりあり。粘質土。砂粒に黒褐色粘土ブロックを少量含む。
 7 にぶい黄褐色土(10YR4/3) しまりあり。砂礫層。
 8 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。粘質土。
 9 暗褐色土(10YR3/4) 砂層。
 10 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり。粘質土。砂を7%含む。
 11 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。粘質土。白色軽石を3%含む。
 12 灰黄褐色土(10YR4/2) しまりあり。粘質土。褐色粘土を5%含む。
 13 褐灰色土(10YR4/1) しまりあり。粘質土。褐色粘土を3%含む。
 14 褐灰色土(10YR4/1) しまりあり。粘質土。礫を5%含む。
 15 褐灰色土(10YR4/1) しまりあり。粘質土。礫を10%含む。
 16 褐灰色土(10YR4/1) 砂層。褐色粘土粒を少量含む。
 17 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。粘質土。礫を5%含む。
 18 黒褐色土(10YR2/2) しまりあり。粘質土。礫を5%含む。
 19 暗褐色土(10YR3/3) 砂層、礫を20%含む。黒色粘土板状に混土。
 20 褐灰色土(10YR4/1) しまりあり。粘質土。砂を少量含む。

- C-C' 1 黒褐色土(7.5YR3/1) 粘質土。Hr-FA軽石・As-C軽石を含む。下位に礫。
 33溝 2 黒褐色土(10YR3/2) 粘質土。
 3 黒褐色土(10YR3/3) 砂粒を多く含む。
 4 暗褐色土(10YR3/4) 粘質土。砂粒とラミナ状。
 5 黄灰褐色土(2.5YR4/1)粘質土。下位に砂粒と礫。
 6 褐灰色土(5YR4/1) 粘質土。礫を含む。
 7 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 砂粒と礫を多量に含む。

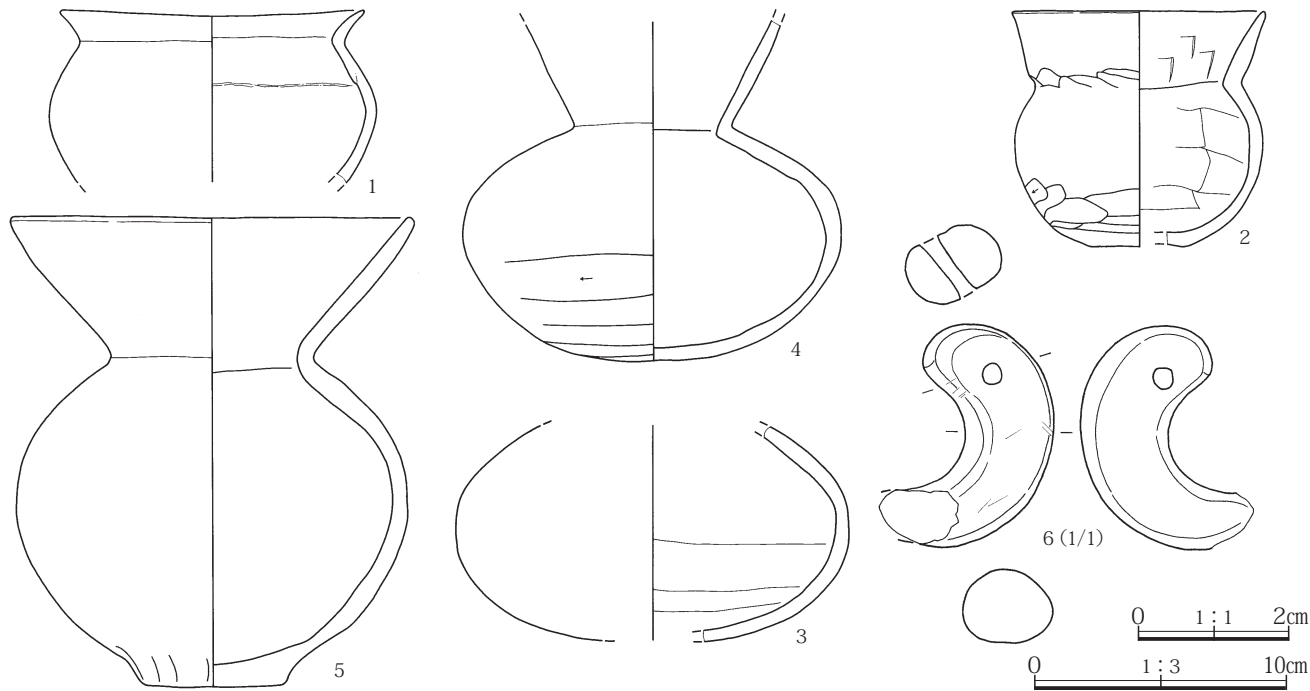
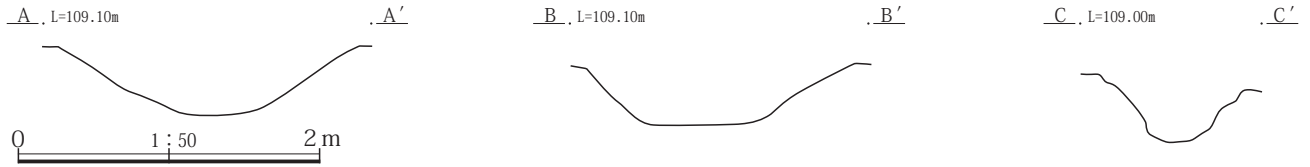


第204図 2区E~H 4面33号溝1、E F 4面46号溝1

33号溝



46号溝



第205図 2区H～E 4面33号溝2と出土遺物、E F 4面46号溝2

34号溝

34号溝(第206図、PL.71)

位置 2区F 4面、北西X=42006、Y=-47273～南東X=41991、Y=-42265。

重複 なし。

平面形状 北北西方向から南南東方向へ直線状。笠懸1号溝周辺の溝1条と接続する。

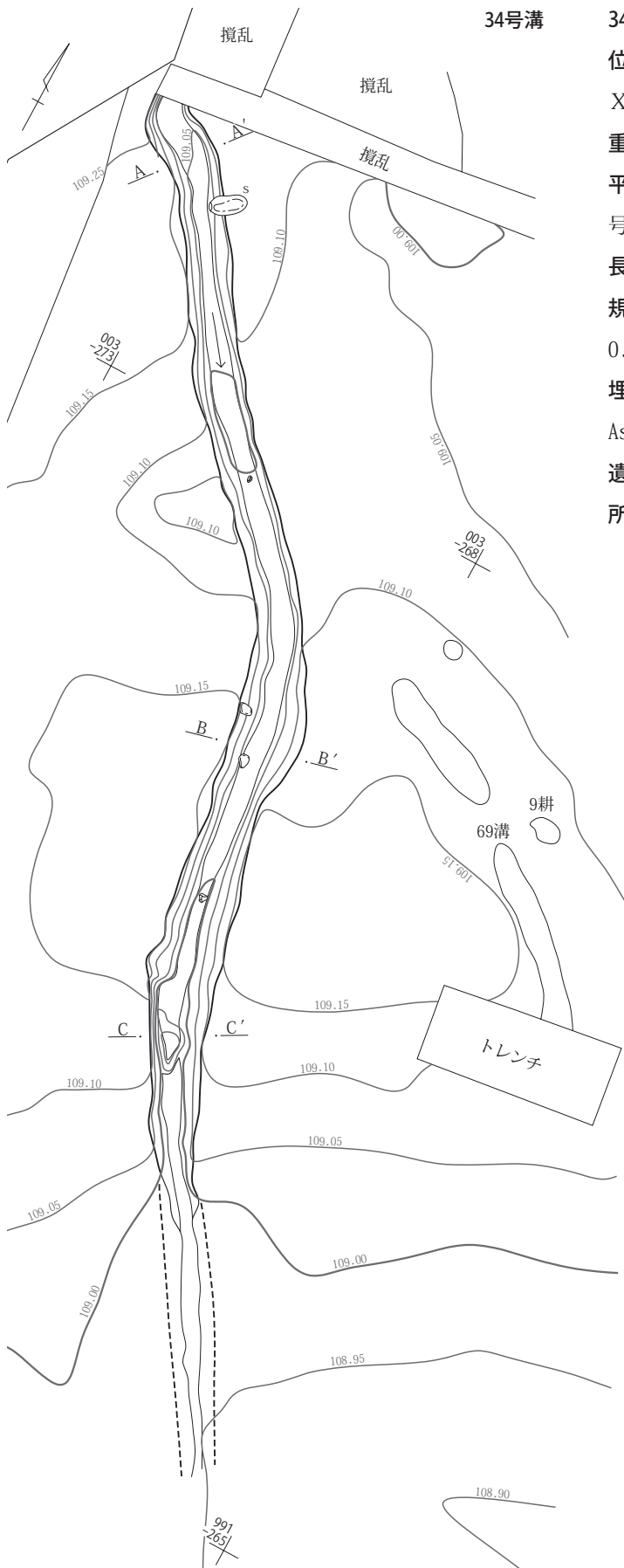
長軸方位 N-29°-W。

規模 検出全長16.7m、幅0.43～0.90m、深さ0.09～0.16m。底面の比高差は0.1m、南が低い。

埋没土層 黒褐色土主体。2層が観察された。Hr-FA・As-C軽石を含む。断面形は皿状。下層に砂混入。

遺物 出土遺物はない。

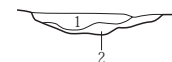
所見 As-B軽石降下以前に埋没したと考えられる。



A . L=109.50m . A'

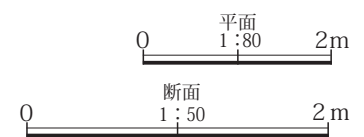


B . L=109.50m . B'



- 1 黒褐色土(7.5YR2/1) しまりあり。Hr-FA
軽石・As-C軽石を多く含む。
- 2 暗褐色土(7.5YR3/3) 粘質土。

C . L=109.50m . C'



第206図 2区F 4面34号溝

35号溝(第207図、PL.71)

位置 2区E F 4面、北東X=41979、Y=-47257～南西X=41955、Y=-47261。

重複 なし。

平面形状 北北西方向から南南東方向へやや蛇行し、不規則な平面形状を呈す。笠懸1号溝周辺の溝1条と接続する。

長軸方位 N-11°-E。

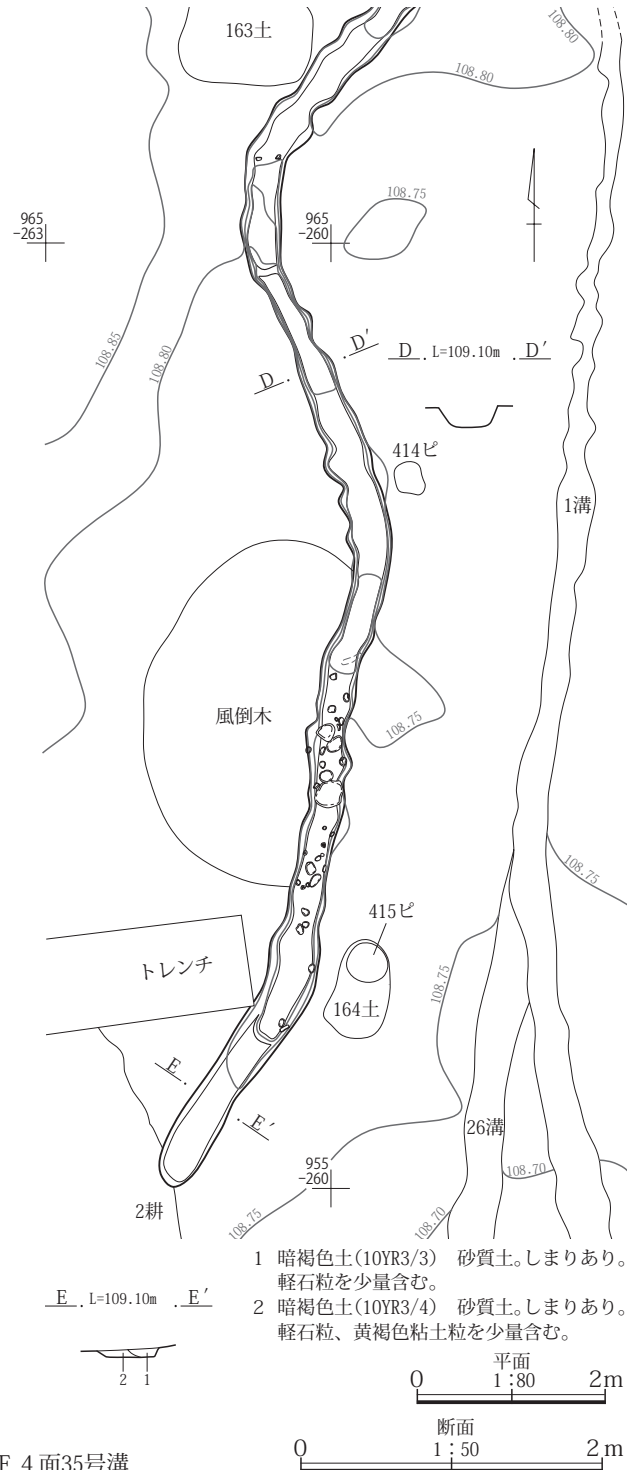
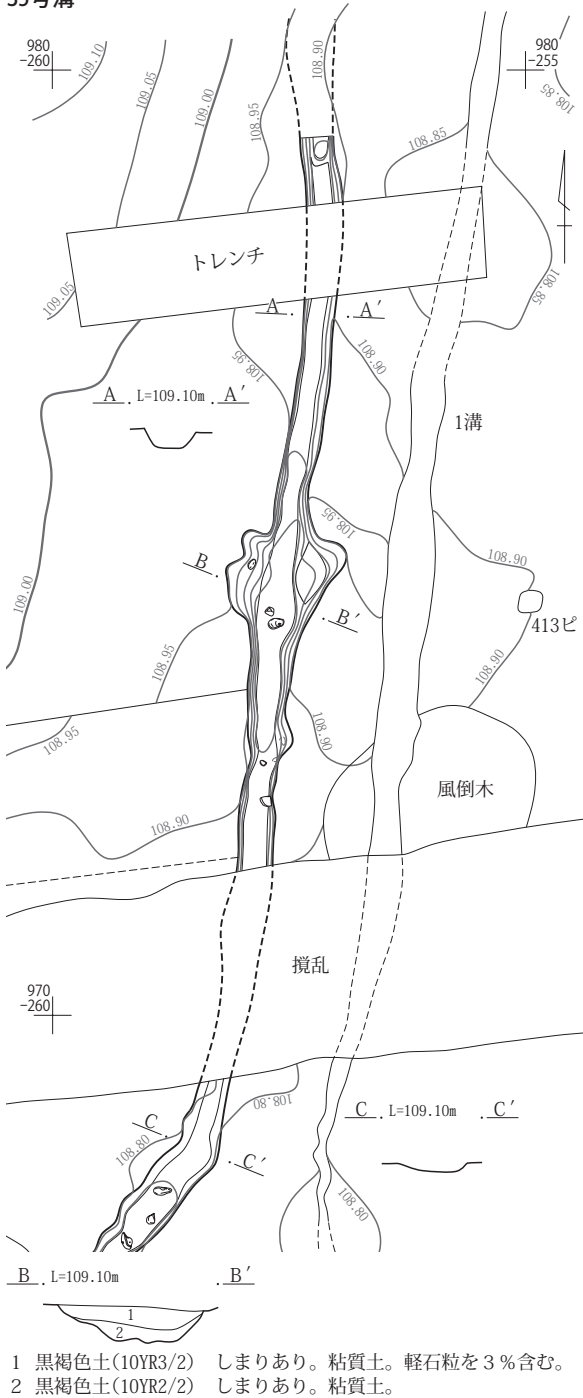
規模 検出全長25.7m、幅0.22～1.20m、深さ0.03～0.18m。底面の標高にはばらつきがあり、顕著な比高差はない。

埋没土層 黒褐色土主体。2層が観察された。Hr-FA・As-C軽石を含む。断面形は丸底状もしくは逆台形状を呈す。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 覆土中から0.11kgの土師器片が出土した。

所見 As-B軽石降下以前に埋没したと考えられる。

35号溝



第207図 2区E F 4面35号溝

45号溝(第208・209図、PL.72)

位置 2区EF4面、北東X=41993、Y=-47235、～南西X=41982、Y=-47245、～南X=41954、Y=-47245。

重複 33・46号溝と重複。本遺構が新しい。

平面形状 北北東方向から南南西方向へやや蛇行し、南に屈曲して蛇行しながら南下する不規則な平面形状を呈す。

長軸方位 N-48°-E、N-4°-E。

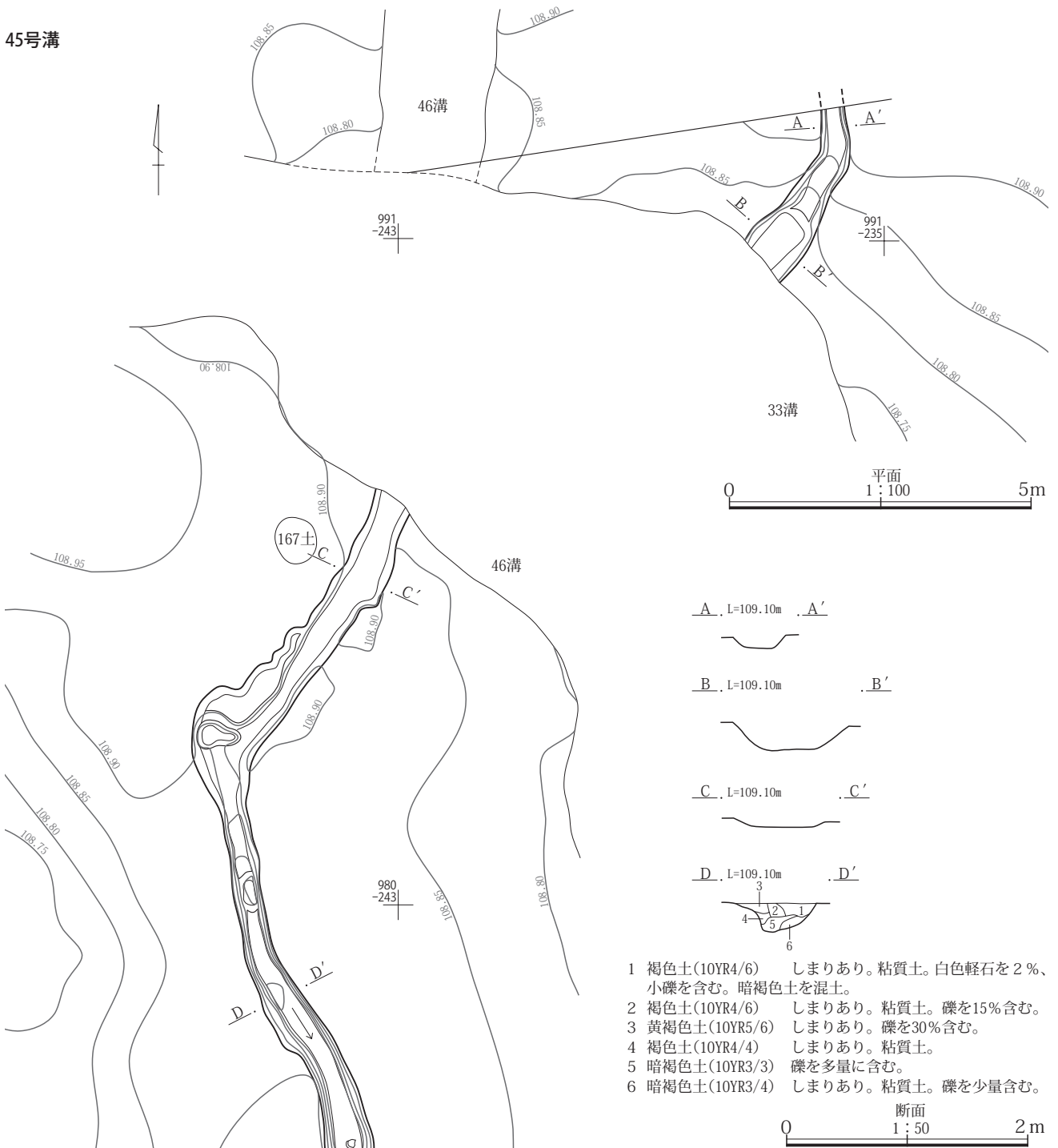
規模 検出全長44.7m、幅0.30～1.21m、深さ0.03～0.21m。底面の比高差は0.29m、南が低い。

埋没土層 暗褐色土・褐色土主体。6層が観察された。Hr-FA・As-C軽石・小礫を含む。断面形は逆台形状。

遺物 出土遺物はない。

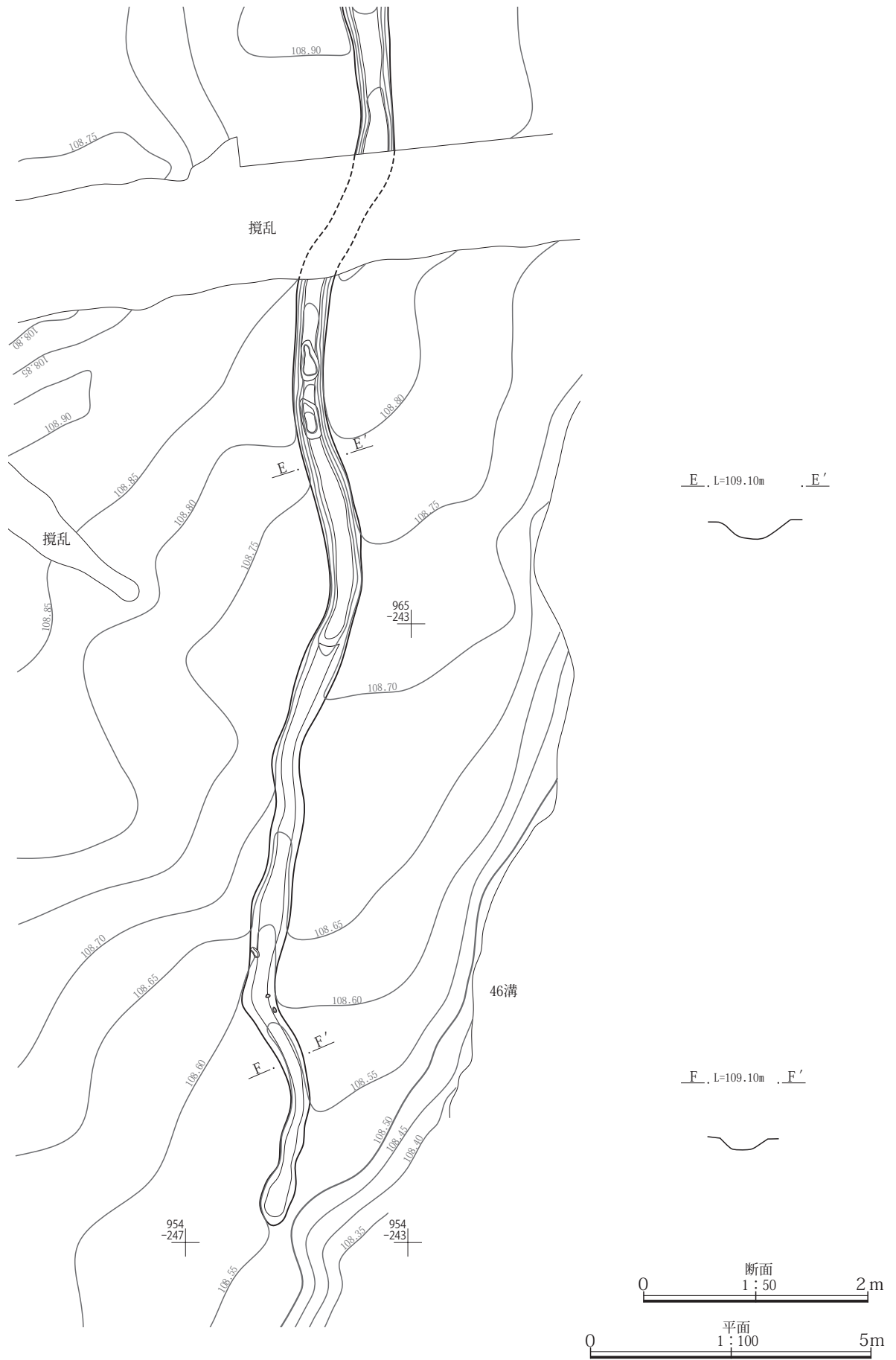
所見 As-B軽石降下以前に埋没したと考えられる。

45号溝



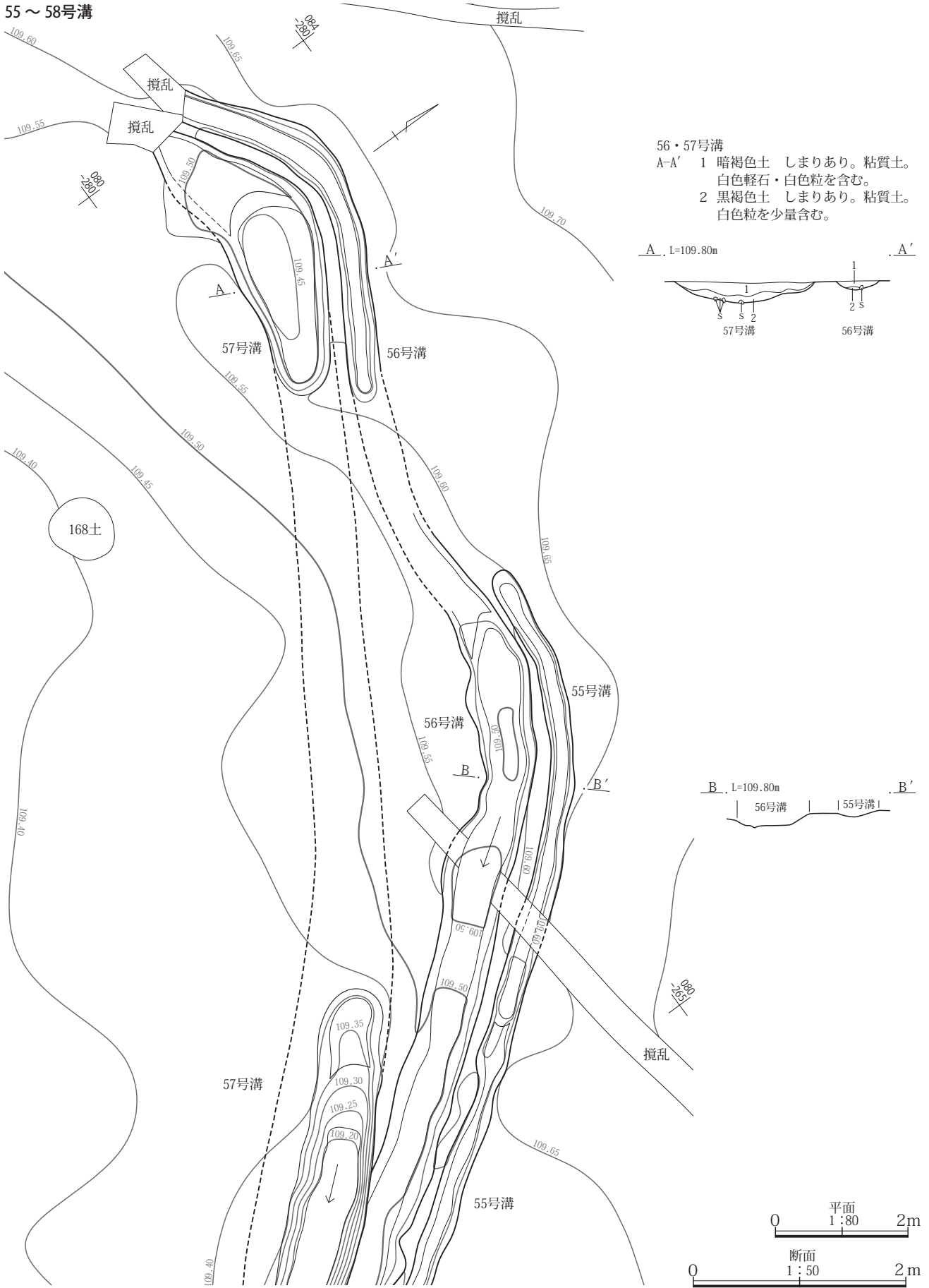
- 1 褐色土(10YR4/6) しまりあり。粘質土。白色軽石を2%、小礫を含む。暗褐色土を混土。
- 2 褐色土(10YR4/6) しまりあり。粘質土。礫を15%含む。
- 3 黄褐色土(10YR5/6) しまりあり。礫を30%含む。
- 4 褐色土(10YR4/4) しまりあり。粘質土。
- 5 暗褐色土(10YR3/3) 礫を多量に含む。
- 6 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり。粘質土。礫を少量含む。

第208図 2区EF4面45号溝1



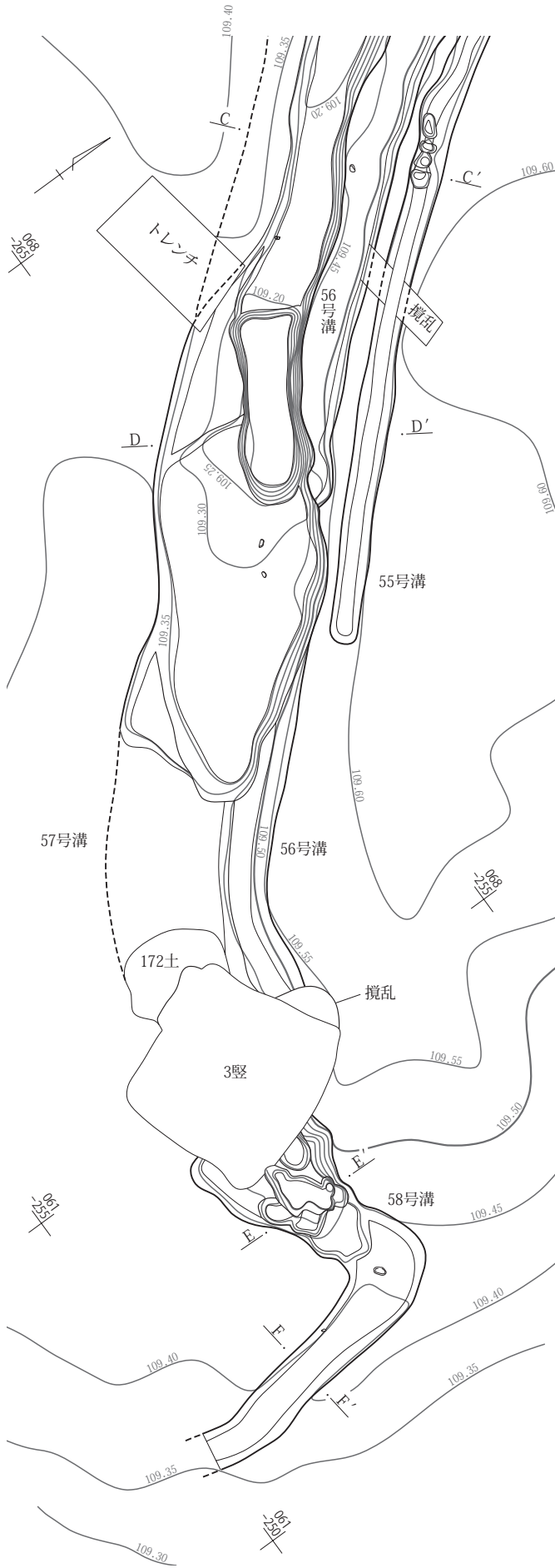
第209図 2区E F 4面45号溝2

55～58号溝



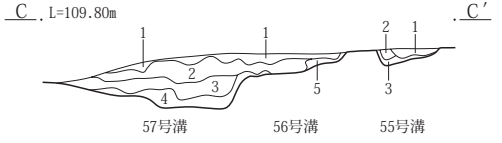
第210図 2区I 4面55～58号溝1

第1節 古墳時代以降の遺構と遺物



55号溝

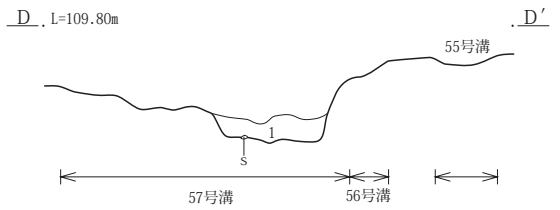
- C-C' 1 暗褐色土 しまりあり。白色粒を多量に含む。
 2 暗褐色土 しまりあり。非常に粘質土。白色軽石、ロームブロックを少量含む。
 3 暗褐色土 しまりあり。非常に粘質土。ロームブロックをやや多く含む。



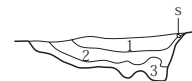
57号溝 56号溝 55号溝

56・57号溝

- C-C' 1 暗褐色土 しまりあり。白色粒を多量に含む。
 2 黒褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石含む。
 3 暗褐色土 しまりあり。非常に粘質土。白色軽石、ロームブロックを含む。
 4 暗褐色土 しまりあり。非常に粘質土。ロームブロックをやや多く含む。
 5 暗褐色土 3層に近似。



E, L=109.80m



58号溝

- E-E' 1 暗褐色土 しまりあり。白色軽石、ローム粒を含む。
 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石、ロームブロックを含む。
 3 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ロームブロック・ローム粒を含む。

F, L=109.80m



第211図 2区I 4面55～58号溝2

55号溝(第210・211図、PL.72)

位置 2区I4面、北西X=42081、Y=-47271～南東X=42068、Y=-47258。

重複 なし。

平面形状 北西方向から南東方向へ直線状。56・57号溝と並行に走行する。

長軸方位 N-45°-W。

規模 検出全長19.1m、幅0.26～0.48m、深さ0.04～0.11m。底面の比高差に大きな違いはない。

埋没土層 暗褐色土主体。3層が観察された。Hr-FA・As-C軽石を含む。断面形は皿状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 少量の土師器片・須恵器片が出土した。

所見 As-B軽石降下以前に埋没したと考えられる。55・56・57号溝は、位置関係および地層断面図の観察から、比較的幅広の1本の溝の底面の様相を示すものと捉えられ、その下流が58号溝と考えられる。

56号溝(第210・211図、PL.72)

位置 2区I4面、北西X=42082、Y=-47280～北東X=42083、Y=-47278～南東X=42065、Y=-47255。

重複 3号竪穴状遺構、57号溝と重複。本遺構が3号竪穴状遺構より古い。57号溝とは、地層断面図では新旧関係は認められず、同時期に埋没した可能性が高いことを示している。

平面形状 北西方向から南東方向へやや蛇行し、不規則な平面形状を持つ。

長軸方位 N-45°-W。

規模 検出全長32.2m、幅0.48～1.0m、深さ0.06～0.13m。底面の比高差は0.11m、南東が低い。

埋没土層 黒褐色土・暗褐色土主体。3層が観察された。Hr-FA・As-C軽石を含む。断面形は皿状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 少量の土師器片・須恵器片が出土した。

所見 55・57号溝と並行、58号溝とともに一体の遺構として捉えられる。As-B軽石降下以前に埋没したと考えられる。

57号溝(第210・211図、PL.72)

位置 2区I4面、北西X=42081、Y=-47280～北東X=42082、Y=-47278～南東X=42063、Y=-47257。

重複 3号竪穴状遺構と重複。本遺構が古い。

平面形状 北西方向から南東方向へやや蛇行し、極めて不規則な平面形状を持つ。

長軸方位 N-45°-W。

規模 検出全長30.3m、幅0.45～2.18m、深さ0.05～0.36m。底面の比高差は0.07m、南東が低い。

埋没土層 暗褐色土主体。2層が観察された。Hr-FA・As-C軽石を含む。断面形は逆台形状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 少量の土師器片・須恵器片が出土した。

所見 55・56号溝と並行、58号溝とともに一体の遺構として捉えられる。As-B軽石降下以前に埋没したと考えられる。

58号溝(第211図、PL.72)

位置 2区I4面、北西X=42064、Y=-47254～南東X=42061、Y=-47251。

重複 3号竪穴状遺構と重複。本遺構が古い。

平面形状 西方向から東方向へ、北方向から南方向へ直線状。フ字状を呈す。不規則なピット状の落ち込みが認められる。

長軸方位 N-6°-W。

規模 検出全長6.5m、幅0.51～1.60m、深さ0.05～0.21m。底面の比高差に大きな違いはない。

埋没土層 暗褐色土主体。3層が観察された。断面形は不整形または皿状。遺構確認面から底面まで浅く詳細不明。

遺物 少量の土師器片・須恵器片が出土した。

所見 57号溝の延長線上にあり、55・56・57号溝と一体の遺構と考えられる。As-B軽石降下以前に埋没したと考えられる。

61号溝(第212図、PL.73)

位置 2区I4面、北東X=42091、Y=-47265～南西
X=42084、Y=-47273。

重複 なし。

平面形状 北東方向から南西方向へやや蛇行。

長軸方位 N-49°-E。

規模 検出全長11.2m、幅0.24～0.42m、深さ0.04～

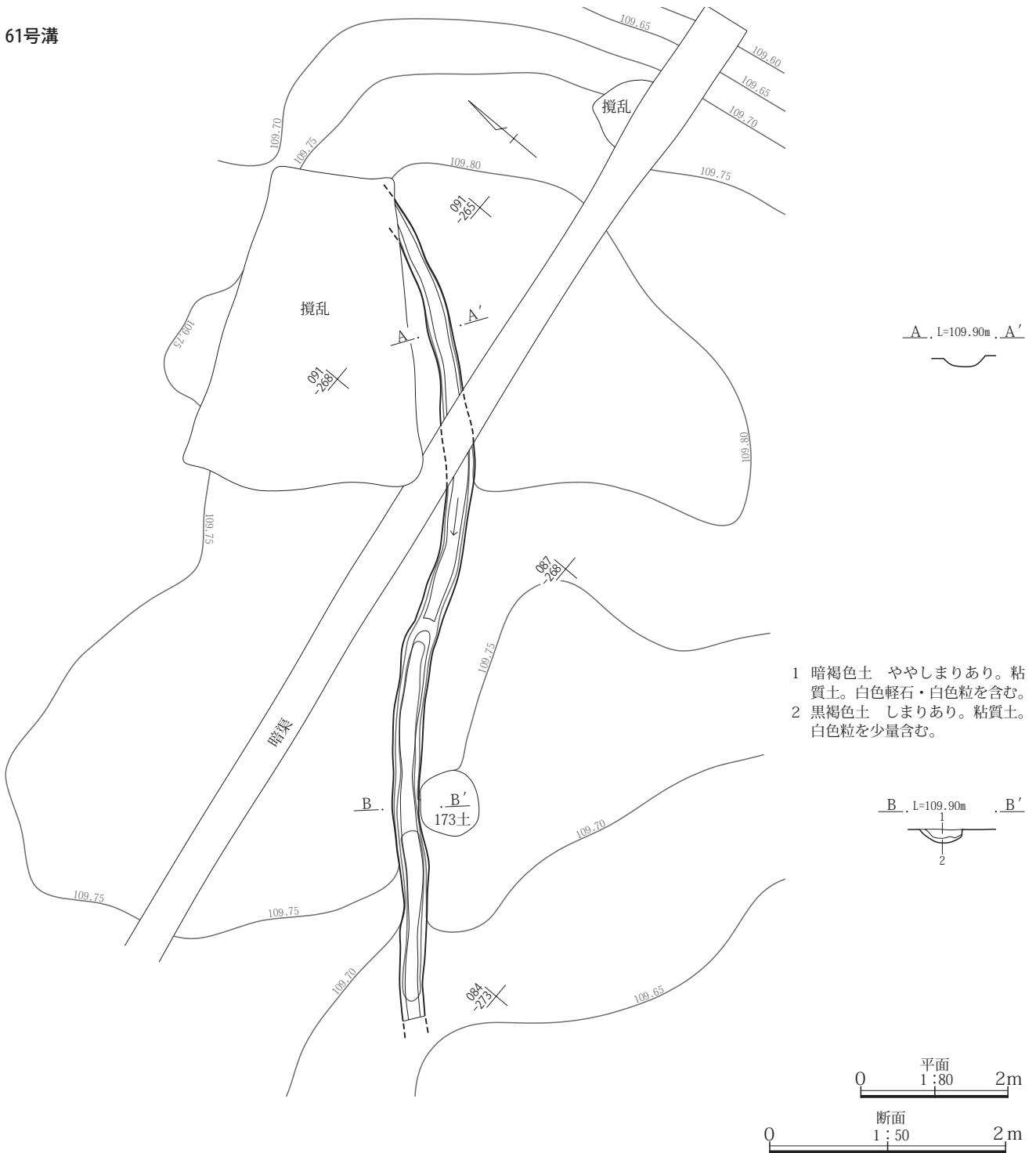
0.12m。底面の比高差は0.14m、南西が低い。

埋没土層 黒褐色土・暗褐色土主体。2層が観察された。
Hr-FA・As-C軽石を含む。断面形は皿状または逆台形状。

遺物 出土遺物はない。

所見 As-B軽石降下以前に埋没したと考えられる。

61号溝



第212図 2区I4面61号溝

62号溝(第213図、PL.73)

位置 2区I4面、北東X=42063、Y=-47245～南西
X=42054、Y=-47261。

重複 423号ピットと重複。本遺構が新しい。

平面形状 北東方向から南西方向へやや蛇行。

長軸方位 N-61°-E。

規模 検出全長23.20m、幅0.14～0.63m、深さ0.02
～0.11m。底面の比高差は0.05m、南西が低い。

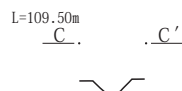
埋没土層 黒褐色土・暗褐色土主体。2層が観察された。
断面形は皿状。

遺物 出土遺物はない。

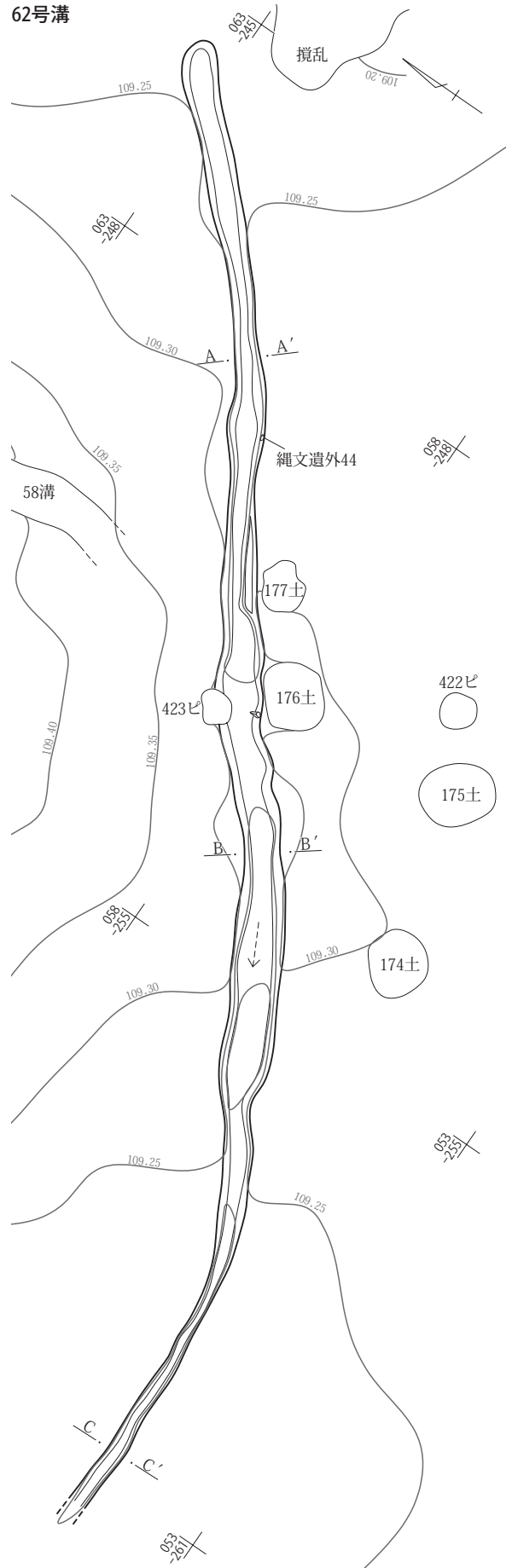
所見 As-B軽石降下以前に埋没したと考えられる。



- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。粘質土。白色軽石を3%含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) ややしまりあり。やや粘質土。砂を少量含む。



62号溝



第213図 2区I4面62号溝

69号溝(第214図、PL.5-3)

位置 2区F4面、北西X=42001、Y=-47268～南東X=41998、Y=-47264。

重複 なし。

平面形状 北西方向から南東方向へ、わずかな弧を描く。

長軸方位 N-53°-W。

規模 検出全長4.70m、幅0.26～0.43m、深さ0.01～0.04m。底面の比高差に大きな違いはない。

埋没土層 不明。

遺物 出土遺物はない。

所見 4面検出ということから、As-B軽石降下以前に掘削されたと考えられる。

70号溝(第214図、PL.5-3)

位置 2区F4面、北西X=42001、Y=-47263～南東X=41998、Y=-47262。

重複 なし。

平面形状 北方向から南方向へ直線状。

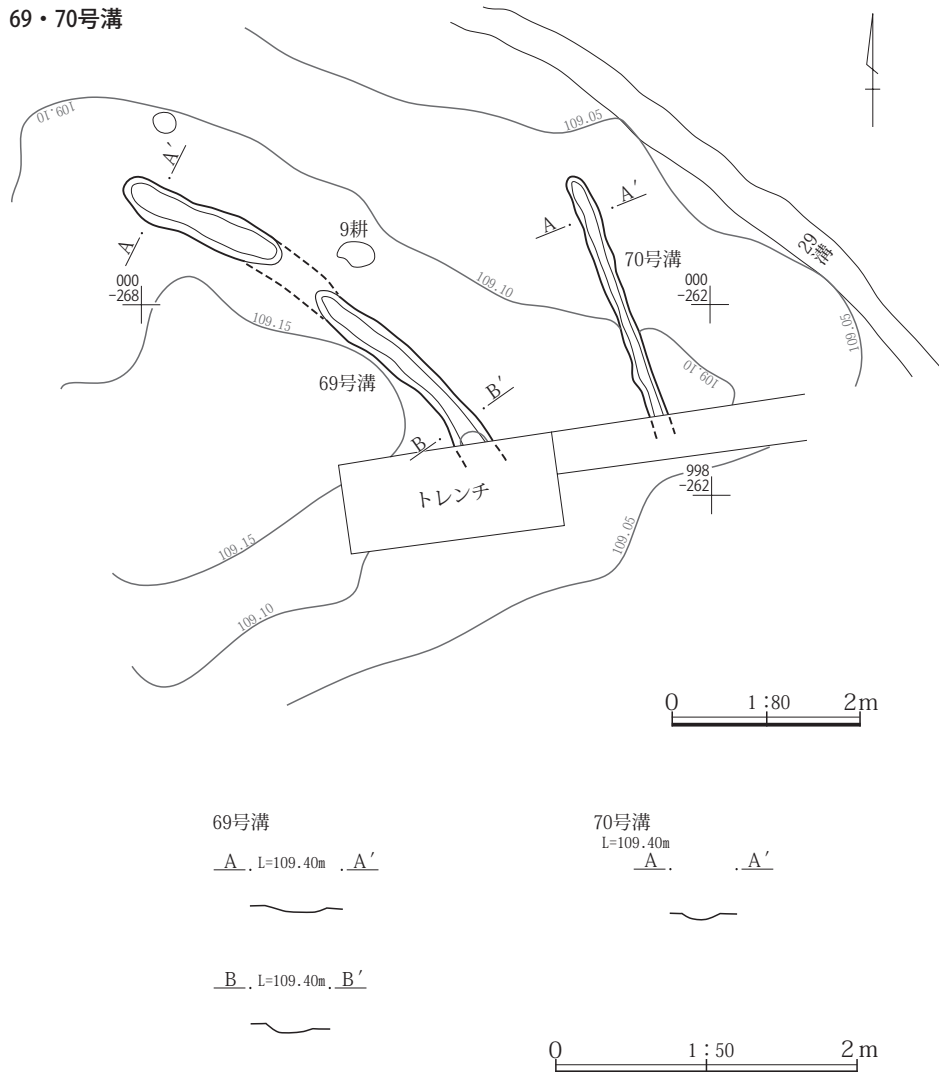
長軸方位 N-17°-W。

規模 検出全長2.70m、幅0.15～0.23m、深さ0.01～0.02m。底面の比高差は0.05m、北が低い。

埋没土層 不明。

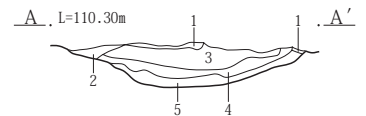
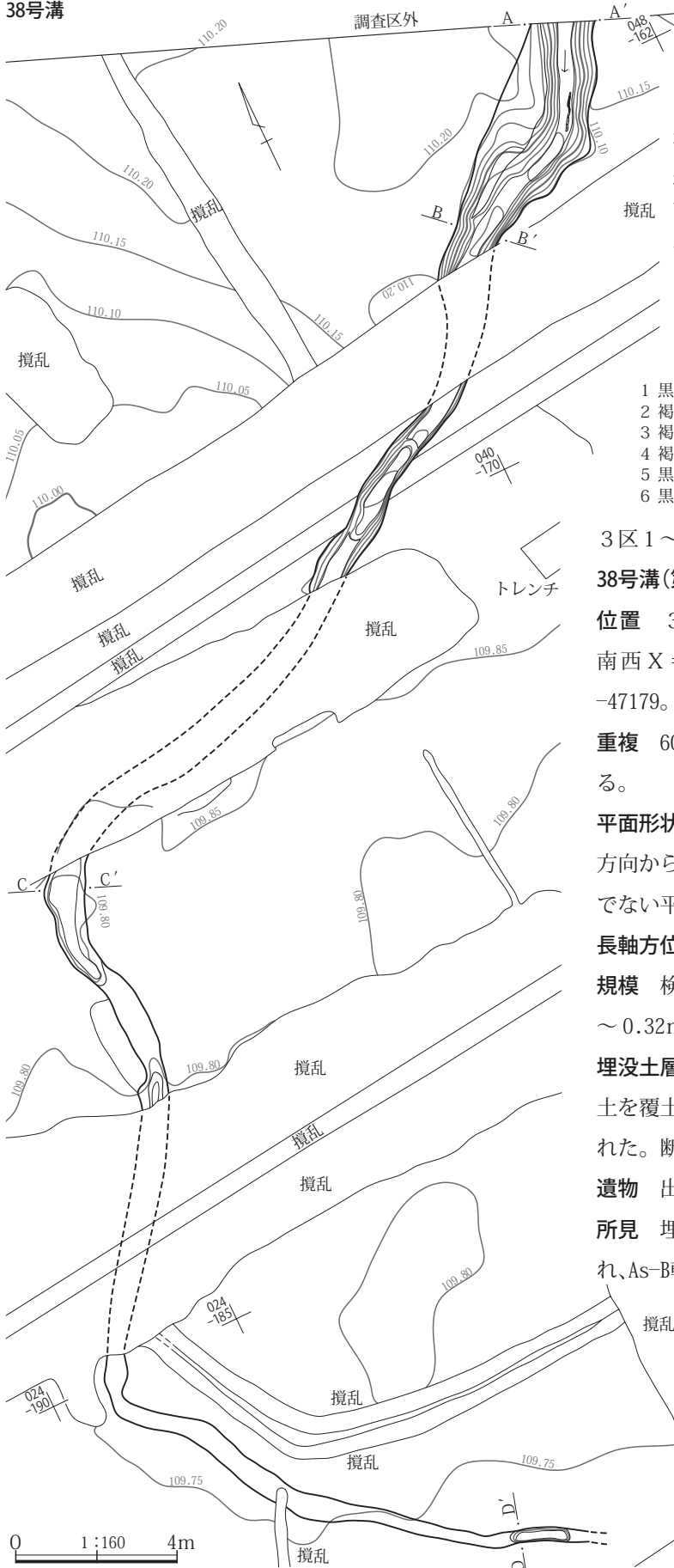
遺物 出土遺物はない。

所見 4面検出ということから、As-B軽石降下以前に掘削されたと考えられる。

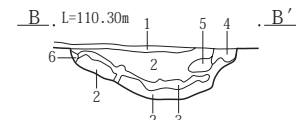


第214図 2区F4面69・70号溝

38号溝



- 1 暗褐色土(10YR3/4) ややしまりあり。As-B軽石を10%含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) ややしまりあり。As-B軽石5%、白色軽石1%を含む。
- 3 褐色土(10YR4/6) しまりあり。As-B軽石層。
- 4 褐灰色土(10YR5/1) しまりあり。粘質土。As-B軽石を5%含む。
- 5 にぶい黄褐色土(10YR5/3) しまりあり。As-B軽石層。



- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。As-B軽石を7%含む。
- 2 褐灰色土(10YR4/1) As-B軽石層。灰黄褐色土と混土。
- 3 褐灰色土(10YR4/1) しまりあり。粘質土。As-B軽石を含む。
- 4 褐灰色土(10YR5/1) しまりあり。やや粘質土。As-B軽石含む。
- 5 黒褐色土(10YR3/1) As-B軽石主体。
- 6 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。粘質土。白色軽石を1%含む。

3区1～3面

38号溝(第215図、PL.75)

位置 3区 F G 3面、北東 X = 42048、Y = -47162 ~ 南西 X = 42023、Y = -47188 ~ 南東 X = 42015、Y = -47179。

重複 60号溝と重複。3区4面の60号溝の直上を流下する。

平面形状 北東方向から蛇行しながら南西方向へ、北西方向から南東方向へやや蛇行する。く字状を呈し、均一でない平面形状を呈す。

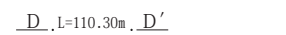
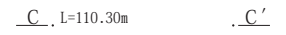
長軸方位 N-53°-E、N-50°-W。

規模 検出全長50.80m、幅0.33~2.50m、深さ0.04~0.32m。底面の比高差は0.17m、南方向が低い。

埋没土層 灰層を伴うAs-B軽石およびAs-B軽石2次堆積土を覆土(褐色土・褐灰色土主体)とする。5層が観察された。断面形は丸底状もしくは皿状を呈す。

遺物 出土遺物はない。

所見 埋没土の状況から、As-B軽石以前の掘削と考えられ、As-B軽石降下時にはほぼ埋没していたと考えられる。



第215図 3区 F G 3面38号溝

39号溝 39号溝(第216図、PL.75)

位置 3区E F 3面、北X=42031、Y=-47158～南X=42011、Y=-47157～南東X=42008、Y=-47154。

重複 なし。

平面形状 北方向から南方向へ直線状。平面形状は均一でない。

長軸方位 N-11°-W。

規模 検出全長24.50m、幅0.60～2.18m、深さ0.03～0.08m。底面の比高差は0.39m、南が低い。

埋没土層 不明。断面形状は浅い逆台形状を呈す。

遺物 出土遺物はない。

所見 時期不明。



第216図 3区E F 3面39号溝

40号溝(第217図、PL.75)

位置 3区F1面、北X=42021、Y=-47192～南X=42011、Y=-47191。

重複 なし。

平面形状 北北東方向から南南西方向へやや蛇行し、平面形状は均一でない。

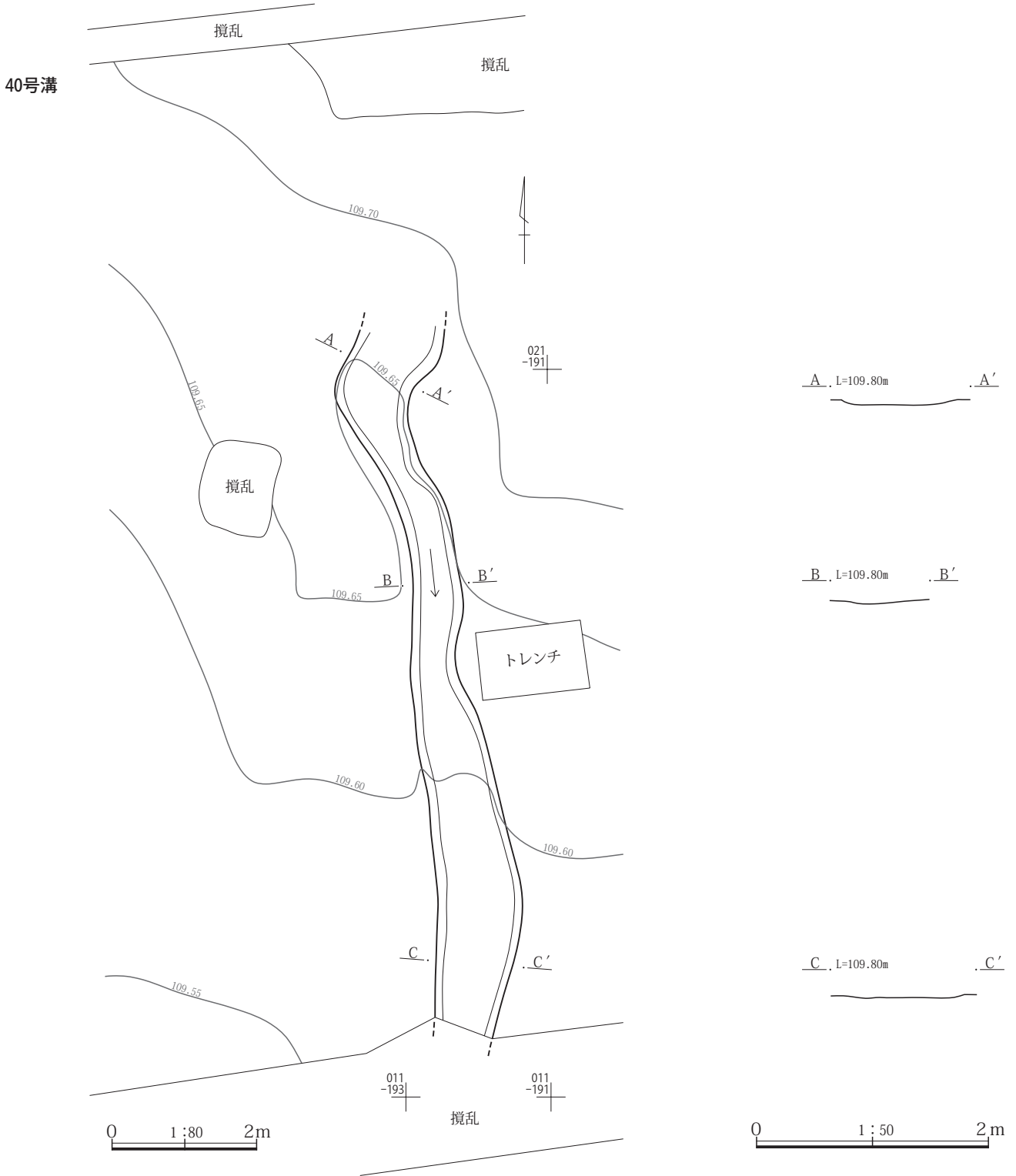
長軸方位 N-8°-W。

規模 検出全長10.3m、幅0.63～1.17m、深さ0.01～0.06m。底面の比高差は0.08m、南が低い。

埋没土層 不明。断面形状は浅い皿状を呈す。

遺物 出土遺物はない。

所見 時期不明。



第217図 3区F1面40号溝

47号溝(第218図、PL.75)

位置 3区E1面、北東X=41990、Y=-47198～南西X=41984、Y=-47200～南東X=41981、Y=-47200。

重複 なし。

平面形状 北北東方向から南南西方向へ、北北西方向から南南東方向へ直線状。く字状を呈す。平面形状は均一でない。

長軸方位 N-24°-E、N-15°-W。

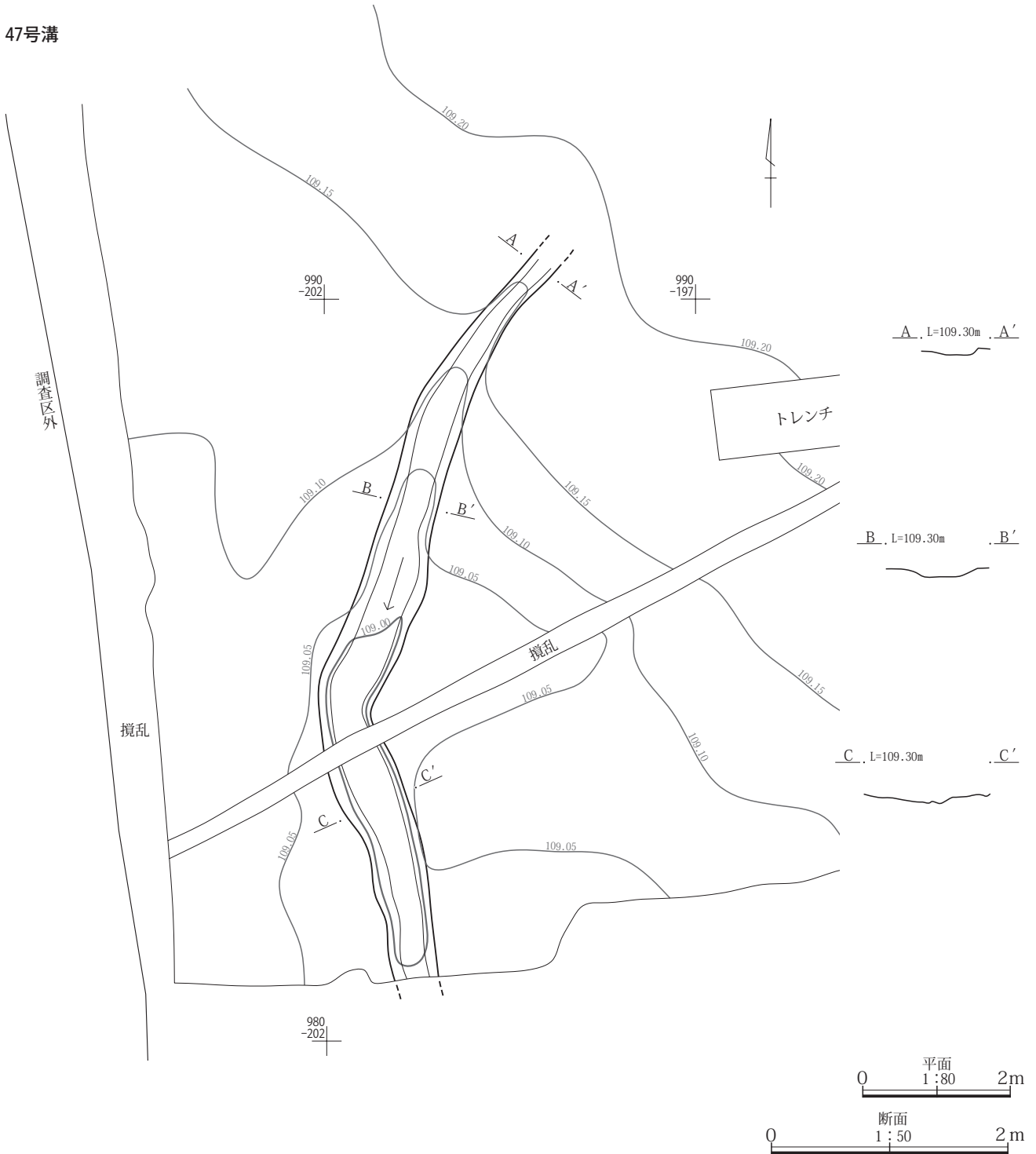
規模 検出全長10.2m、幅0.38～0.87m、深さ0.01～0.09m。底面の比高差は0.18m、南方向が低い。

埋没土層 不明。

遺物 土師器片3片が出土した。

所見 時期不明。

47号溝



第218図 3区E1面47号溝

63号溝(第219・220図、PL. 76)

位置 3区BC3面、北西X=41941、Y=-47189～南
X=41908、Y=-47180。

重複 11号耕作痕群と重複。

平面形状 北北西方向から南南東向へやや蛇行し、平面
形状は均一でない。

長軸方位 N-15°-W。

規模 検出全長36.7m、幅0.27～1.05m、深さ0.04～

0.18m。底面の比高差は0.33m、南が低い。

埋没土層 上層にAs-B軽石に伴う灰層、中層にAs-B軽石、
最下層にAs-B軽石を含む3層が確認された。断面形は丸
底状もしくは皿状を呈す。

遺物 出土遺物はない。

所見 埋没土の観察から、本遺構はAs-B軽石降下時にほ
ぼ埋没し、溝としての機能が失われたと考えられる。



第219図 3区BC3面63号溝1



第220図 3区BC3面63号溝2

3区4面

52号溝(第221図、PL.76)

位置 3区FG4面、北東X=42053、Y=-47197～南
X=42045、Y=-47197～南西X=42040、Y=-47205
～南X=42031、Y=-47206。

重複 53・65号溝と重複。新旧関係不明。

平面形状 北東方向から南西方向へS字状に蛇行。平面
形状は均一でない。

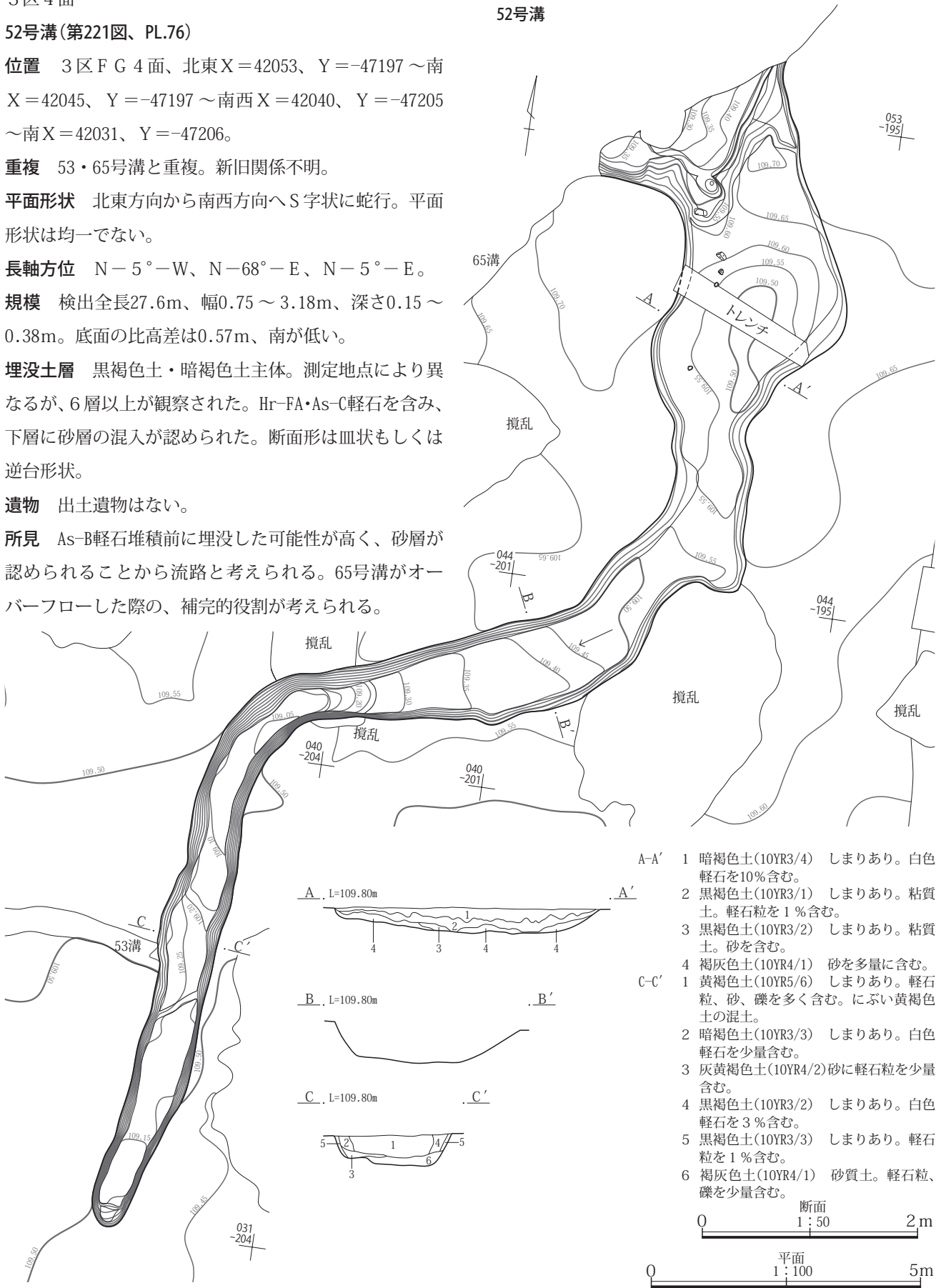
長軸方位 N-5°-W、N-68°-E、N-5°-E。

規模 検出全長27.6m、幅0.75～3.18m、深さ0.15～
0.38m。底面の比高差は0.57m、南が低い。

埋没土層 黒褐色土・暗褐色土主体。測定地点により異
なるが、6層以上が観察された。Hr-FA・As-C軽石を含み、
下層に砂層の混入が認められた。断面形は皿状もしくは
逆台形状。

遺物 出土遺物はない。

所見 As-B軽石堆積前に埋没した可能性が高く、砂層が
認められることから流路と考えられる。65号溝がオー
バーフローした際の、補完的役割が考えられる。



- A-A'
- 1 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり。白色軽石を10%含む。
 - 2 黒褐色土(10YR3/1) しまりあり。粘質土。軽石粒を1%含む。
 - 3 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。粘質土。砂を含む。
- C-C'
- 4 褐灰色土(10YR4/1) 砂を多量に含む。
 - 1 黄褐色土(10YR5/6) しまりあり。軽石粒、砂、礫を多く含む。にぶい黄褐色土の混入。
 - 2 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。白色軽石を少量含む。
 - 3 灰黄褐色土(10YR4/2) 砂に軽石粒を少量含む。
 - 4 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。白色軽石を3%含む。
 - 5 黒褐色土(10YR3/3) しまりあり。軽石粒を1%含む。
 - 6 褐灰色土(10YR4/1) 砂質土。軽石粒、礫を少量含む。

断面 1:50 0 2m

平面 1:100 0 5m

第221図 3区FG4面52号溝

53号溝(第222図、PL.76)

位置 3区F4面、西X=42035、Y=-47211～東X=42035、Y=-47211。

重複 52号溝と重複。重複関係は不明。

平面形状 東方向から西方向へ直線状。

長軸方位 N-87°-E。

規模 検出全長5.30m、幅0.36～0.62m、深さ0.03～0.08m。底面の比高差は0.03m、東が低い。

埋没土層 不明。

遺物 出土遺物はない。

所見 52号溝に流れ込む溝の可能性はある。

53号溝



第222図 3区F4面53号溝

54号溝(第223図、PL.78)

位置 3区E～G 4面、調査時に自然流路との判断から、西辺部の上端と地層断面の調査にとどまる。

重複 60号溝と重複。本遺構が古い。

平面形状 北方向から南方向へ蛇行。64号溝と同一遺構と想定される。

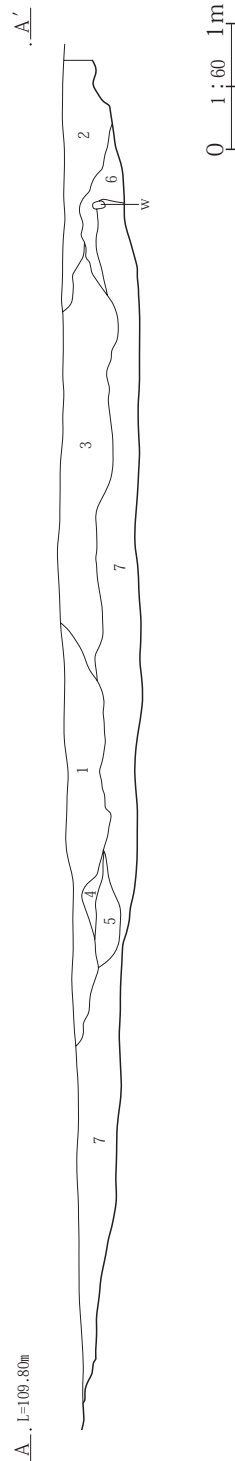
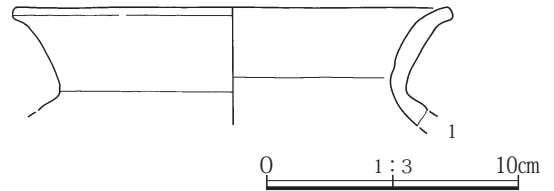
長軸方位 ほぼ南北に主軸を置く。

規模 検出全長140m以上、幅16m以上、深さ0.7m以上。地形的には南に勾配を持ち、低くなる。

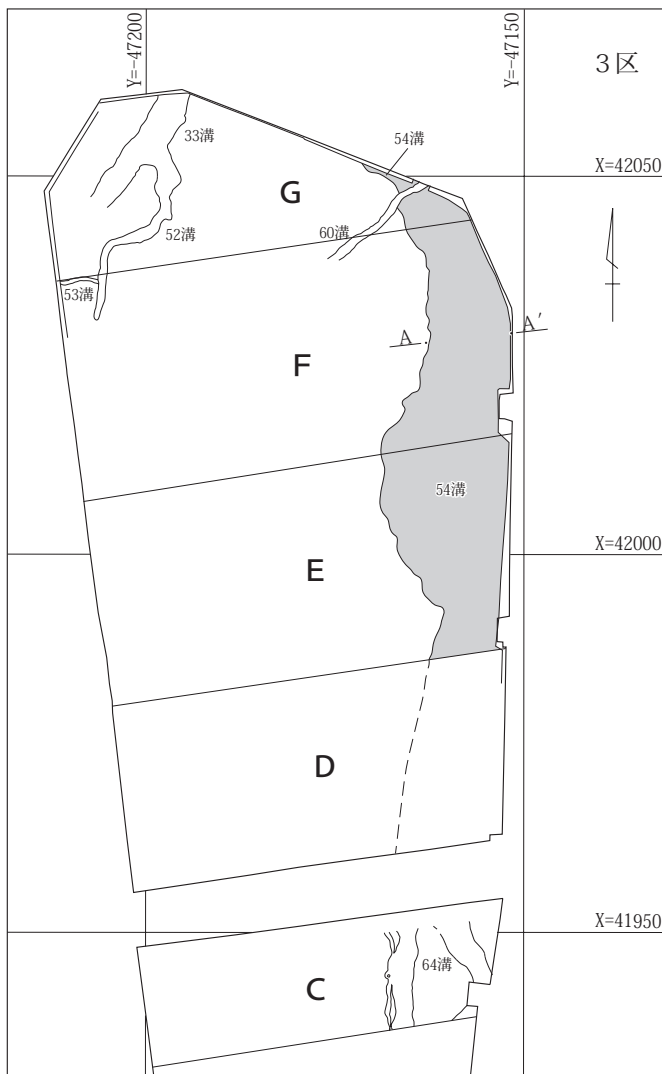
埋没土層 黒色土・灰色土主体。7層が確認された。下層は砂礫層で、流路と考えられる。

遺物 土師器甕1が覆土中から出土した。

所見 本遺構と64号溝と直線状に接続し、一連の自然流路と考えられる。八王子丘陵の西辺部をある時期に流れた小河川と位置づけられる。Hr-FA・As-C軽石降下前の所産と推定される。



- 1 灰色粘質土と砂利層の互層。
- 2 黒色粘質土。
- 3 黒色粘質土。上位に砂利を含む。
- 4 砂礫層。
- 5 灰色粘質土。砂を含む。
- 6 灰色粘質土。砂を含む。
- 7 砂礫層。



第223図 3区E～G 4面54号溝と出土遺物

60号溝(第224図、PL.77)

位置 3区F G 4面、東X=42048、Y=-47162～南西X=42039、Y=-47175。

重複 54号溝と重複。54号溝の直下にあり、ほぼ同位置を走行する。

平面形状 北東方向から南西方向へやや蛇行。

長軸方位 N-50°-E。

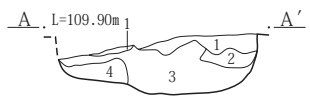
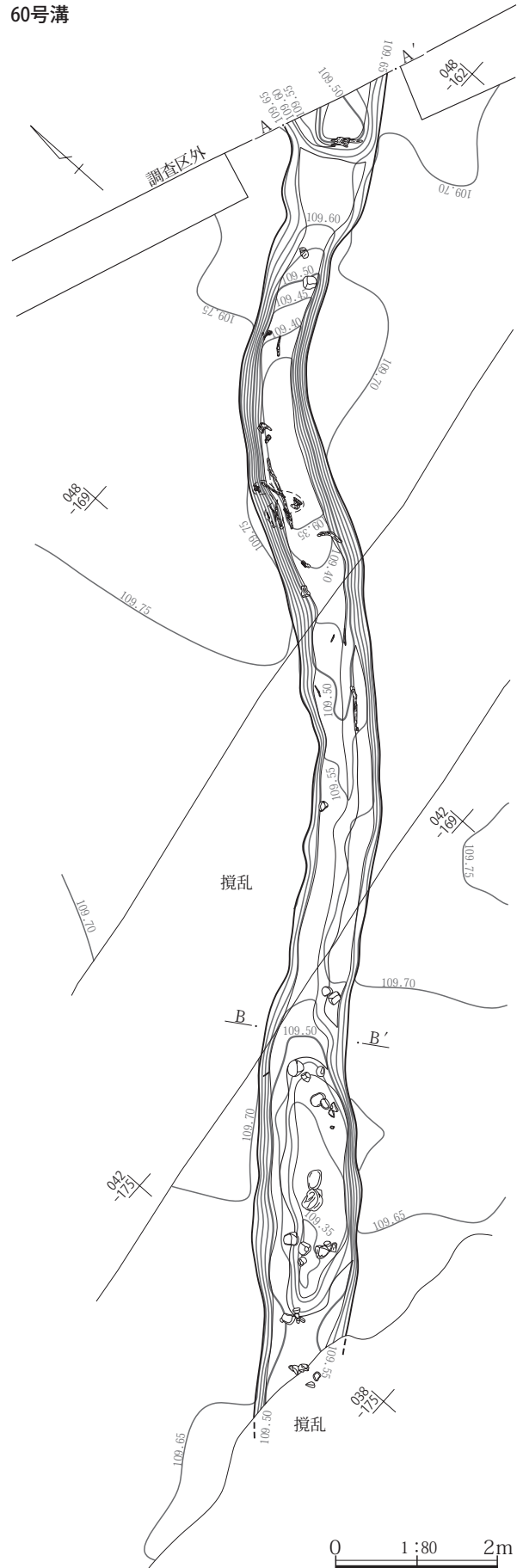
規模 検出全長16.2m、幅0.72～1.32m、深さ0.16～0.38m。底面の比高差に違いはなく、北に下る可能性がある。

埋没土層 黒褐色土主体。4層が観察された。断面形は皿状または逆台形状。下層に砂礫が混入し、水流した可能性が高い。

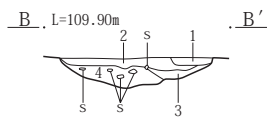
遺物 須恵器杯又は椀1(墨書土器)、他墨書土器1片が覆土中から出土した。

所見 直下にある38号溝は、南流するのに対し、本遺構は北流するものと考えられる。

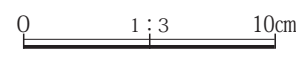
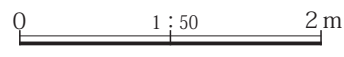
60号溝



- 1 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。粘質土。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。粘質土。砂を少量含む。粘土ブロックを含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) 礫を多く含む。黒褐色粘土ブロックを含む。
- 4 黒褐色土(10YR3/1) 砂質土。



- 1 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。軽石粒を5%含む。小礫を少量含む。
- 2 黒色土(10YR2/1) しまりあり。粘質土。軽石粒を3%、砂礫含む。
- 3 黒褐色土(10YR3/2) しまりあり。粘質土。砂を少量含む。
- 4 黒褐色土(10YR2/3) 砂、礫層。



第224図 3区F G 4面60号溝と出土遺物

65号溝(第225図、PL.77)

位置 3区G 4面、北東X=42059、Y=-47194～南西X=42045、Y=-47205。

重複 52号溝と重複。

平面形状 北東方向から南西方向へ直線状。33号溝(2区4面)と同一遺構で、笠懸1号溝(1区1～5面、2区4面)、5号溝へと続く。

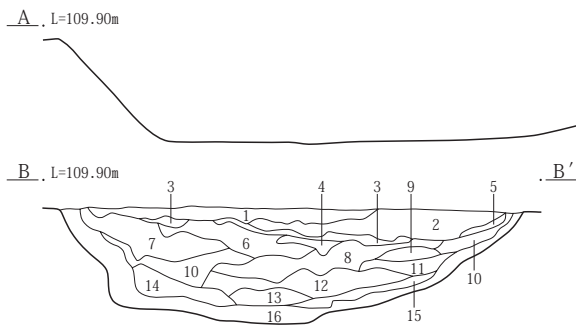
長軸方位 N-36°-E。

規模 検出全長17.4m、幅2.68～4.7m、深さ0.67～0.76m。底面の比高差は0.18m、南が低い。

埋没土層 黒褐色土・暗褐色土主体。16層が観察された。断面形は丸底状もしくは逆台形状を呈す。中層以下に礫を含む砂層が互層を形成する。

遺物 加工痕のある木材が出土した(1は写真のみ)。本遺構と接続する33号溝出土遺物を参照されたい(第205図)。

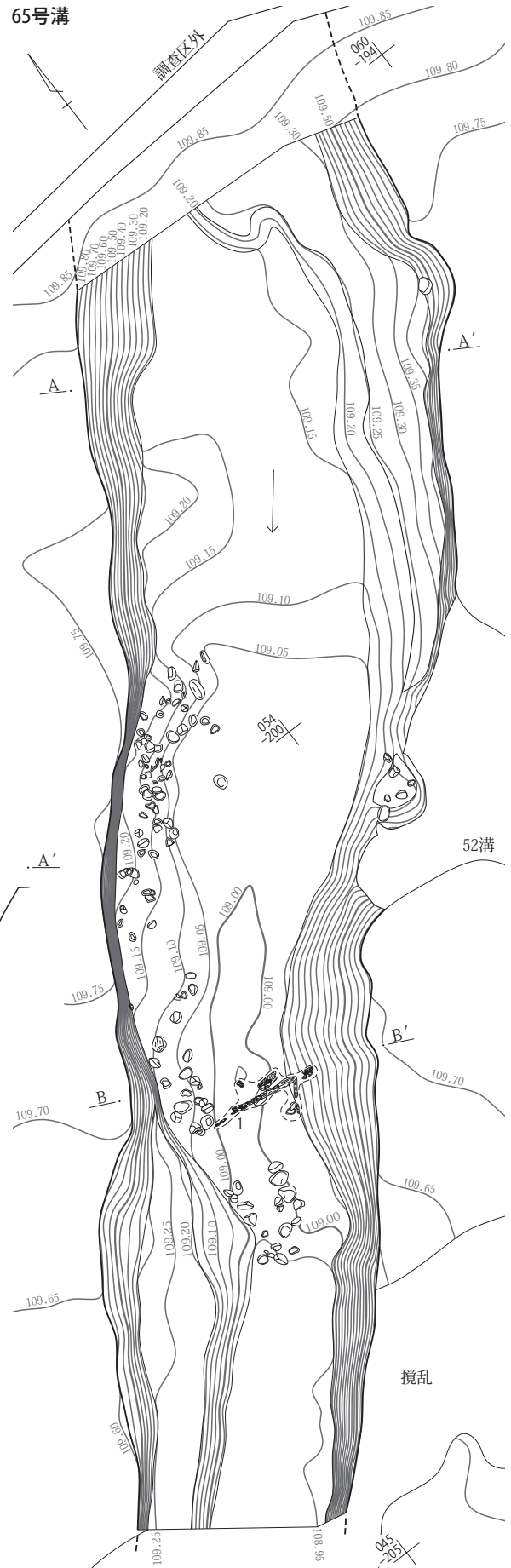
所見 本遺構は2区4面33号溝(2区F東の直線部分)、笠懸1号溝、1区1～5面5号溝と直線状に連続する遺構。埋没土への砂混入など流水の形跡が見られることから、自然流路を利用した灌漑用溝と考えられる。同一遺構である5・33号溝出土遺物や埋没土層から、古墳時代5世紀の前半代の所産とすることができる。



- 1 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。粘質土。軽石粒を7%含む。
- 2 褐色土(10YR4/6) しまりあり。礫を多く含む。黄褐色土を混土。
- 3 黒褐色土(10YR3/2) 粘質土。砂を少量含む。
- 4 黒褐色土(10YR3/2) 粘質土。3層に近似。暗褐色土を混土。
- 5 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色軽石を3%、褐色土の混土。
- 6 暗褐色土(10YR3/3) 砂層。小礫を10%含む。
- 7 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり。礫を少量含む。黄褐色土を混土。
- 8 暗褐色土(10YR3/3) 砂層。小礫を少量含む。
- 9 暗褐色土(10YR3/3) 礫を多く含む。
- 10 暗褐色土(10YR3/3) 砂層。
- 11 黒褐色土(10YR3/1) 粘質土。砂を少量含む。
- 12 暗褐色土(10YR3/3) 砂層。礫を少量含む。
- 13 黒褐色土(10YR3/2) 砂層。礫を多く含む。
- 14 黒褐色土(10YR3/3) 砂層。
- 15 灰黄褐色土(10YR4/2) しまりあり。粘質土。砂を5%含む。
- 16 黒褐色土(10YR3/1) しまりあり。粘質土。砂を3%含む。

0 平面 1:80 2m

0 断面 1:50 2m



64号溝 (第226図、PL.78)

位置 3区B C 4面、北X=41950、Y=-47164~南X=41937、Y=-47164。

重複 424号ピットと重複。本遺構が新しい。

平面形状 北方向から南方向へ蛇行。中洲あり。54号溝と同一遺構で、その下流域にあたる。自然流路との判断から、部分調査にとどまる。

長軸方位 N-1°-W。

規模 検出全長13m、幅3.16m以上、深さ0.3~0.38m。底面の比高差は0.21m、南が低い。

埋没土層 暗褐色土主体。9層が確認された。最上層部にHr-FA・As-C軽石を含む。下層は砂礫層。

遺物 図示する出土遺物はない。0.4kgの土師器・須恵器片が覆土中より出土した。

所見 本遺構と54号溝と直線状に接続する。Hr-FA・As-C軽石降下前の所産と推定される。

- B-B'
- 1 黒色粘質土。しまりあり。白色軽石を含む。
 - 2 黒色粘質土。1層に近似。白色軽石を少量含む。
 - 3 暗褐色土。しまりあり。砂を含む。
 - 4 暗褐色砂礫層。
 - 5 暗褐色砂礫層。4層よりやや礫大きい。
 - 6 黒灰色粘質土。
 - 7 灰色砂礫層。
- C-C'
- 1 黒灰色粘質土。白色軽石を含む。
 - 2 暗褐色粘質土。
 - 3 灰褐色粘質土。
 - 4 暗褐色粘質土。
 - 5 砂礫層。
 - 6 茶褐色砂質土。
 - 7 砂礫層。5層より小さい。
 - 8 黒灰色粘質土。
 - 9 灰褐色粘質土。

A. L=108.50m

B. L=108.50m

C. L=108.50m

0 1:50 2m



第226図 3区B C 4面64号溝

第9表 溝計測一覧表

挿図 第 図	写真 図版 PL.	号	区	面	X=41…、42… Y=-47…	X=41…、42… Y=-47…	長軸 (m)	短軸 (cm)	深さ (cm)	主軸方位	備考
第172・173図	PL.3-2・62	1	2	B～F	1	北41983 -47254～ 南41872 -47239	113.5	7～145	1～30	N-8°-W	9溝と重複。
第156・157図	PL.57	2	1	D・E	2	北42016 -47334～ 南42008 -47329	19	33～45	7～18	N-14°-W	1竪穴、5住と重複。
第158図	PL.58	3	1	F	2	北42076 -47306～ 南42082 -47306	9.1	110～164	54～74	—	流路と重複。南東から北西、 42081-47307で北東。
第156・157図	PL.57	4	1	D・E	2	北東42042-47314～ 南東41987-47288	120	85～162	7～40	N-15°-W N-75°-E	1竪穴と重複。東から西、 42037-47335で南。41985- 47327で東。笠B区溝と接続。
第159～161図	PL.58・59	5	1	C・D	4	北東41965-47283～ 南西41927-47313	49	200～320	14～58	N-37°-E	笠1号溝と接続。
第174図	PL.63	6	2	B	1	東41892 -47248～ 西41890 -47255	7	15～30	5～7	N-80°-E	
第162図	PL.46・59	7	1	D	4	北西41988-47352～ 南41976 -47338	24.6	32～65	4～20	—	西から東、41989-47340で 南。
第177図	PL.63	8	2	A・B	2	北41891 -47240～ 南41856 -47237	36.3	25～70	5～17	N-4°-W	
第175図	PL.63	9	2	A・B	1	東41874 -47237～ 南41855 -47240	22.9	30～87	6～32	—	東から西、41874-47242で 南。
第164・165図	PL.24・25・ 60・61	10	1	C・D	2	西41961 -47329～ 東41961 -47283	46.2	57～174	15～51	N-89°-W	
第166・167図	PL.60・61	11	1	D	2	西41969 -47326～ 南東41967-47284	45.2	37～75	14～30	N-80°-E N-89°-E	西から東、41971-47306で 南、41967-47305で東。15 溝と重複。
第163図	PL.61	12	1	D	2	西41984 -47303～ 東41985 -47287	16.8	30～72	8～18	N-86°-E	69坑と重複。
第168図	PL.60・61	13	1	D	2	西41966 -47326～ 東41964 -47298	29.4	29～70	6～24	N-88°-W	10溝、25住と重複。
第169図	PL.60・61	14	1	D	2	東41965 -47297～ 西41964 -47306	9.4	43～73	7～11	N-88°-E	
第170図	PL.60・61	15	1	D	2	西41967 -47305～ 東41968 -47285	20.1	43～70	25～29	N-87°-E	11溝と重複。
第178図	PL.63	16	2	B	2	北41898 -47247～ 南41887 -47243	12.1	22～60	3～9	N-16°-W	
第179図	PL.64	17	2	A	2	北東41865-47228～ 南西41856-47232	10.3	16～33	2～11	N-28°-E	
第189図	PL.66	18	2	A	3	西41865 -47220～ 東41868 -47209	11.3	31～53	2～6	N-79°-E	2面で調査。19溝と重複。
第189図	PL.66	19	2	A	3	西41867 -47217～ 東41867 -47204	13.4	29～57	2～9	N-88°-E	2面で調査。18溝と重複。
第190図	PL.66	20	2	A・B	3	北41898 -47218～ 南41869 -47219	28.8	23～63	1～4	N-1°-E	2面で調査。
第188図	PL.65	21	2	B	2	北東41897-47241～ 南西41891-47255	15.7	130.00	6～26	N-69°-E	2・3面(中間面)。1面1 溝・2面16溝、116・117坑 と重複。
第191図	PL.4-8	22	2	F・G	3	北42017 -47226～ 南東41999-47259	23	67～125	3～10	N-14°-E N-52°-W	北から南、42005-47268で 南東。
第180図	PL.4-8	23	2	G・H	2	北西42038-47258～ 南東42010-47250	29	16～40	1～6	N-14°-W	
第181図	PL.64	24	2	F・G	2	北東42017-47234～ 南西42004-47242	16	30～42	2～5	N-31°-E	
第182図	PL.64	25	2	F	2	北西42006-47259～ 南東41999-47256	7.5	23～46	2～5	N-16°-W	
第197～199図	PL.68	26	2	A～E	4	北41958 -47258～ 南41855 -47235	113.5	22～280	6～26	—	北から南、41905-47250 で東、41904-47242で南。 27・28溝と重複。
第197～199図	PL.69	27	2	A・B	4	北41895 -47239～ 南41862 -47232	35.3	17～63	5～9	N-10°-W	26溝と重複。
第200図	PL.67	28	2	B・C	4	北東41919-47254～ 南西41902-47260	18.2	18～32	6～11	N-18°-E	26溝と重複。
第201図	PL.69	29	2	F・G	4	北西42009-47268～ 南東41996-47257	18	18～46	5～17	N-40°-W	
第202・203図	PL.69	30	2	C	4	北41927 -47253～ 南41919 -47253	9	20～73	3～8	N-3°-W	
第202・203図	PL.69	31	2	C	4	北41926 -47250～ 南41918 -47250	7.8	20～57	1～2	N-3°-E	
第202・203図	PL.70	32	2	C	4	北41920 -47248～ 南41913 -47248	7.1	15～46	2～6	N-4°-W	
第204・205図	PL.70・71	33	2	E～G	4	北東42025-47229～ 南西41949-47245	93.5	184～708	26～80	—	45・46溝と重複。北東か ら南西、41995-47250で南 東。41975-47235で南から 南西。笠1号溝と接続。
第206図	PL.71	34	2	F	4	北西42006-47273～ 南東41991-42265	16.7	43～90	9～16	N-29°-W	
第207図	PL.71	35	2	E～G	4	北東41979-47257～ 南西41955-47261	25.7	22～120	3～18	N-11°-E	
第183図	PL.64	36	2	E	2	北41978 -47234～ 南41961 -47232	16.9	50～70	1～7	N-6°-W	
第192図	PL.67	37	2	E	3	北西41981-47241～ 南東41973-47227	16.6	22～57	1～6	N-60°-W	
第215図	PL.75	38	3	G	3	北東42048-47162～ 南西42015-47179	50.8	33～250	4～32	N-53°-E N-50°-W	北東から南西、42023- 47188で南東。4面60溝と 重複。

第3章 確認された遺構と遺物

挿図 第 図	写真 図版 PL.	号	区	面	X=41…、42… Y=-47…	X=41…、42… Y=-47…	長軸 (m)	短軸 (cm)	深さ (cm)	主軸方位	備考
第216図	PL.75	39	3	E・F	3	北42031 -47158 ~ 南東42008 -47154	24.5	60 ~ 218	3 ~ 8	N-11°-W	北から南、42011-47157で南東。
第217図	PL.75	40	3	F	1	北42021 -47192 ~ 南42011 -47191	10.3	63 ~ 117	1 ~ 6	N-8°-W	
第184図	PL.64・65	41	2	H・I	2	北42060 -47260 ~ 南42029 -47261	31.1	12 ~ 40	1 ~ 11	N-2°-E	42溝、6畑と重複。
第185図	PL.64・65	42	2	I	2	北西42070 -47261 ~ 南42052 -47261	24.1	13 ~ 47	3 ~ 11	—	北西から南、42060-47256で南西、42057-47262で南。41溝と重複。
第186図	PL.65	43	2	I	2	西42075 -47254 ~ 東42076 -47249	5.5	45 ~ 90	1 ~ 5	N-84°-E	
第187図	PL.65	44	2	I	2	北42099 -47260 ~ 南42090 -47260	9.8	30 ~ 56	4 ~ 7	N-3°-W	
第208・209図	PL.72	45	2	E・F	4	北東41993-47235 ~ 南41954 -47245	44.7	30 ~ 121	3 ~ 21	N-48°-E N-4°-E	北東から南西、41982-47245で南。33・46溝と重複。
第204・205図	PL.70・71	46	2	F	4	北42005 -47240 ~ 南41992 -47241	51.5	41 ~ 218	31 ~ 59	N-7°-E	33・45溝と重複。
第218図	PL.75	47	3	E	1	北東41990-47198 ~ 南41981 -47200	10.2	38 ~ 87	1 ~ 9	—	北東から南西、41984-47200で南東。
第193図	PL.67	48	2	I	3	西42058 -47248 ~ 東42059 -47242	6.4	34 ~ 62	1 ~ 6	N-82°-E	
第194図	PL.67	49	2	I	3	北東42073-47232 ~ 南西42067 -47235	7.3	12 ~ 44	2 ~ 5	N-19°-E	
第195図	PL.67	50	2	I	3	西42070 -47249 ~ 東42070 -47239	9.6	30 ~ 59	2 ~ 5	N-85°-E	
第196図	PL.67	51	2	I	3	西42077 -47239 ~ 東42078 -47234	5.3	55 ~ 70	3 ~ 5	N-80°-E	
第221図	PL.76	52	3	G	4	北東42053-47197 ~ 南西42031 -47206	27.6	75 ~ 318	15 ~ 38	—	33溝と重複。北から南、42045-47197で南西。42040-47205で南。
第222図	PL.76	53	3	F	4	西42035 -47211 ~ 東42035 -47206	5.3	36 ~ 62	3 ~ 8	N-87°-E	52溝と重複。
第223図	PL.78	54	3	E~G	4		70			—	自然流路。個別図作成しない。
第210・211図	PL.72	55	2	I	4	北西42081-47271 ~ 南東42068 -47258	19.1	26 ~ 48	4 ~ 11	N-45°-W	56溝と並走。
第210・211図	PL.72	56	2	I	4	北西42082-47280 ~ 南東42065 -47255	32.2	48 ~ 100	6 ~ 13	N-45°-W	3竪、57溝と重複。南西から北東、42083-47278で南東。
第210・211図	PL.72	57	2	I	4	北西42081-47280 ~ 南東42063 -47257	30.3	45 ~ 218	5 ~ 36	—	56溝と重複。北西部分59溝を57溝の延長とした。南西から北東、42082-47278で南東。
第210・211図	PL.72	58	2	I	4	北西42064-47254 ~ 42061 -47251	6.5	51 ~ 160	5 ~ 21	N-6°-W	3竪穴、56・57溝と重複。西から東、42064-47251で南。
欠番		59									59溝を57溝に変更。
第224図	PL.77	60	3	F・G	4	東42048 -47162 ~ 42039 -47175	16.2	72 ~ 132	16 ~ 38	N-50°-E	
第212図	PL.73	61	2	I	4	北東42091-47265 ~ 南西42084 -47273	11.2	24 ~ 42	4 ~ 12	N-49°-E	
第213図	PL.73	62	2	I	4	北東42063-47245 ~ 南西42054 -47261	23.2	14 ~ 63	2 ~ 11	N-61°-E	423Pと重複。
第219・220図	PL.76	63	3	B・C	3	北西41941-47189 ~ 南41908 -47180	36.7	27 ~ 105	4 ~ 18	N-15°-W	
第226図	PL.78	64	3	B・C	4	北41950 -47164 ~ 南41937 -47164	13	316 ~ 450	30 ~ 38	N-1°-W	424Pと重複。推定長：A溝23.6m・B溝27.5m。
第225図	PL.77	65	3	G	4	北東42059-47194 ~ 南西42045 -47205	17.4	268 ~ 473	67 ~ 76	N-36°-E	調査は33溝。65溝に変更。笠1号溝と接続。
第180図	PL.4-8	66	2	H・I	2	北東42025-47248 ~ 南西42022 -47250	2.8	40 ~ 52	2 ~ 3	N-30°-E	
第182図	PL.4-8	67	2	F	2	北42006 -47263 ~ 南41998 -47262	8.3	26 ~ 50	2 ~ 4	N-6°-W	
第176図	PL.63	68	2	I	1	北東42087-47272 ~ 南西42069 -47284	21	34 ~ 70	3 ~ 17	N-34°-E	石組暗渠排水を、68溝に変更。
第214図	PL.5-3	69	2	F	4	北西42001-47268 ~ 南東41998 -47264	4.7	26 ~ 43	1 ~ 4	N-53°-W	
第214図	PL.5-3	70	2	F	4	北西42001-47263 ~ 南東41998 -47262	2.7	15 ~ 23	1 ~ 2	N-17°-W	

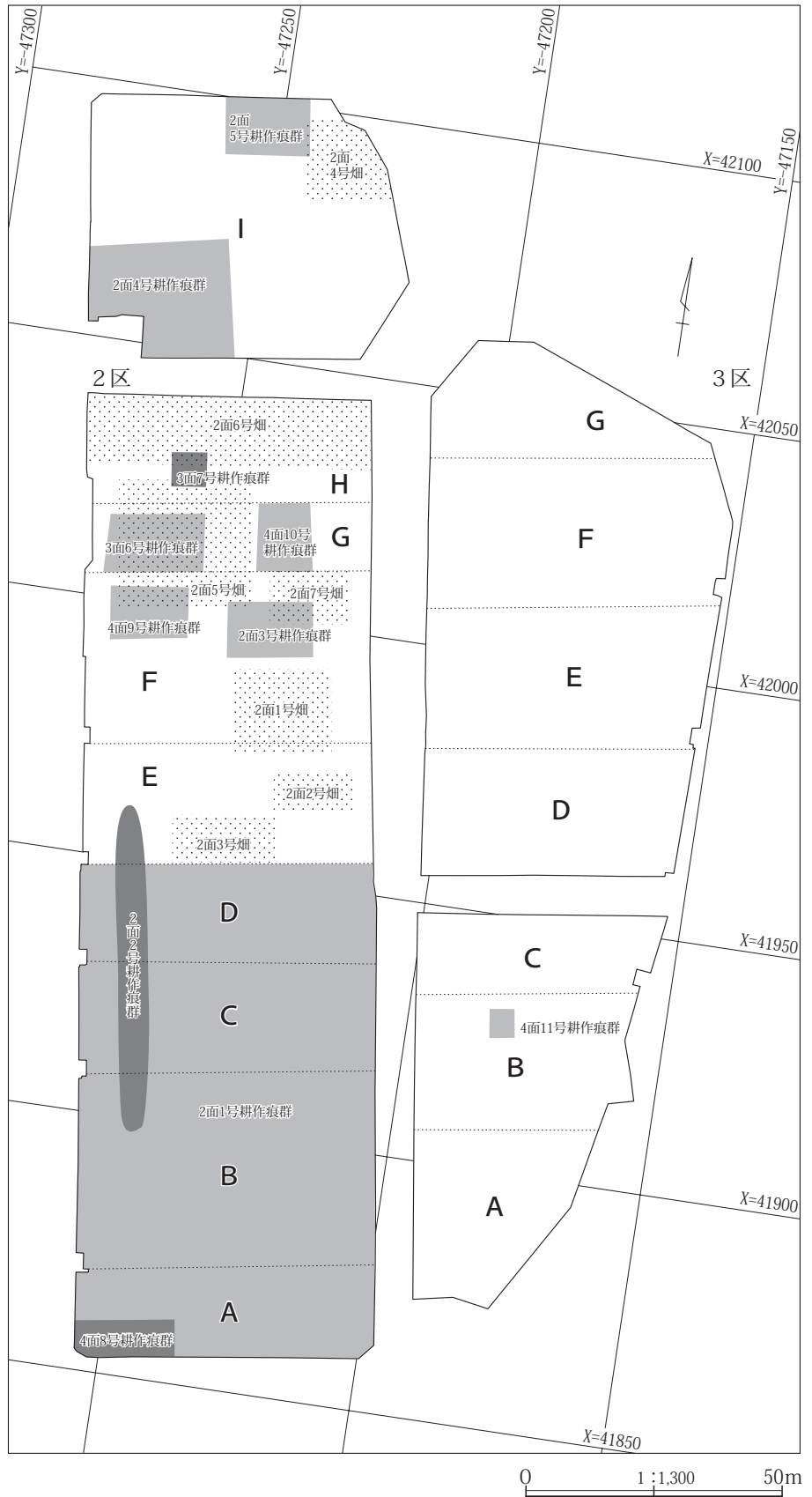
10 耕作痕群・畑

本遺跡2区2面・3面・4面、3区4面から、耕作痕群11基、畑と考えられる遺構7群を検出した。

2区2面からは、おびただしい数のピット状の掘り込みと、極めて浅い数条の並行する溝状の掘り込みが検出されている。前者のピット状の掘り込みについては、鋤または鍬による耕作痕と考えられる。後者の浅い並行する溝状の掘り込みは、畑の畝間の痕跡と考えた。同じ耕作の痕跡ではあるが、前者を耕作痕、後者を畑と峻別して報告する。

これらの耕作痕群・畑は、As-B軽石混土層から検出されている。As-B軽石降下後のものについては、「畑」と呼称するものとした。

2区3面からは6・7号耕作痕群が検出した。耕作痕の形状は、2面検出の耕作痕とほぼ同様である。2区4面からは、8～10号耕作痕群、3区4面より11号耕作痕群が検出した。4面検出の耕作痕は、前述の2面・3面の耕作痕の形状と異なる。不定形な帯状、楕円または長円状を呈するもので、小ピットや凹凸のあるものもある。



第227図 2・3区耕作痕群・畑位置図

耕作痕群(第227図、PL.3-3・4)

2区2面

密集度の濃淡はあるものの、2区のほぼ全域から検出されている。一定のまとまりがあるものについては、その範囲を示して遺構番号で呼称するが、散漫に分布するものについては一括して1号耕作痕群として報告する。

耕作痕の形状は、円形・三角形・方形など多様で、大きさも0.05～0.2mと一律でない。農耕具の種類および使い方に起因するものと考えられる。

1号耕作痕群(第228図、PL.79・80)

位置 2区A～D 2面、2号耕作痕を除く2区A～Dにあるすべての耕作痕を一括する。

規模・形状 2区Aでは、いくつかの耕作痕群がある。9号溝西側、8・9号溝間、8・17号溝間、18・19号溝の南側と北辺部に認められる。8・9号溝間と8・17号溝間ものは濃密な分布を示し、18・19号溝の北辺部は両溝に沿って分布する。2区Bでは、南東部で畑の区画を思わせる一群、南中央部に南北に列状に分布する一群、1号溝に沿い列状に分布する2つの群、21号溝の東に密集する一群のほか、2区B全面に散在する耕作痕群がある。2区Cでは、1号溝の東西に密集する一群、中央部南に東西に列状に分布する一群、南北に列状に分布する一群のほか、全面に散在するものがある。2区Dでは、畑の区画を思わせる東西に列状に並ぶ一群と南北に列状に並ぶ一群、1号溝の東西に密集する一群のほか、全面に散在するものがある。

所見 昭和62年の土地改良以前は、旧地割りに沿った耕作痕群はないが、溝付近の耕作痕群は溝との関連性が高い。As-B軽石混土層下面の検出で、中・近世に推定される。

2号耕作痕群(第228図、PL.79・80)

位置 2区B～E 2面、調査区西寄りに並ぶ。

規模・形状 2区B～Eにかけて、幅2.45～2.7m、南北長軸62mの帯状に密集する耕作痕群とその西側に断片的に密集して並行する一群である。耕作痕の様相は、列状に並ぶということではなく、耕作が複数回繰り返されたような痕跡と捉えられる。

所見 土地改良以前の旧農道および1号溝の中間にあり、それらと並行している。南北軸が長く、旧地割りと

は一致していない。中・近世に推定される。

3号耕作痕群(第229図、PL.4-8・86)

位置 2区F 2面、F中央東寄りに分布。

規模・形状 東西15m、南北6.3m内に散在する。耕作痕群の中では、分布密度が薄い。7号畑が北側に、南側に1号畑がある。

所見 顕著な傾向が認められない。中・近世に推定される。

4号耕作痕群(第231図、PL.4-2・80)

位置 2区I 2面、2区I西半部に濃密に分布する。

規模・形状 大きく5群に分けられる。北側に2群、中央に1群、南側に2群が認められる。密集する様相は、各群ともに東西方向に列状に痕跡を残すが、地境のような形跡は認められない。また、耕作痕群の列に沿って、畝間状の掘り込みが所々で確認されている。

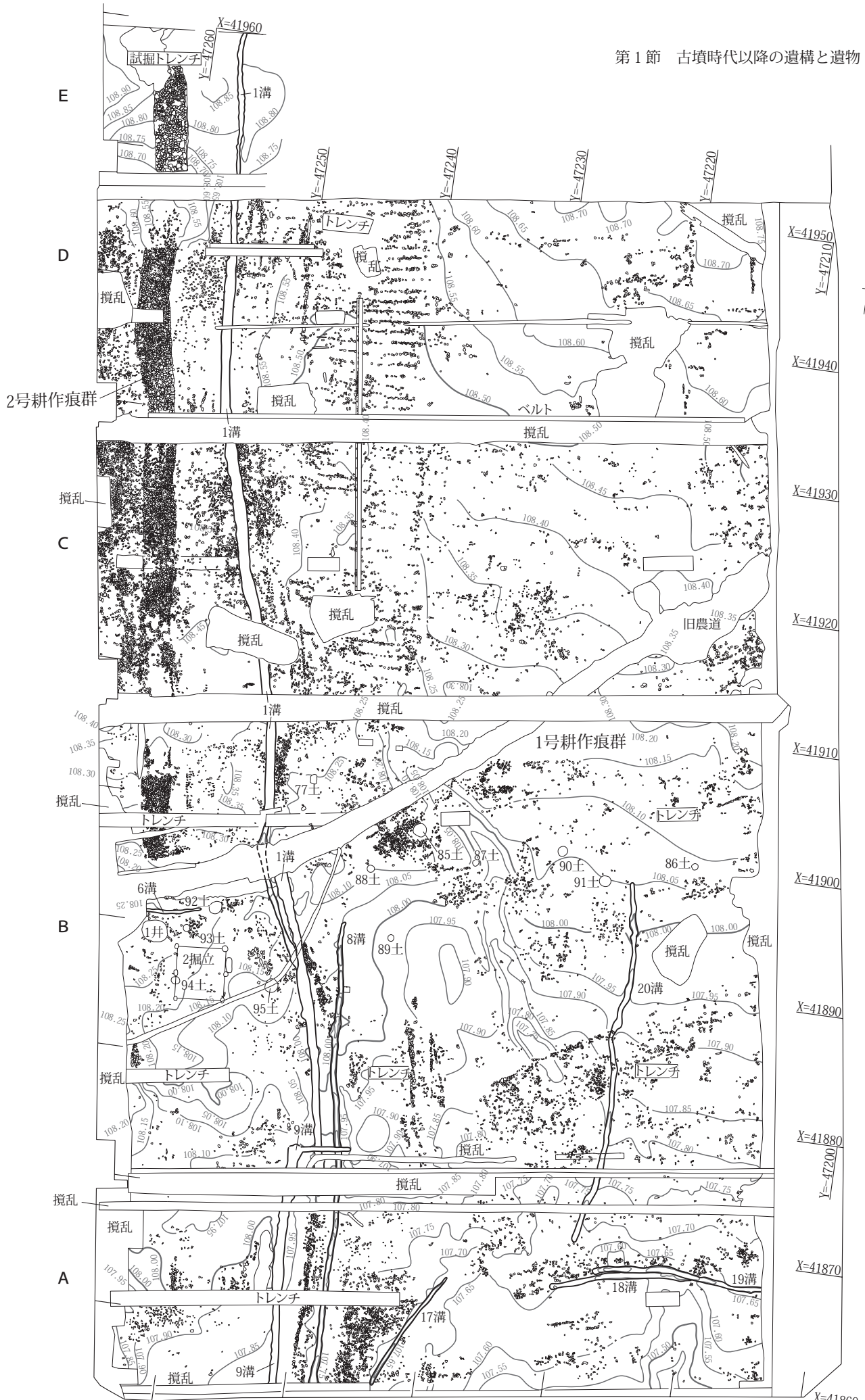
所見 本遺構の東に隣接して、41・42号溝、3号井戸があり、同じ2面からの検出ということもあって、関連性が考えられる。また、本遺構の北辺の東西方向は、土地改良前の地割りに沿うか平行である可能性がある。中・近世に推定される。

5号耕作痕群(第230図、PL.4-3・80)

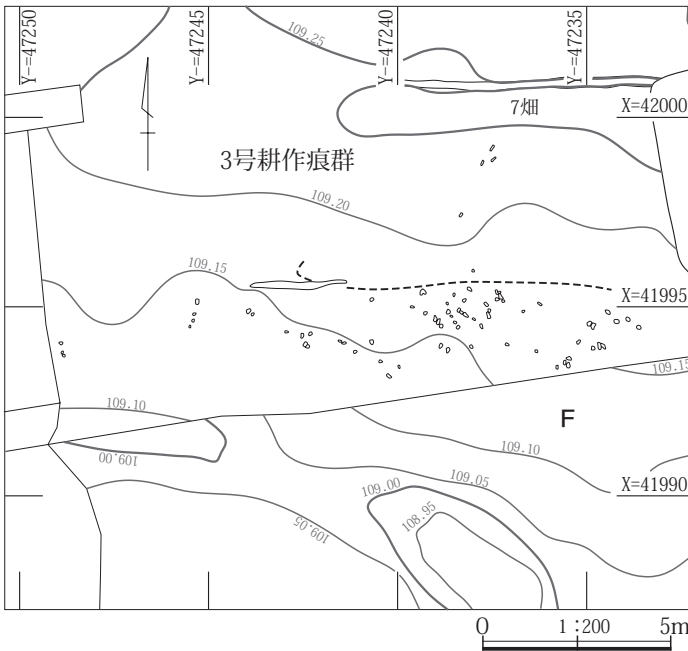
位置 2区I 2面、2区I北中央付近、44号溝と2号井戸の間に広がる。

規模・形状 南北の列状に並行する。南北軸は西に30°程振れる。

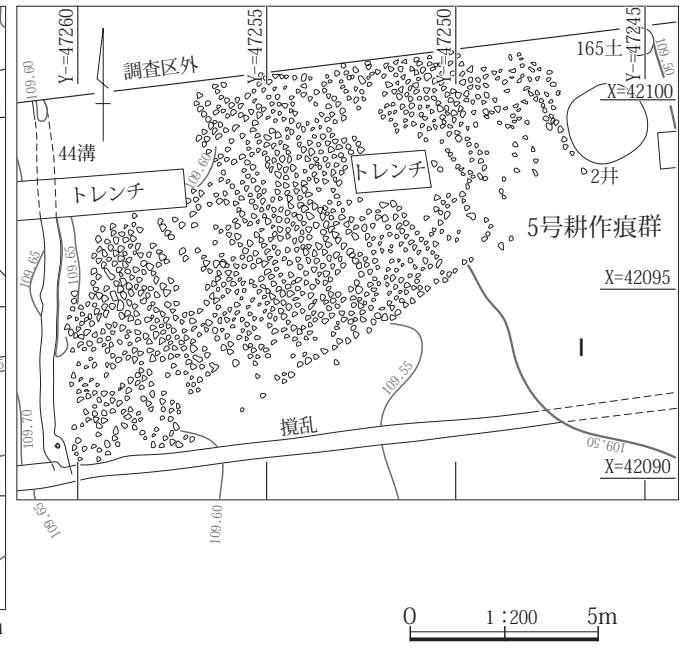
所見 本遺構の南辺は、土地改良前の地割りに沿う可能性がある。中・近世に推定される。



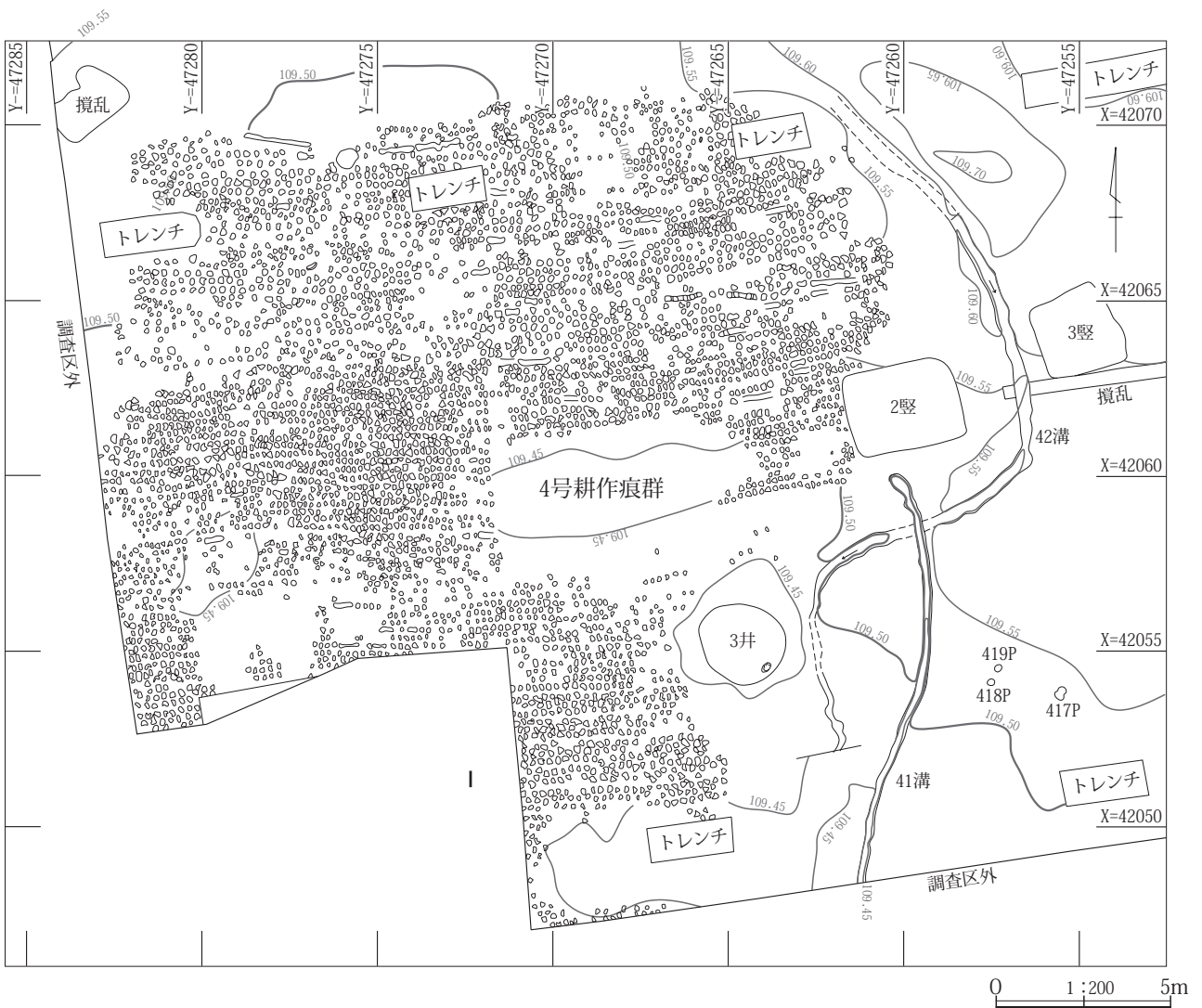
第228図 2区A~E 2面1・2号耕作痕群



第229図 2区F 2面3号耕作痕群



第230図 2区I 2面5号耕作痕群



第231図 2区I 2面4号耕作痕群

2区3面

6号耕作痕群(第232図、PL.4-8・81・86)

位置 2区G3面、2区G北西部22号溝東側。

規模・形状 東西方向に14条が列状に並行する。東西軸長5.2～6.9mを計る。

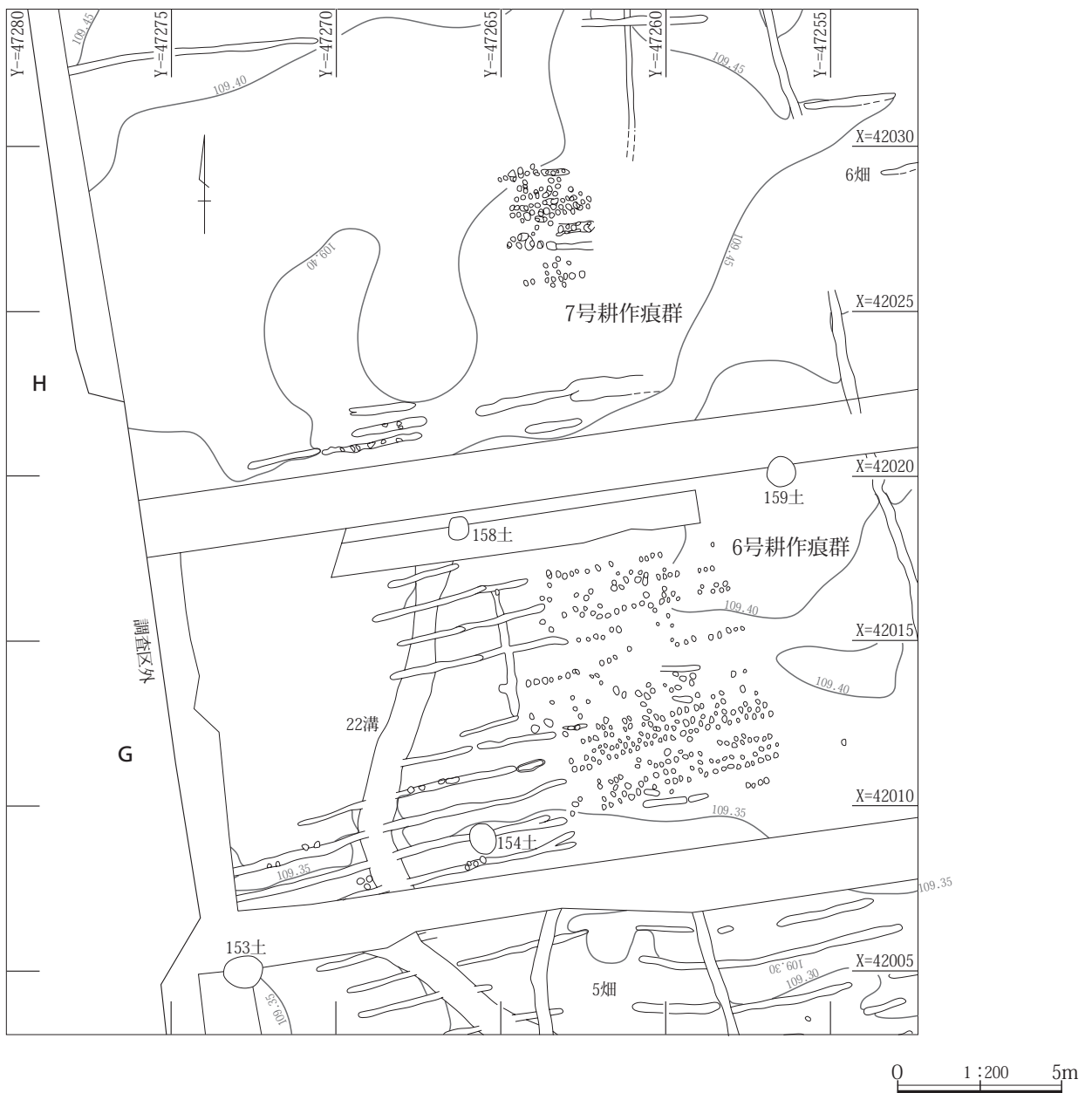
所見 3面検出のため、As-B軽石が純層的な堆積をする。耕作痕の分布範囲は、畑の地割りを表している可能性がある。本遺構の西に隣接する22号溝は、最下層にAs-B軽石が純層堆積していることから、本遺構と同時期に存在したと言え、関連遺構と判断できる。

7号耕作痕群(第232図、PL.4-8・81・86)

位置 2区H3面、2区H中央西寄りに位置する。

規模・形状 東西方向に13～14条が列状に並行する。東西軸長0.8～2.4mを計る。

所見 3面検出のため、As-B軽石が純層的な堆積をする。耕作痕の分布範囲は、畑の地割りを表している可能性がある。近隣に2面検出の41号溝があるが、関連性は定かでない。



第232図 2区G3面6号耕作痕群、H3面7号耕作痕群

2区4面

2区および3区で4面検出の耕作痕は、As-B軽石混土層除去後の下面で確認された遺構である。As-B軽石を覆土中に含まず、As-B軽石降下時には埋没していた遺構でもある。

8号耕作痕群(第233図、PL.81)

位置 2区A4面、2区A西寄りに位置する。

規模・形状 不定型な帯状に画され、南北方向・東西方向に交差する形状で、掘り込みは浅い。若干の凹凸が認められ、南北3.3m、東西8mの範囲に広がりを見せる。農耕具等の特定は困難である。

所見 4面検出のため、古墳時代以降。As-B軽石降下までの遺構と推定される。



第233図 2区A4面8号耕作痕群

9号耕作痕群(第234図、PL.5-3・86)

位置 2区F 4面、2区中央より西に位置する。

規模・形状 形状は、円形状、楕円状、長円状、溝状などがあり、小ピットを伴い凹凸のあるものなど、大きさも多様。東西方向7m、南北方向8.8mの範囲に分布する。円形状・楕円状・長円状のものなど列をなす。

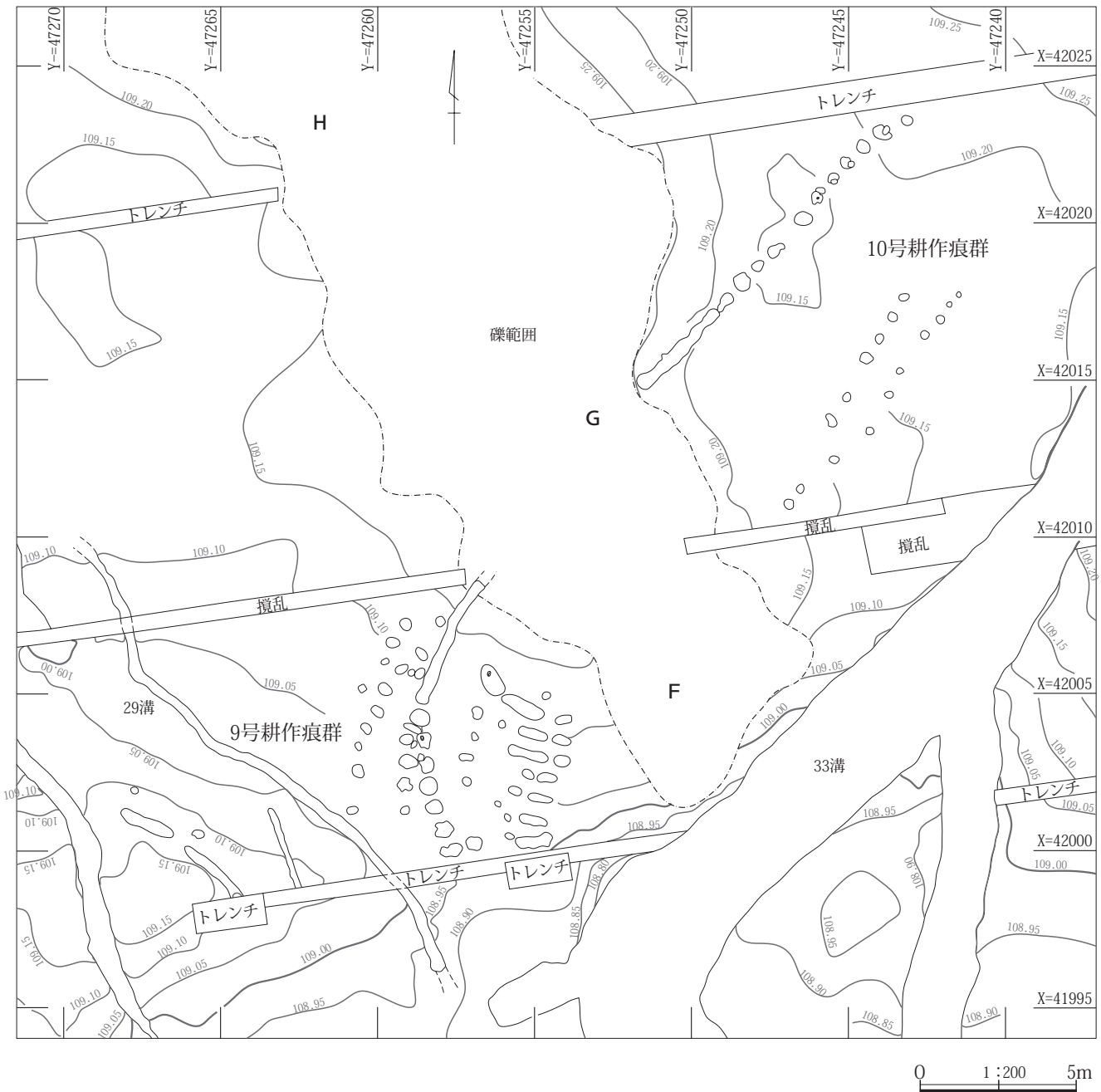
所見 4面検出のため、古墳時代以降、As-B軽石降下までの遺構と推定される。

10号耕作痕群(第234図、PL.5-3・81)

位置 2区G 4面、2区G中央よりやや西寄りに位置する。

規模・形状 楕円状の浅い掘り込みが3条の列をなす。小ピットを伴うものもある。北側の列12m、中央の列4.9m、南側の列8.8mを計る。

所見 4面検出のため、古墳時代以降、As-B軽石降下までの遺構と推定される。



第234図 2区F 4面9号耕作痕群、G 4面10号耕作痕群

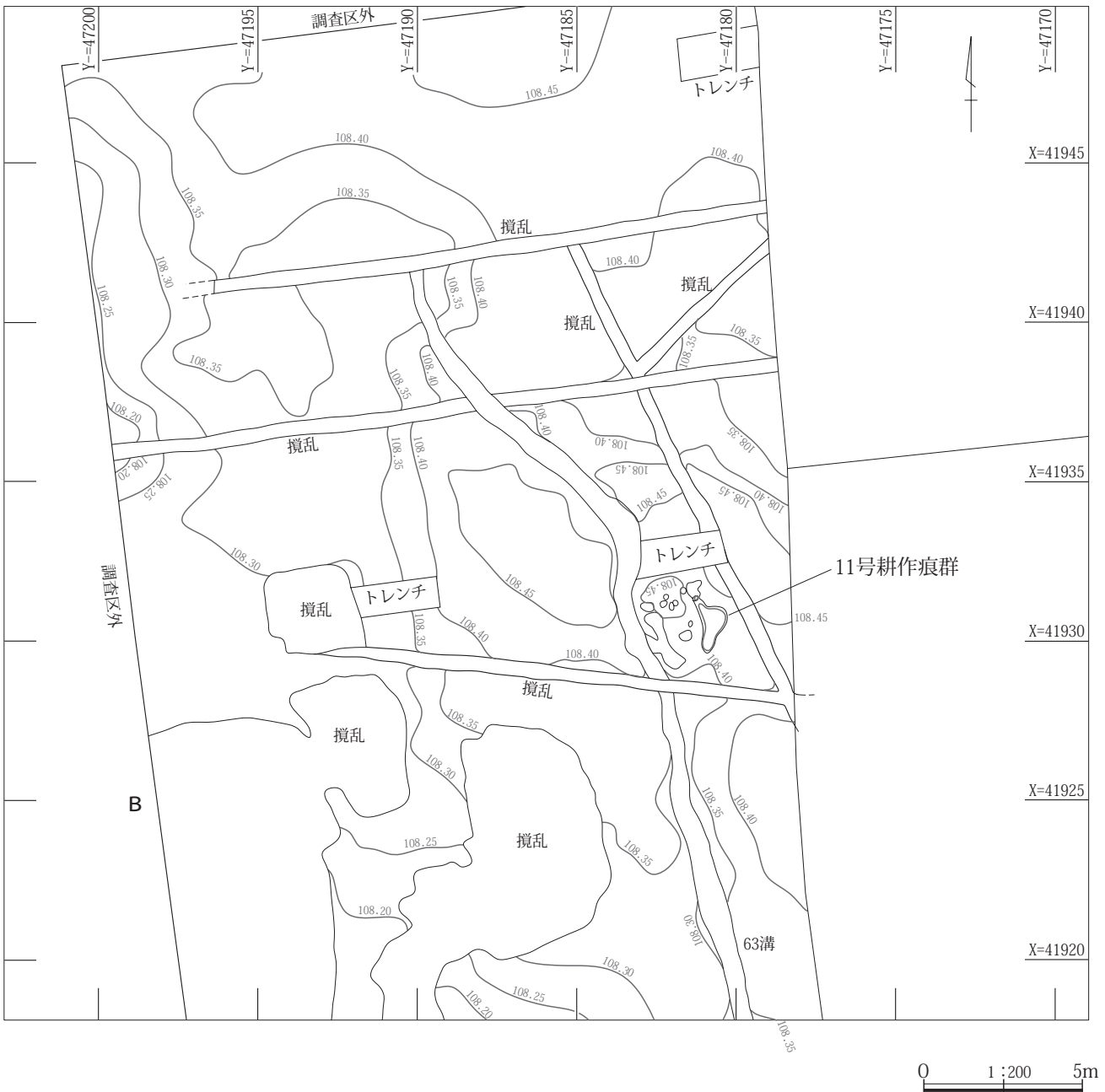
3区4面

11号耕作痕群(第235図、PL.81)

位置 3区B4面、3区B北側中央63号溝と重複か。

規模・形状 楕円および不定型な形状を呈し、浅い掘り込みで、東西方向3.0m、南北2.8mの範囲に広がる。

所見 4面検出のため、古墳時代以降As-B軽石降下までの遺構と推定される。



第235図 3区B4面11号耕作痕群

畑(第227図、第10表)

7群の畑が検出された。検出された畑は、畝間と考えられる浅い溝状のもので、畝としては検出していない。7群の畑は、調査時に決められた遺構番号をそのまま踏襲し、報告したい。

1号畑(第236図、PL.82)

位置 2区F2面、X=41974～42000、Y=-47232～247。

方位 N-88°-E、N-1°-W。

埋没土層 褐色土1層を確認した。As-B軽石を多く含む。断面形は丸みを帯びた浅い皿状を呈す。

規模・形状 18条の畝間が検出された。このうち、⑰・⑱の2条は南北方向のもので、他は東西方向である。残存状況は悪く、詳細は不明。

所見 畝間が重複するが、新旧は不明。As-B軽石が多く含まれることから、As-B軽石降下時前後に存在した可能性がある。中・近世と推定される。

2号畑(第237図、PL.82)

位置 2区F2面、X=41962～970、Y=-47224～239。

方位 N-12°-W、N-80°-E。

埋没土層 褐色土1層を確認した。As-B軽石を含む。断面形は丸みを帯びた浅い皿状を呈す。

規模・形状 8条の畝間が検出された。西側と東側の2つのまとまりに分けることができる。畝間①～⑤は、南北に走行し、畝間距離は0.8～0.9mを計る。⑥・⑦は東西方向、⑧は南北方向に走行。

所見 畝間⑥～⑧と①～⑤とは別の単位の畑と考えられる。中・近世と推定される。

3号畑(第238図、PL.83)

位置 2区E2面、X=41950～959、Y=-47237～253。

方位 N-84°-E、N-80°-E、N-80°-W。

埋没土層 確認できなかった。断面形は丸みを帯びた浅い皿状を呈す。

規模・形状 13条の畝間が検出された。3つの単位に分けられる。①～⑦は、畝間距離は0.35mと0.5mのものが混在する。⑧～⑩の畝間距離は0.6mと1.25m、⑫・

⑬は0.9mを計る。

所見 中・近世と推定される。

4号畑(第239図、PL.83～85)

位置 2区I2面、X=42084～098、Y=-47230～243。

方位 N-73°-E。

埋没土層 褐色土・にぶい褐色土主体。As-B軽石と思われる軽石を多く含む。断面形は丸みを帯びた皿状。

規模・形状 24条の畝間が検出された。畝間距離は0.4～1.1mを計り、一つの単位の畑と考えられる。

所見 本遺構は2区で最も標高値が高い位置にあり、比較的残存状態は良い。西側に広がることも考えられる。As-B軽石が多く含まれることから、As-B軽石降下時前後に存在した可能性がある。中・近世と推定される。

5号畑(第240図、PL.86)

位置 2区F～H2面、X=42000～023、Y=-47248～273。

方位 N-75°-E、N-83°-E。

埋没土層 確認できなかった。断面形は丸みを帯びた浅い皿状を呈す。断面形は丸みを帯びた逆台形状。

規模・形状 30条の畝間が検出された。3～4の単位に分けられる。①～⑤の畝間距離は、0.4～0.95m、⑥～⑨の畝間距離は0.95m前後で均一である。⑩～⑲の畝間距離は0.45～1.2mあるが、0.9m前後のものが多い。①から⑲の長軸方位はほぼ同一であり、畑のまとまりとも考えられる。⑳～㉓は緩やかな弧を描く。㉔～㉗は㉔～㉗の一群か。

所見 中・近世と推定される。

6号畑(第241図、PL.86)

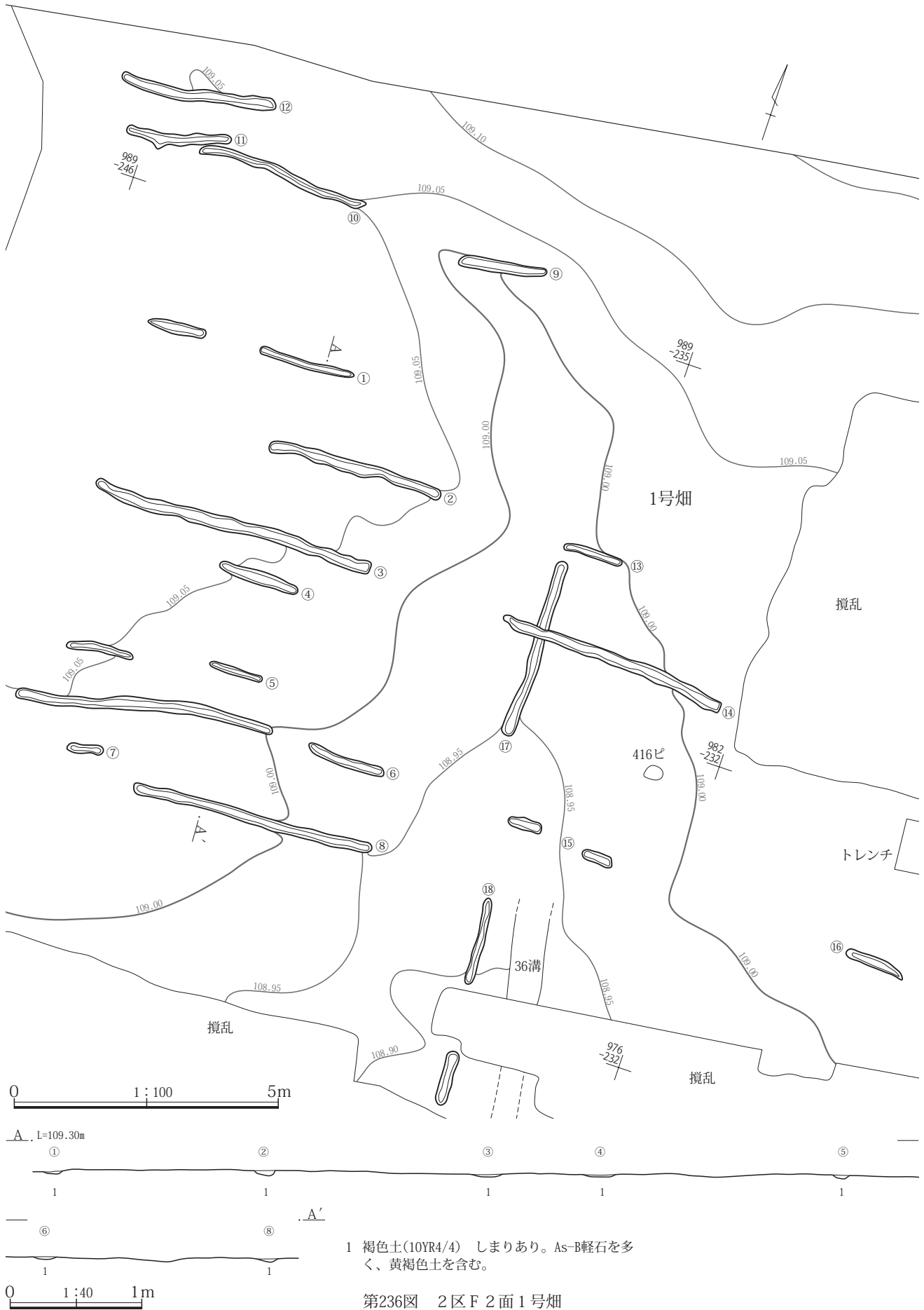
位置 2区H2面、X=42028～041、Y=-47230～278。

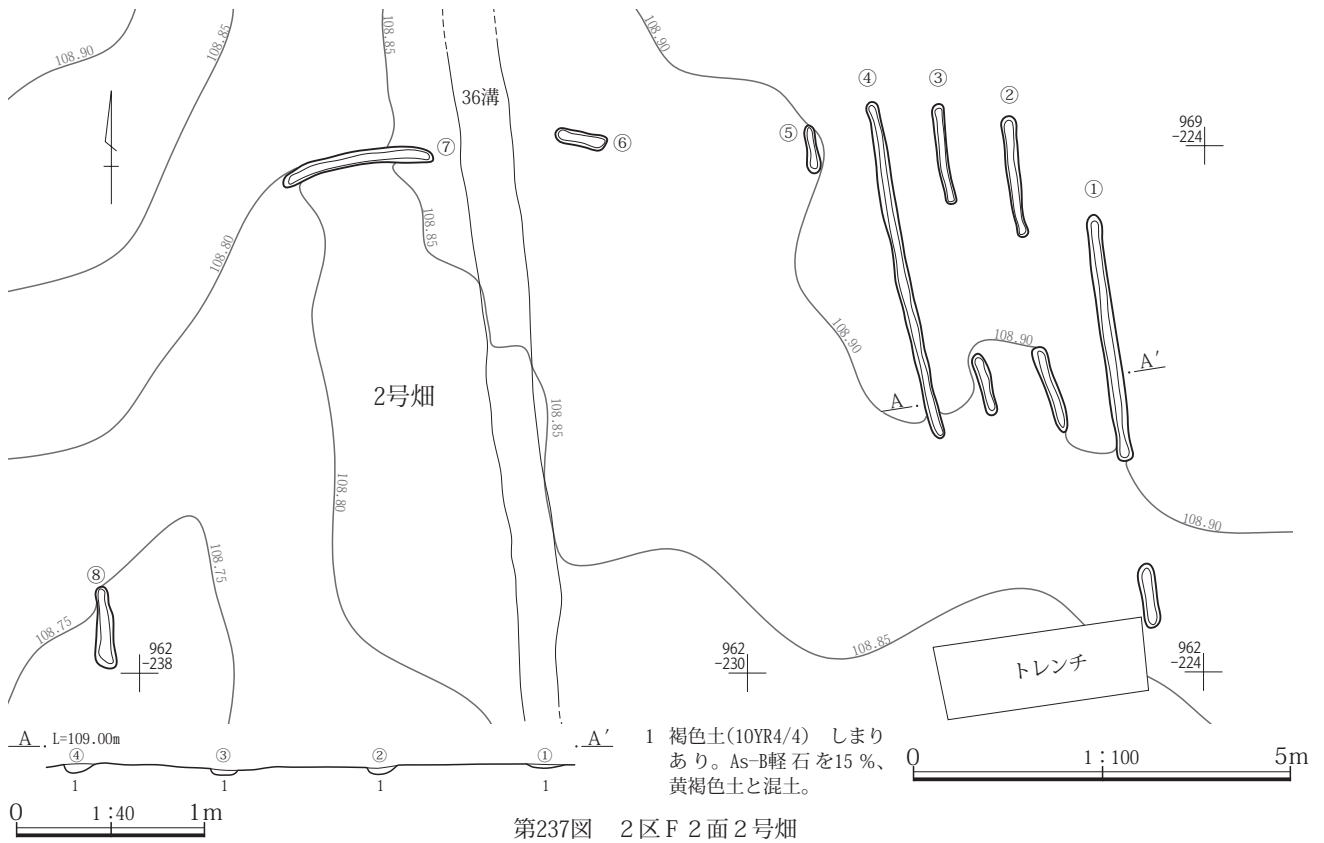
方位 N-83°-W。

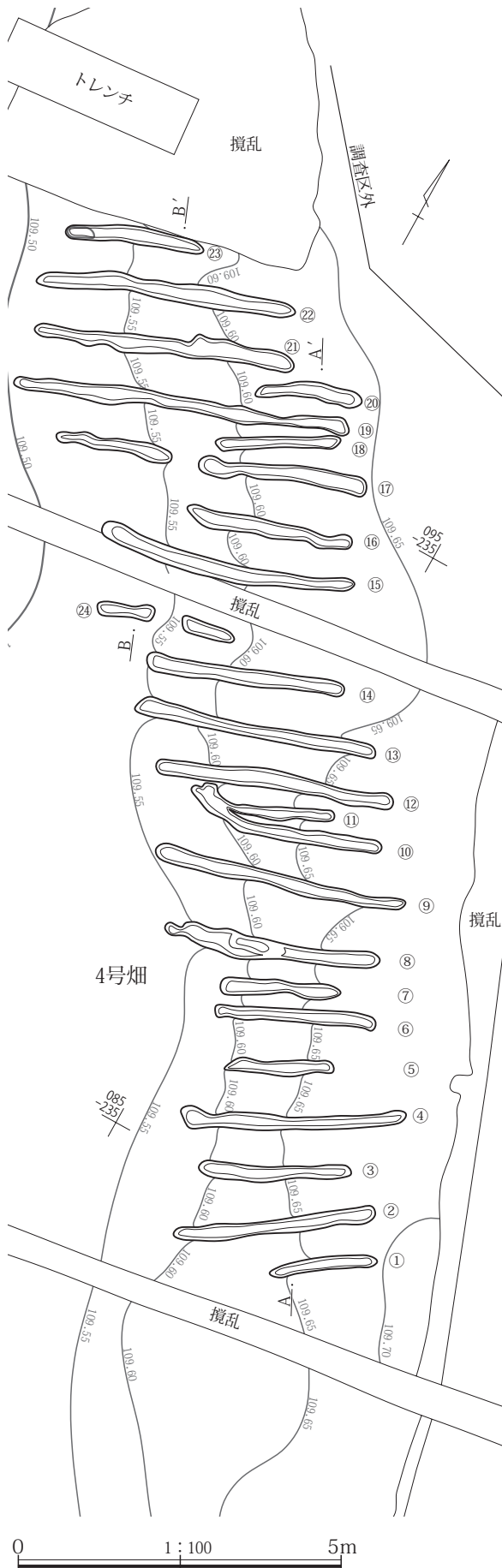
埋没土層 確認できなかった。断面形は丸みを帯びた浅い皿状を呈す。断面形は丸みを帯びた逆台形状。

規模・形状 21条の畝間が検出された。2区H中央部より東側に分布の中心があるが、畑のまとまりとしては捉えにくい。東西方向の畝間として散在する。畝間①～⑤はほぼ直線上に走行する。

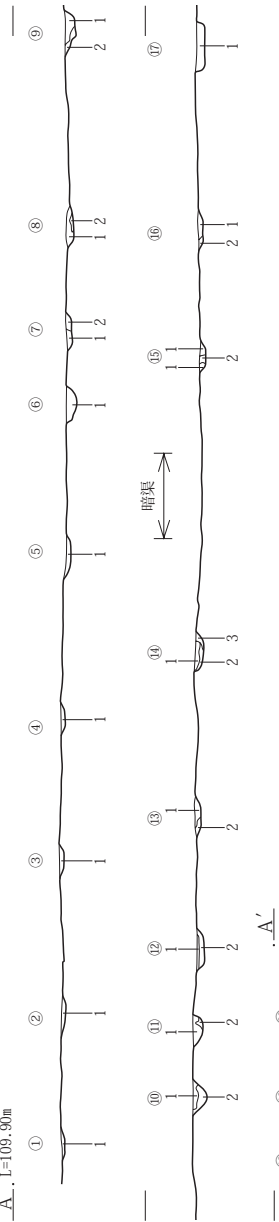
所見 中・近世と推定される。





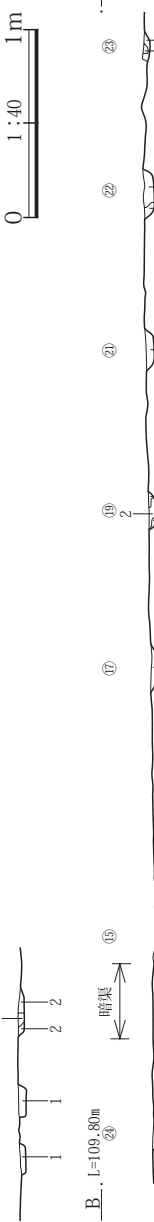


A., I=109.90m



A'

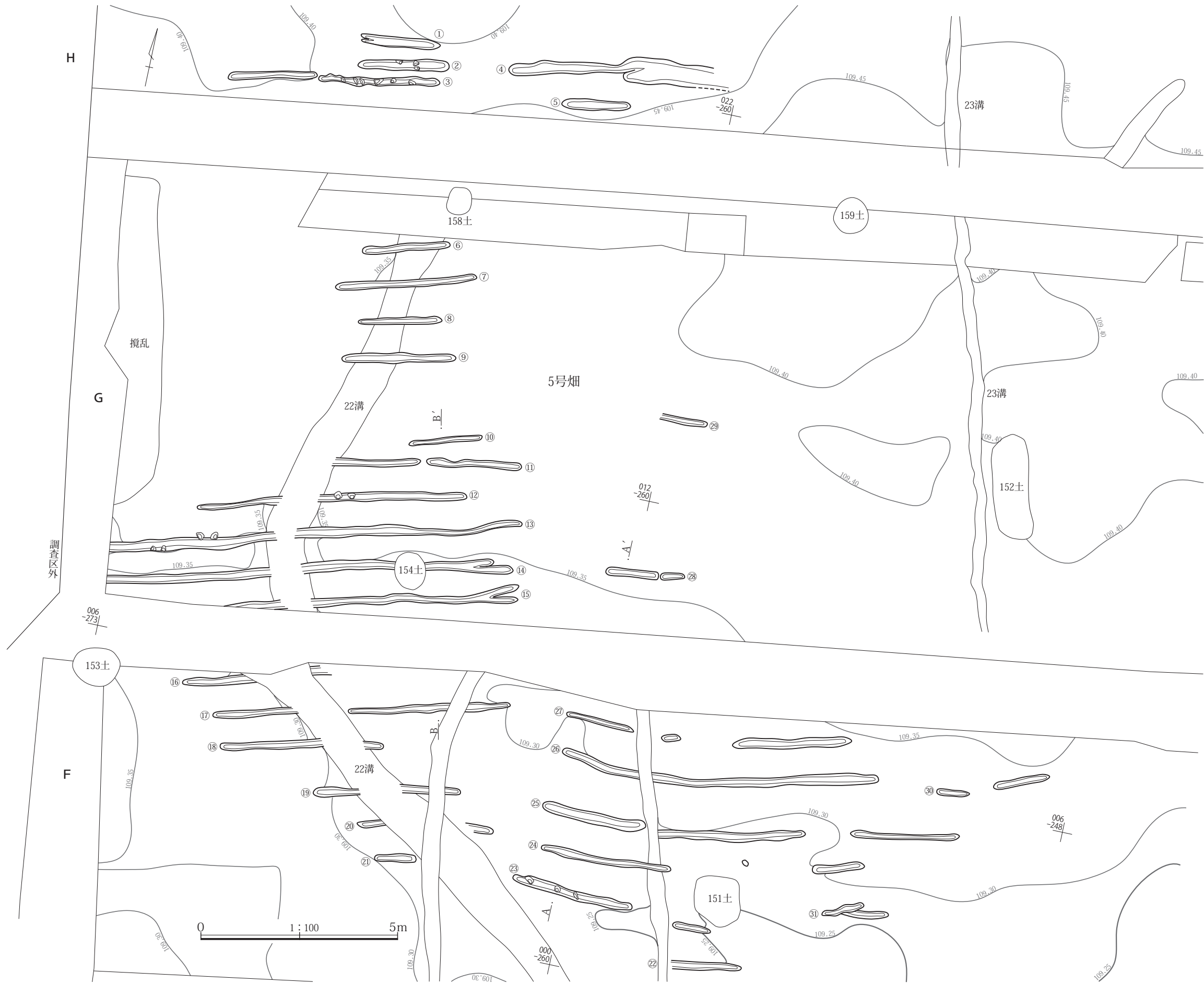
B., I=109.80m



B'

- ①-1 褐色土(10YR4/4) しまりあり。粘質土。As-B軽石を3%含む。
- ②-1 にぶい黄褐色土(10YR5/4) As-B軽石層。
- ③-1 にぶい黄褐色土(10YR7/3) As-B軽石を50%含む。
- ④-1 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。粘質土。As-B軽石を10%含む。
- ⑤-1 にぶい黄褐色土 As-B軽石層。
- ⑥-1 にぶい黄褐色土 As-B軽石層。
- ⑦-1 にぶい黄褐色土(10YR6/3) ややしまりあり。As-B軽石を15%含む。
- ⑦-2 暗褐色土(10YR3/3) しまりあり。粘質土。As-B軽石を5%含む。
- ⑧-1 にぶい黄褐色土(10YR6/3) ややしまりあり。As-B軽石を15%含む。
- ⑧-2 褐色土(10YR4/4) ややしまりあり。As-B軽石を10%含む。
- ⑨-1 褐色土(10YR4/4) ややしまりあり。As-B軽石を多く含む。
- ⑨-2 暗褐色土(10YR3/3) As-B軽石を多く含む。
- ⑩-1 暗褐色土(10YR3/3) ややしまりあり。As-B軽石を5%含む。
- ⑩-2 褐色土(10YR4/4) As-B軽石を20%含む。
- ⑪-1 暗褐色土(10YR3/3) ややしまりあり。As-B軽石を5%含む。
- ⑫-1 褐色土(10YR4/4) As-B軽石を20%含む。
- ⑫-2 にぶい黄褐色土(10YR5/3) しまりあり。シルト質。
- ⑬-1 にぶい黄褐色土(10YR5/4) As-B軽石層。
- ⑬-2 褐色土(10YR4/6) As-B軽石を15%含む。
- ⑭-1 にぶい黄褐色土(10YR5/4) As-B軽石層。
- ⑭-2 暗褐色土(10YR3/3) As-B軽石を5%含む。
- ⑭-3 暗褐色土(10YR3/3) ややしまりあり。As-B軽石を10%含む。
- ⑮-1 にぶい黄褐色土(10YR6/4) As-B軽石層。
- ⑮-2 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり。粘質土。
- ⑯-1 にぶい黄褐色土(10YR6/4) As-B軽石層。
- ⑯-2 暗褐色土(10YR3/4) しまりあり。粘質土。
- ⑰-1 灰黄褐色土 シルト質。
- ⑰-2 にぶい黄褐色土(10YR5/4) As-B軽石層。
- ⑱-1 灰黄褐色土 シルト質。
- ⑱-2 にぶい黄褐色土 As-B軽石層。
- ⑲-1 灰黄褐色土 シルト質。
- ⑲-2 褐色土(10YR4/6) As-B軽石層。
- ⑲-3 黒褐色土(10YR3/2) やや粘質土。As-B軽石を3%含む。
- ⑳-1 灰黄褐色土 シルト質。
- ⑳-2 にぶい黄褐色土 As-B軽石層。
- ㉑-1 褐色土(10YR4/6) As-B軽石層。にぶい黄褐色土と混土。
- ㉑-2 にぶい黄褐色土(10YR5/4) As-B軽石層。
- ㉒-1 暗褐色土(10YR3/2) As-B軽石を7%含む。
- ㉒-2 褐色土(10YR4/4) 軽石層。
- ㉓-1 黒褐色土(10YR3/2) やや粘質土。As-B軽石を5%含む。
- ㉓-2 にぶい黄褐色土 As-B軽石層。
- ㉔-1 褐色土(10YR4/4) As-B軽石を10%含む。

第239図 2区I2面4号畑

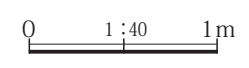
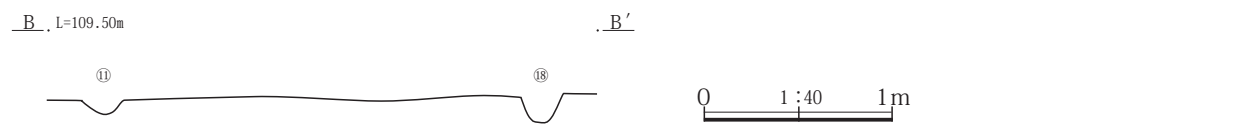
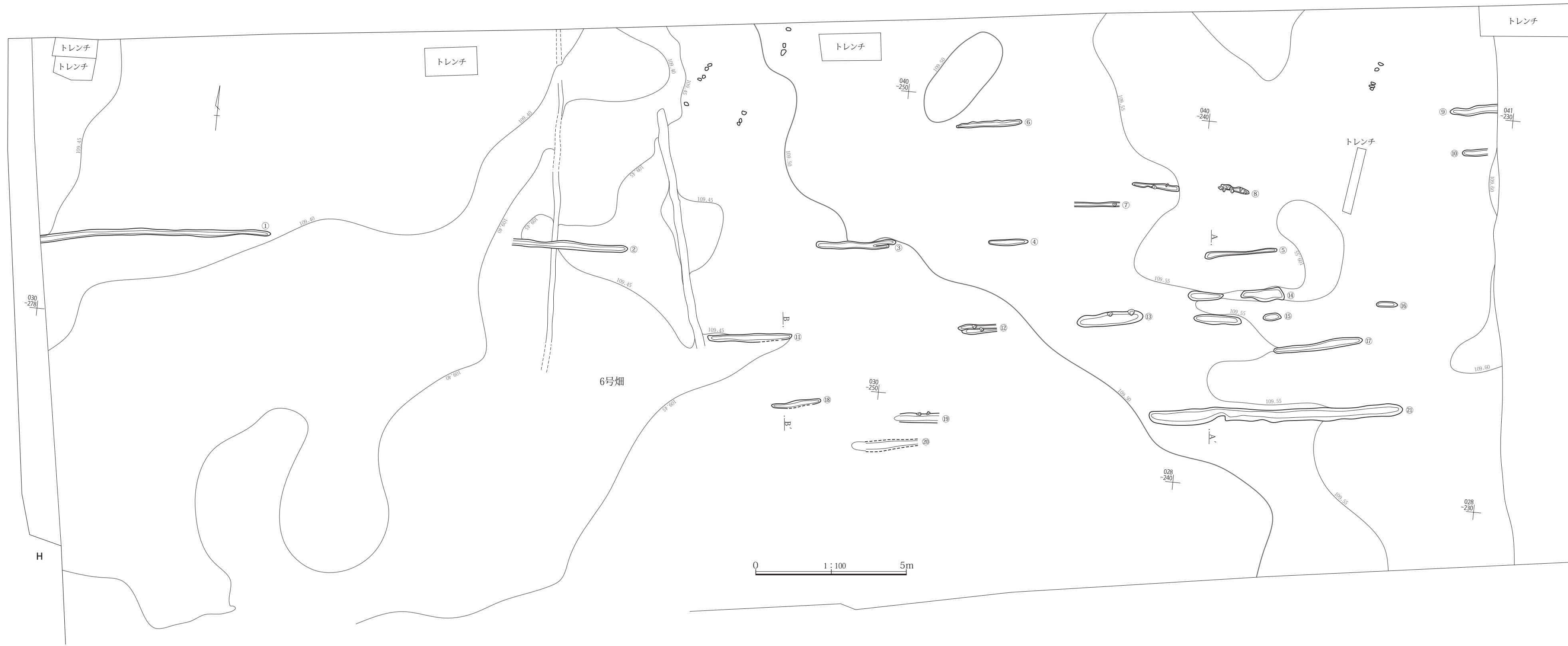


第240图 2区F~H 2面5号畑

A-A' L=109.50m

B-B' L=109.50m

0 1:40 1m



第241図 2区H 2面6号畑

7号畑(第242図、PL.86)

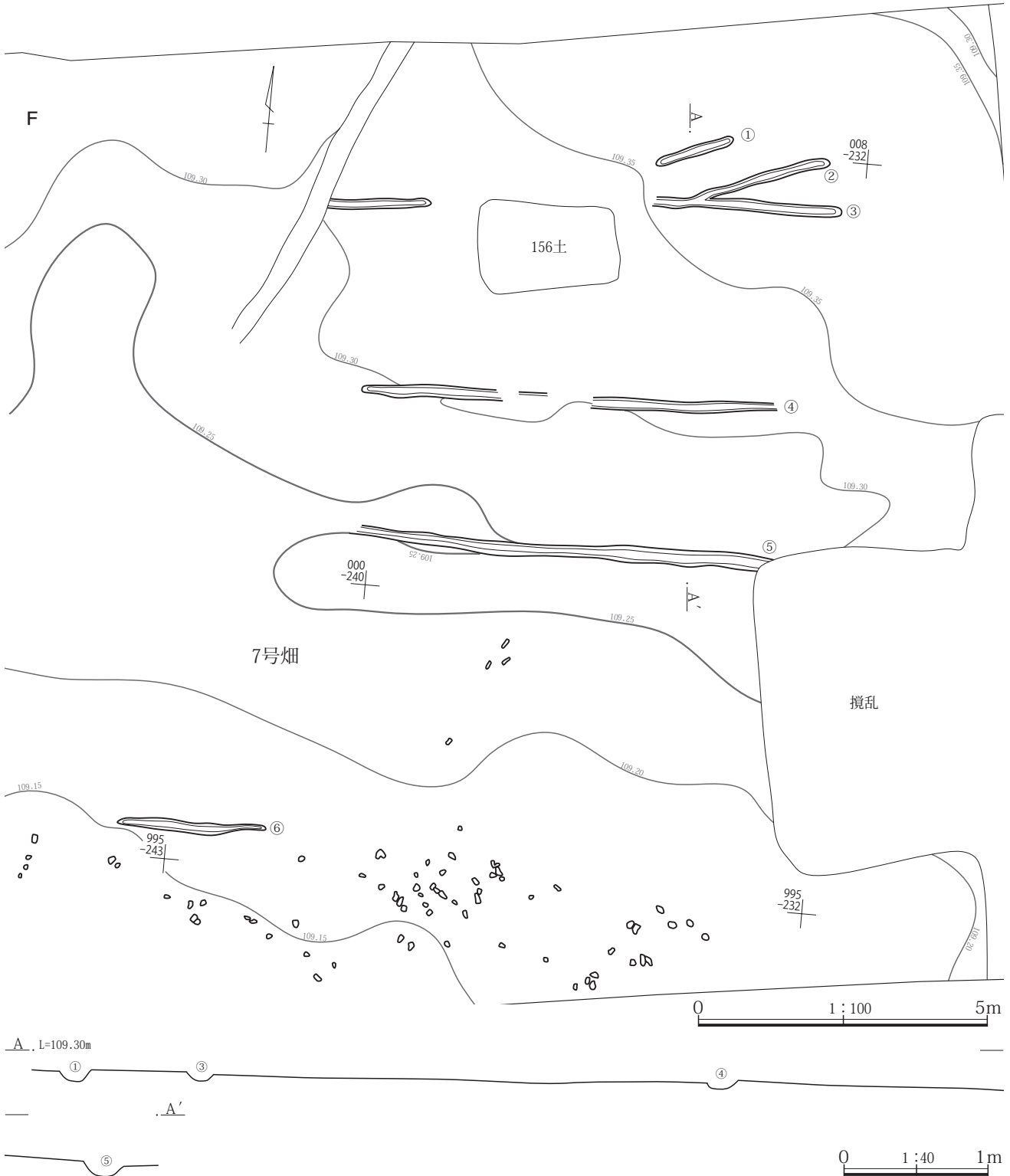
位置 2区F2面、X=41995~42008、Y=-47232~243。

方位 N-89°-E、N-68°-E。

埋没土層 確認できなかった。断面形は丸みを帯びた浅い皿状を呈す。断面形は丸みを帯びた逆台形状。

規模・形状 6条の畝間が検出された。①・②は畝間の主軸方位が異なり、畝間距離は0.8mを計る。③・④間の畝間距離3.5m、④・⑤間は2.6mを計る。⑥の南および東側は、3号耕作痕群が展開する。

所見 ①・②、③~⑤、⑥の三つのまとまりと捉えることができる。中・近世と推定される。



第242図 2区F2面7号畑

第3章 確認された遺構と遺物

第10表 畑畝間計測一覧表

1号畑畝間計測表(cm) 第236図、PL.82

番号	主軸方位	長さ	幅	深さ
①	N-86°-E	184+112	23	3
②	N-88°-E	337	26	2
③	N-89°-E	542	28	3
④	N-88°-W	156	26	4
⑤	N-81°-E	128+104	17	2
⑥	N-83°-E	491+151	26	2
⑦	N-78°-E	68	17	3
⑧	N-89°-E	466	21	3
⑨	N-80°-E	167	23	2
⑩	N-89°-E	331	17	1
⑪	N-77°-E	198	26	2
⑫	N-82°-E	296	26	2
⑬	N-87°-E	115	16	3
⑭	N-86°-W	445	28	3
⑮	N-85°-W	65+61	22	2
⑯	N-81°-W	116	20	2
⑰	N-1°-W	345	25	2
⑱	N-5°-W	165+104	24	2

2号畑畝間計測表(cm) 第237図、PL.82

番号	主軸方位	長さ	幅	深さ
①	N-8°-W	328+83	21	2
②	N-10°-W	161+118	20	4
③	N-10°-W	133+83	19	3
④	N-12°-W	454	20	4
⑤	N-10°-W	62	19	3
⑥	N-77°-W	68	20	2
⑦	N-79°-E	202	20	2
⑧	N-7°-W	108	26	4

3号畑畝間計測表(cm) 第238図、PL.83

番号	主軸方位	長さ	幅	深さ
①	N-82°-E	206+104	20	2
②	N-83°-E	342+74	18	2
③	N-82°-E	236	14	2
④	N-78°-E	190	22	2
⑤	N-81°-E	135+71	17	1
⑥	N-88°-E	78	13	2
⑦	N-84°-E	165	21	3
⑧	N-81°-E	115	16	2
⑨	N-79°-E	175	18	1
⑩	N-75°-E	171	14	2
⑪	N-84°-W	95	16	2
⑫	N-82°-W	178	20	4
⑬	N-89°-W	126	19	3

4号畑畝間計測表(cm) 第239図、PL.83~85

番号	主軸方位	長さ	幅	深さ
①	N-54°-E	167	20	1
②	N-54°-E	312	25	2
③	N-62°-E	235	25	2
④	N-60°-E	348	26	4
⑤	N-62°-E	170	25	3
⑥	N-65°-E	248	23	6
⑦	N-64°-E	185	27	6
⑧	N-69°-E	335	39	8
⑨	N-73°-E	394	27	4
⑩	N-70°-E	296	22	4
⑪	N-71°-E	225	21	3
⑫	N-69°-E	370	29	5
⑬	N-73°-E	379	28	4
⑭	N-69°-E	308	26	4
⑮	N-74°-E	399	29	8
⑯	N-73°-E	260	27	2
⑰	N-75°-E	261+182	29	2
⑱	N-60°-E	191	21	2
⑲	N-69°-E	521	31	4
⑳	N-67°-E	164	26	3
㉑	N-68°-E	403	33	4
㉒	N-67°-E	401	33	5
㉓	N-68°-E	213	27	4
㉔	N-74°-E	89+86	23	3

5号畑畝間計測表(cm) 第240図、PL.86

番号	主軸方位	長さ	幅	深さ
①	N-85°-E	201	27	4
②	N-77°-E	231	29	5
③	N-80°-E	309+226	24	4
④	N-79°-E	561	32	5
⑤	N-80°-E	173	28	1
⑥	N-73°-E	223	21	2
⑦	N-74°-E	359	21	4
⑧	N-76°-E	212	19	3
⑨	N-77°-E	289	27	5
⑩	N-72°-E	186	14	2
⑪	N-80°-E	481	21	2
⑫	N-75°-E	683	23	2
⑬	N-75°-E	1048	31	3
⑭	N-76°-E	1032	29	3
⑮	N-75°-E	749	22	4
⑯	N-72°-E	369	22	1
⑰	N-76°-E	754	19	2
⑱	N-77°-E	415	21	2
⑲	N-78°-E	373	24	3
⑳	N-81°-E	345	17	2
㉑	N-79°-E	105	21	5
㉒	N-80°-E	178	21	4
㉓	N-87°-W	311+97	23	4
㉔	N-81°-E	333+133	21	2
㉕	N-82°-E	375+276+266	29	3
㉖	N-82°-E	806	31	2
㉗	N-83°-E	302+177+48	24	2
㉘	N-81°-E	136+61	19	3
㉙	N-87°-E	121	17	2
㉚	N-70°-E	144+81	19	2
㉛	N-78°-E	168	18	5

6号畑畝間計測表(cm) 第241図、PL.86

番号	主軸方位	長さ	幅	深さ
①	N-83°-E	765	24	4
②	N-87°-E	386	23	3
③	N-82°-E	264	22	2
④	N-83°-E	131	21	2
⑤	N-79°-E	241	21	1
⑥	N-79°-E	219	21	2
⑦	N-83°-E	151	16	1
⑧	N-88°-E	157+104	19	2
⑨	N-79°-E	158	27	2
⑩	N-81°-E	85	22	1
⑪	N-82°-E	279	21	3
⑫	N-83°-E	128	28	2
⑬	N-78°-E	219	44	2
⑭	N-83°-E	144+116	42	4
⑮	N-83°-E	157+59	29	4
⑯	N-85°-E	69	18	2
⑰	N-76°-E	297	27	3
⑱	N-78°-E	164	22	6
⑲	N-84°-E	143	29	4
㉑	N-80°-E	222	31	4
㉒	N-82°-E	839	45	2

7号畑畝間計測表(cm) 第242図、PL.86

番号	主軸方位	長さ	幅	深さ
①	N-66°-E	139	19	2
②	N-69°-E	289	19	2
③	N-86°-E	329+176	19	1
④	N-87°-E	321+242+5	21	2
⑤	N-88°-W	719	26	3
⑥	N-87°-E	257	21	2

11 畦畔・水田面

(第243・244図、PL.87)

2区1面の精査時に1号溝に沿って、畦畔状のわずかな高まりが確認された。溝状遺構に沿う高まりということもあって、調査時に畦畔の可能性が指摘されている。精査の段階では、1号溝の東側一帯について水田区割りその他の水田関連遺構の検出を追求したものの、関連する水田遺構の検出には至らなかった。そのため、植物珪酸体分析を行うことによって、稲作の痕跡を検証していくこととした。また、植物珪酸体分析により、遺跡地の植生等を復元し、遺跡の総合的理解に努めることもあわせて目的とした。分析結果については、第4章自然科学分析「第4節植物珪酸体分析」の項を参照されたい。

植物珪酸体分析の結果、2区DのCD間東西セクション(第244図)において採取された土壌2点より、栽培植物のイネ属が検出された。残念ながら、栽培植物のイネ属の植物珪酸体含量の値が高くなく、安定した稲作を裏付けるまでには至らない結果であった。良好な結果が得られたわけではないが、1号溝の東側一帯に広がる平坦面が、水田面として否定されるものではなく、その可能性が高いことに変わりはない。ここでは、これらのことを総合的に考えて畦畔・水田面として報告することとした(第243図)。

畦畔 位置：2区B～D1面、北X=41947、Y=-47257～南X=41900、Y=-47247。

規模：検出全長47.70m、幅0.20～0.70m、高さ0.01～0.02m。

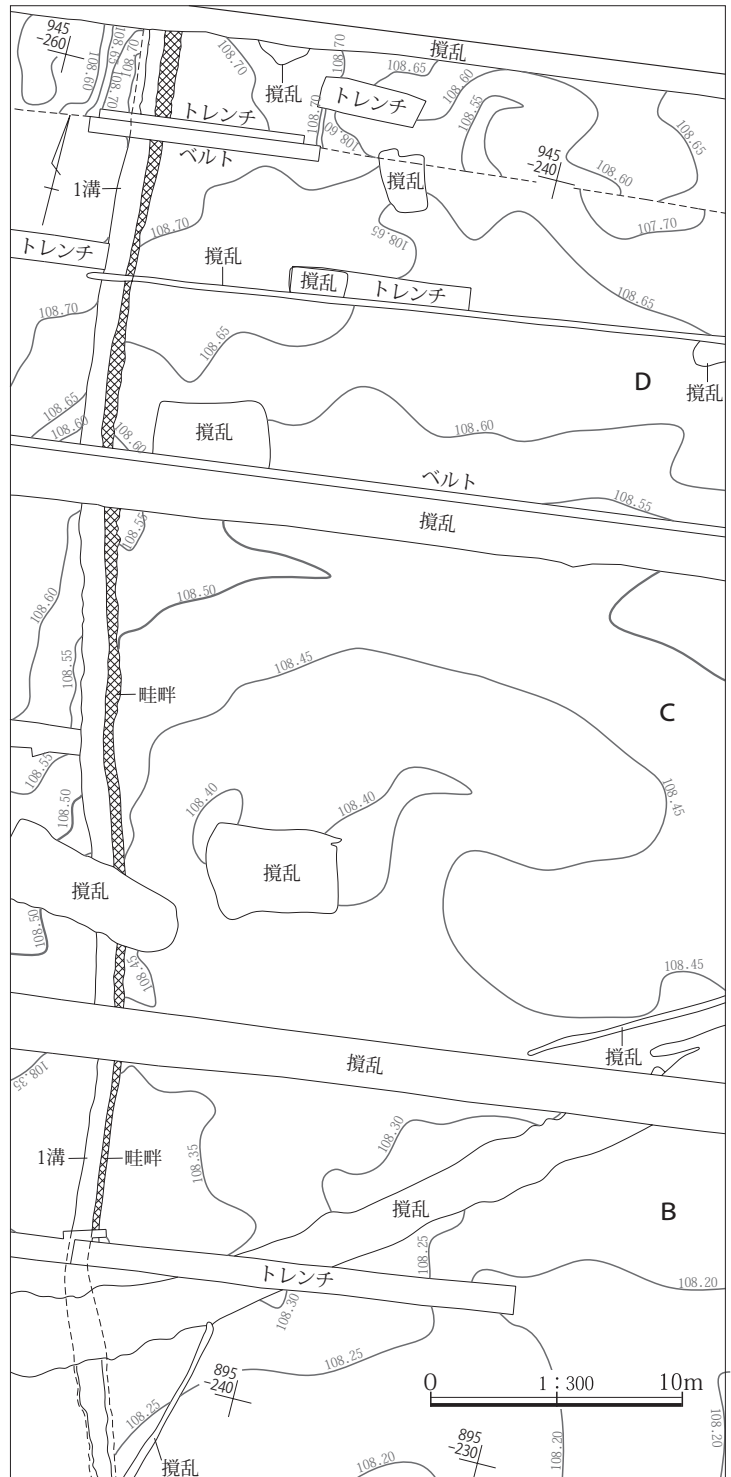
長軸方位：N-14°-W。

As-B軽石混土上面で検出される。畦畔の土壌と東側に広がる水田面の土壌との差異は認められなかった。

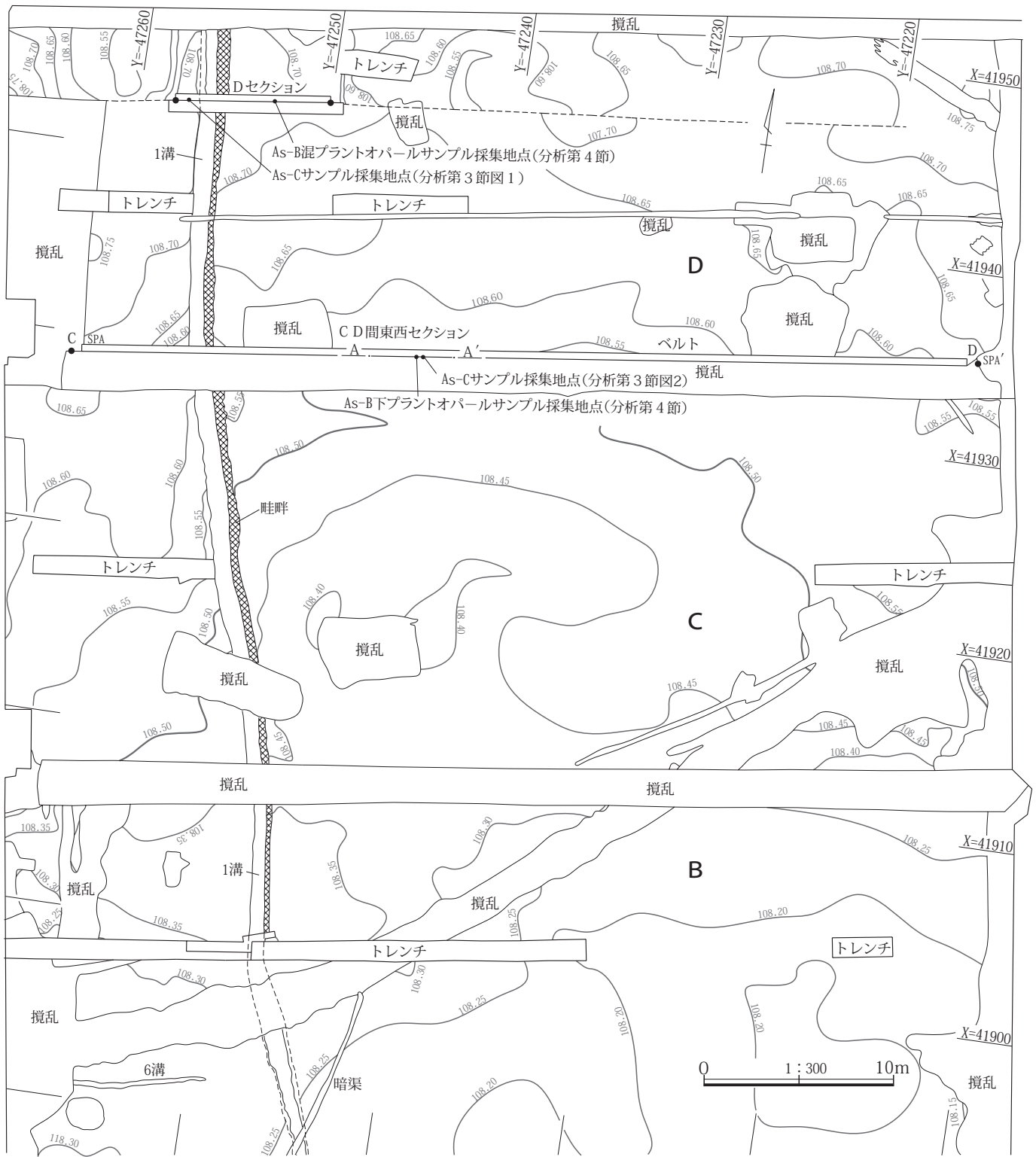
水田面 2区1号溝東側の平坦面全域が水田面の可能性がある。広範囲な面積を持つものと考えられるが、水田区画・水口などの関連遺構は検出されなかった。下面(2～4面)から、耕作痕群・畑

が検出している。

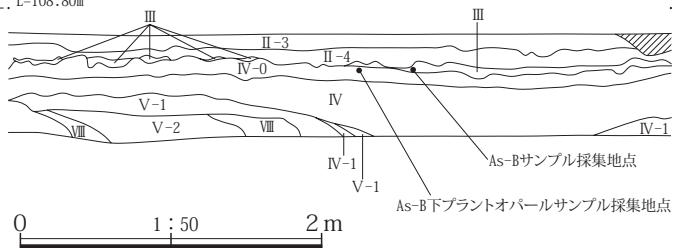
所見 畦畔・水田面ともに1面検出であり、中・近世に推定される。1号溝に伴う畦畔と考えられるが、1号溝から近世の遺物の出土はなく、1号溝覆土中にはAs-B軽石が含まれることから、中世の畦畔・水田面の可能性が高い。



第243図 2区B～D1面畦畔・水田面



A, L=108.80m



- C・D間東西セクション土層説明、(畦畔・水田面分析地点)
- II-3 にぶい黄褐色土(10YR4/3) しまりあり。As-B軽石粒、茶色土粒を含む。
 - II-4 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘質土。As-B軽石粒を僅かに、茶色土粒をやや多く含む。
 - III As-Bアッシュと軽石の堆積。
 - IV-0 黒色土(10YR1.7/) 粘質土。白色粒子(白色光物)僅かに含む。
 - IV 黒色土(10YR2/1) 粘質土。Hr-FA・As-C軽石を含む。
 - IV-1 黒色土(10YR2/1) 粘質土。Hr-FA・As-C軽石を僅かに含む。
 - V-1 暗褐色土(10YR3/3) 砂質土。As-B軽石、黄褐色土ブロックの混土層。
 - V-2 暗褐色土(10YR3/3) 砂質土。
 - VI-1 黒褐色土(10YR3/2) 粘質土。V+VI、ロームブロックを少量含む。
 - VIII 暗褐色土(7.5YR3/3) 砂質土。

第244図 2区B～D分析資料サンプル採集地点配置図

12 遺構外からの出土遺物

(第245～249図、PL.99)

調査各区の遺構外より、古代～近代までの土器・陶器・磁器・石製品・鉄製品・銅製品(銭貨)が出土した。図示したものを区ごとにまとめて報告したい。

表採 1は銅製のキセル雁首。

1区

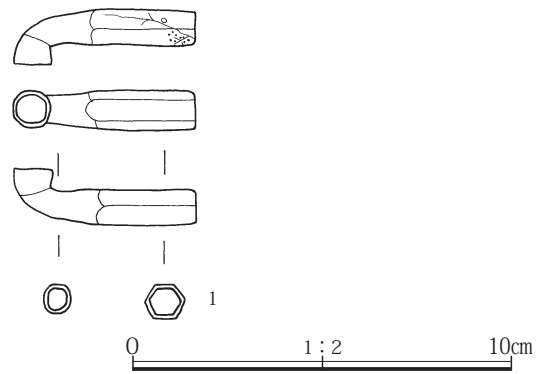
1は土師器甕、陶器碗 2は近世、同3は近代。

2区

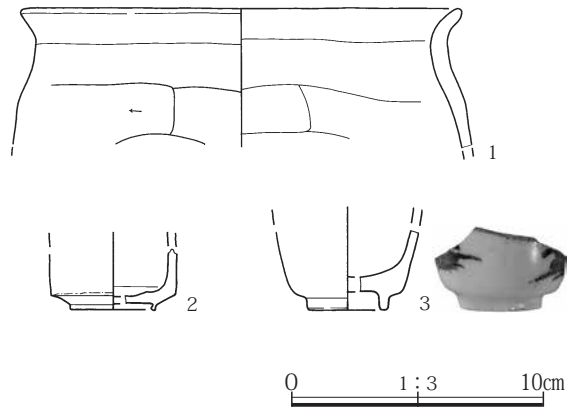
1～3は奈良・平安時代の遺物で、2は甕胴部に線刻が認められる。4～6は在地系土器で、4は中世の内耳鍋、5・6は近世後半の焙烙および鉢。7は常滑甕で中世か。8は焙烙底部を再利用した土製品。9は近世後半の備前磁器碗。銭貨10は宋銭、11・12は江戸時代の一文銭。13～15は鉄製品、13は火打金、15は刀子。16は火打石。

3区

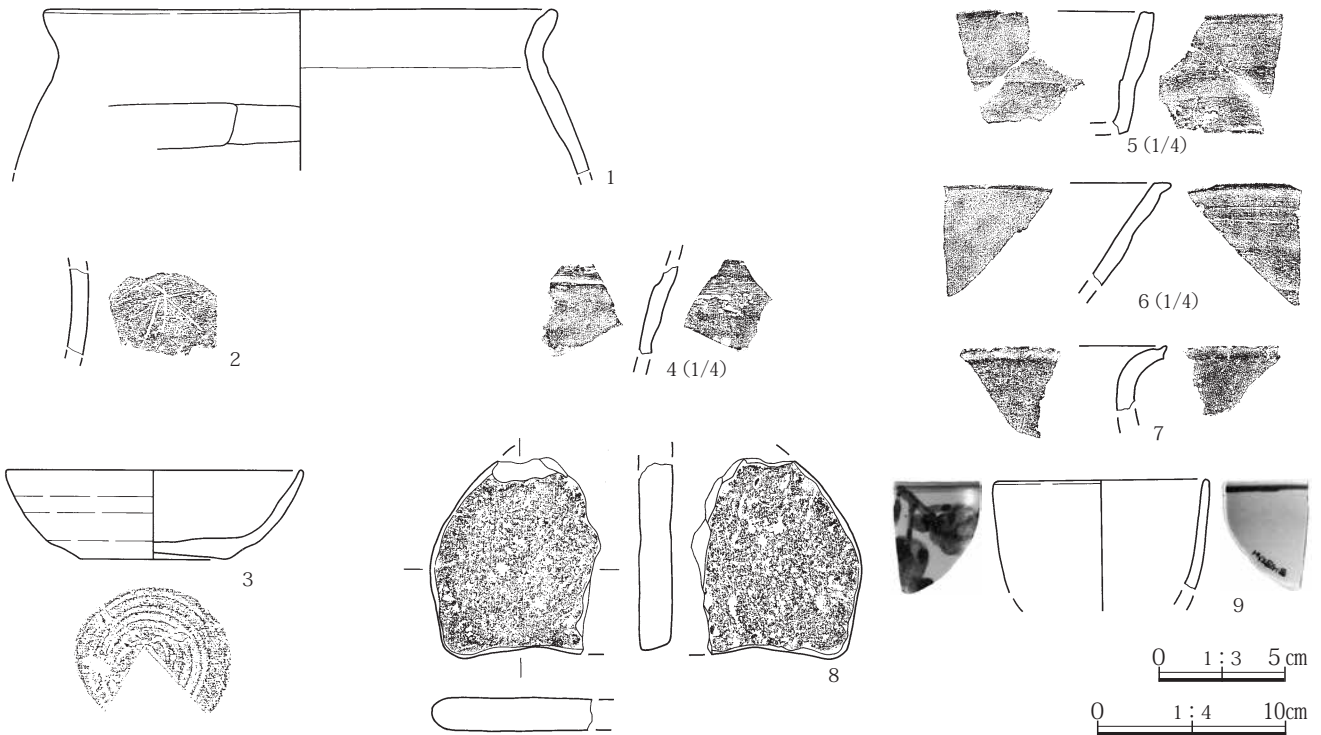
1は須恵器杯で外面に漆が付着する。2～7は備前陶磁器で、2・4・5は青磁、6・7は陶器、いずれも近世後半。8～12は瀬戸美濃陶器で、8～10は近世、11・12は近代か。13は中世常滑の甕、14は近世の在地系の焙烙。15・16は鉄製品の刀子と釘。銭貨17は宋銭、18・19は江戸時代の一文銭。



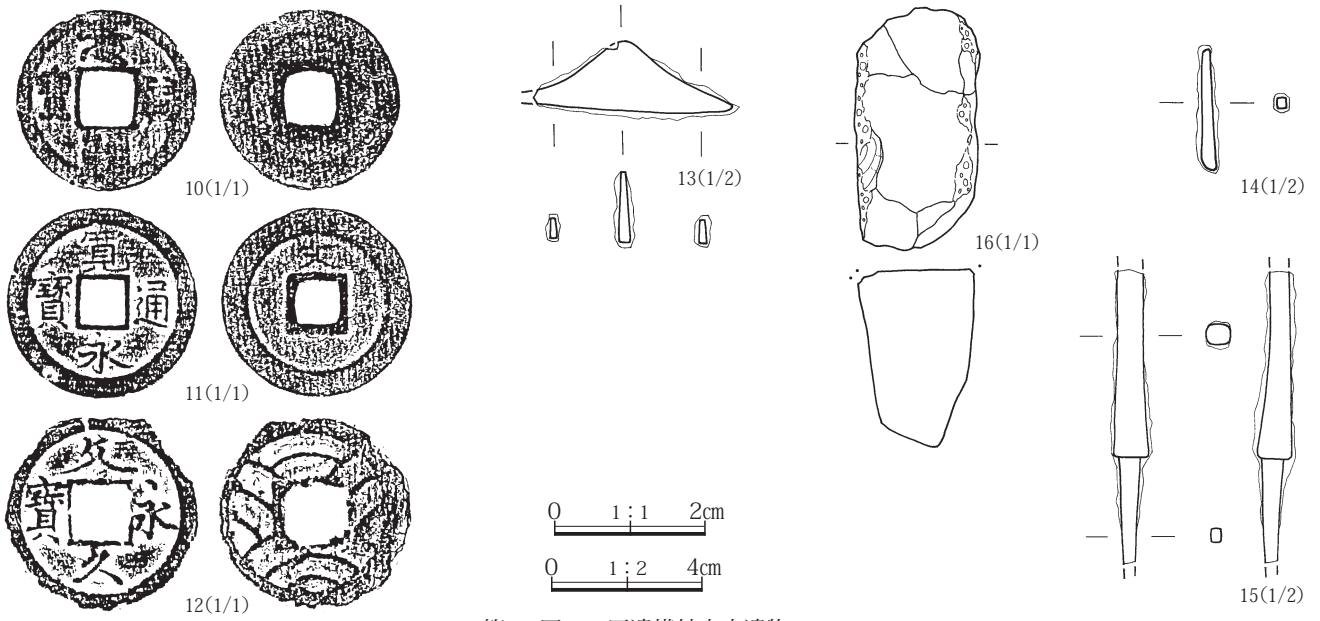
第245図 表採出土遺物



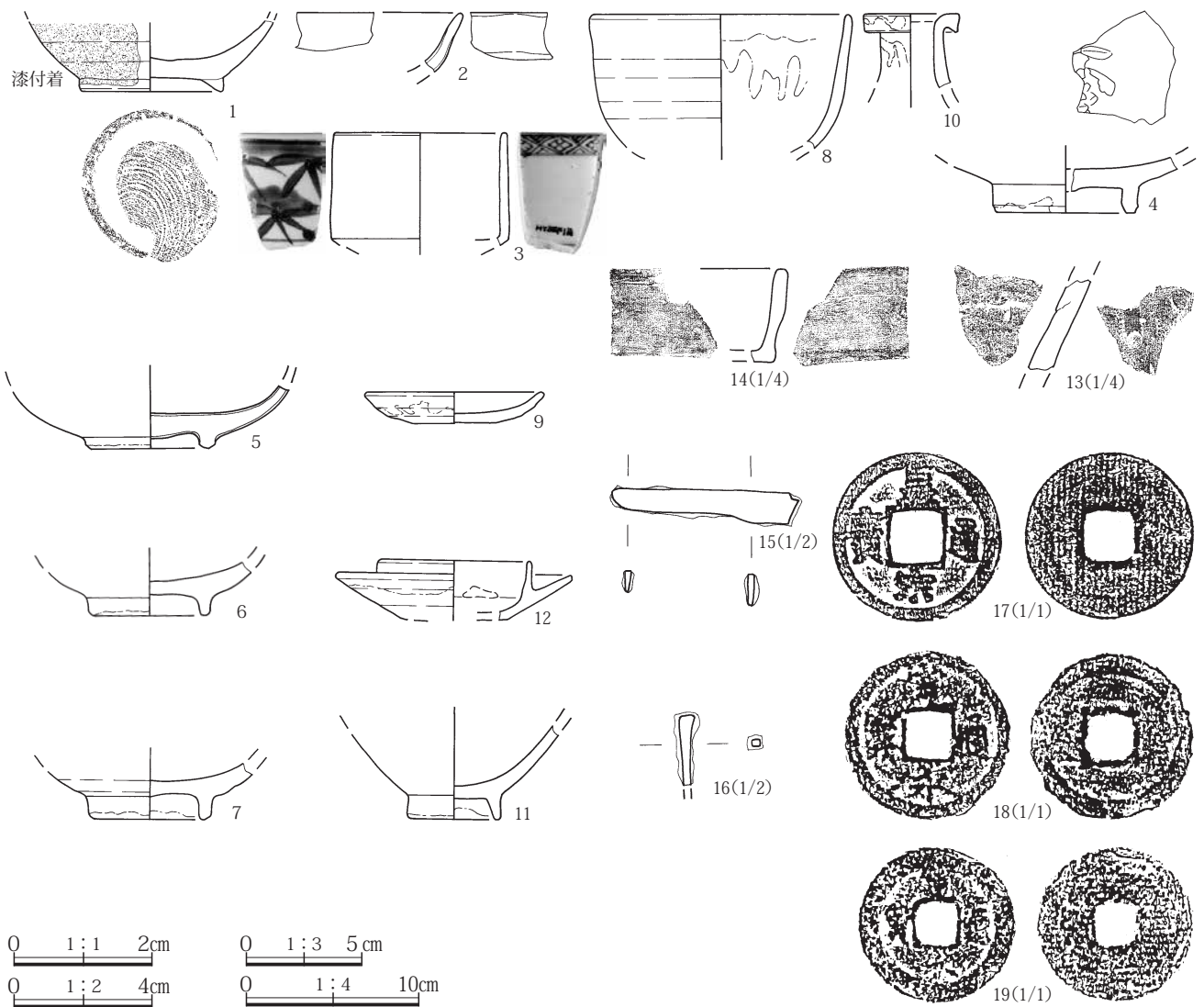
第246図 1区遺構外出土遺物



第247図 2区遺構外出土遺物 1



第248図 2区遺構外出土遺物2



第249図 3区遺構外出土遺物

第2節 弥生時代～旧石器時代の遺構と遺物

1 概要(第250図)

宮久保遺跡から検出した当該期の遺構・遺物は多くはない。

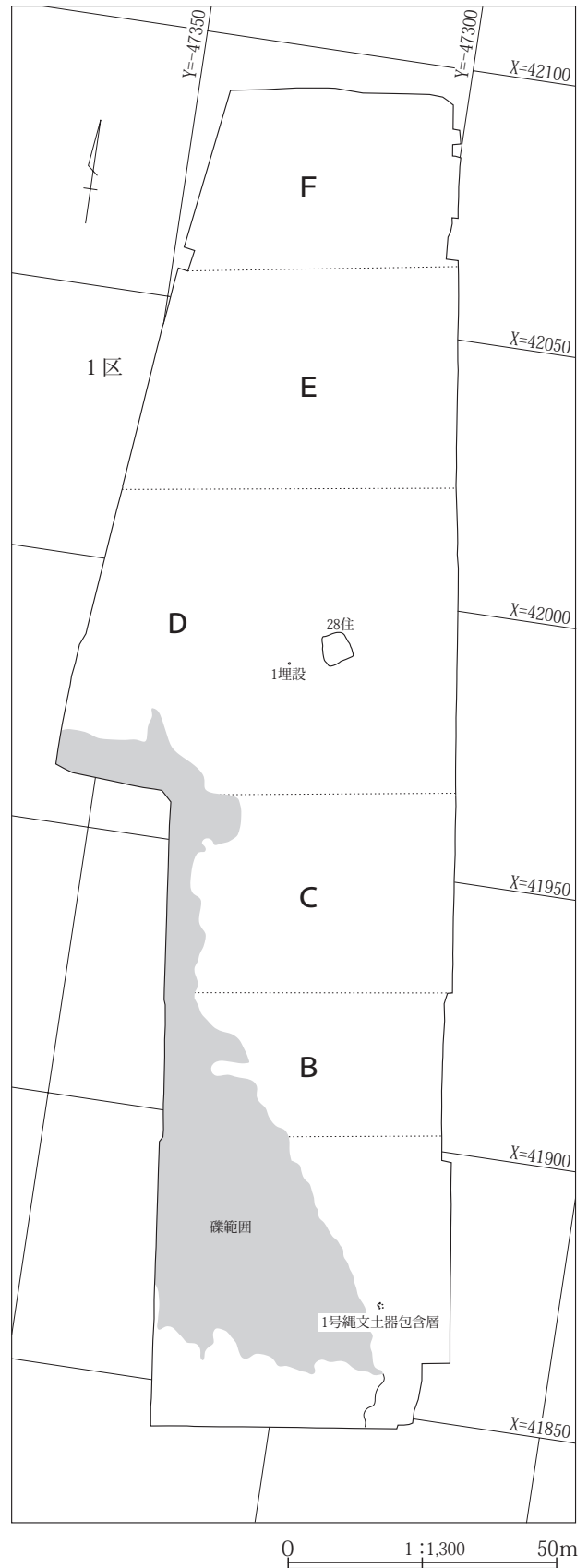
弥生時代の遺構は、いずれも1区から検出され、竪穴住居1軒、底部が穿孔された埋設土器1基を確認した。遺物としては、これらの遺構に伴う弥生土器と遺構外から弥生土器および石器(石鍬)が出土した。

縄文時代の遺構としては、縄文土器包含層が1区で確認され、遺物は包含層に伴う縄文土器および遺構外その他から出土した縄文土器や石器がある。

旧石器時代については、1区でのトレンチ調査を実施したが、遺構・遺物は検出されなかった。そのため、旧石器時代の面的な調査には至っていない。

第11表 弥生・縄文時代土器胎土分類表

分類	特徴
A	中量の長石、黒・灰色石及び、少量の石英の礫・粗砂と繊維を含むやや粗雑な胎土。
B	中量の長石、石英、灰色石の粗・細砂と繊維を含むやや粗雑な胎土。
C	多量の結晶片岩粗砂及び中量の石英、長石の粗・細砂と繊維を含むやや粗雑な胎土。
D	中量の長石、石英、黒・灰色石の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。
E	多量の長石、石英、黒・灰色石の礫・粗砂を含むやや緻密な胎土。
F	多量の長石、石英と少量の角閃石、黒・灰色石の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。
G	多量の長石、角閃石、黒・灰色石の粗・細砂と中量の石英粗砂を含むやや緻密な胎土。
H	多量の長石、黒・灰色石の粗・細砂と少量の石英粗砂を含むやや緻密な胎土。
I	中量の長石、石英、黒・灰色石の粗・細砂と微量の雲母細砂を含むやや緻密な胎土。

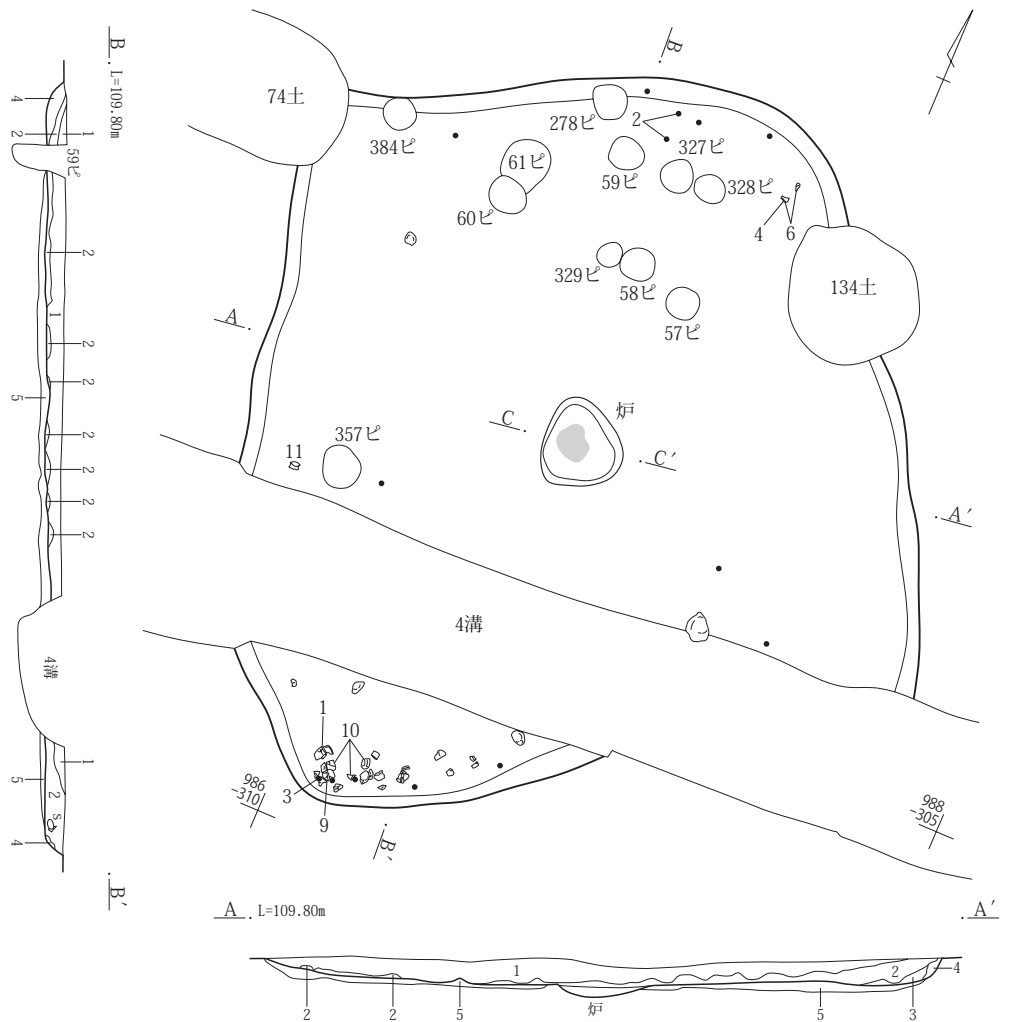


第250図 弥生・縄文時代遺構位置図

2 弥生時代

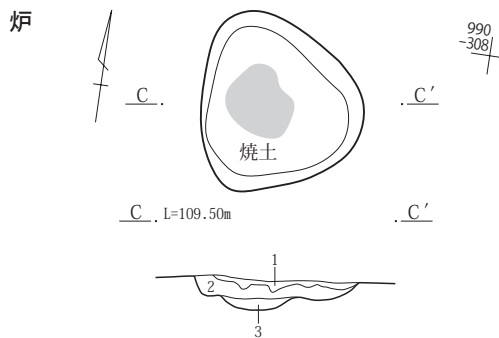
宮久保遺跡から検出した弥生時代の遺構と遺物は、
 穴住居1軒と埋設土器1基、それらの遺構に伴う出土土
 器および遺構外からの出土遺物(土器・石器)がある。

(1) 竪穴住居



- 1 黒褐色土 しまりあり。粘質土。白色軽石を多量に含む。
- 2 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム・白色粒を少量含む。
- 3 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。
- 4 茶褐色土 しまりあり。粘質土。
- 5 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム・黒色土ブロックを含む。

0 1:60 2m



- 1 暗褐色土 粘質土。ローム粒を少量含む。
- 2 赤褐色土 しまりあり。粘質土。焼土含む。
- 3 焼土層

0 1:30 1m

第251図 1区D5面28号住居

28号住居(第251・252図、PL.88・89-1)

位置 1区D5面、X=41986～993、Y=-47305～312。

重複 4号溝、74・118・134号土坑、57～61・278・327～329・357・384号ピットと重複。いずれの遺構よりも、本遺構が古い。

平面形状 南側が4号溝、118・133号土坑に掘削されるが、不整形な形状を呈す。

主軸方位 N-68°-E。

規模 長軸5.32m以上、短軸5.30m。残存壁高0.15～0.2m。

面積 (26.62㎡)以上。

埋没土層 黒褐色土主体。4層が観察された。人為的に埋め戻された痕跡はなく、住居廃絶後自然堆積した可能性が高い。

床面 概ね平坦であるが、住居南側がやや高くなる傾向が認められる。

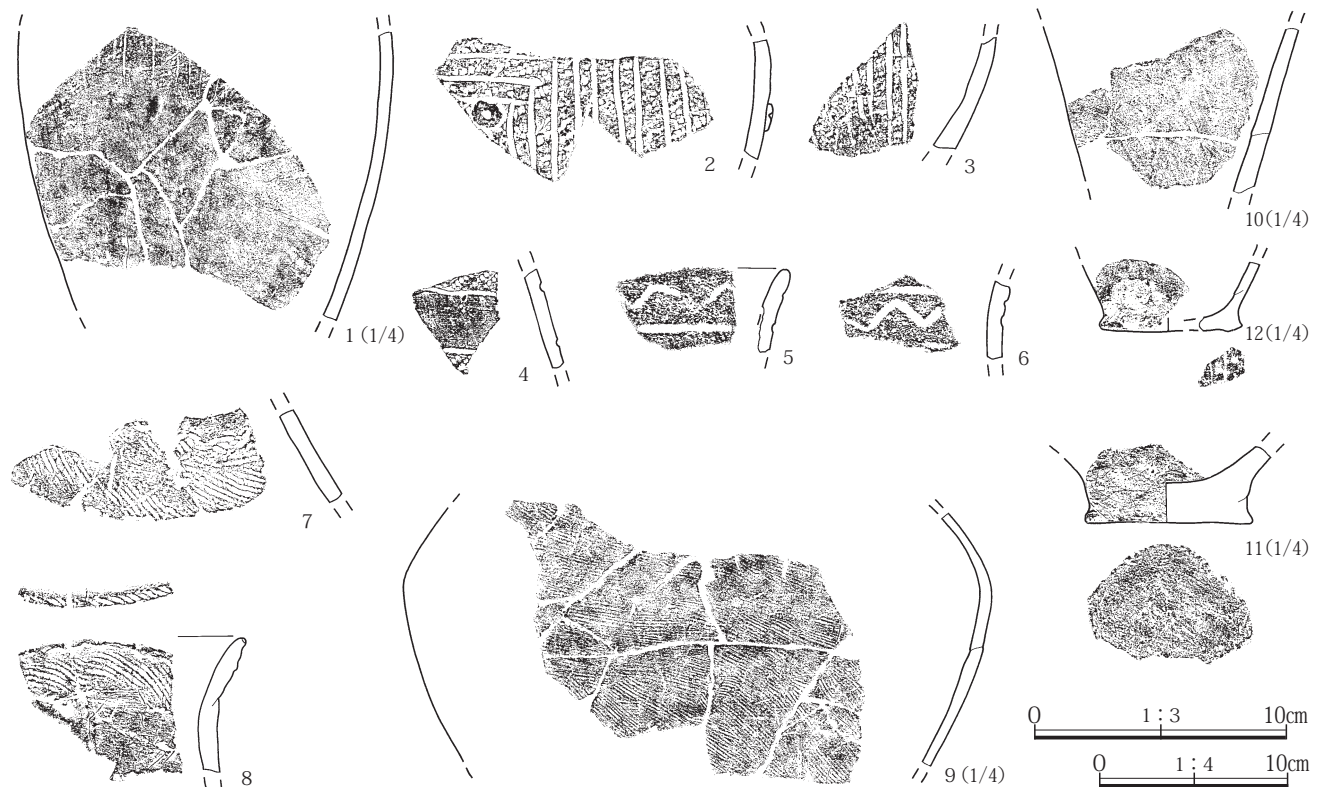
炉 住居中央部で確認された。不整円形を呈し、底面で焼土層が確認されている。径0.65m、深さ0.07m。

その他 柱穴等は確認されなかった。

掘り方 暗褐色土主体。0.02～0.05mで地山に達する。顕著な掘り込みは確認できなかった。

遺物 掲載遺物の他、弥生時代の土器片120点が出土した。掲載遺物は、4・12は床面から、他は床面付近から出土した。1～4は甕胴部片で、2・3は同一個体。1は縄文に縦位の入れ子文が施され、2は入れ子文の中心に円形貼り付け文を貼付、4は横線区画文に縄文を充填している。5・6は同一個体で、鋸歯文と横沈線が施される壺形土器の口縁部片。7・8も同一個体と考えられる口縁部片で、口唇部および口縁部にRL縄文、胴部に結節縄文が施される壺または甕と思われる。9・10は甕胴部片、9は外面に刷毛目、10は内外面にナデが施される。11・12は底部片で、11は内外面横ナデ、12は木葉痕と被熱剥離痕およびスス状炭化物の付着が認められる。

所見 出土遺物から弥生時代中期後半に比定され、本住居の西側6mで検出した1号埋設土器も中期後半の所産と考えられるもので、関連性について検討する必要がある。



第252図 1区D5面28号住居出土遺物

(2)埋設土器

1号埋設土器(第253図、PL.88・89-1)

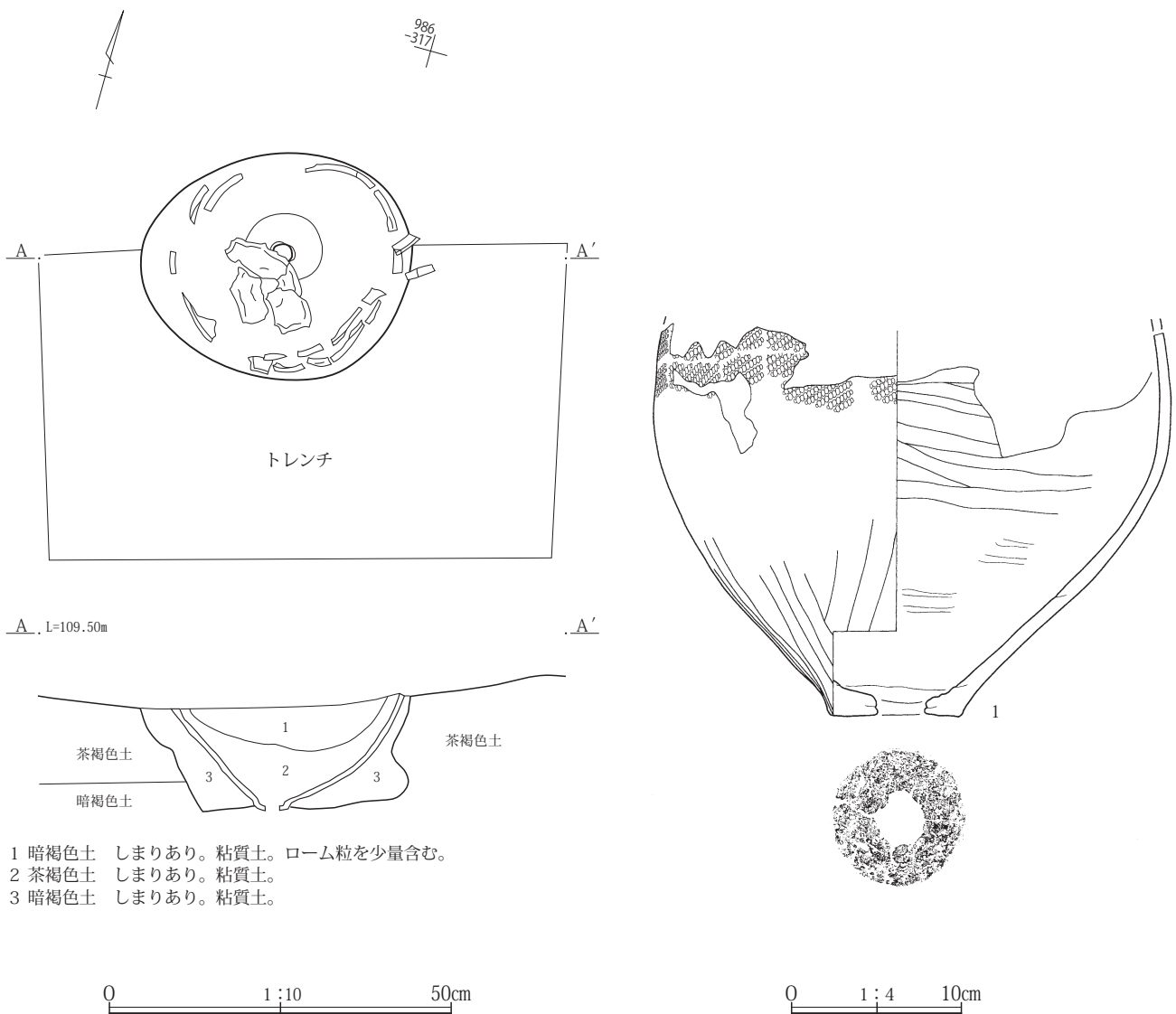
位置 1区D5面、X=41986、Y=-47317。

出土状況等 表土掘削後の遺構確認の際に検出した。付近には関連すると考えられる掘り込みはなく、ピット等も検出されなかったため、屋外埋設土器と認定した。平面・断面の観察から、長軸0.4m、短軸0.33m、深さ0.17mの楕円形状のピットに土器を埋設したもので、茶褐色土を切り込んでいた。土器内部の土層は、顕著な残留物は認められず、やわらかくしまりがある粘質土であった。

関連遺構 28号住居に隣接するが、関連遺構は確認できなかった。

遺物 底部が焼成後に穿孔された口径部を欠く壺形土器である。胴下半部のみ残存し、胴部外面上半部に横位のRLの縄文が施される。

所見 埋設土器内から本遺構の性格を推定できる遺留物は検出されておらず、近辺から焼土・炭化物等も確認されなかったため、遺構の性格の特定には至らない。底部穿孔の意図についても了解するには根拠に乏しく、類例の蓄積の上に検討する必要がある。出土土器は、弥生時代中期後半に比定され、28号住居と同時期の所産と言える。



- 1 暗褐色土 しまりあり。粘質土。ローム粒を少量含む。
- 2 茶褐色土 しまりあり。粘質土。
- 3 暗褐色土 しまりあり。粘質土。

第253図 1区D5面1号埋設土器

(3)遺構外からの出土遺物(第254図、PL.100)

土器

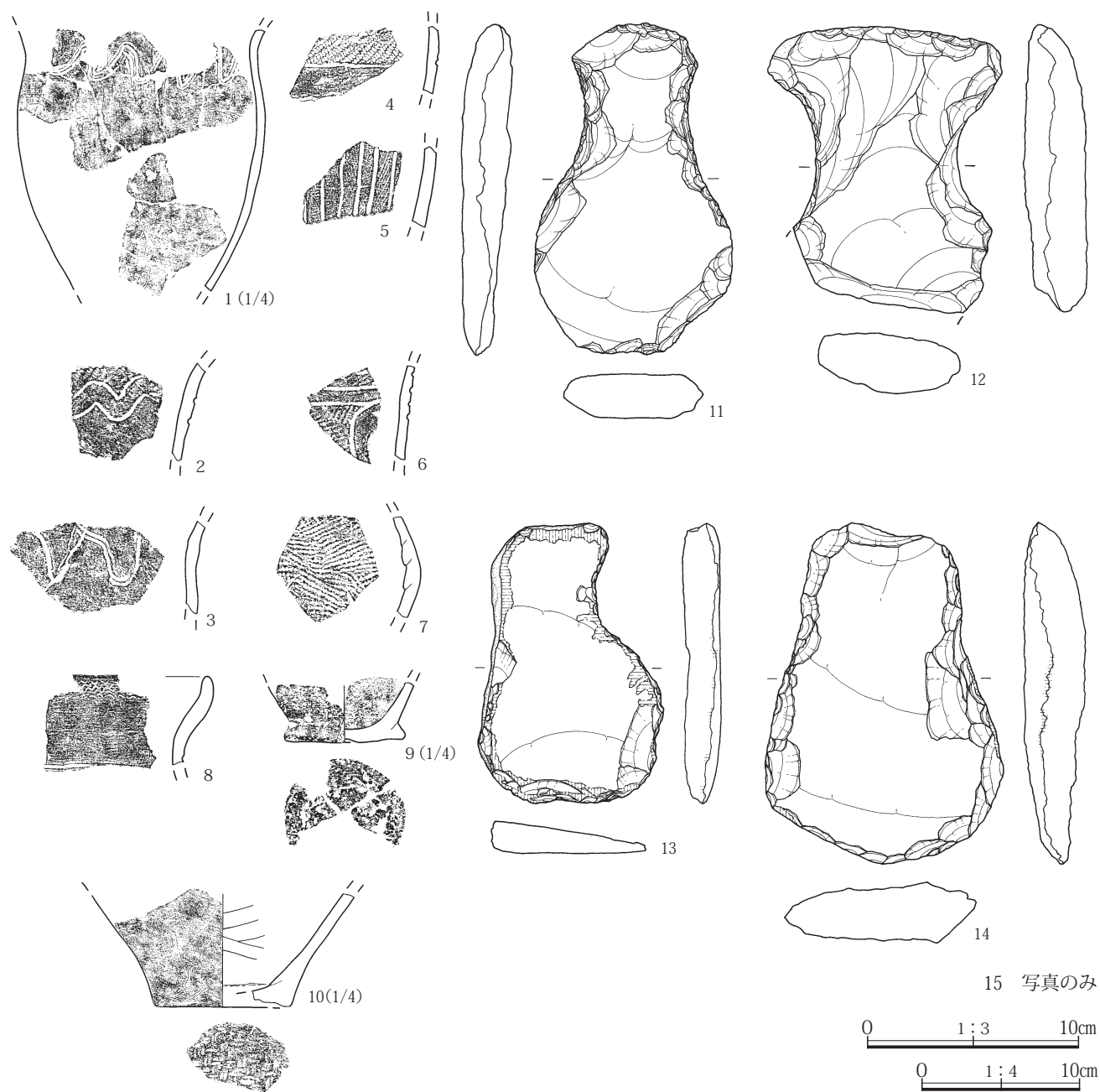
1～3区のすべてに調査区から少量ながら出土している。1区は古代の竪穴住居やピット、2区は2・4面、3区は4面からそれぞれ出土している。いずれの土器も弥生時代中期後半に比定されるものである。

1は3本歯の櫛描波状文、2・3は平行沈線が施される。4・6は沈線区画内にRL縄文を、5は疑似縄文が充填されている。7はRL縄文のみ、8は口縁部片で櫛描波状文・簾状文が施される。9・10は底部片で、9は被熱風化、10は網代痕が観察される。

石器

石器については遺構に伴わない場合、その時期判定は難しい側面があり、断定できるものではない。ここでは、縄文時代の石器として扱った遺物を含め、縄文・弥生時代のいずれも可能性があるという認識で報告するものとする。

1～3区から出土した。11～15はいずれも石鍬で、11～13・15は分銅形、14は撥形を呈す。13・15の石材は黒色頁岩、11・12・14はホルンフェルス製である。13・15は先端部に使用痕、11・12・14は両側縁の摩滅が観察される。



第254図 弥生時代遺構外出土遺物

3 縄文時代

縄文時代の遺構と遺物は、縄文土器包含層からの遺物と遺構外から土器・石器が確認された。包含層からは、土器のみの出土であった。

(1) 縄文土器包含層

1号縄文土器包含層(第255図、PL.90)

位置 1区A 5面、X=41868～872、Y=-47280～284。

規模・形状 およそ南北4m、東西4mの範囲にあり、厚さ0.1～0.32mに分布する。分布範囲の中央付近には

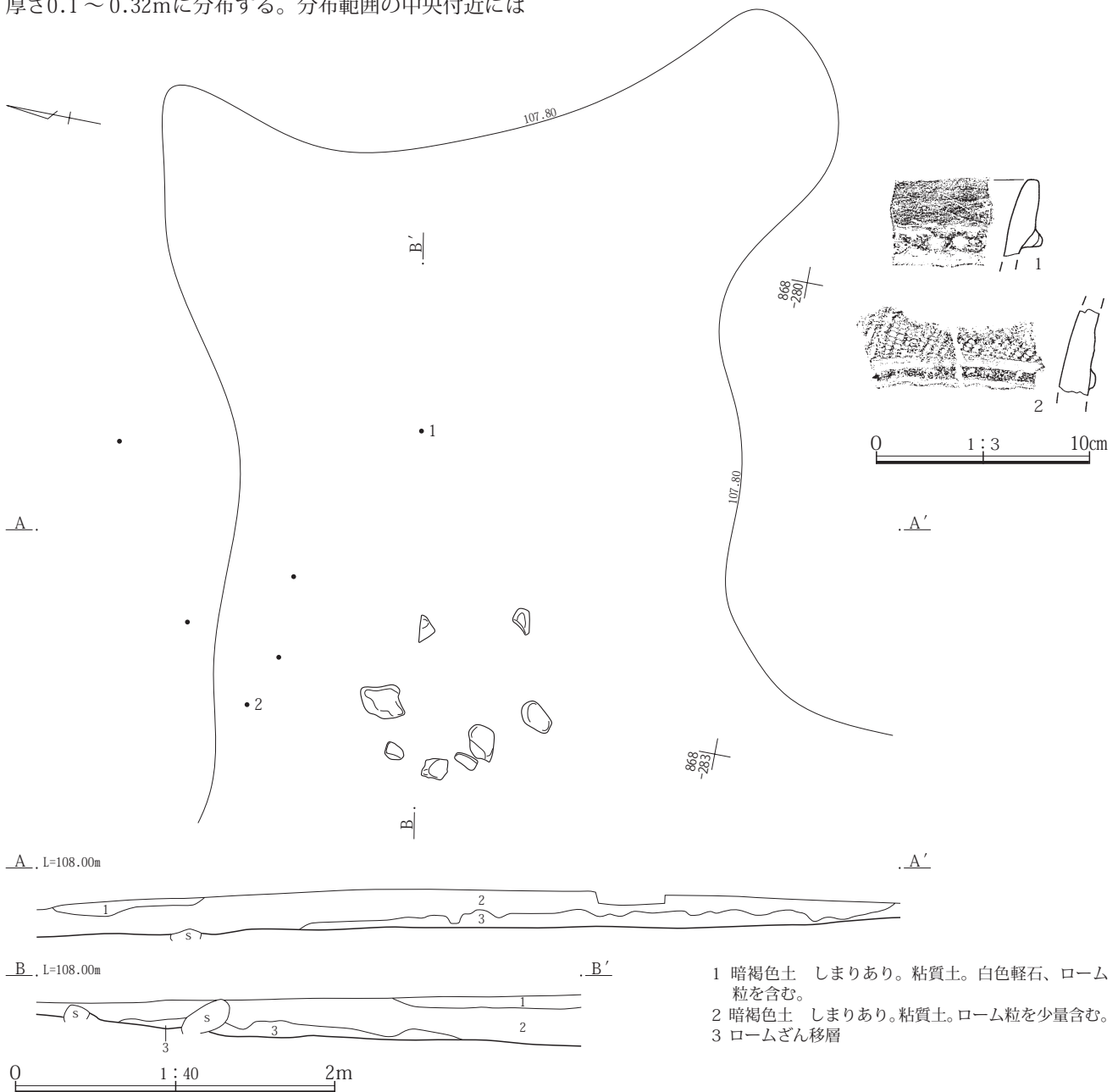
φ0.15～φ0.25mの8個の礫が確認された。

包含層 暗褐色土主体。2層が確認された。最下層にローム漸移層が認められた。

出土層位 2層の暗褐色土から出土した。

遺物 8片の土器片の他、一括遺物の土器片がある。1・2はいずれも深鉢で、1は横位の縄文が施される胴部片、2は口縁部片で横位隆帯文が施される。

所見 土器包含層の下層にローム漸移層の堆積が認められることから、下層にはローム層が存在し、扇状地形の自然堤防状の微高地に残された包含層と考えられる。出土土器は、縄文時代中期三原田式に比定される。



第255図 1区A 5面1号縄文土器包含層と出土遺物

(2)その他の出土遺物(第256・257図、PL.101・102)

遺構外または時代の異なる遺構から出土した遺物について、報告したい。縄文時代早期茅山式から後期加曾利B2式期までの土器・石器が出土している。縄文土器については、実測したものは写真を含めすべて掲載した。石器については、実測し掲載したものの他、写真のみ掲載したものがある。石器は、縄文時代および弥生時代のどちらにも帰属するものがあり、大型の打製石斧のみ石鏃として弥生時代のものとして取り上げた。磨石・敲石・石鏃等は縄文時代のものとして取り扱うこととした。

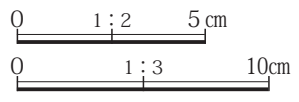
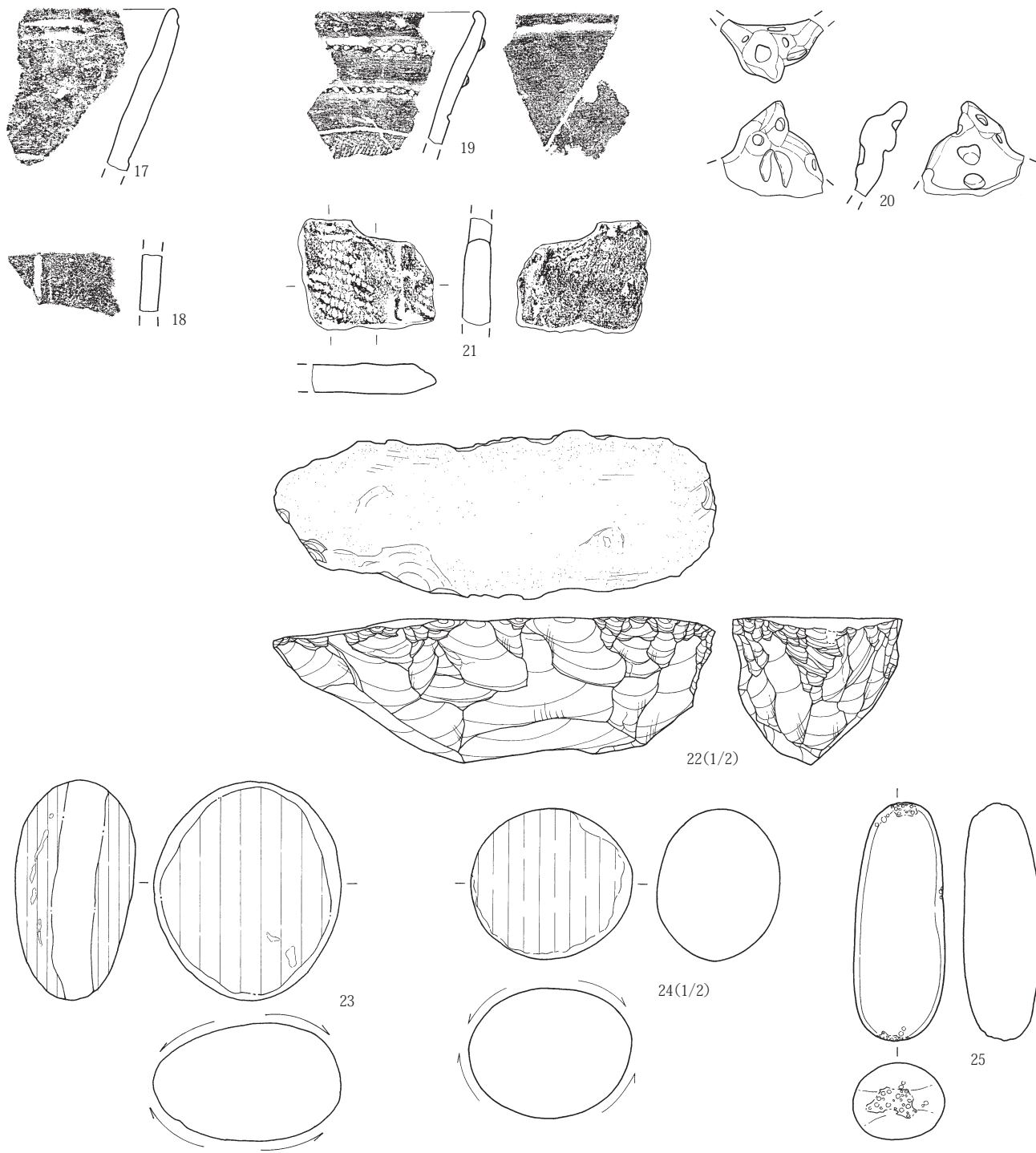
土器 1～7は内外面に条痕文が施された茅山式期のもので、胎土中に繊維を含む深鉢土器の一群である。1・2は口縁部片で、他は胴部片である。2は口唇部に刻目が施され、7は外面に縄文が認められる。8・9は諸磯a式期の深鉢胴部片で、横位のR L縄文に2条の横位沈線、9は縦位のR L縄文が施される。10は諸磯c式期の深鉢口縁部片で、集合沈線文・口縁部に円形貼付文がある。11～13は加曾利E式期の深鉢で、12は底部片。

11・12は縦位のR L縄文に、11は2条の沈線、13は懸垂文内を磨り消している。14～20はいずれも縄文時代後期に所属する。沈線区画文のある14・15は称名寺Ⅱ式、16～18は堀之内1式、16は沈線文とR L縄文、17は口縁部に横位沈線がめぐらされ、18は懸垂状の沈線文が施されている。19は堀之内2式で、2条の横位刻目細隆起線、下位沈線区画文内にR L縄文が施される。20は3単位突起のある深鉢で、内面に円形刺突が施される。21は板状土偶と考えられ、左肩部から胴部上位が残存する。左肩部を折り返して表現し、R L縄文が施されるもので、縄文時代前期の可能性が考えられる。

石器 22は大形の剥片を剥離したと考えられる船底状を呈す石核、23・24は磨石で、25は敲石である。23・24はほぼ全面に摩滅が認められ、25は上下端部に敲打痕が認められる。22は黒色頁岩製、23・25は粗粒輝石安山岩製、24は溶結凝灰岩製。26～33は石鏃、34は楔形石器、35～42は打製石斧、43・44は二次加工痕のある剥片石器、45は磨石、46・47は石核で、47は船底状を呈す。



第256図 縄文時代遺構外出土遺物 1



26 ~ 47 写真のみ

第257図 縄文時代遺構外出土遺物2

4 旧石器時代(第258・259図、PL.91)

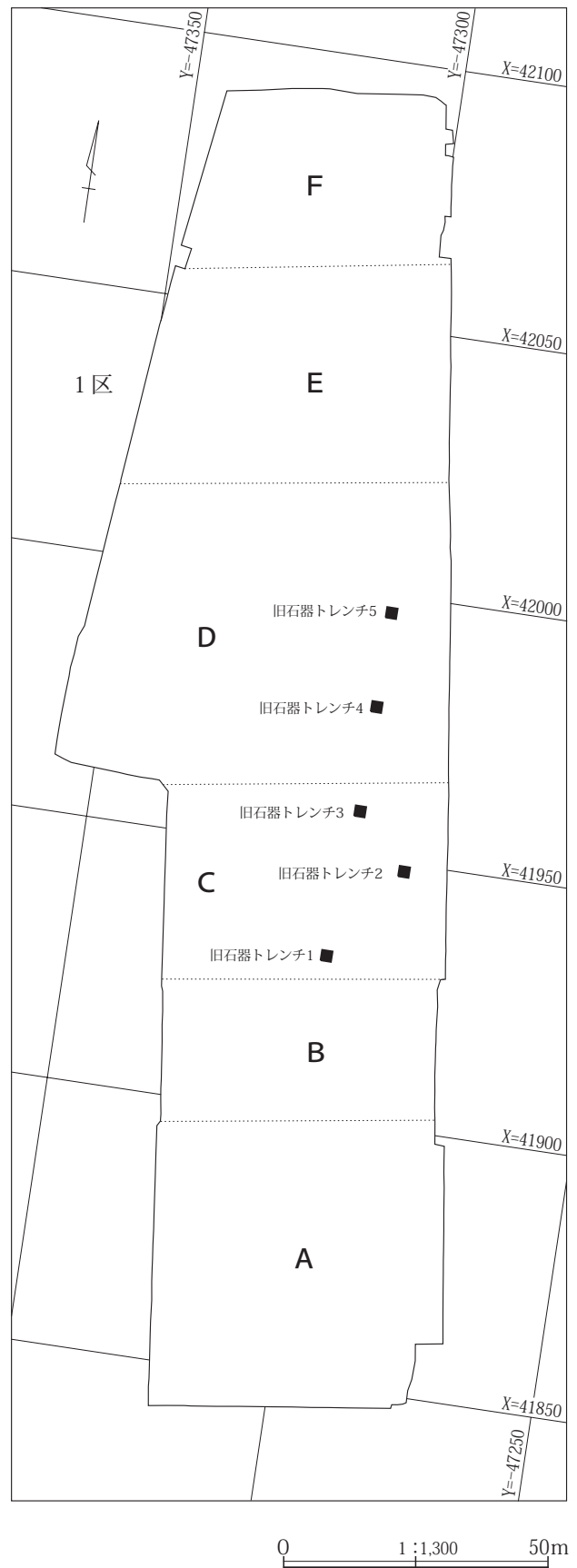
宮久保遺跡から旧石器時代の遺構・遺物は検出されなかった。本調査では、1区CDにおいて5カ所にわたってトレンチ調査を実施したが、旧石器時代の遺物や遺構等の痕跡は認められず、面的な調査に至ることはなかった。整理の段階で第257図、PL.101-22の船底型石器について、その形状等から旧石器時代の終末期に比定される細石刃核の可能性を考えたが、大型であることや石器面の風化の度合いなどから、船底状を呈した大形の剥片を剥離した石核と判断するに至り、縄文時代の所産とした。

ここでは、トレンチ調査について報告する。

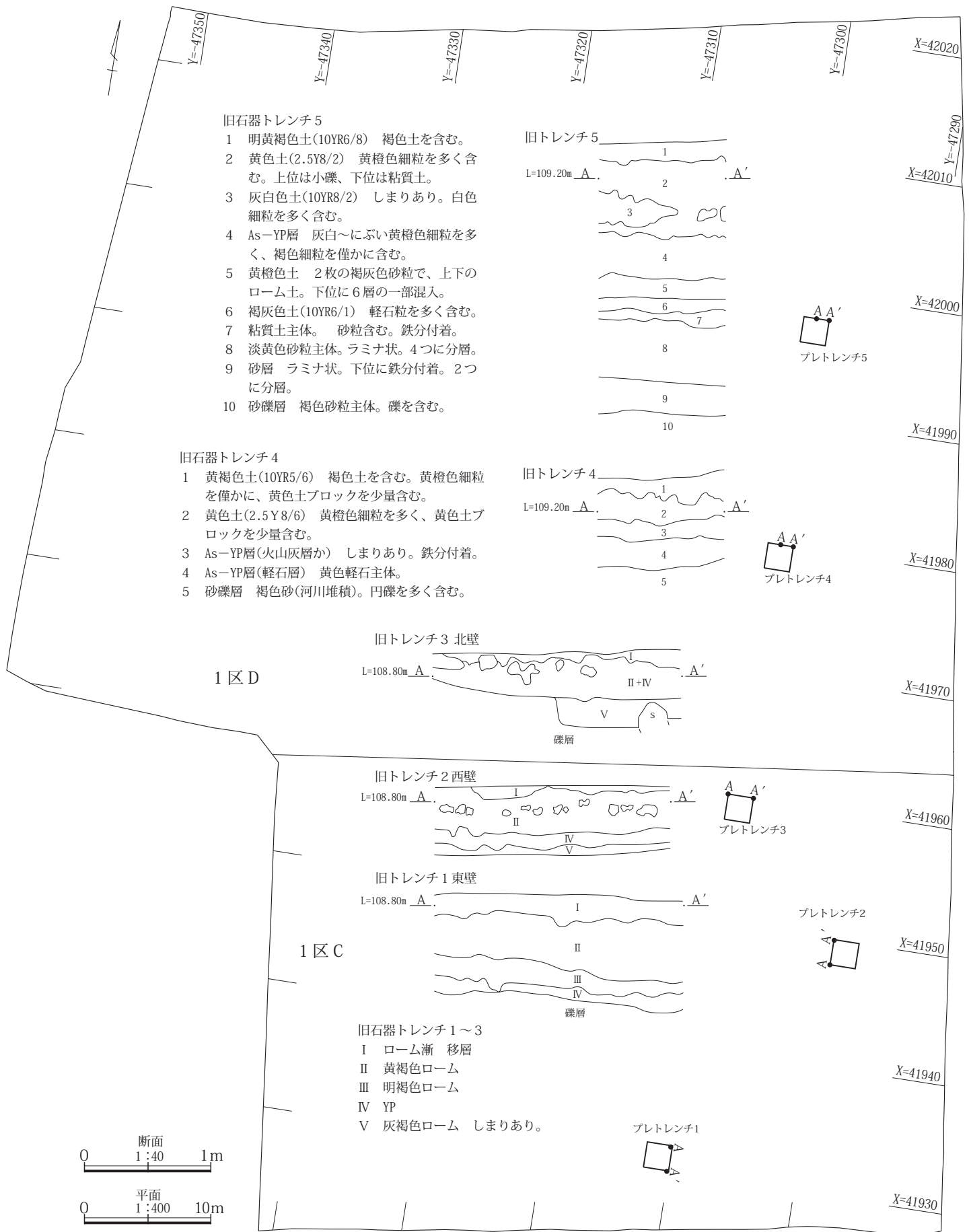
トレンチ調査

1～3のトレンチでは、ローム漸移層下に黄褐色ローム、明褐色ロームと続き、IV層では、YP層を確認した。YP層下は、灰褐色ロームとなり、最下面は藪塚面を構成する砂礫層となる。

4トレンチでは、YP層下に間層を挟まず砂礫層となる。



第258図 1区CD旧石器トレンチ位置図



第259図 1区C D旧石器試掘トレンチ配置図と土層断面

写真図版



1 調査区から八王子丘陵遠景 南西から



2 調査区1～3区全景 南から



3 1区A B 1～5面全景 南から



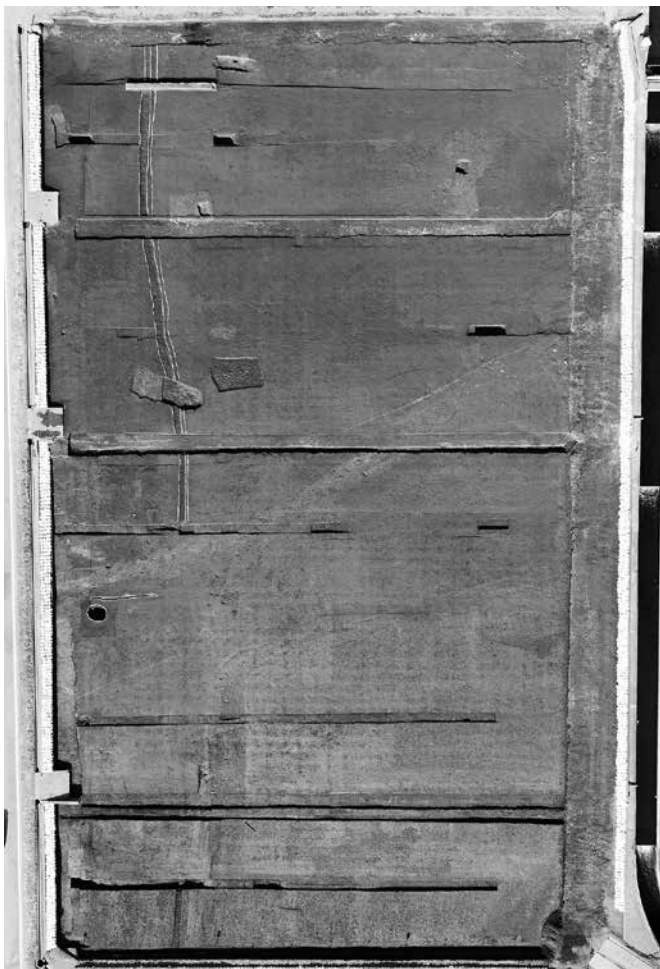
1 1区C 1~5面全景 南から



2 1区D 1~5面中央部分 南から



1 1区E 1～5面全景 南から



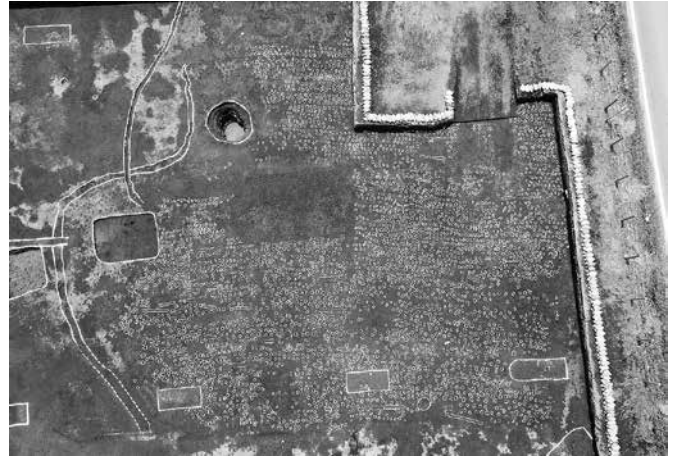
2 2区A～D 1面全景 南から



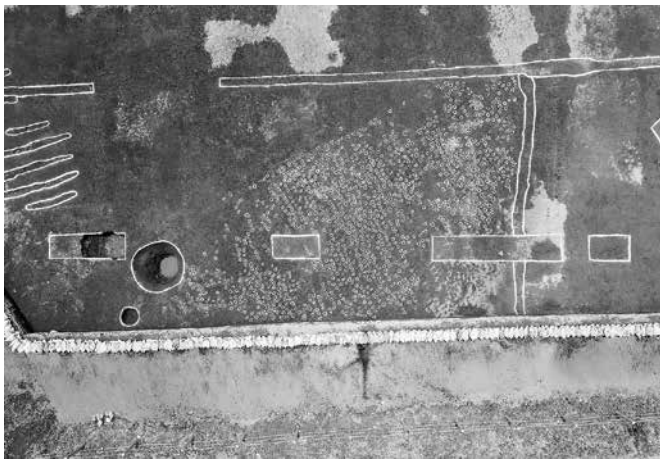
3 2区A～D 2面全景 南から



1 2区B 1面西寄り 南から



2 2区I 2面南西部分 北から



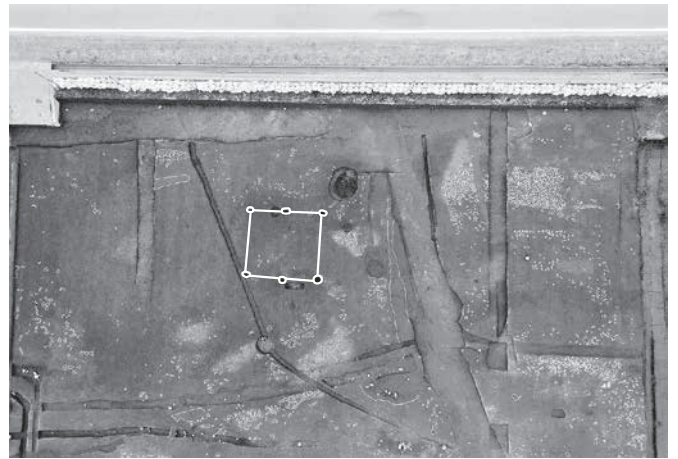
3 2区I 2面北東部分 北から



4 2区I 2面全景 南から



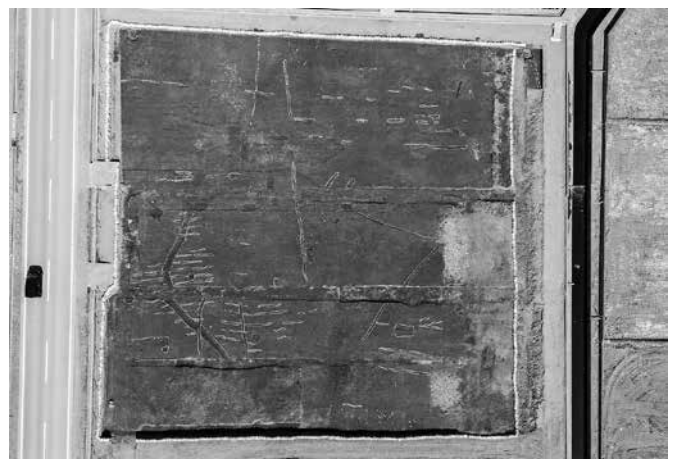
5 2区B~D 2・3面西半分 東から



6 2区B 2・3面西部分 東から



7 2区E 3面全景 南から

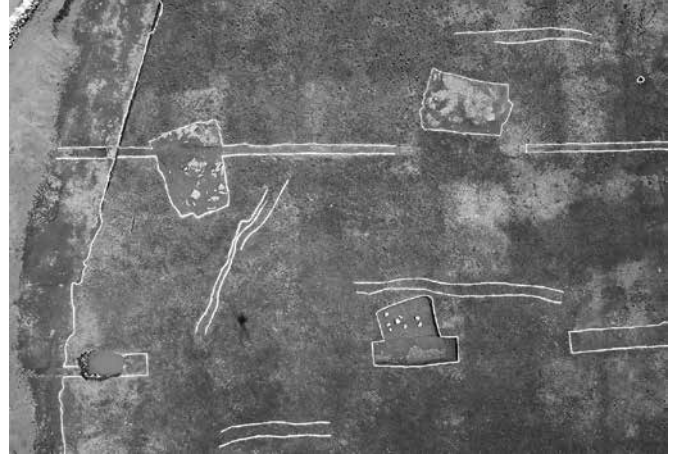


8 2区F~H 3面全景 南から

調査区



1 2区I 3面全景 南から



2 2区I 3面南東部分 北から



3 2区F~H 4面全景 南から



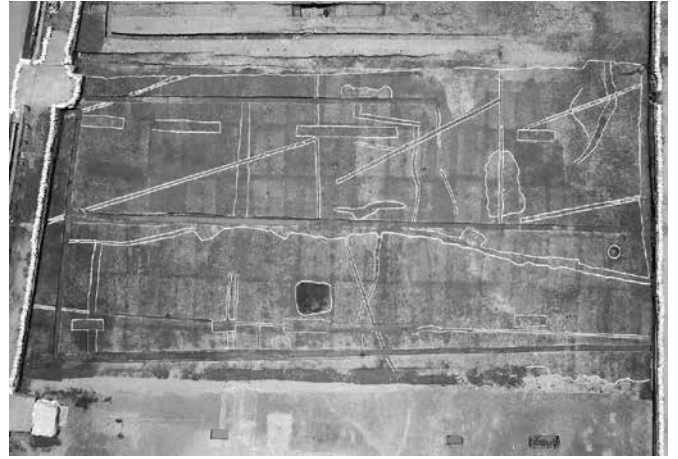
4 2区I 4面全景 南から



5 2区E~A 4面全景 北から



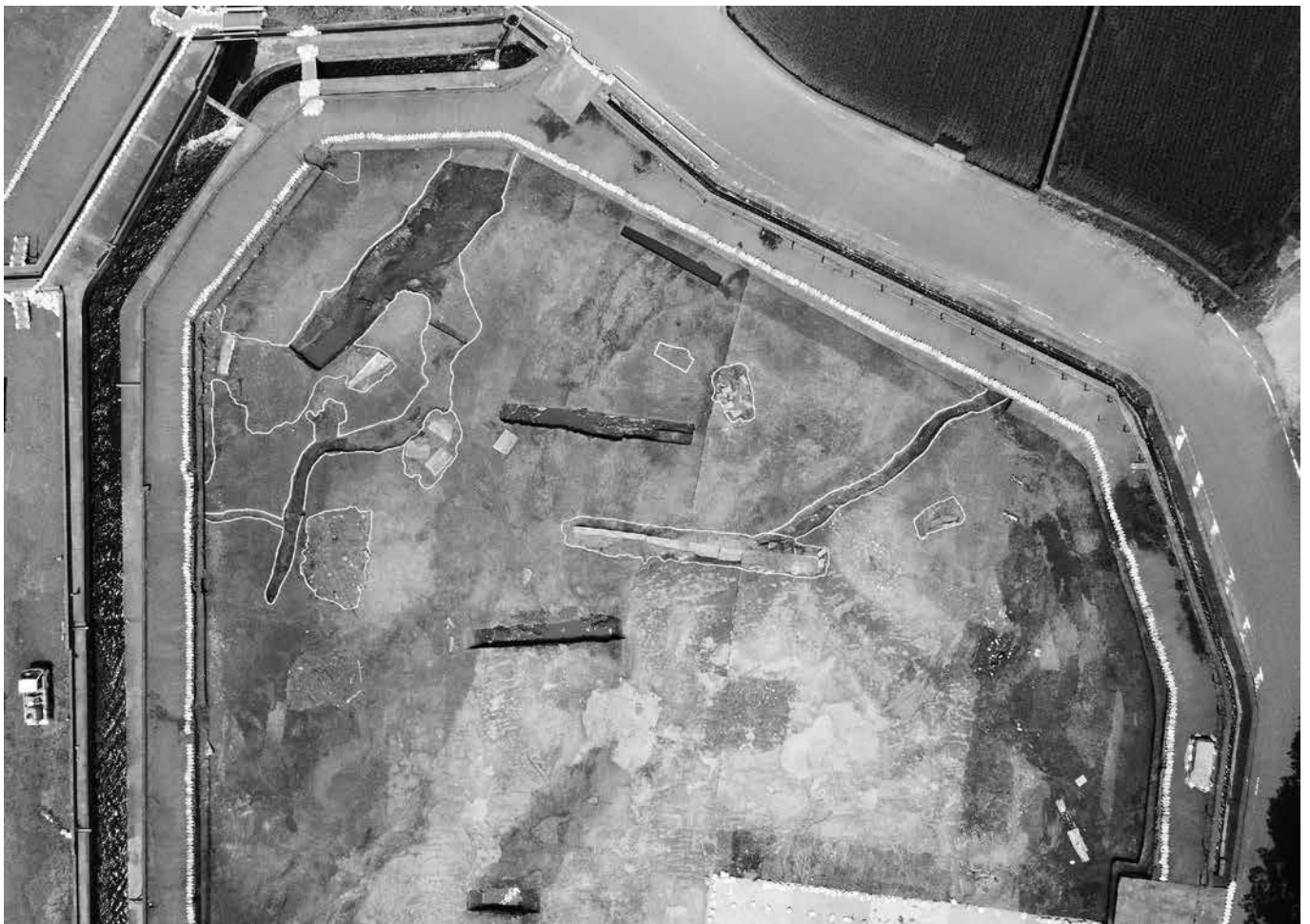
1 3区FG 1～3面全景 南から



2 3区E 1～3面全景 北から



3 3区B 1～3面西部分 南から



4 3区FG 4面全景 南から

1区1・4号住居



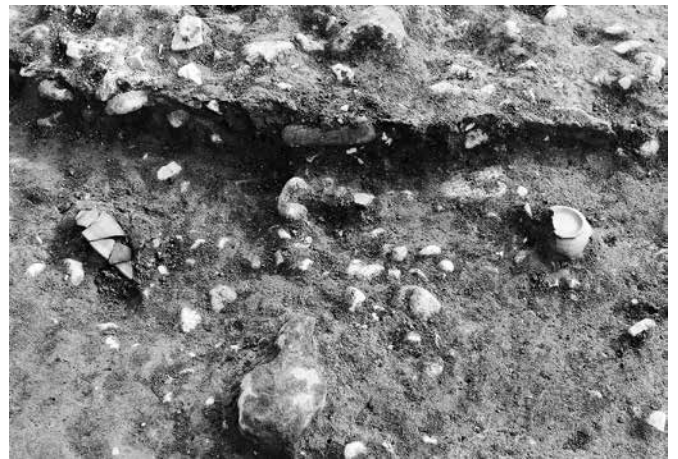
1 1号住居全景 南から



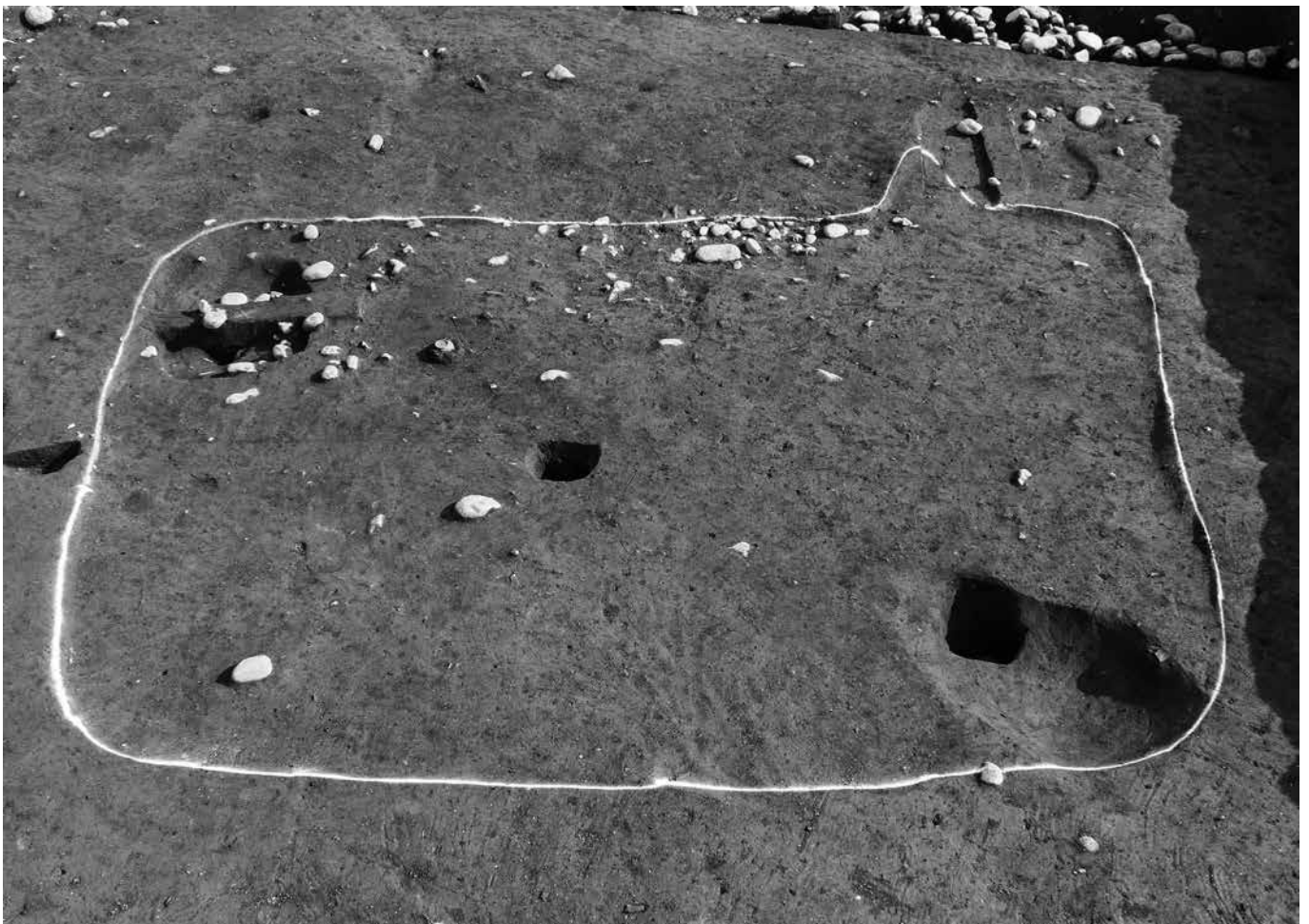
2 1号住居掘り方全景 西から



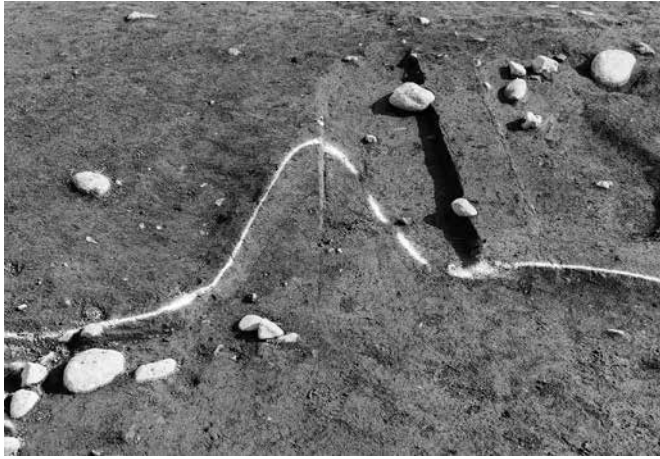
3 1号住居カマド全景 北西から



4 1号住居南壁寄り遺物出土状態 北から



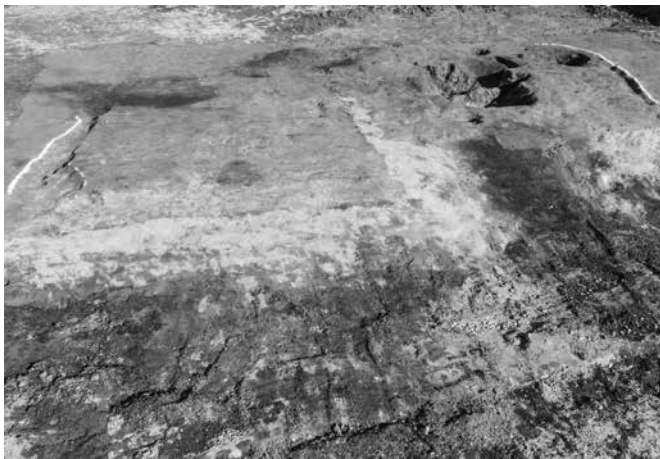
5 4号住居全景 西から



1 4号住居カマド全景 西から



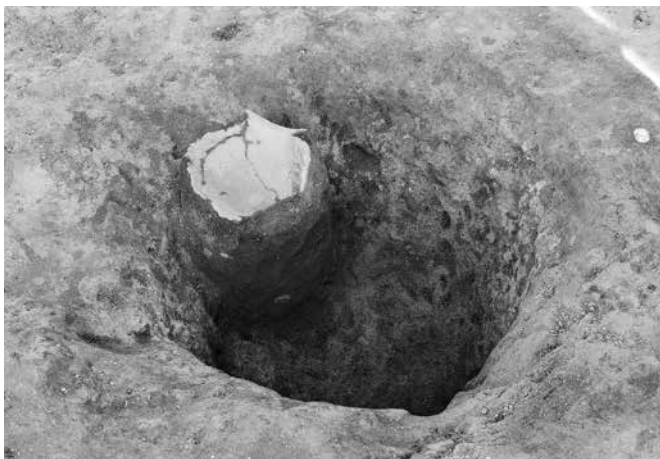
2 4号住居遺物出土状態(1) 西から



3 2号住居全景 南から



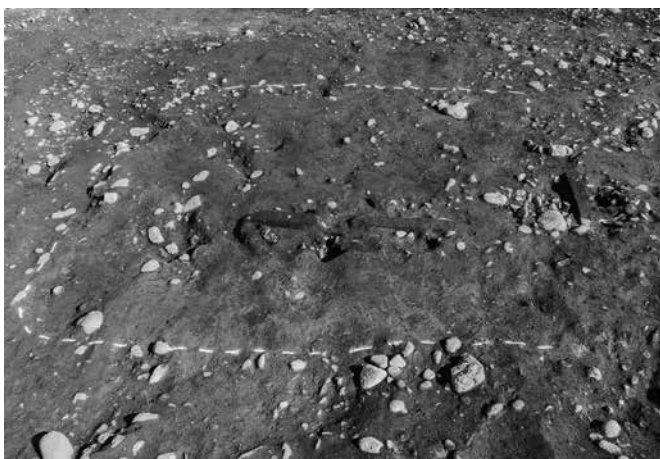
4 2号住居全景 西から



5 2号住居貯蔵穴全景と遺物出土状態(1) 南東から



6 2号住居貯蔵穴断面(B-B') 南東から



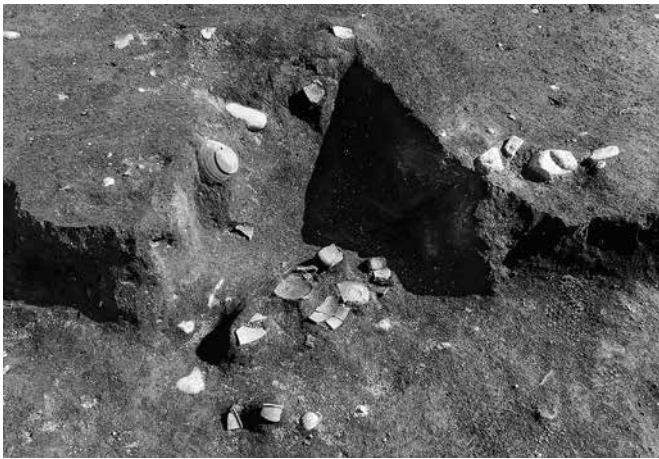
7 3号住居全景 南西から



8 3号住居炉全景 北西から



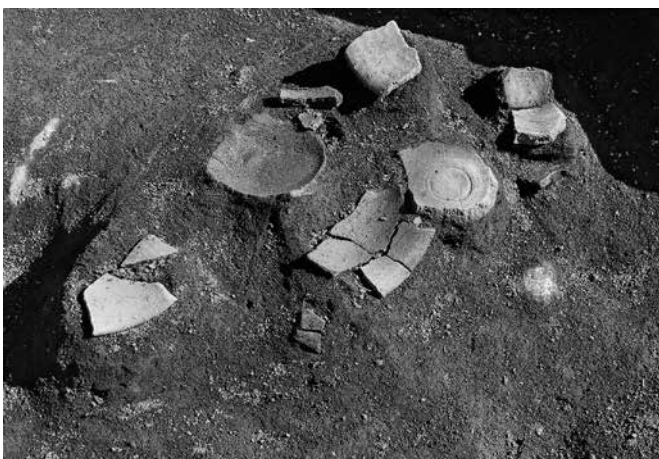
1 5号住居全景 西から



2 5号住居カマド全景 西から



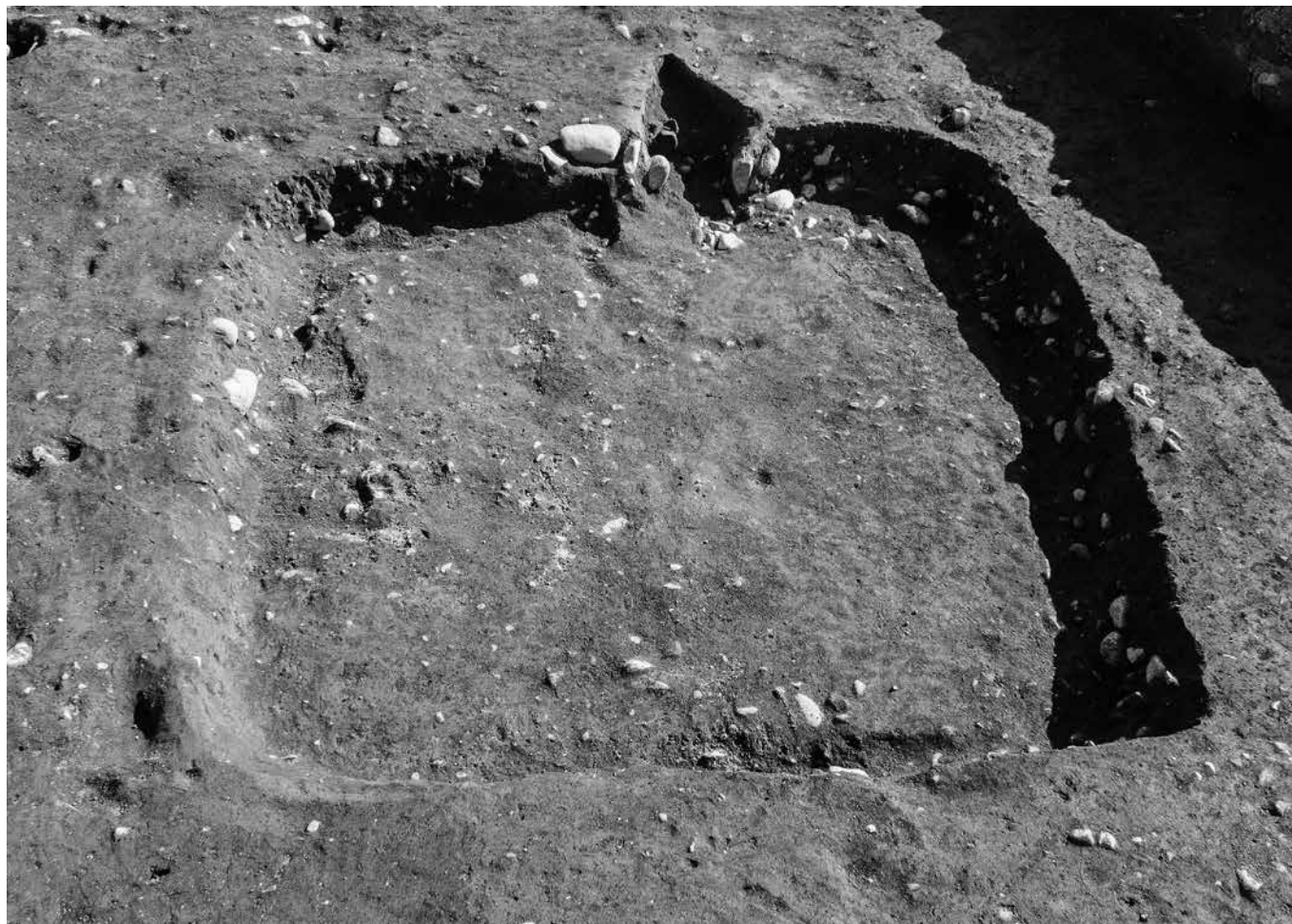
3 5号住居カマド遺物出土状態(3・5) 南西から



4 5号住居カマド焚口部遺物出土状態(1・2) 西から



5 5号住居遺物出土状態(6) 北から



1 6号住居全景 西から



2 6号住居遺物出土状態全景 西から



3 6号住居カマド全景 西から



4 6号住居カマド掘り方全景 西から



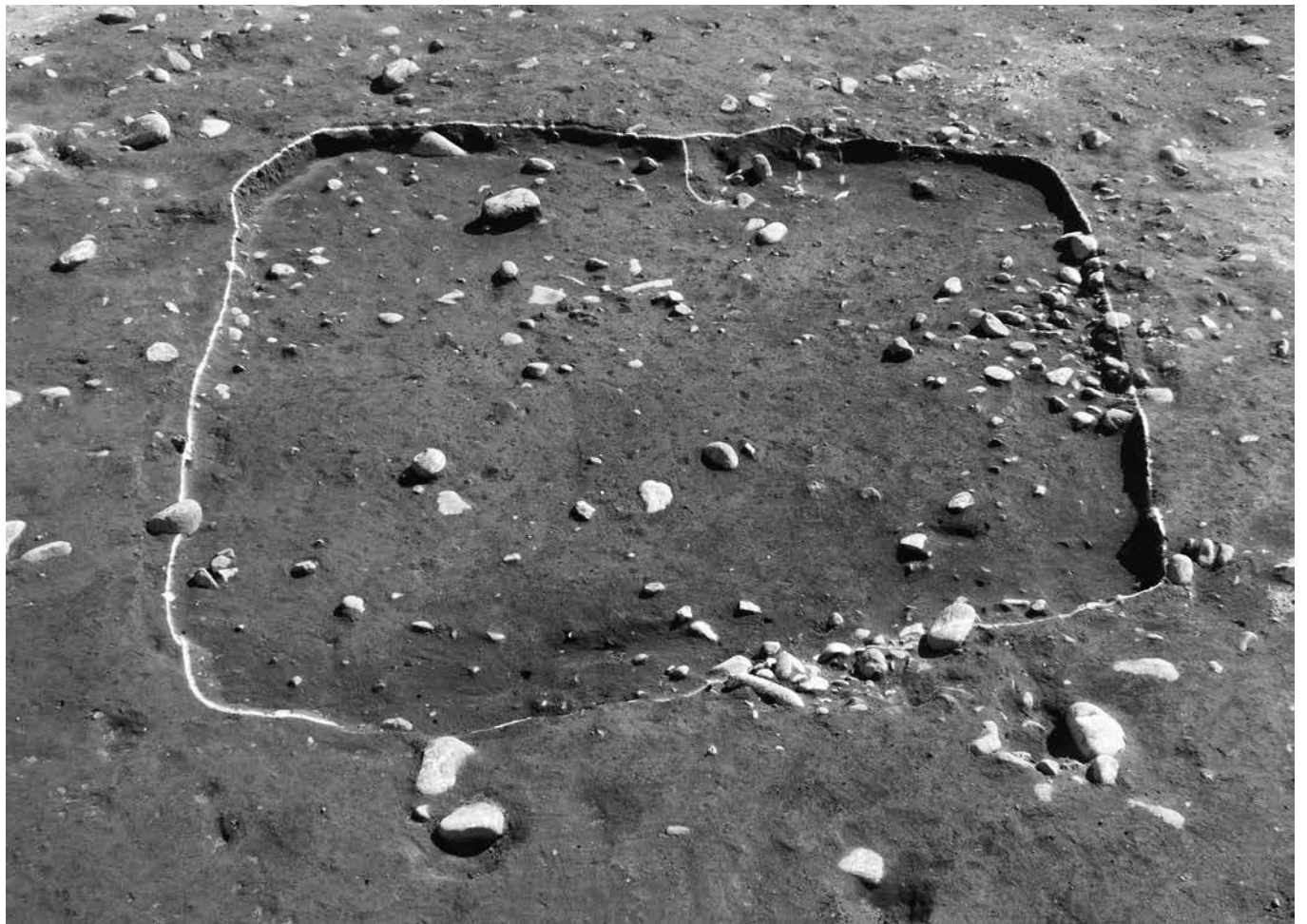
5 6号住居カマド断面(D-D') 西から



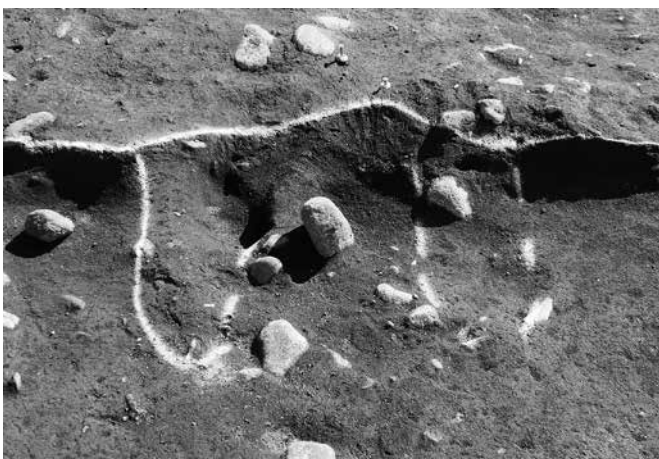
1 6号住居カマド遺物出土状態(3) 西から



2 6号住居南東隅遺物出土状態 北西から



3 8号住居全景 北西から



4 8号住居カマド全景 北西から



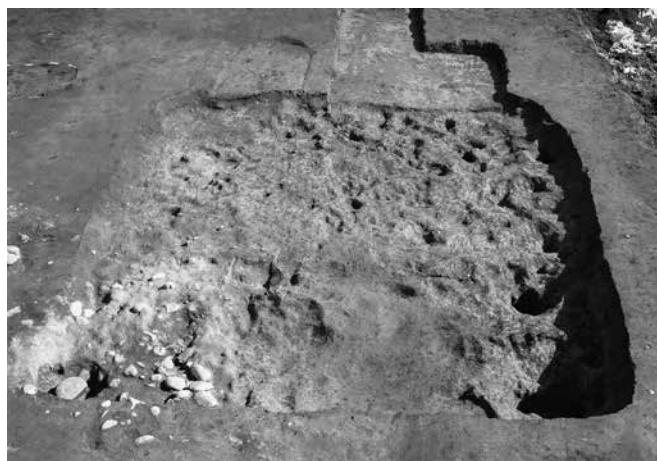
5 8号住居カマド焚口部遺物出土状態(3) 南西から



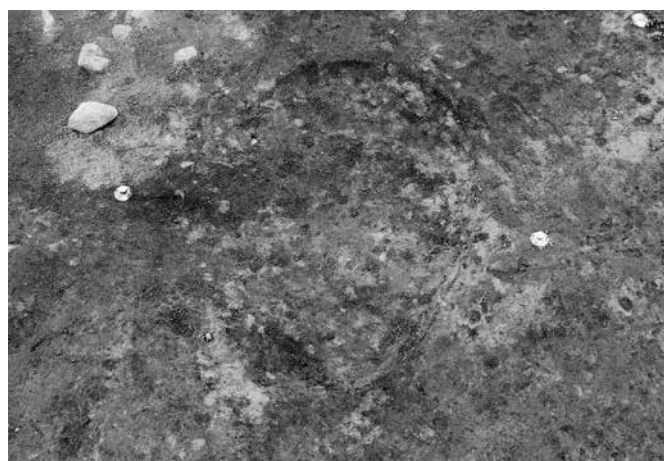
1 9号住居全景 南から



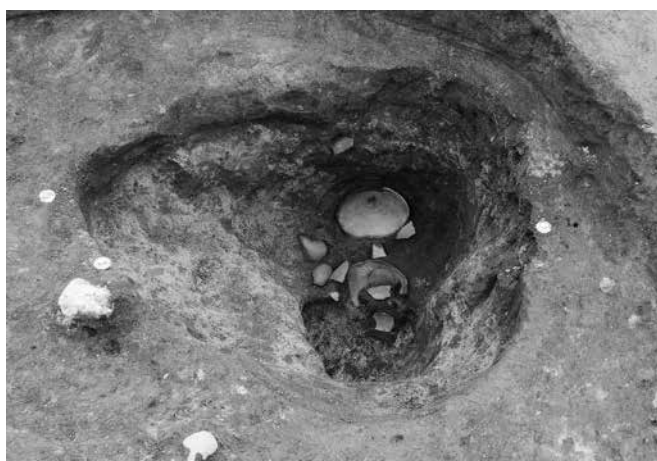
2 9号住居遺物出土状態全景 西から



3 9号住居掘り方全景 西から



4 9号住居炉全景 南から



5 9号住居貯蔵穴全景 北から



1 9号住居南西隅遺物出土状態(1~5) 北から



2 9号住居遺物出土状態(6) 西から



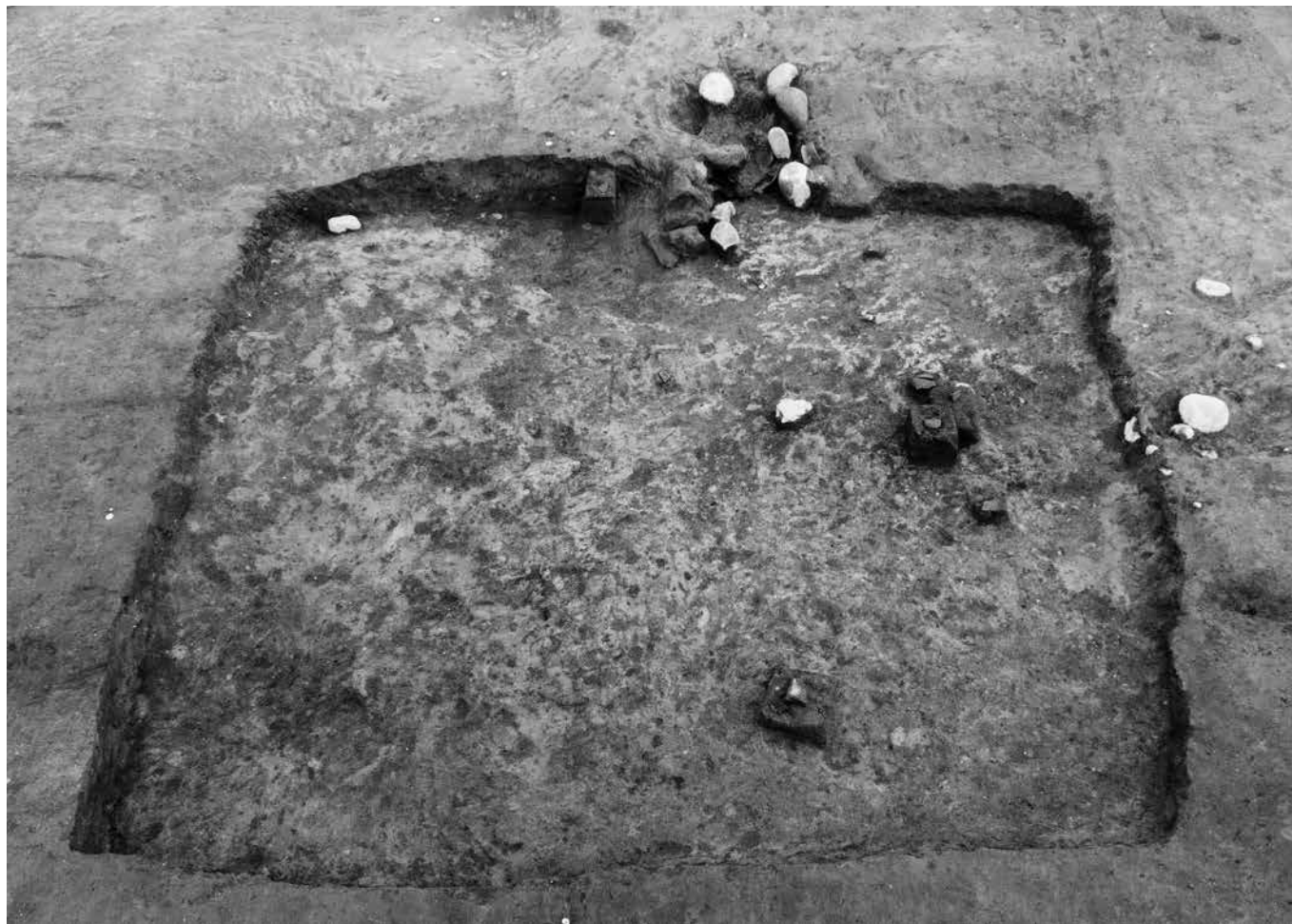
3 10号住居全景 南から



4 10号住居カマド全景 南から



5 10号住居北東隅遺物出土状態(2・3) 西から



1 11号住居全景 西から



2 11号住居掘り方全景 西から



3 11号住居カマド上面全景 西から



4 11号住居カマド使用面全景 西から



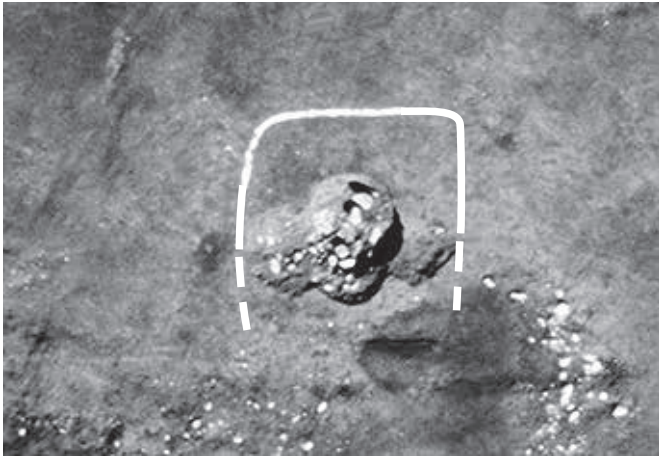
5 11号住居カマド掘り方全景 西から



1 12号住居全景 西から



2 12号住居カマド全景 西から



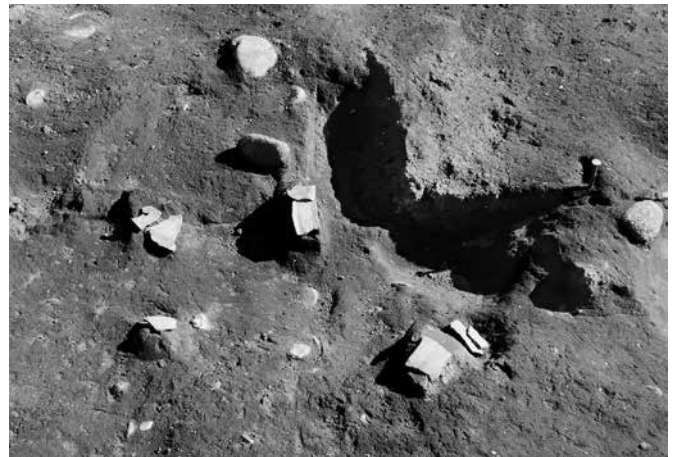
3 17号住居全景 南西から



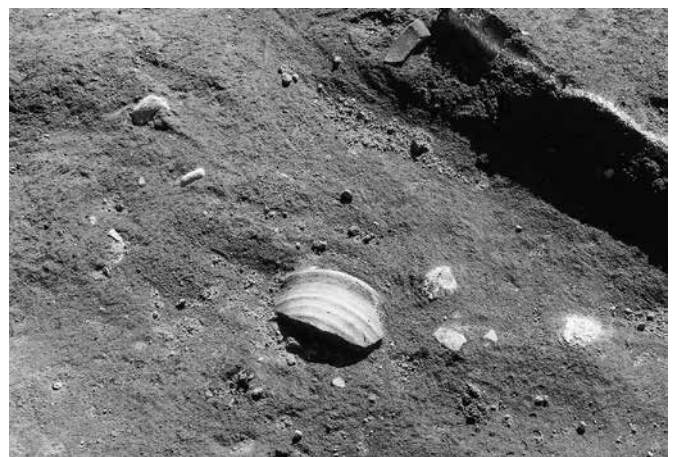
4 17号住居掘り方全景 西から



5 15号住居全景 西から



6 15号住居カマド全景 西から



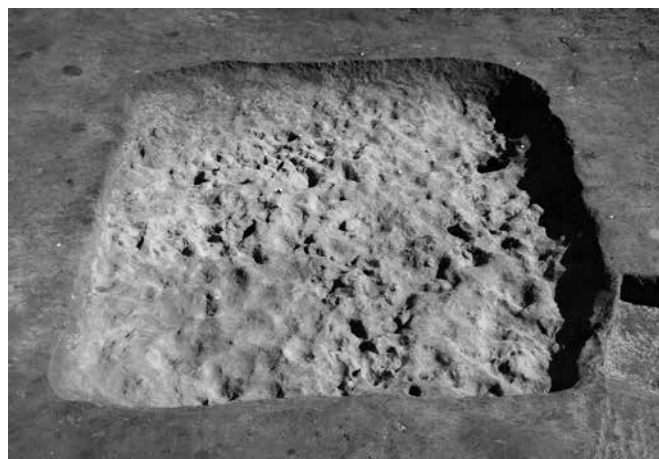
7 15号住居南壁寄り遺物出土状態(1) 北西から



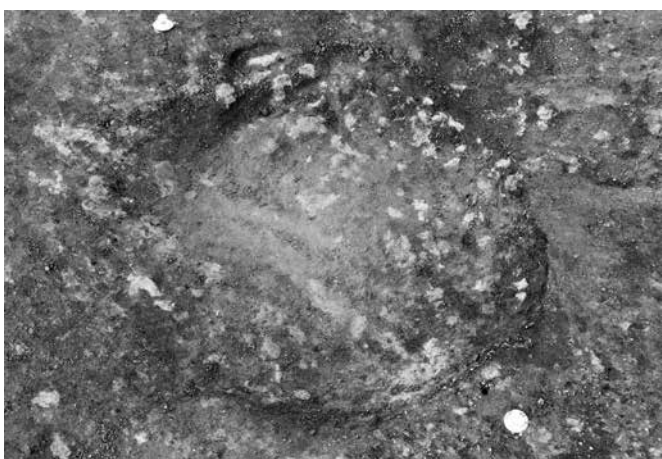
1 13号住居全景 南東から



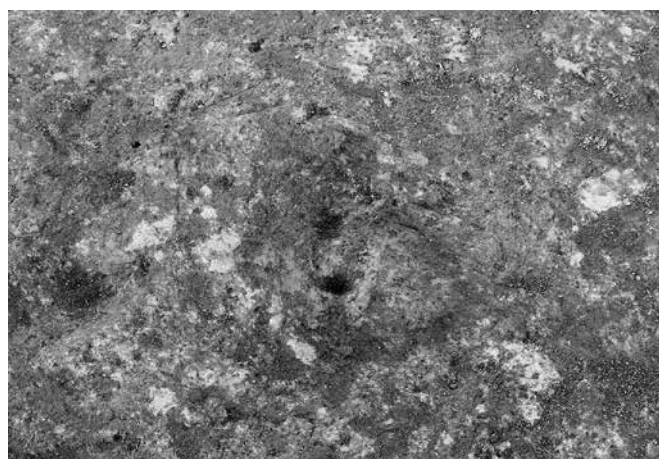
2 13号住居遺物出土状態全景 南東から



3 13号住居掘り方全景 南西から



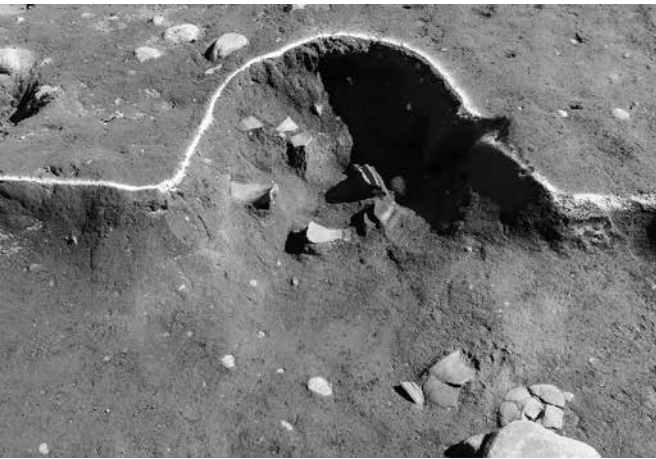
4 13号住居1号炉全景 南東から



5 13号住居2号炉全景 南東から



1 16号住居全景 西から



2 16号住居カマド全景 西から



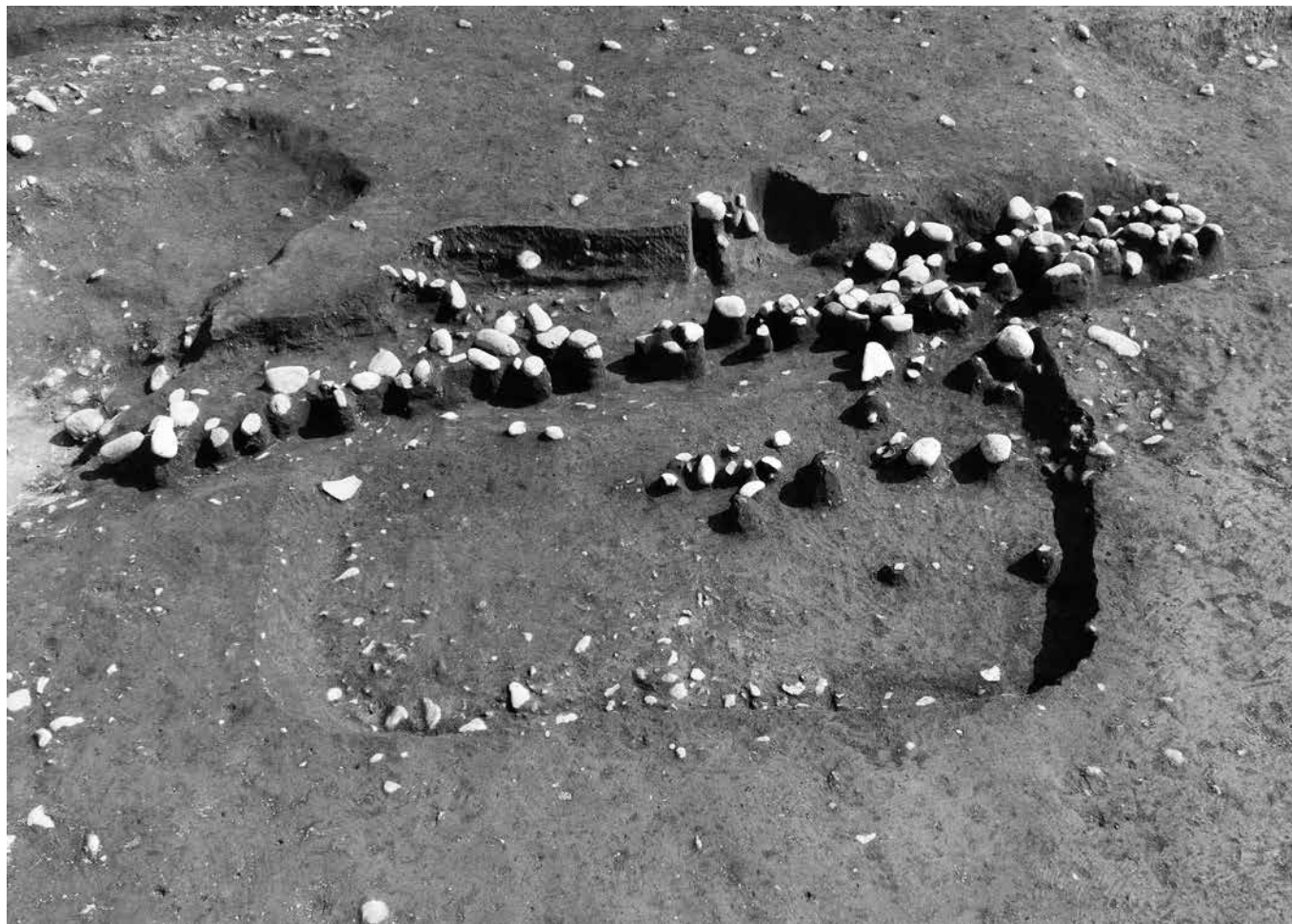
3 16号住居カマド断面(D-D') 西から



4 16号住居カマド袖前遺物出土状態(2) 西から



5 16号住居遺物出土状態(4) 北西から



1 18号住居全景 西から



2 18号住居カマド全景 西から



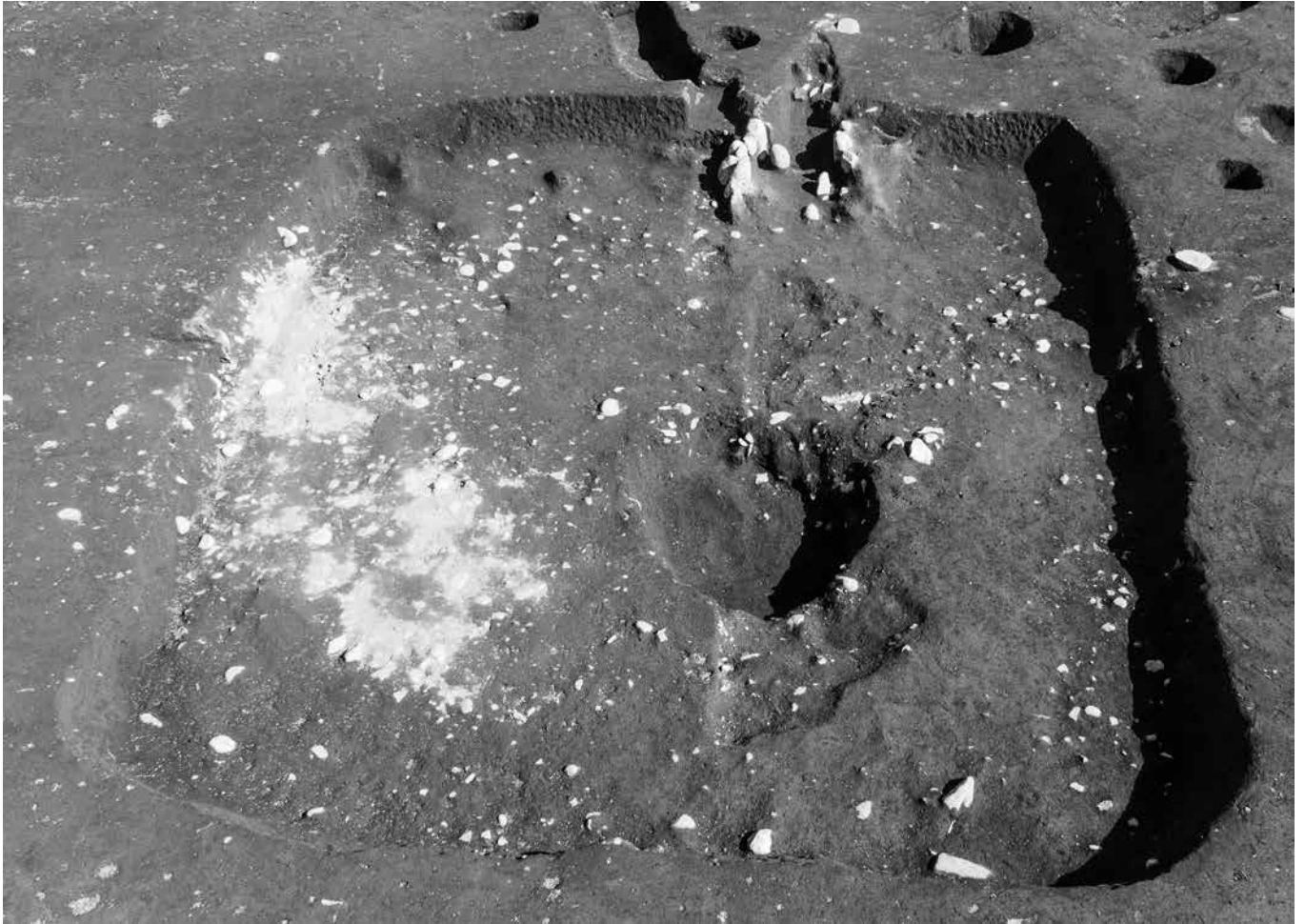
3 18号住居カマド断面(D-D') 西から



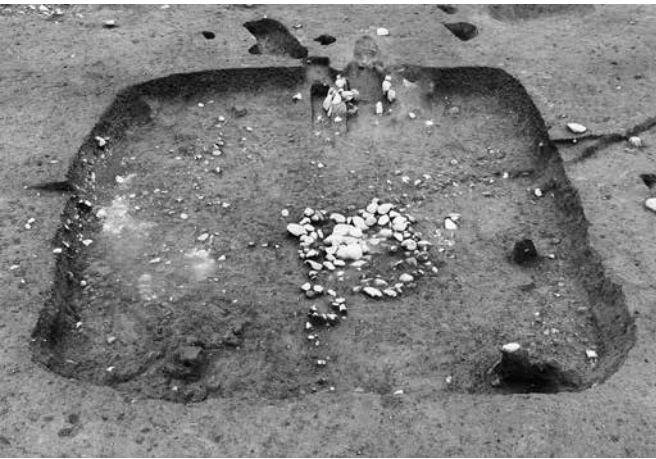
4 18号住居遺物出土状態(1) 西から



5 14号住居全景及び断面(A・B) 南から



1 19号住居全景 北西から



2 19号住居遺物出土状態全景 北西から



3 19号住居上面礫出土状態全景 北西から



4 19号住居カマド全景 北西から



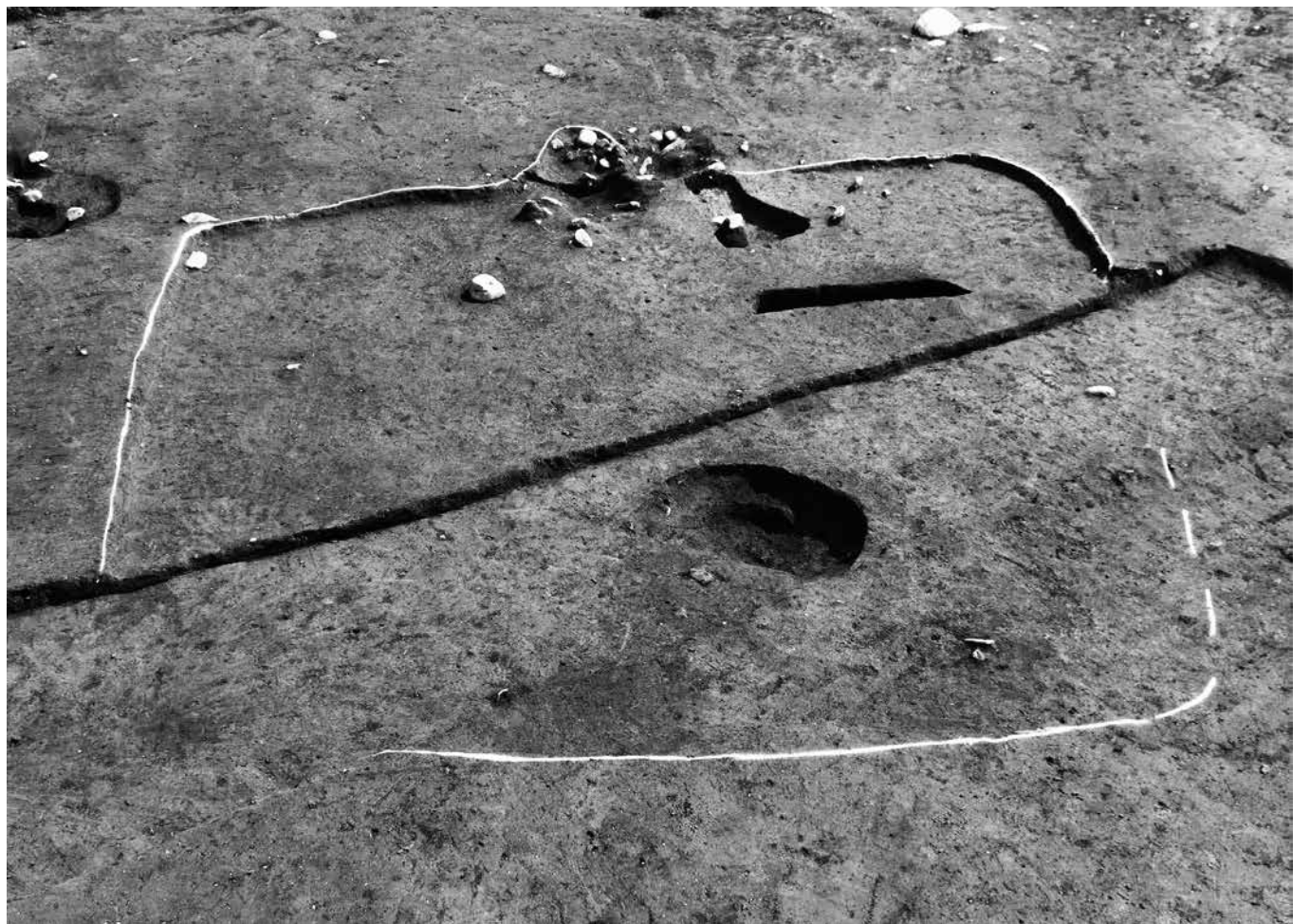
5 19号住居遺物出土状態(1) 北西から



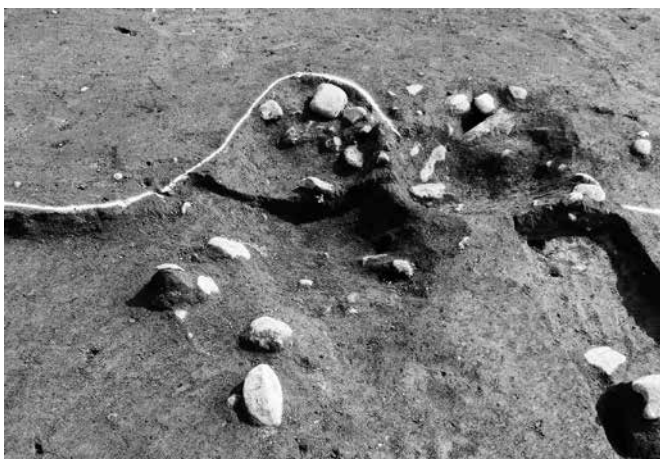
1 19号住居礫範囲 西から



2 19号住居礫範囲下面掘り込み 西から



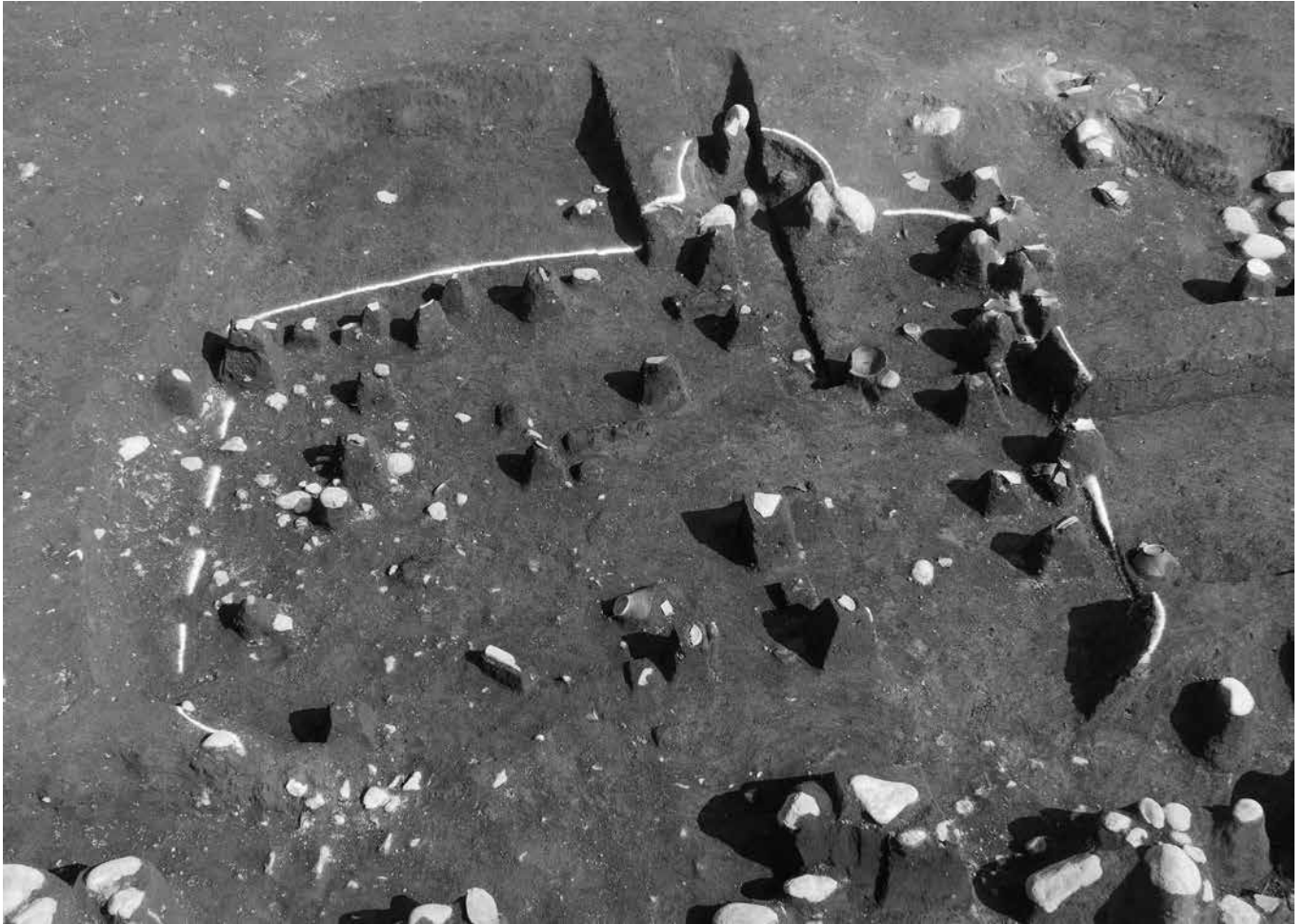
3 20号住居全景 西から



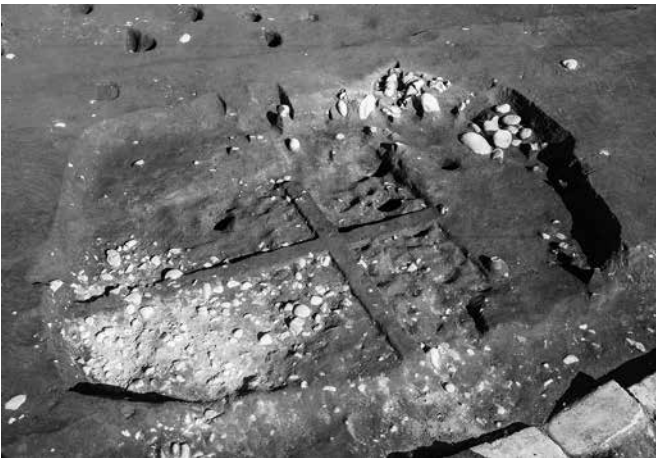
4 20号住居カマド全景 西から



5 20号住居カマド断面(C-C') 西から



1 21号住居全景 西から



3 29号住居全景(21号住居掘り方) 西から



2 21号住居カマド全景 西から



4 29号住居掘り方全景 西から



5 29号住居1(右)・2号カマド全景 西から



1 22号住居全景 西から



2 22号住居礫出土状態全景 西から



3 22号住居カマド全景 西から



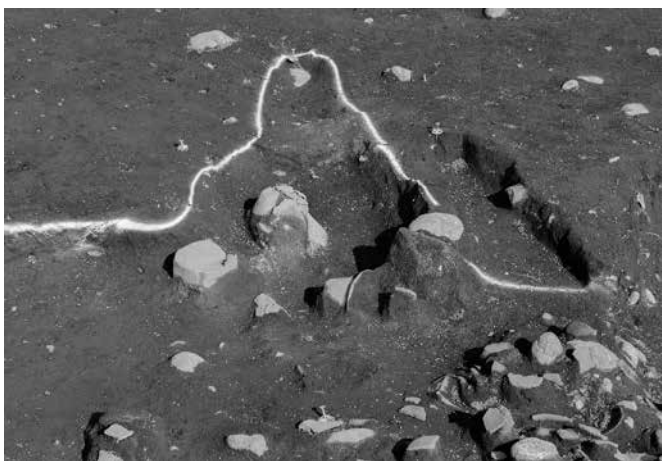
5 22号住居遺物出土状態(1) 東から



4 22号住居カマド断面(C-C') 南から



1 23号住居全景 西から



2 23号住居カマド全景 西から



3 23号住居カマド掘り方全景 北西から



4 23号住居南西隅遺物出土状態(4) 北西から



5 23号住居南東隅礫出土状態 北から



1 24・26号住居全景と10号溝 西から



2 24号住居掘り方全景 西から



3 24号住居カマド全景 西から



4 24号住居カマド掘り方全景 西から



5 24号住居北東隅ピット全景 西から



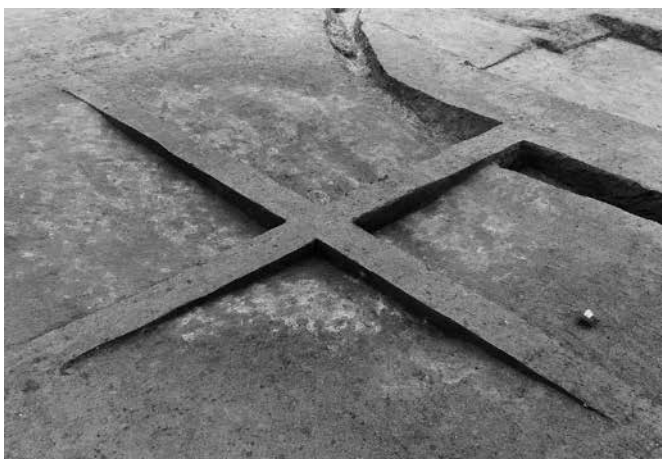
1 25号住居全景と10号溝 西から



2 25号住居掘り方全景 西から



3 25号住居カマド全景 西から



4 27号住居As-B軽石堆積状況全景 北西から



5 27号住居断面(A-A'東部分) 南から



1 27号住居全景 西から



2 27号住居遺物出土状態全景 西から



3 27号住居カマド全景 西から



4 27号住居南壁際遺物出土状態(2・8) 西から

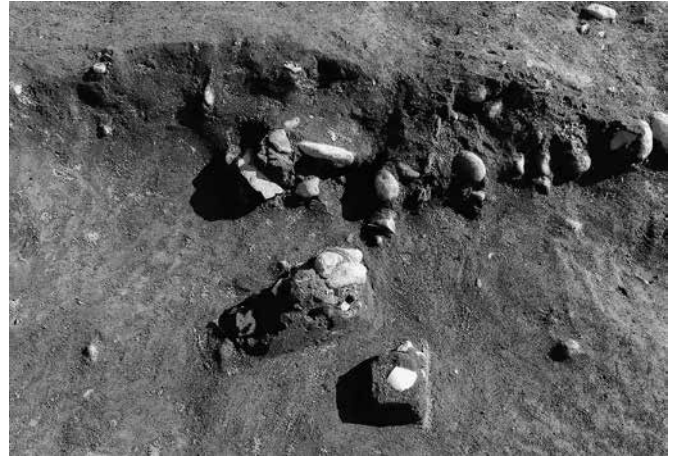


5 27号住居北壁際遺物出土状態(4) 南から

1区1号、2区2～4号竪穴状遺構



1 1号竪穴状遺構全景 西から



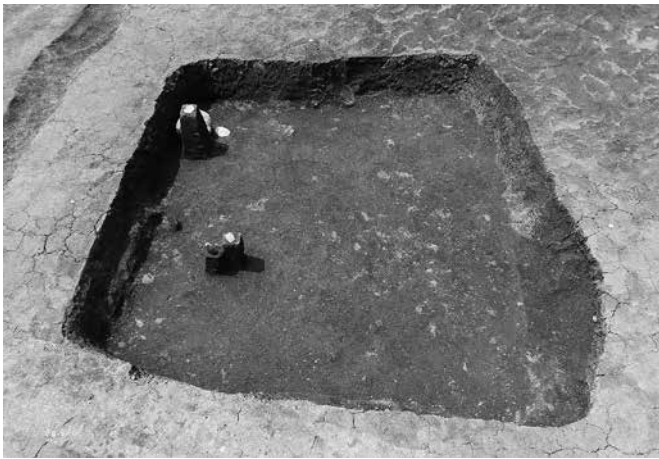
2 1号竪穴状遺構遺物出土状態 西から



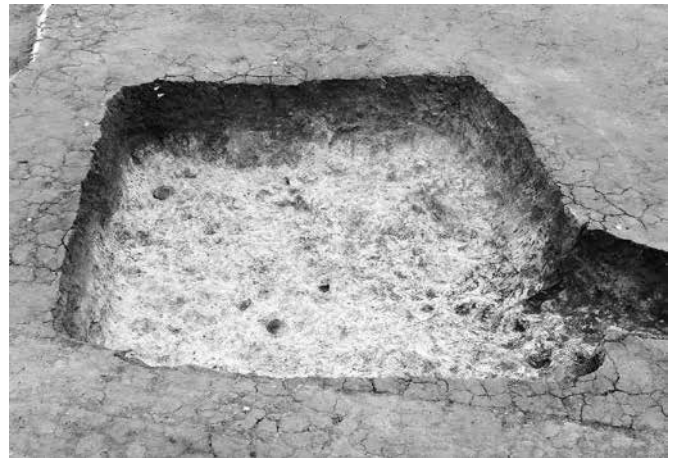
3 2号竪穴状遺構全景 南から



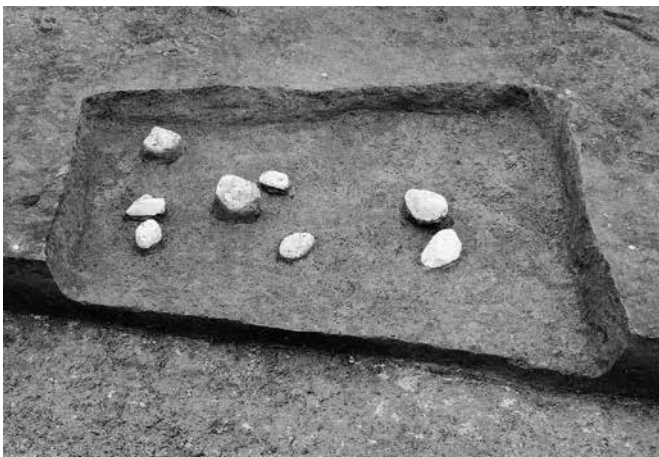
4 2号竪穴状遺構掘り方全景 南から



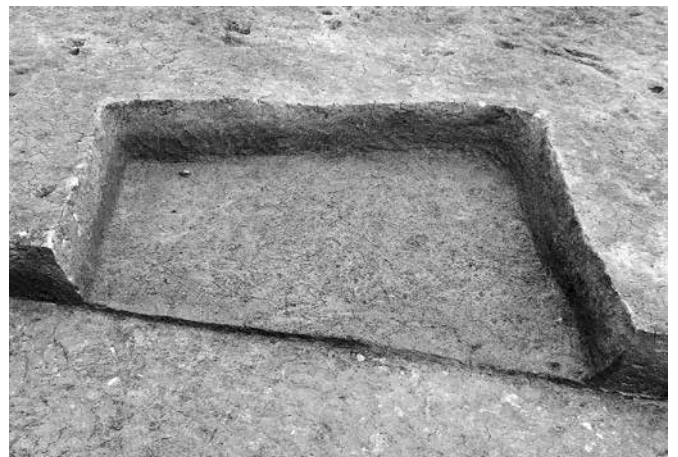
5 3号竪穴状遺構全景 南から



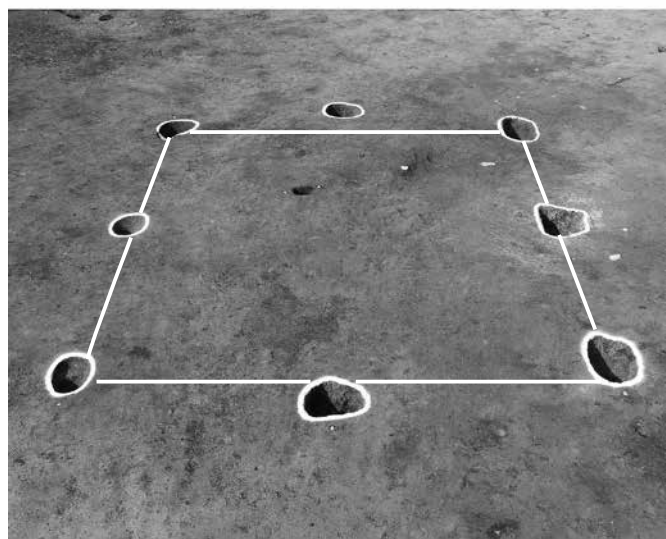
6 3号竪穴状遺構掘り方全景 南から



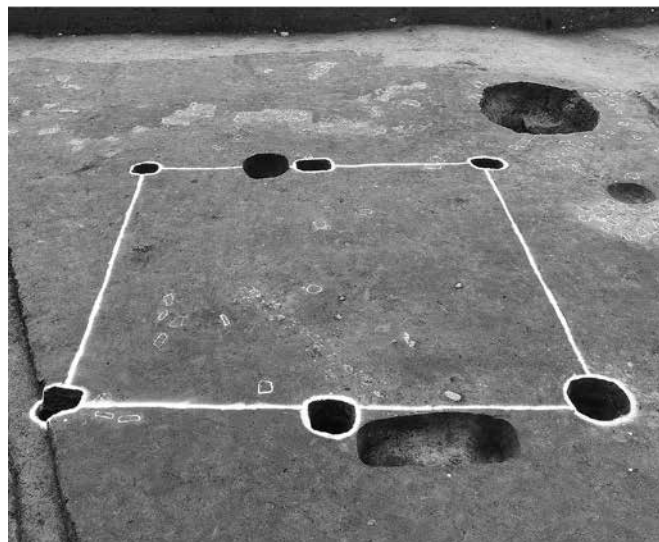
7 4号竪穴状遺構全景 北から



8 4号竪穴状遺構掘り方全景 北から



1 1号掘立柱建物全景 南東から



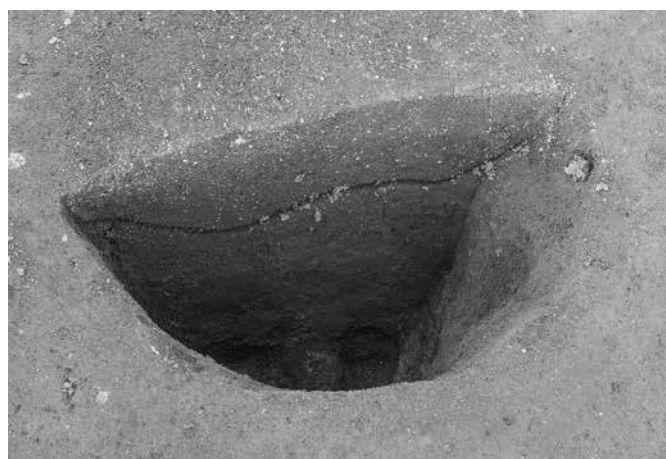
2 2号掘立柱建物全景 東から



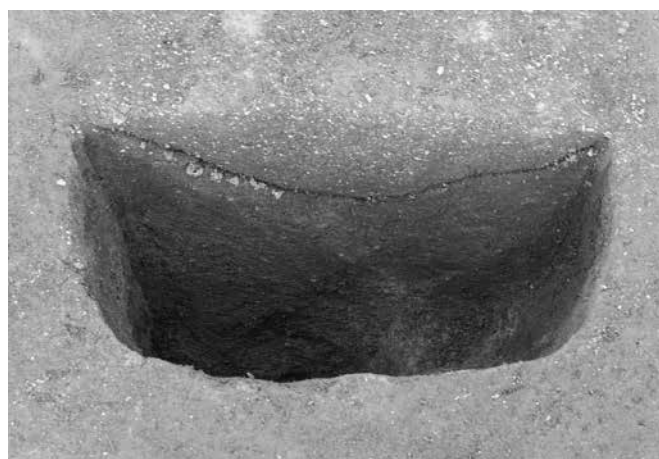
3 2号掘立柱建物P1全景 南から



5 2号掘立柱建物P2全景 南から

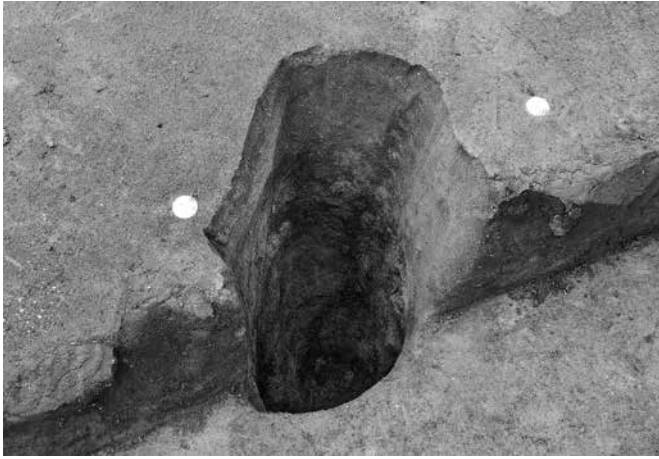


4 2号掘立柱建物P1断面 南から

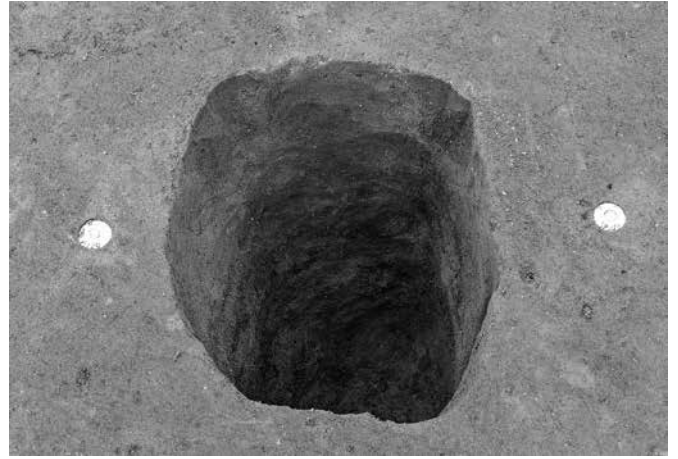


6 2号掘立柱建物P2断面 南から

2区2号掘立柱建物



1 2号掘立柱建物P3全景 南から



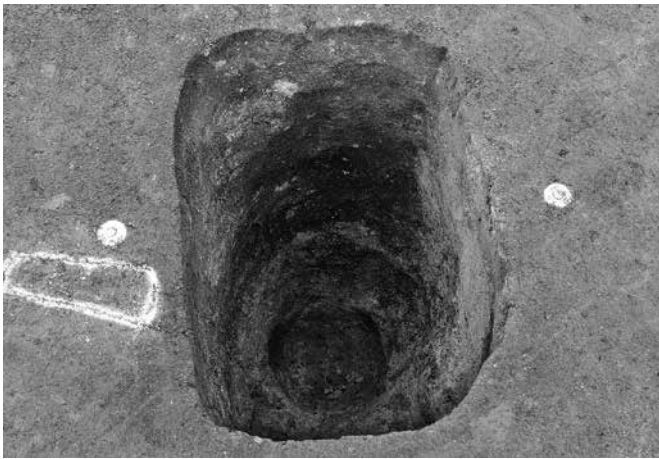
3 2号掘立柱建物P4全景 南から



2 2号掘立柱建物P3断面 南から



4 2号掘立柱建物P4断面 南から



5 2号掘立柱建物P5全景 南から



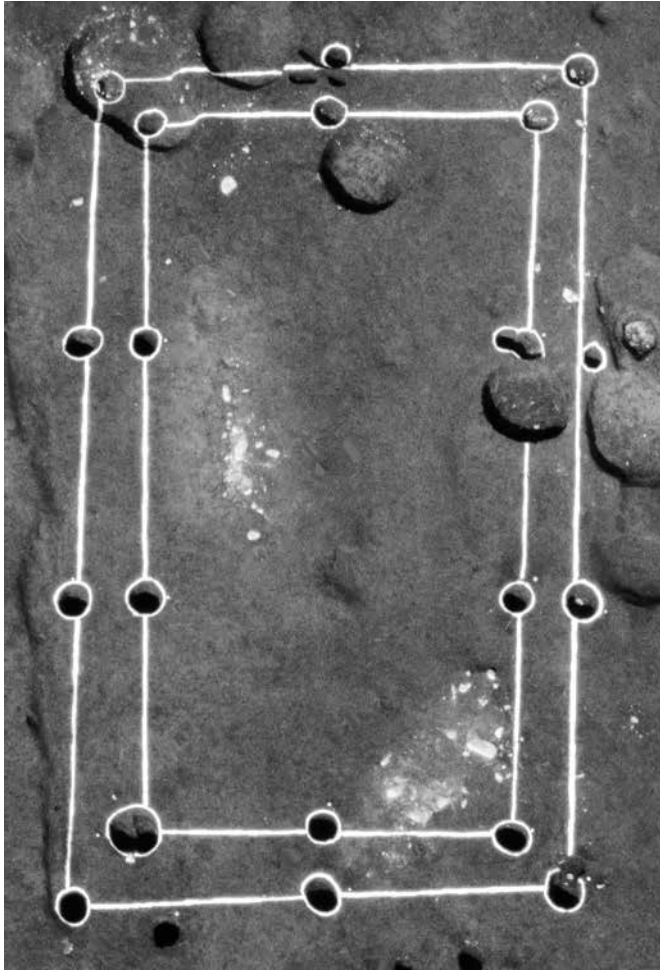
7 2号掘立柱建物P6全景 南から



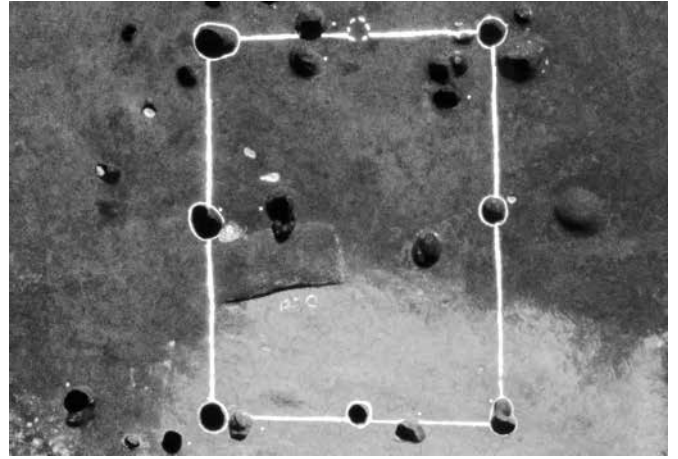
6 2号掘立柱建物P5断面 南から



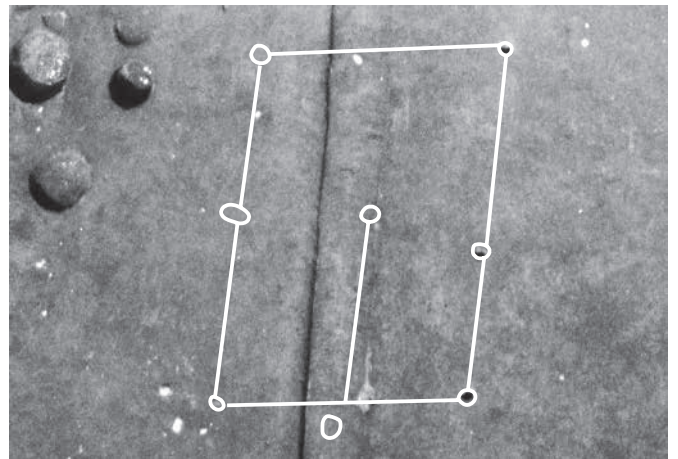
8 2号掘立柱建物P6断面 南から



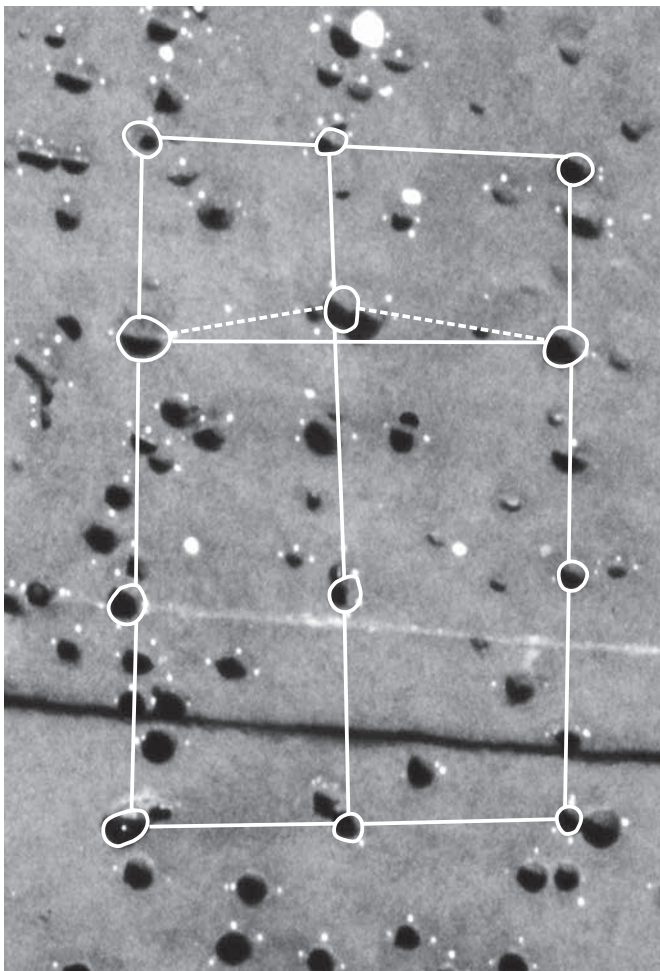
1 3号掘立柱建物全景 南から



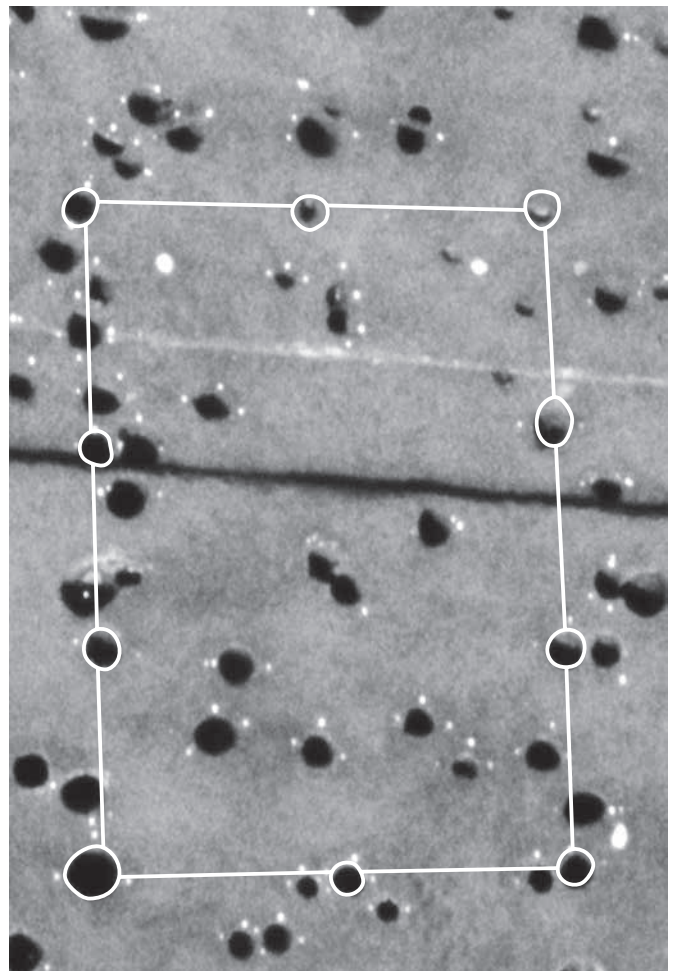
2 4号掘立柱建物全景 南から



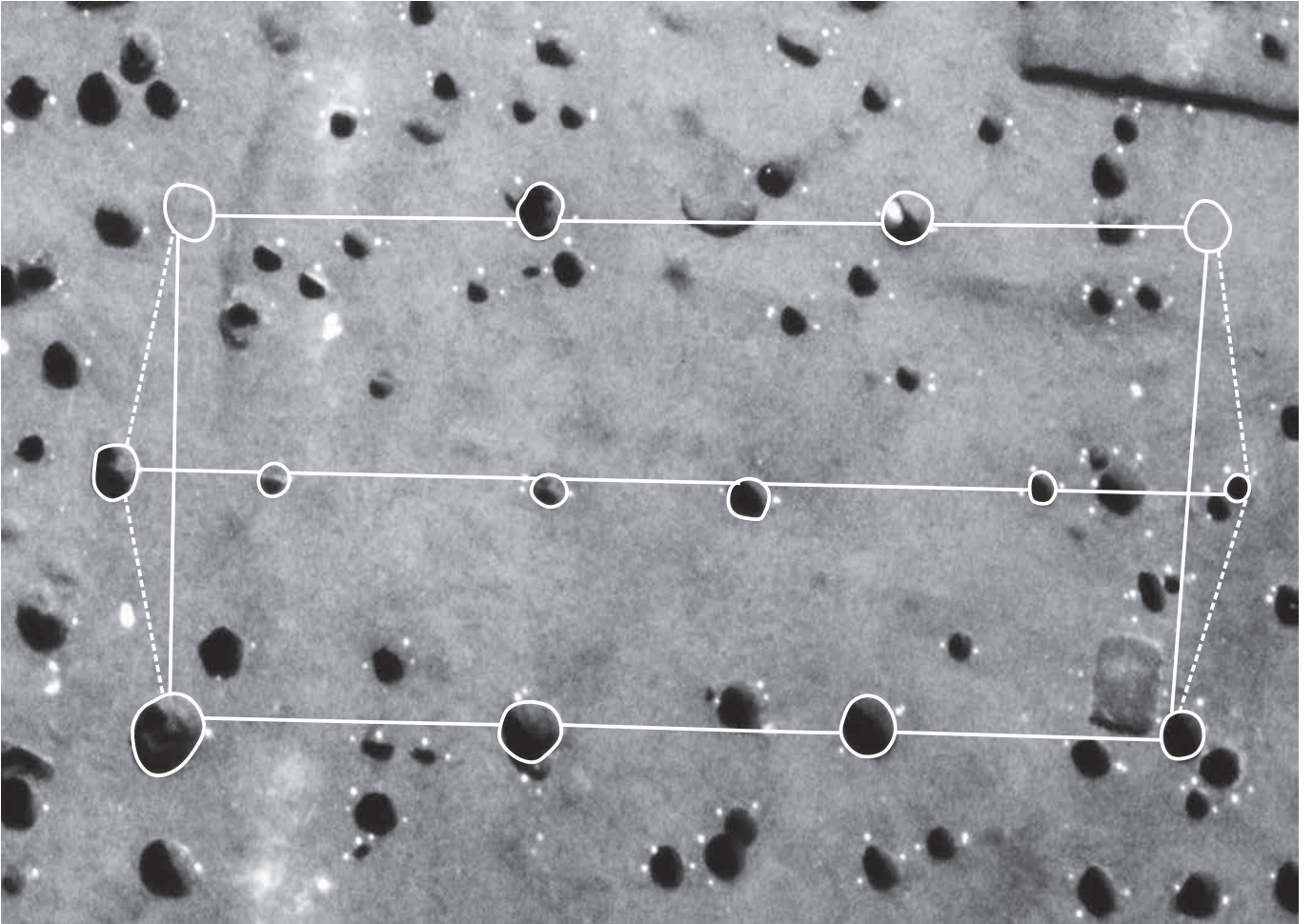
4 6号掘立柱建物全景 南から



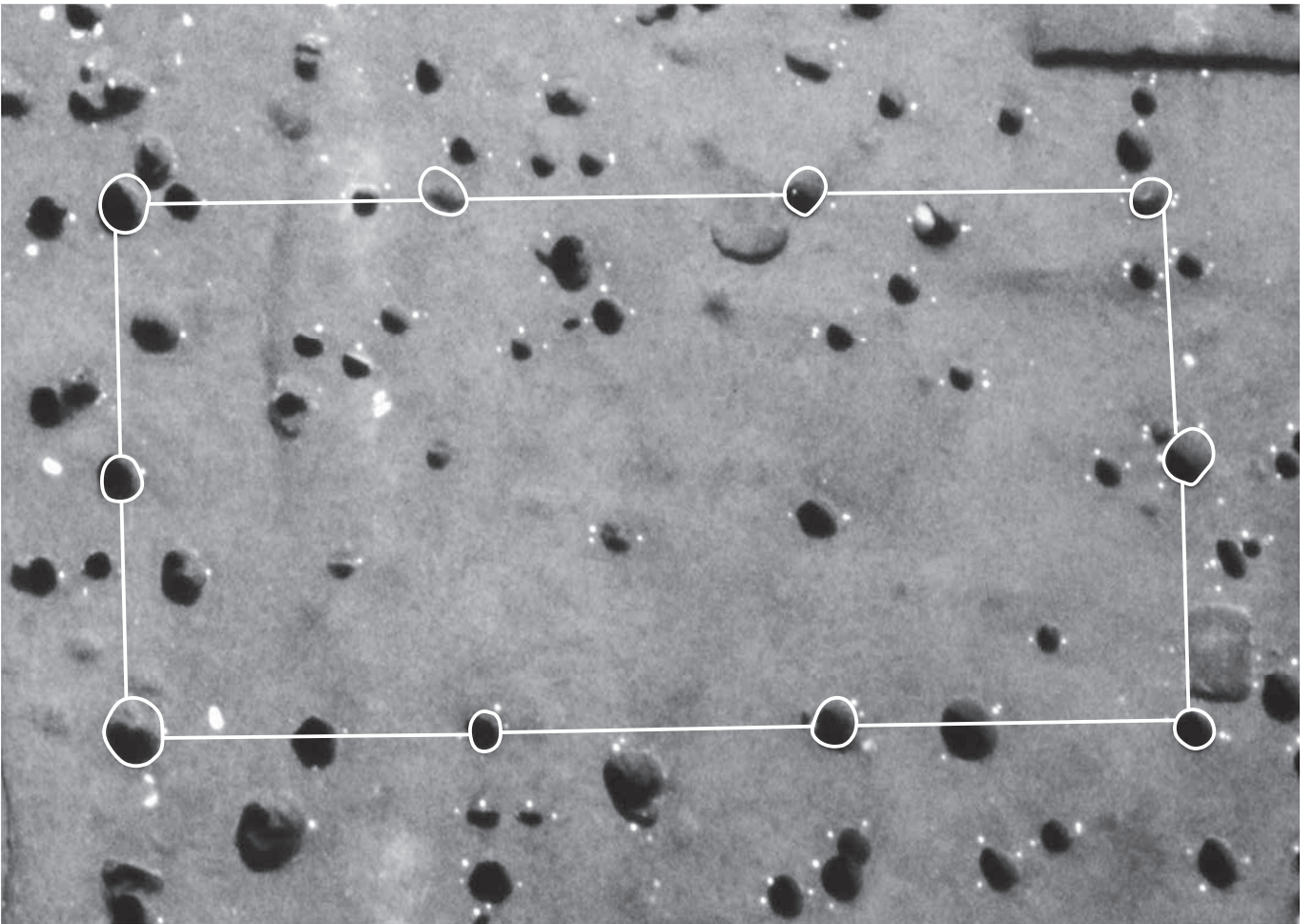
3 5号掘立柱建物全景 南から



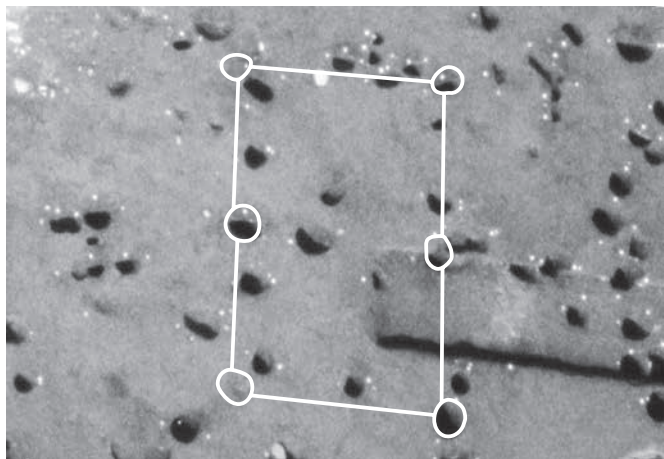
5 9号掘立柱建物全景 南から



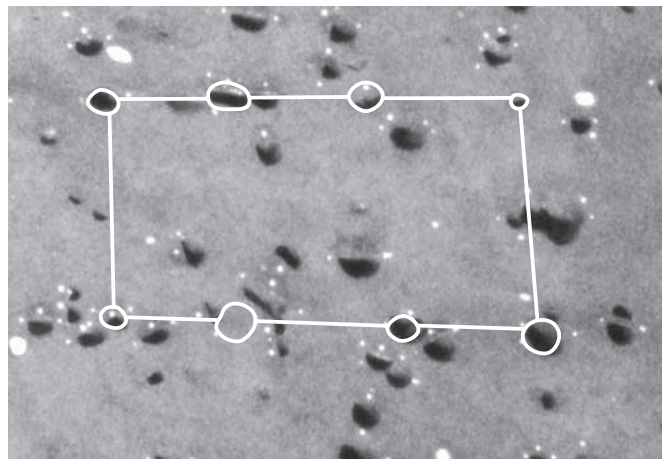
1 7号掘立柱建物全景 南から



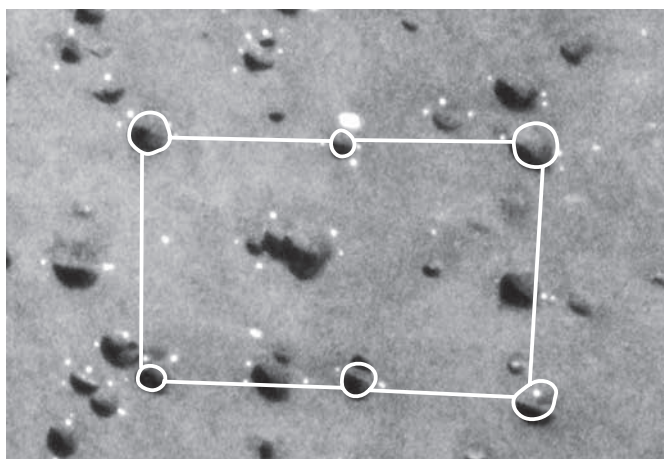
2 8号掘立柱建物全景 南から



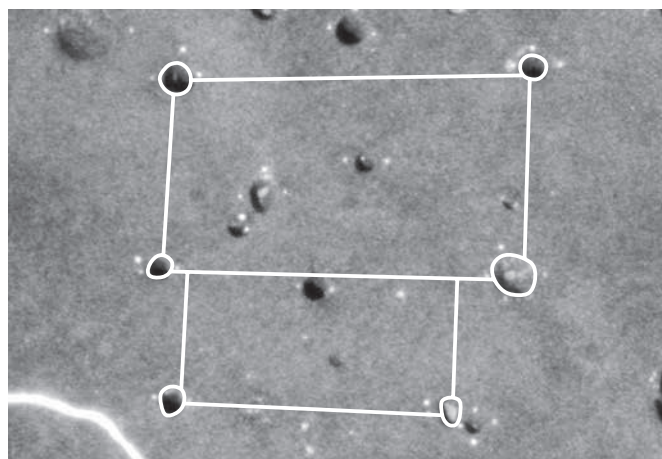
1 10号掘立柱建物全景 南から



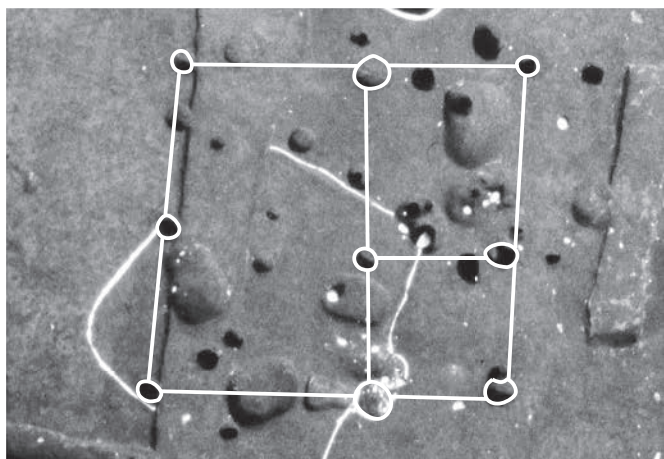
2 11号掘立柱建物全景 南から



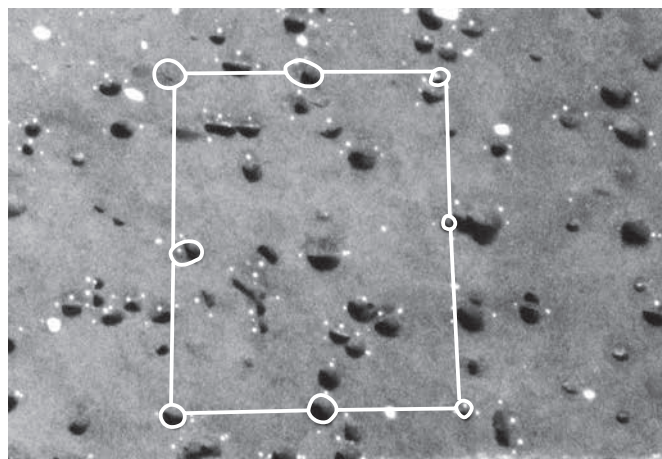
3 12号掘立柱建物全景 南から



4 13号掘立柱建物全景 南から



5 14号掘立柱建物全景 南から



6 15号掘立柱建物全景 南から



7 1号柵P6全景、28号住居北東隅(弥生時代) 西から



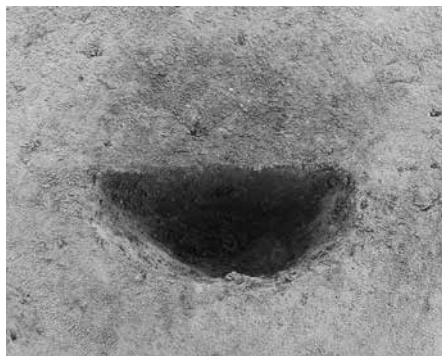
8 6号柵P1全景 南から



1 1～8号柵、4号溝区画内ピット及び周辺の遺構



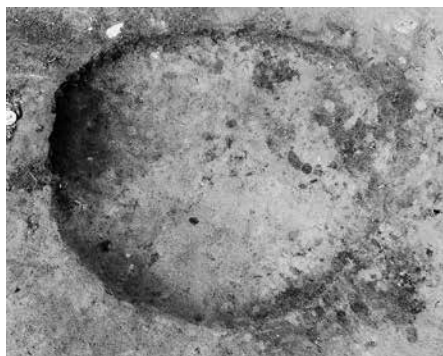
1 1号ピット全景 南から



2 2号ピット断面 南から



3 3号ピット断面 南から



4 4号ピット全景 南から



6 5号ピット全景 南から



8 6号ピット(右)全景 南から



5 4号ピット断面 南から



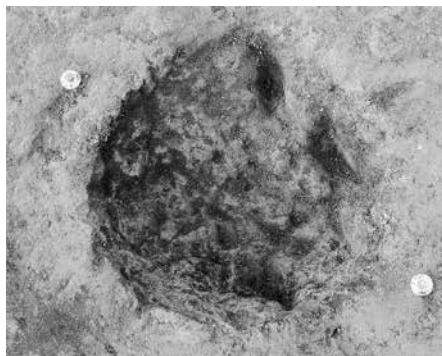
7 5号ピット断面 南から



9 6号ピット断面 南から



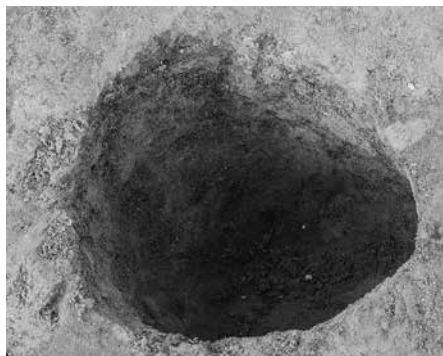
10 7号ピット断面 南から



12 9号ピット全景 南から



14 10号ピット全景 南から



11 8号ピット全景 南から



13 9号ピット断面 南から



15 14号ピット全景 西から

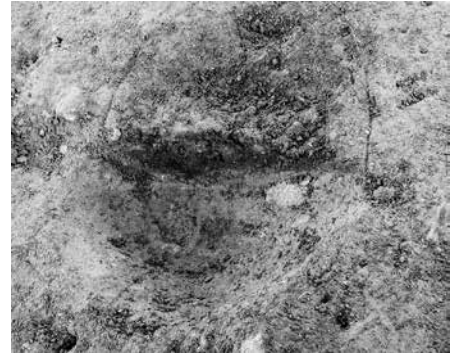
1区ピット2



1 11~13号ピット全景 南東から



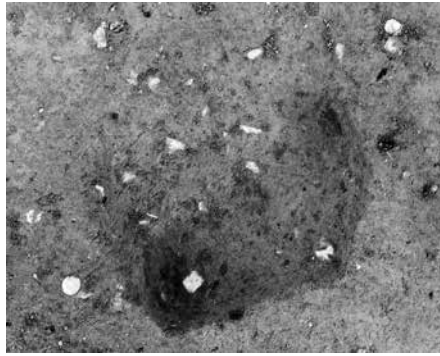
2 11号ピット断面 南から



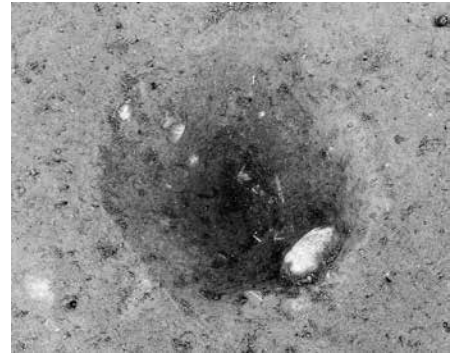
3 12号ピット断面 東から



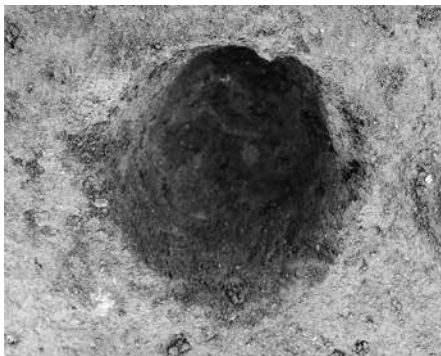
4 13号ピット断面 南から



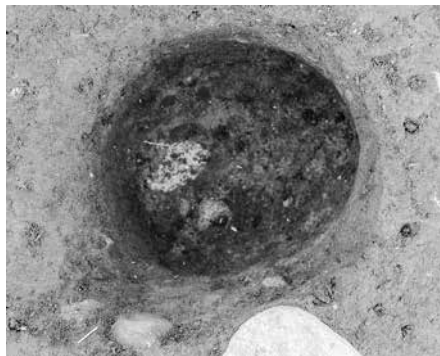
5 15号ピット全景 西から



6 16号ピット全景 西から



7 17号ピット全景 南から



8 18号ピット全景 東から



9 19号ピット全景 東から



10 20号ピット全景 北から



12 21号ピット全景 北東から



14 22号ピット断面 西から



11 20号ピット断面 南西から



13 21号ピット断面 西から



15 23号ピット全景 南から



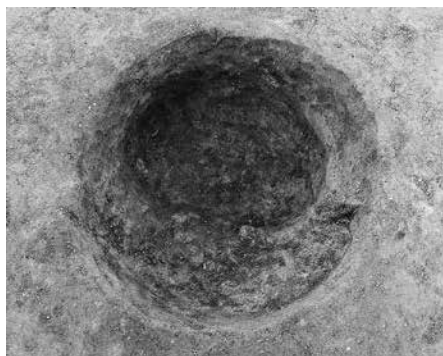
1 24号ピット全景 北東から



3 27号ピット全景 南から



5 29(右)・33号ピット全景 北から



2 28号ピット全景 南から



4 27号ピット断面 南西から



6 30号ピット全景 南から



7 31(左)・32号ピット全景 西から



8 34号ピット全景 北東から



9 35(右)・36号ピット全景 南から



10 37(右)～41号ピット全景 南西から



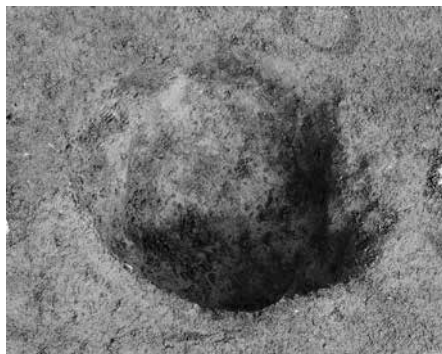
11 42号ピット全景 南西から



12 43号ピット全景 南西から



13 44～47(右)号ピット全景 西から



14 48号ピット全景 南西から

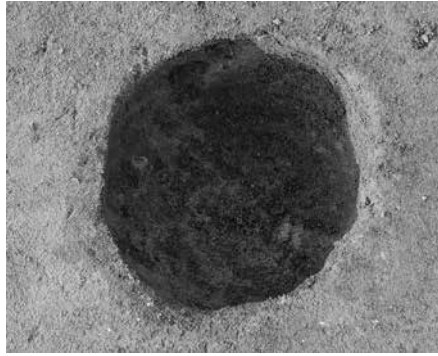


15 49号ピット全景 南西から

1区ピット4



1 50号ピット全景 南西から



2 53号ピット全景 南から



3 54号ピット全景 南から



4 55号ピット全景 南から



5 57(左)~61号ピット全景 東から



6 58(右)・329号ピット全景 南から



7 400(1号製鉄関連遺構)号ピット全景
南から



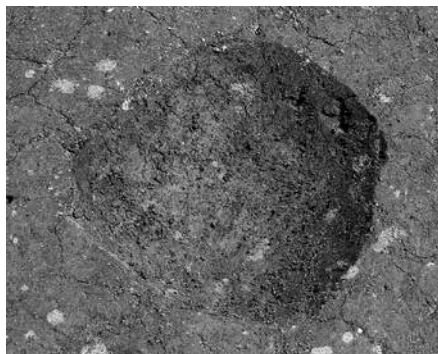
8 405号ピット全景 西から



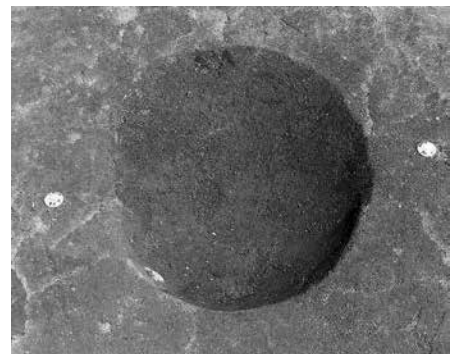
9 4号溝区画内北ピット群1 南から



10 406号ピット全景 南西から



12 407号ピット全景 南西から



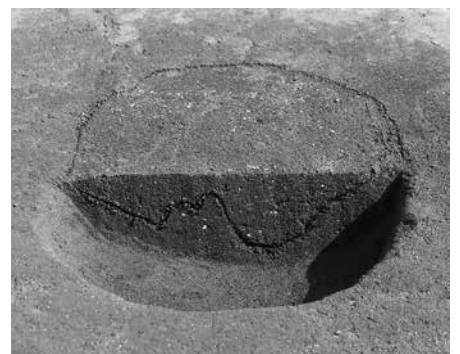
14 408号ピット全景 南西から



11 406号ピット断面 南西から



13 407号ピット断面 南西から



15 408号ピット断面 南西から



1 4号溝区画内北ピット群2 南から



2 4号溝区画内北ピット群3 南から



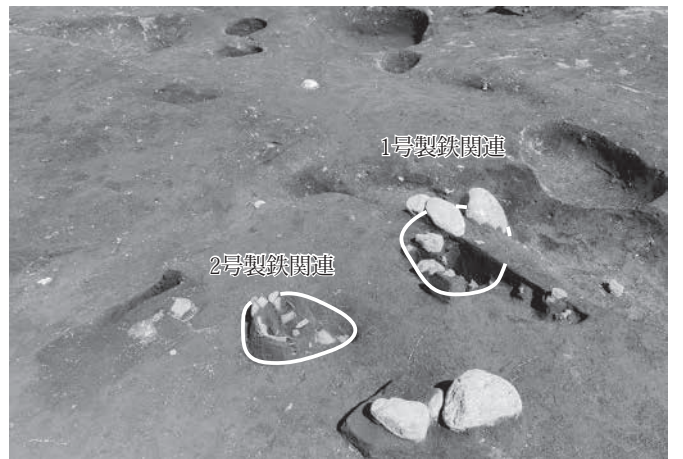
3 4号溝区画内北ピット群4 南から



4 4号溝区画内北ピット群5 南から



6 1号製鉄関連遺構(400号ピット)全景 北から



5 1・2号製鉄関連遺構とその周辺 南から



7 1号製鉄関連遺構(400号ピット)断面 西から



8 2号製鉄関連遺構(401号ピット)断面 北から

2区ピット1



1 409号ピット全景 南から



3 410号ピット全景 南から



5 411号ピット全景 南から



2 409号ピット断面 南から



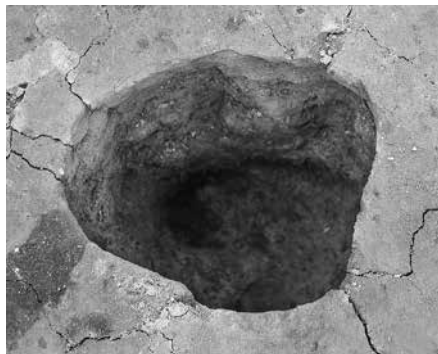
4 410号ピット断面 南から



6 411号ピット断面 南から



7 412号ピット全景 南から



9 413号ピット全景 南から



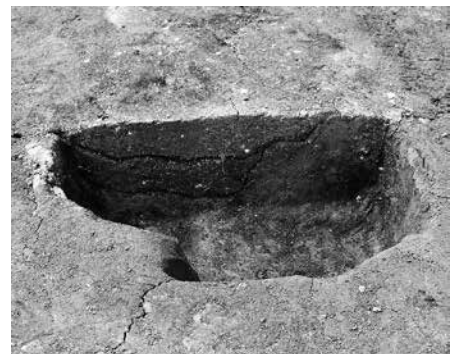
11 414号ピット全景 南から



8 412号ピット断面 南から



10 413号ピット断面 南から



12 414号ピット断面 南から



13 415号ピット全景 南東から



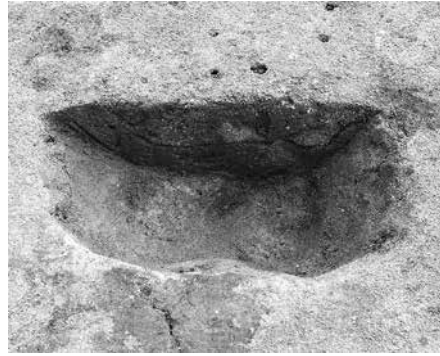
14 415号ピット断面 南東から



15 416号ピット全景 南から



1 417号ピット全景 南から



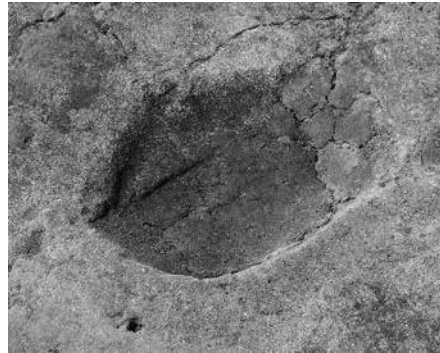
2 417号ピット断面 南西から



3 420号ピット全景 南から



4 418号ピット全景 南から



6 419号ピット全景 南から



8 421号ピット全景 東から



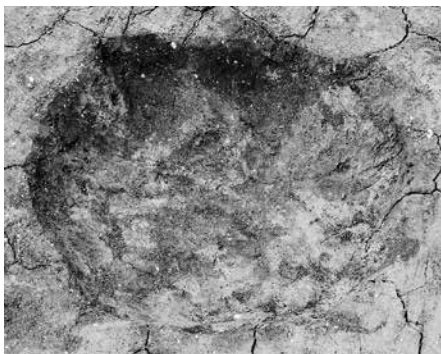
5 418号ピット断面 南から



7 419号ピット断面 南東から



9 421号ピット断面 東から



10 422号ピット全景 南東から



12 423号ピット全景 西から



14 424号ピット全景 西から



11 422号ピット断面 南東から



13 423号ピット断面 西から



15 424号ピット断面 西から

1区土坑1



1 1号土坑全景 南から



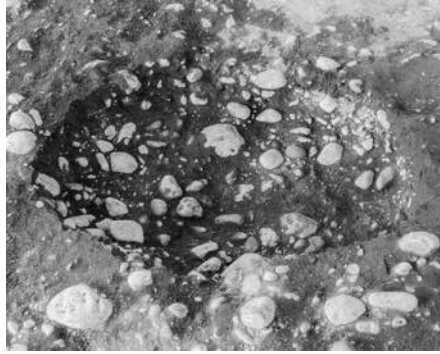
2 2(右)・4号土坑全景 南から



5 7号土坑全景 南から



3 3号土坑断面 南から



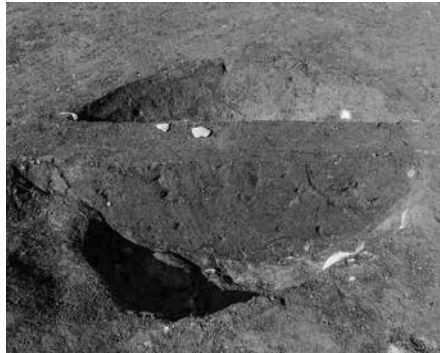
4 5号土坑全景 南から



6 7号土坑断面 南から



7 6号土坑全景 南西から



8 10号土坑断面 南から



9 11号土坑断面 南西から



10 8・9・12・13(右下)・15号土坑全景 北から



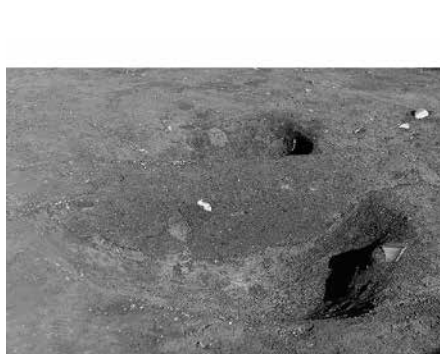
12 9号土坑断面 南西から



13 12号土坑断面 南から



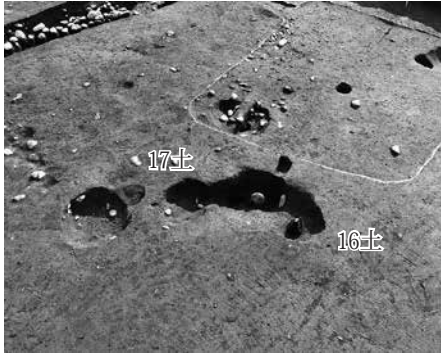
11 13号土坑断面 南から



14 14号土坑断面 南から



15 15号土坑断面 南西から



1 16(右)・17号土坑全景 北から



2 16号土坑断面 西から



3 17号土坑断面 西から



4 18号土坑全景 南西から



5 19号土坑全景 南東から



6 20号土坑全景 西から



7 21号土坑全景 西から



8 22号土坑全景 北から



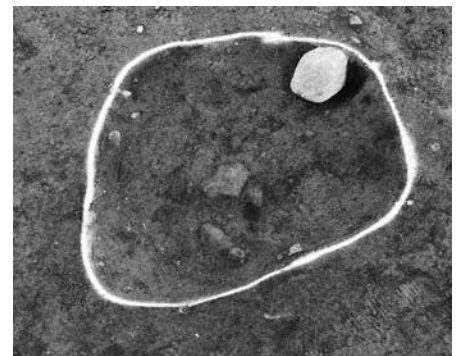
9 23号土坑全景 西から



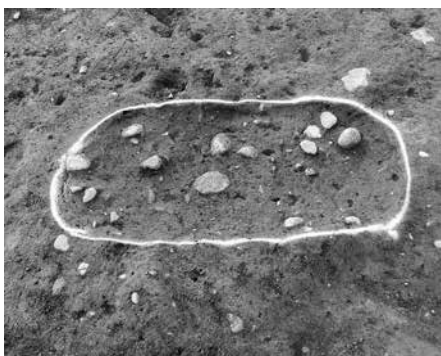
10 24号土坑全景 東から



11 25号土坑全景 南から



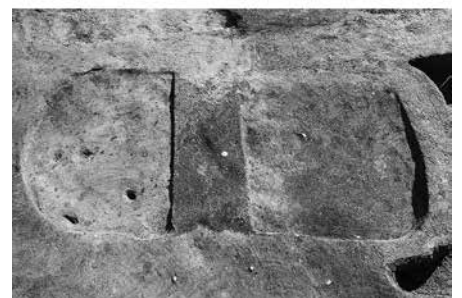
12 26号土坑全景 北から



13 27号土坑全景 東から



14 28(左)・29(右)・31号土坑全景 東から



15 29号土坑全景 北から

1区土坑3



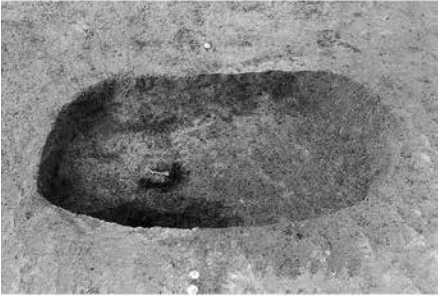
1 30号土坑全景 西から



2 32号土坑全景 南から



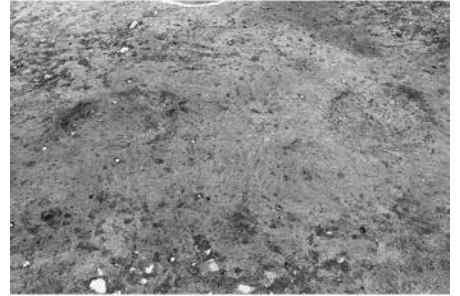
3 33号土坑全景 東から



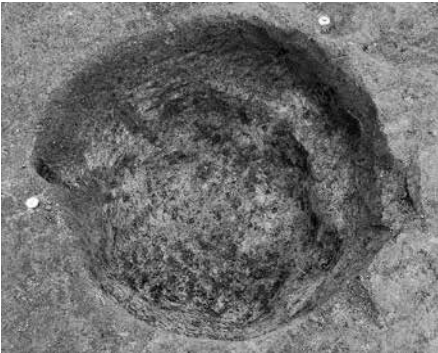
4 34号土坑全景 東から



5 36号土坑全景 北東から



6 38(右)・39号土坑全景 西から



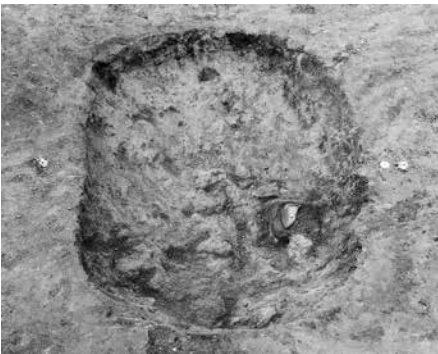
7 40号土坑全景 南から



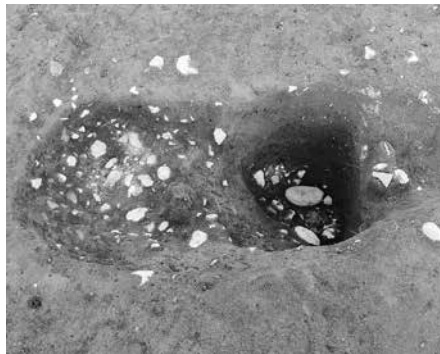
8 41号土坑全景 西から



9 43(右)・44号土坑全景 南から



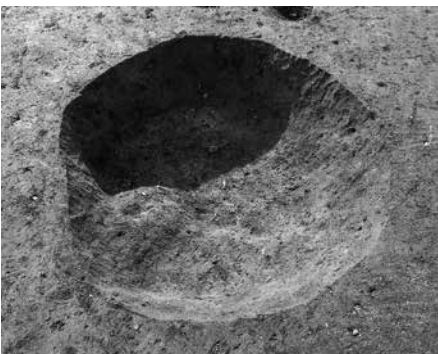
10 45号土坑全景 南から



12 48(右)・49号土坑全景 西から



14 47号土坑全景 西から



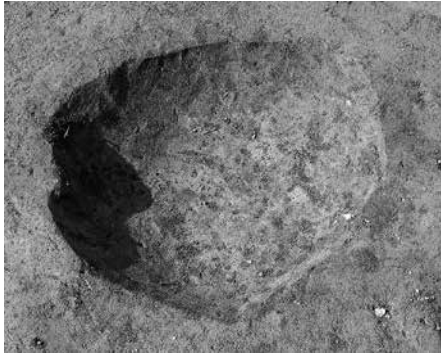
11 46号土坑全景 東から



13 48号土坑断面 南から



15 50号土坑全景 東から



1 51号土坑全景 東から



2 52号土坑全景 東から



3 53号土坑全景 東から



4 54号土坑全景 南東から



5 55号土坑全景 西から



6 56号土坑全景 東から



7 57号土坑全景 南から



8 58号土坑全景 東から



9 60号土坑全景 東から



10 61号土坑全景 西から



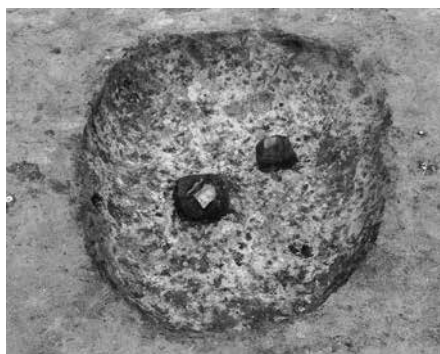
12 65号土坑全景 西から



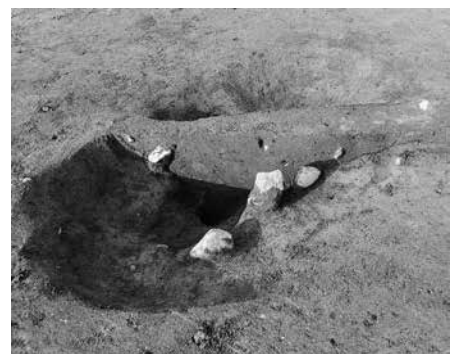
14 63号土坑全景 北西から



11 62号土坑全景 西から



13 66号土坑全景 南から



15 63号土坑断面 南から

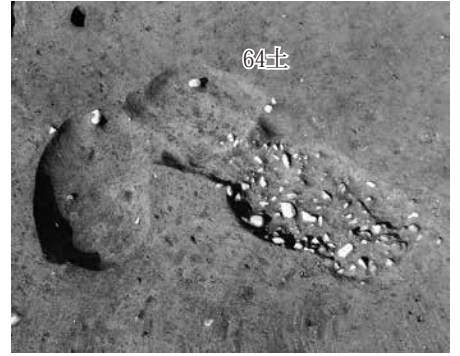
1区土坑5



1 63号土坑全景、79(13掘P1)号ピット 東から



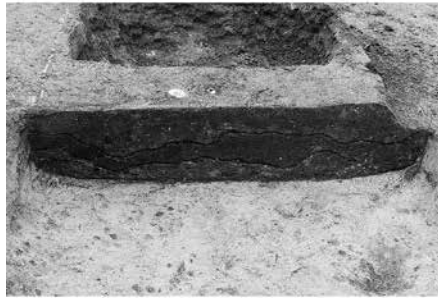
3 69号土坑全景 北から



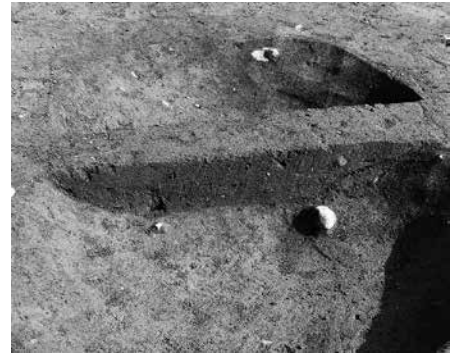
5 64・80(左)・110(右)号土坑全景 東から



2 63号土坑断面 北から



4 69号土坑断面 東から



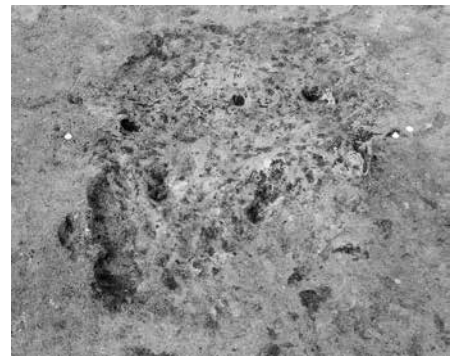
6 80号土坑断面 西から



7 67(右)・68号土坑全景 南から



8 68(右)・135号土坑全景 南東から



9 71号土坑全景 南から



10 72号土坑断面 南から



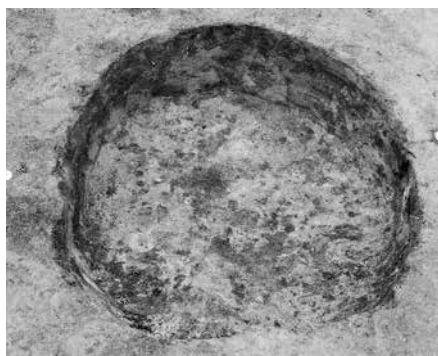
11 73号土坑全景 東から



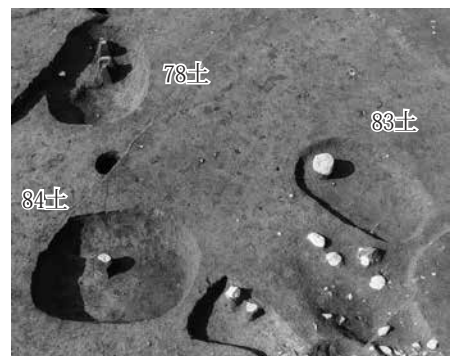
12 74号土坑全景 西から



13 75号土坑全景 南から



14 76号土坑全景 南東から



15 78・83(右)・84(左)号土坑全景 東から



1 78号土坑全景 北東から



3 96号土坑全景 南から



5 81号土坑断面 西から



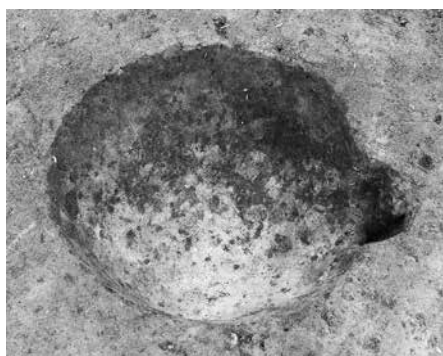
2 78号土坑遺物出土状態 北東から



4 96号土坑断面、7号溝 南から



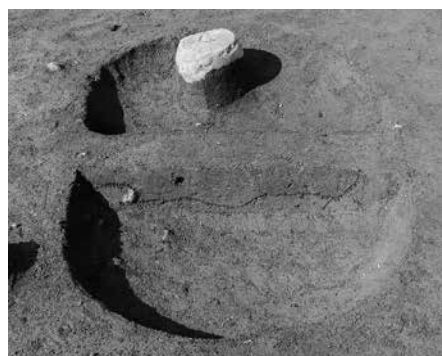
6 82号土坑断面 南から



8 98号土坑全景 南から



10 99号土坑全景 東から



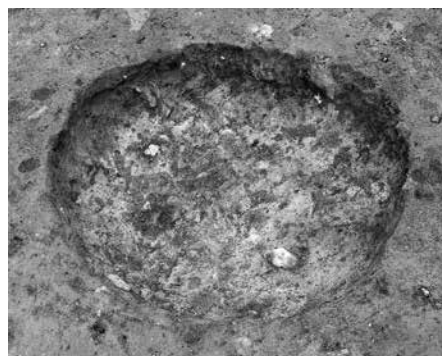
7 83号土坑断面 東から



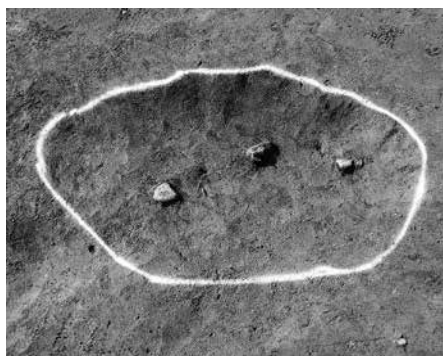
9 98号土坑断面 南から



11 99号土坑断面 南から



12 97号土坑全景 南から



13 100号土坑全景 東から



14 101号土坑全景 西から



15 103号土坑全景 東から

1区土坑7



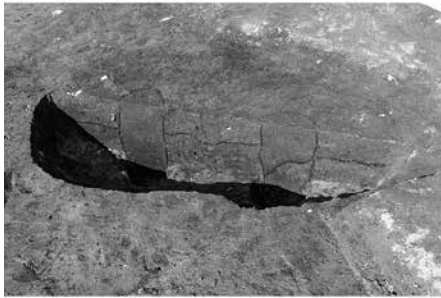
1 104号土坑、496・500号ピット全景
南西から



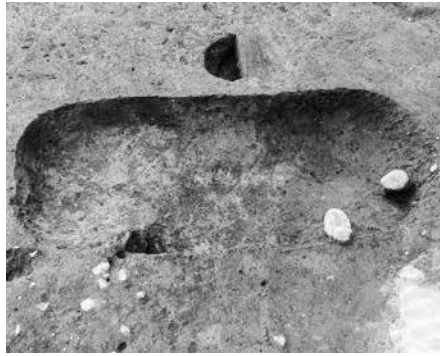
3 105号土坑全景 南東から



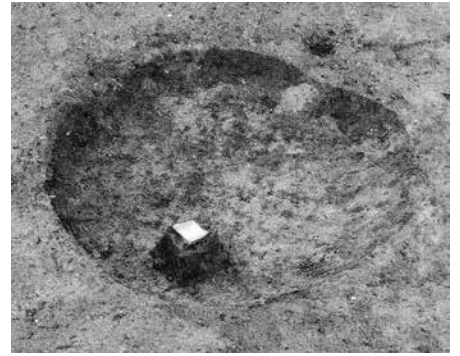
5 107号土坑全景 北から



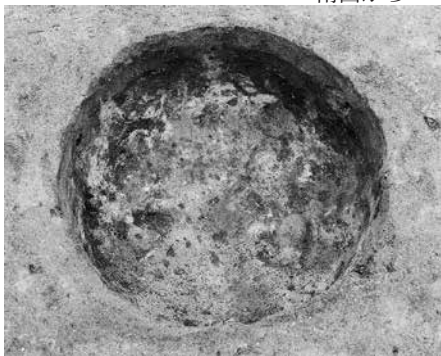
2 104号土坑、496・500号ピット断面
南西から



4 106号土坑全景 南東から



6 108号土坑全景 南から



7 109号土坑全景 南から



8 111号土坑全景 東から



9 112号土坑全景 南から



10 113号土坑全景 南から



11 115号土坑全景 東から



14 114号土坑全景と出土遺物(1) 南から



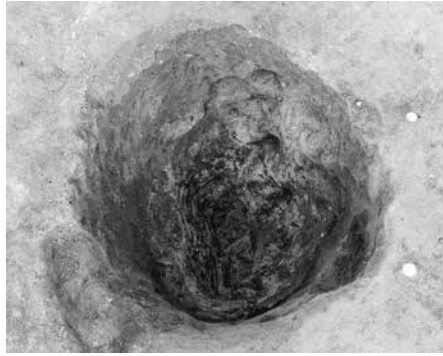
12 118号土坑全景 東から



13 122号土坑全景 北東から



15 114号土坑断面 南から



1 119号土坑全景 南から



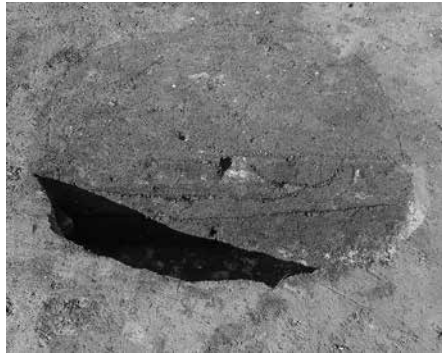
3 123号土坑全景 東から



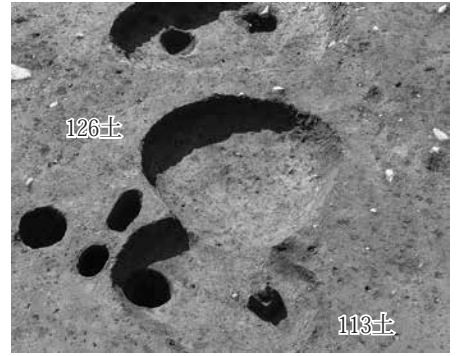
5 125号土坑断面 南から



2 119号土坑断面 南東から



4 124号土坑断面 南から



6 126・113号土坑全景 東から



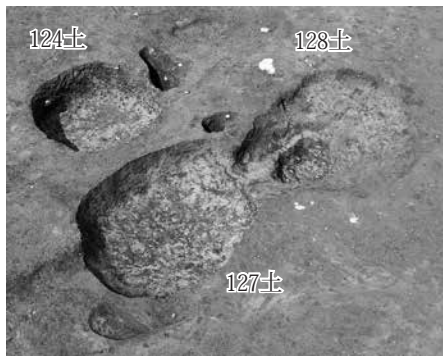
7 120号土坑上面と断面 北から



8 120号土坑下面礫出土状態 西から



9 120号土坑全景 北から



10 124・127・128号土坑全景 南から



12 130号土坑全景 東から



14 132号土坑全景 東から



11 129号土坑全景 南から

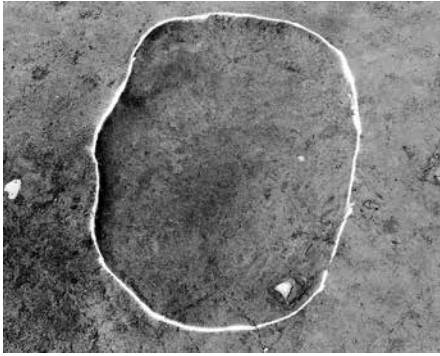


13 130号土坑断面 南から



15 132号土坑断面 南西から

1区土坑9



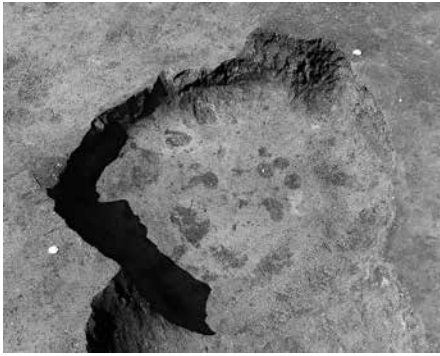
1 131号土坑全景 東から



3 133号土坑全景 東から



5 136号土坑全景 西から



2 134号土坑全景 東から



4 133号土坑断面 西から



6 136号土坑遺物出土状態(1) 南東から



7 137号土坑全景 南西から



8 138号土坑全景 南から



9 139号土坑全景 北東から



10 140号土坑全景 西から



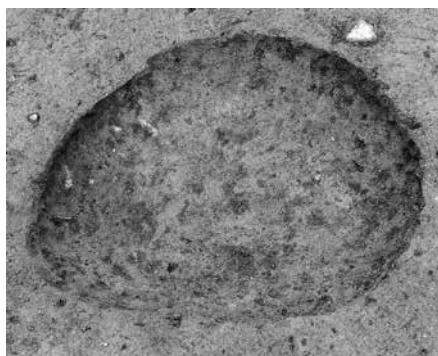
11 141号土坑全景 南から



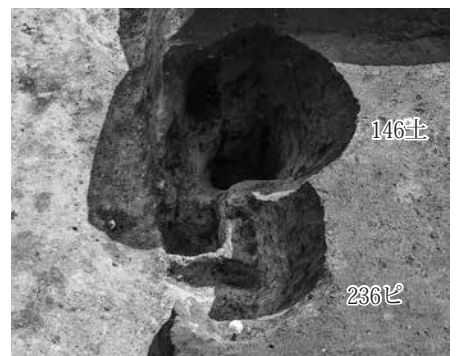
12 142号土坑全景 北から



13 143号土坑全景 北西から



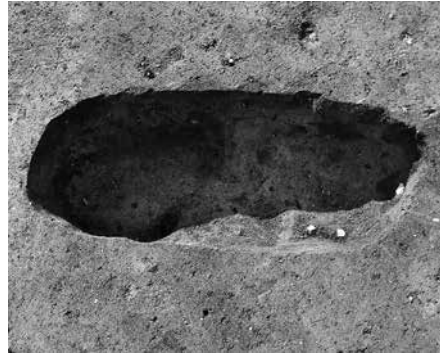
14 144号土坑全景 南から



15 146号土坑、236号ピット全景 北から



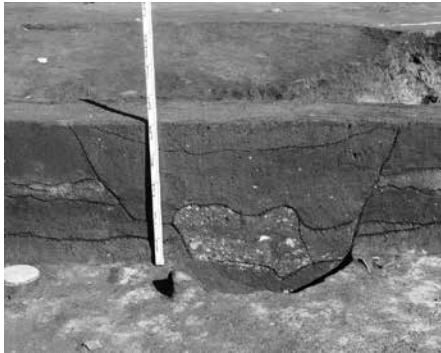
1 145号土坑全景 西から



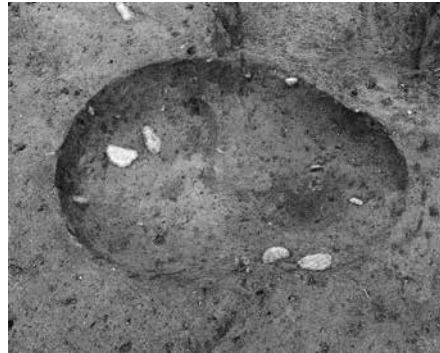
6 150号土坑全景 南東から



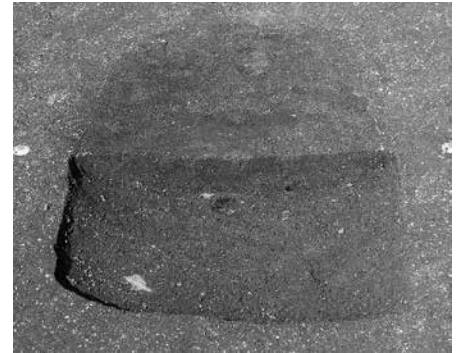
8 77号土坑全景 東から



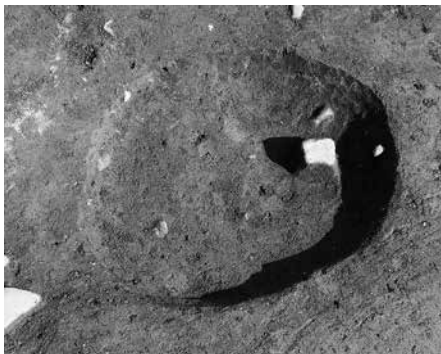
2 145号土坑断面 南から



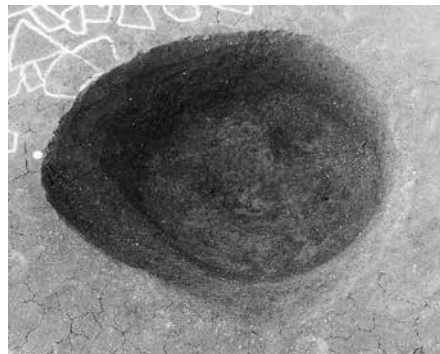
7 157号土坑全景 南から



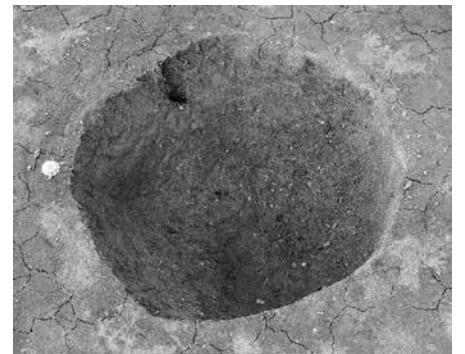
9 77号土坑断面 南から



3 147号土坑全景 南から



10 85号土坑全景 南から



12 86号土坑全景 南から



4 148号土坑全景 東から



11 85号土坑断面 南から



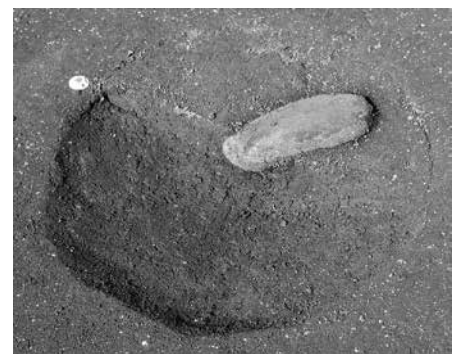
13 86号土坑断面 南から



5 149号土坑全景 東から

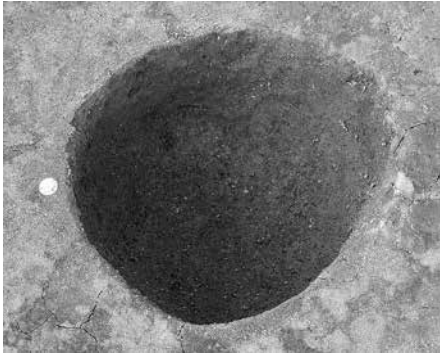


14 89号土坑全景 南から

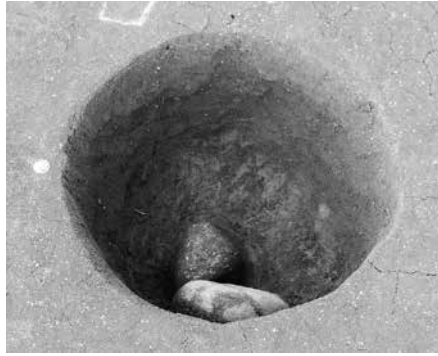


15 89号土坑断面 南から

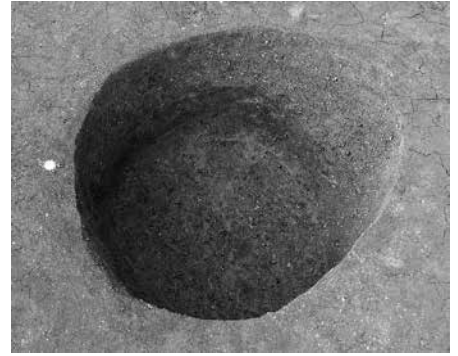
2区土坑2



1 87号土坑全景 南から



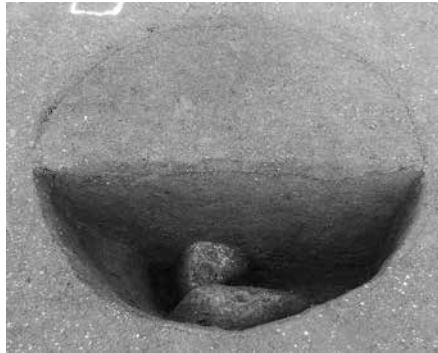
3 88号土坑全景 南から



5 90号土坑全景 南から



2 87号土坑断面 南から



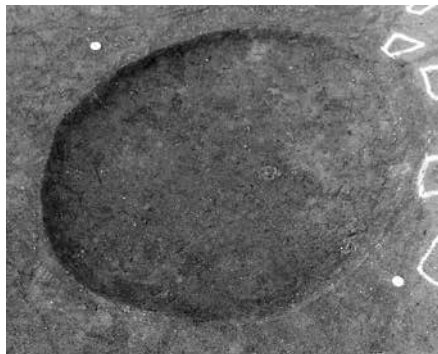
4 88号土坑断面 南から



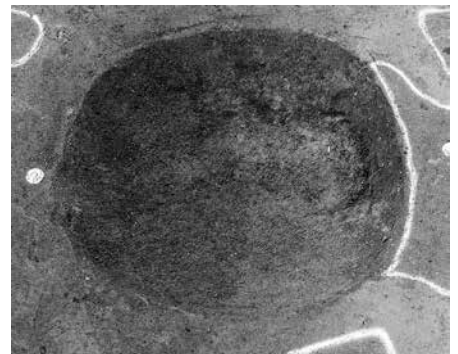
6 90号土坑断面 南から



7 91号土坑全景 南から



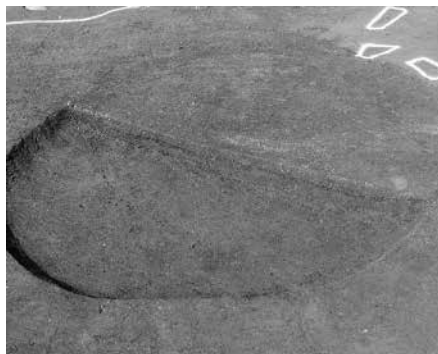
9 92号土坑全景 南から



11 93号土坑全景 南から



8 91号土坑断面 南から



10 92号土坑断面 南西から



12 93号土坑断面 南から



13 95号土坑礫出土状態 南から



14 95号土坑断面 東から



15 95号土坑全景 南から



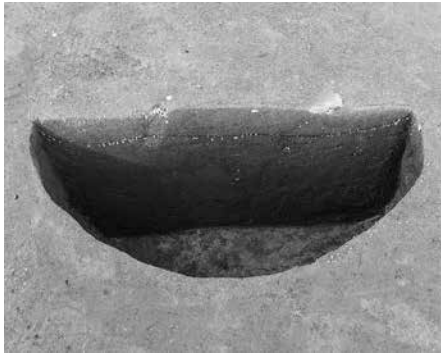
1 94号土坑全景 南から



3 102号土坑全景 南から



5 160号土坑全景 南から



2 94号土坑断面 南から



4 102号土坑断面 南から



6 160号土坑断面 南から



7 116号土坑礫出土状態 東から



8 116号土坑断面 北から



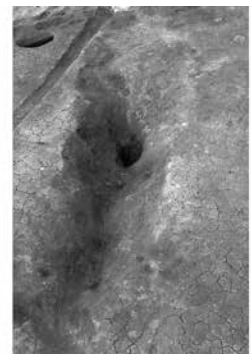
9 116号土坑全景 東から



10 117号土坑礫出土状態 東から



11 117号土坑断面 南から



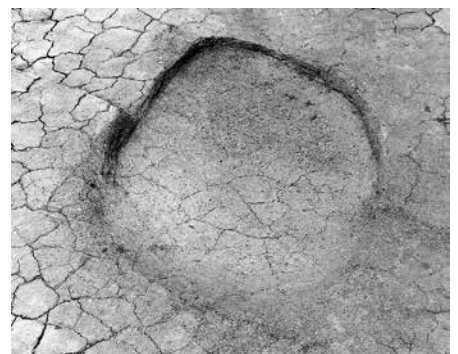
12 117号土坑全景 南から



13 121号土坑全景 東から



14 121号土坑断面 南から



15 161号土坑全景 南から

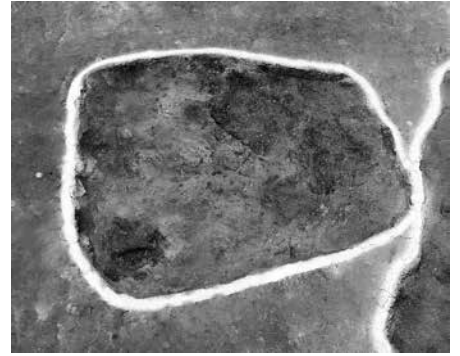
2区土坑4



1 162号土坑炭化物出土状態 南から



3 163号土坑焼土出土状態全景 南西から



5 163号土坑焼土全景 南から



2 162号土坑断面 南から



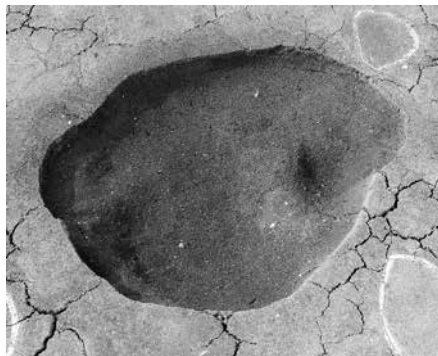
4 163号土坑焼土断面 南西から



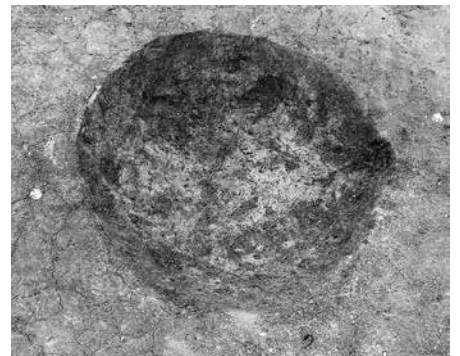
6 163号土坑焼土断面 南から



7 164号土坑全景 南から



9 166号土坑全景 南から



11 167号土坑全景 南から



8 164号土坑断面 南から



10 166号土坑断面 南から



12 167号土坑断面 南から



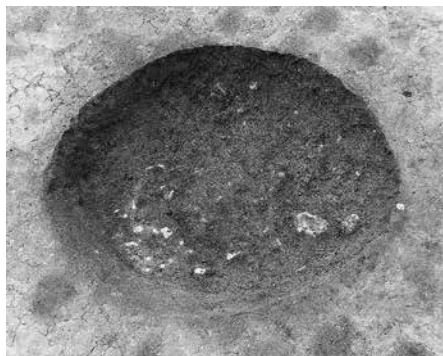
13 165号土坑礫出土状態全景 南から



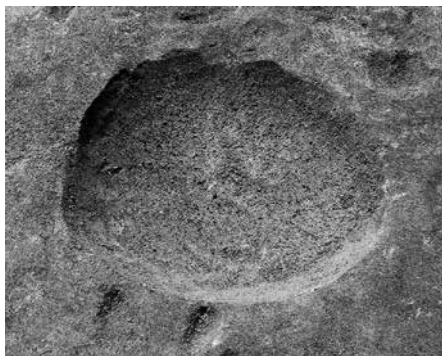
14 165号土坑断面 南から



15 165号土坑全景 南から



1 168号土坑全景 南から



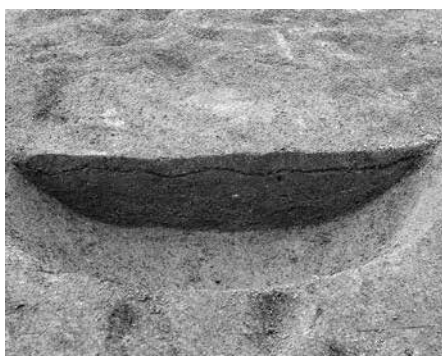
3 169号土坑全景 南東から



5 170号土坑全景 南から



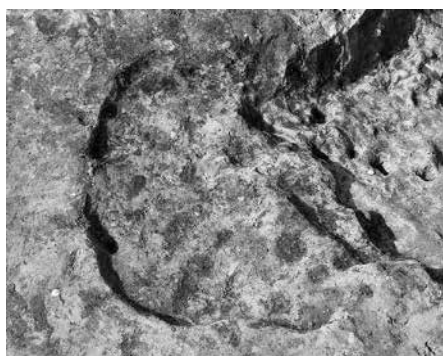
2 168号土坑断面 南から



4 169号土坑断面 南東から



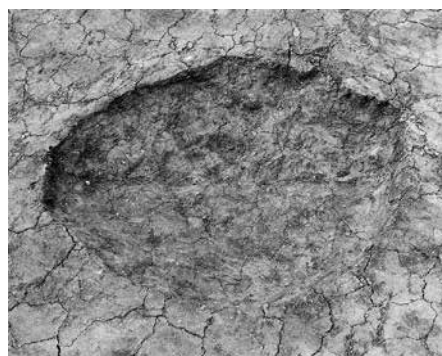
6 170号土坑断面 南から



7 172号土坑全景 南西から



9 173号土坑全景 南西から



11 174号土坑全景 南から



8 172号土坑断面 南から



10 173号土坑断面 南西から



12 174号土坑断面 南から



13 175号土坑全景 南東から



14 176号土坑全景 南東から



15 176号土坑断面 南東から

2区土坑6、3区土坑



1 177号土坑全景 南東から



3 179号土坑焼土部分断面1 南から



5 179号土坑焼土部分全景 南から



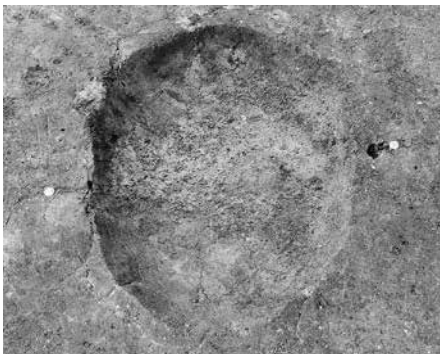
2 177号土坑断面 南東から



4 179号土坑焼土部分断面2 南から



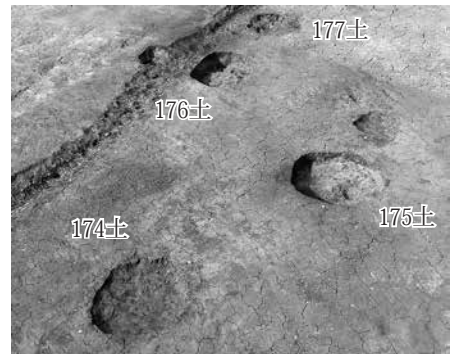
6 179号土坑全景 南から



7 178号土坑全景 南から



10 180号土坑焼土部分全景1 南東から



13 174~177号土坑全景 南東から



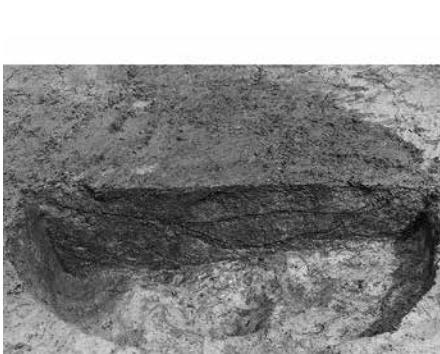
8 178号土坑断面1 南から



11 180号土坑焼土部分全景2 北東から



14 171号土坑全景 南から



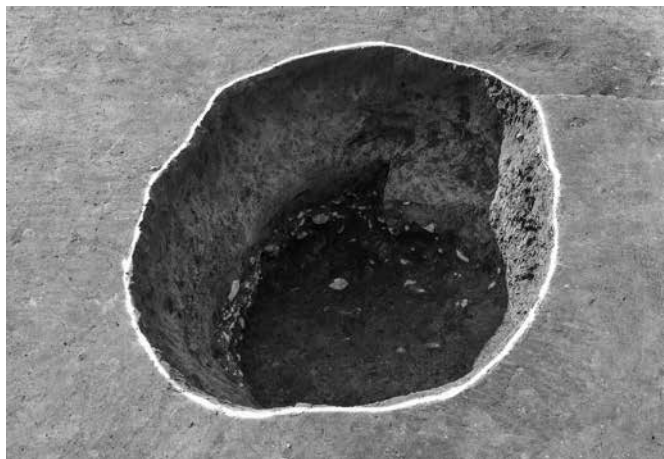
9 178号土坑断面2 南東から



12 180号土坑断面(東部分) 南東から



15 171号土坑断面 南から



1 1号井戸全景 東から



3 2号井戸上面礫出土状態全景 南から



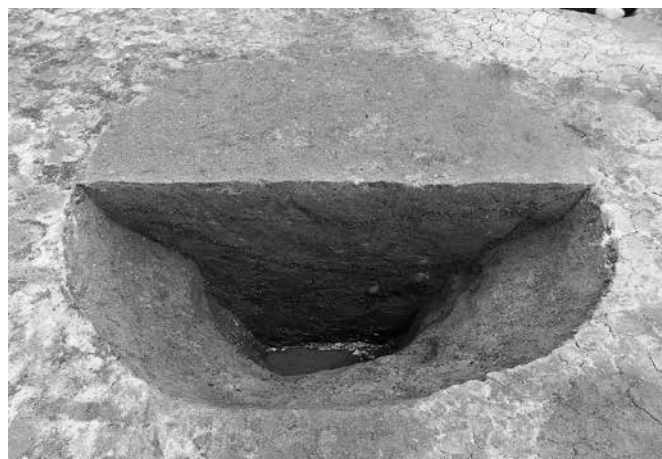
2 1号井戸断面 南から



4 2号井戸全景 南から



6 3号井戸全景 南から



5 2号井戸断面 南から



7 3号井戸断面 南西から



8 1号井戸調査風景

1区溝1



1 2・4号溝D全景 南から



2 2号溝断面(A-A') 南から



3 4号溝南西部隅全景 南西から



4 4号溝遺物出土状態 南東から



5 4号溝断面(G-G') 南から



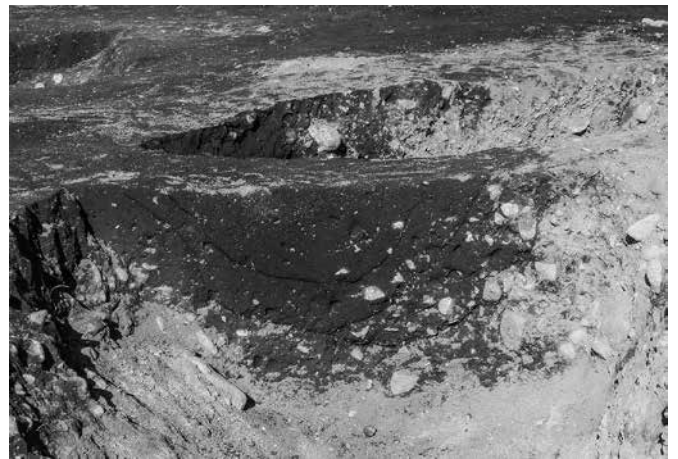
1 4号溝断面(I-I') 南から



3 3号溝F全景 南西から



2 4号溝断面(J-J') 南から



4 3号溝断面(B-B') 南東から



5 5号溝遺構確認面、25号ピット 北東から



7 5号溝断面(B-B') 南西から



6 5号溝C全景 北から



8 5号溝断面(C-C') 南西から

1区溝3



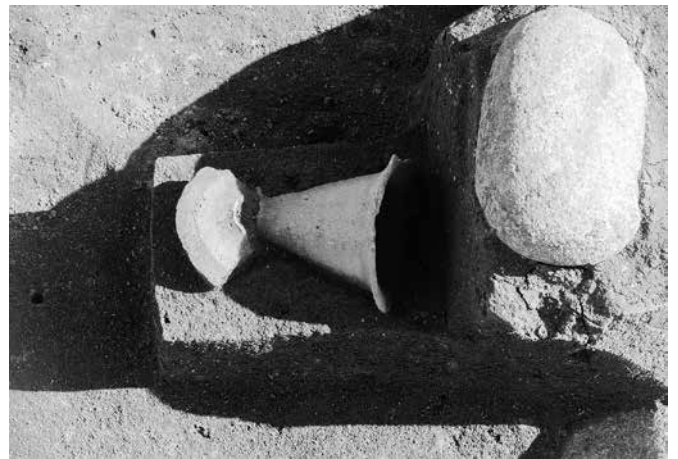
1 5号溝断面(D-D') 南西から



2 5号溝遺物出土状態1 南西から



3 5号溝遺物出土状態2 南西から



4 5号溝遺物出土状態(6) 南西から



5 7号溝D全景 南東から



6 7号溝全景 北東から



7 7号溝全景 北から



8 7号溝断面(B-B') 西から



1 10・11・13～15号溝D全景 西から



2 10・11・13～15号溝D全景 東から

1区溝5



1 10・11・13～15号溝全景 北東から



2 12・14号溝D全景 西から



3 14号溝全景と周辺の溝 西から



4 15・11号溝全景 西から



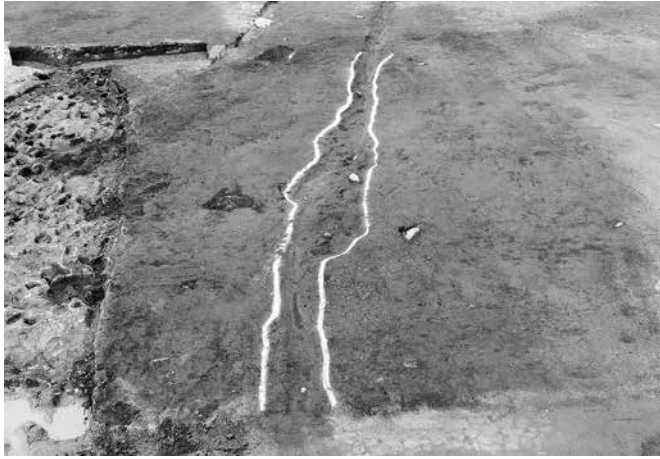
6 10・13号溝と周辺の溝 西から



5 11号溝断面(E-E') 東から



7 13号溝断面(A-A') 東から



1 1号溝E全景 南から



5 1号溝B~D全景 北から



2 1号溝E F全景 南から



3 1号溝A~D全景 南から



6 1号溝B全景 北から



4 1号溝E断面(C-C') 南から



7 1号溝B断面(G-G') 南から



1 6号溝B全景 西から



2 9号溝AB全景 南から



4 68号溝I (石組暗渠)全景 北東から



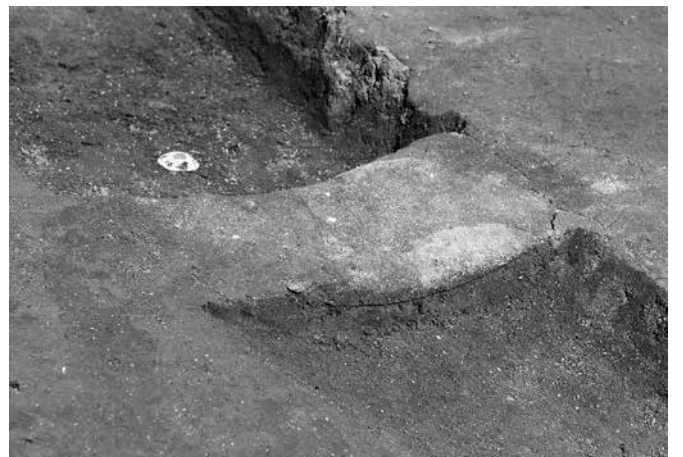
3 9号溝断面(B-B') 南から



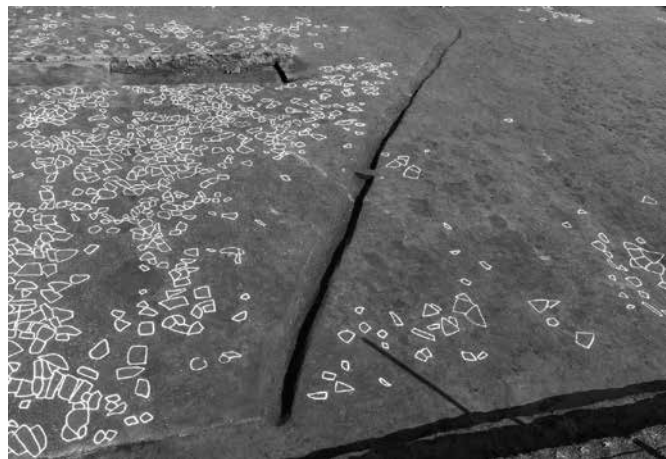
5 8号溝AB全景 南から



6 16号溝B全景 南から



7 16号溝断面(B-B') 南西から



1 17号溝A全景 南から



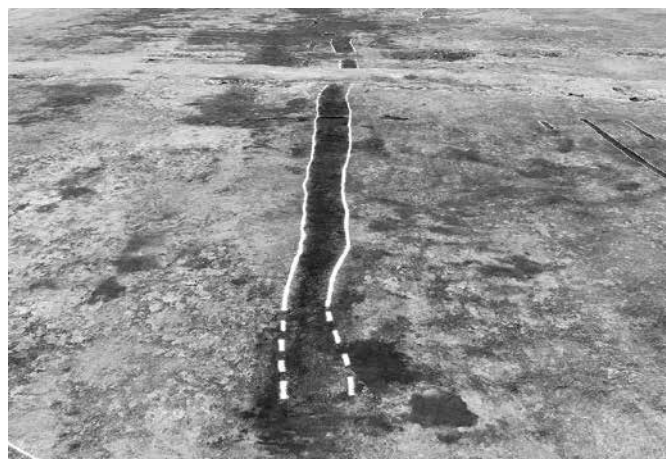
3 24号溝断面(B-B') 南から



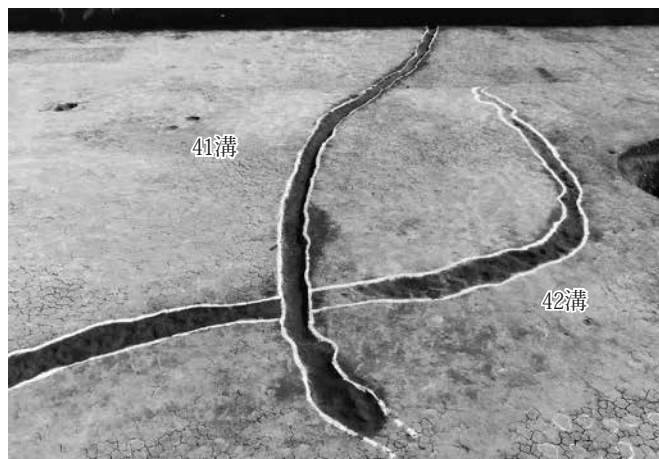
2 17号溝断面(B-B') 南から



4 25号溝断面(B-B') 南から



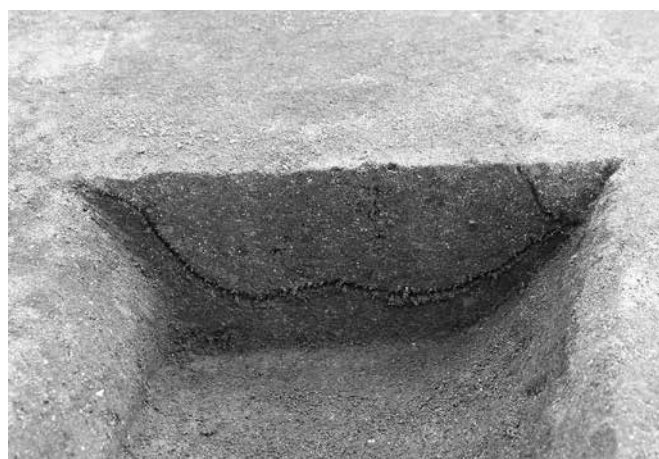
5 36号溝E F全景 南から



7 41・42号溝I全景 北から



6 36号溝断面(B-B') 東から

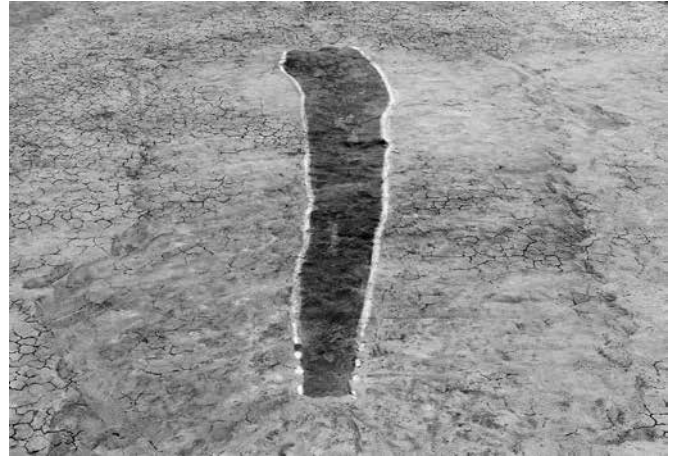


8 41号溝断面(B-B') 南から

2区溝4



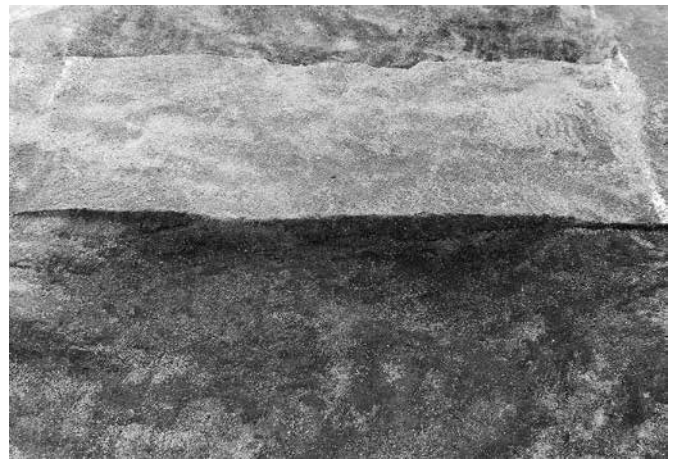
1 42(右)・41号溝 I 全景 南から



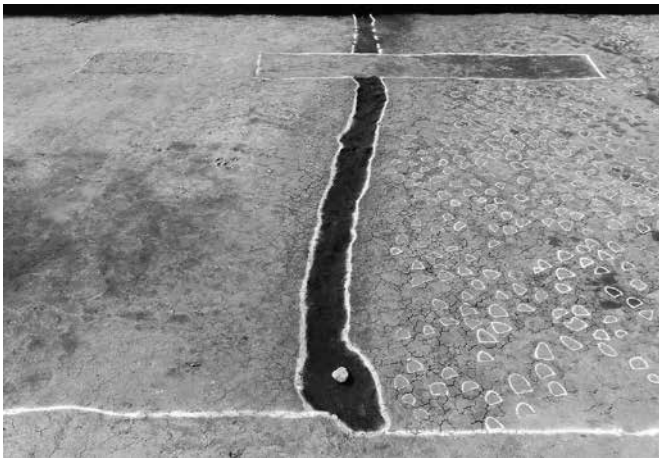
3 43号溝 I 全景 東から



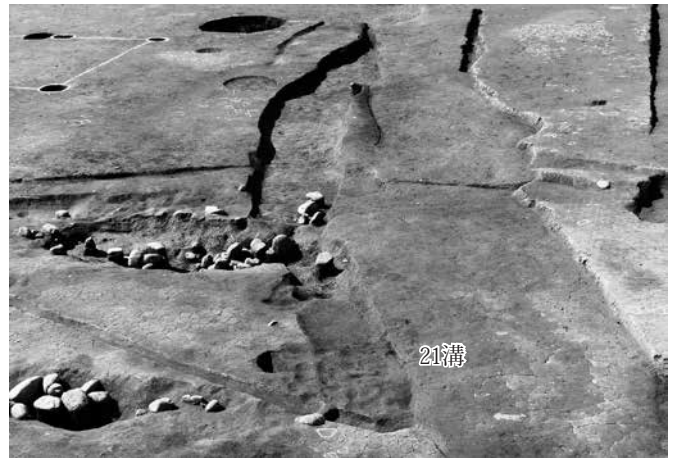
2 42号溝断面(B-B') 南西から



4 43号溝断面(A-A') 西から



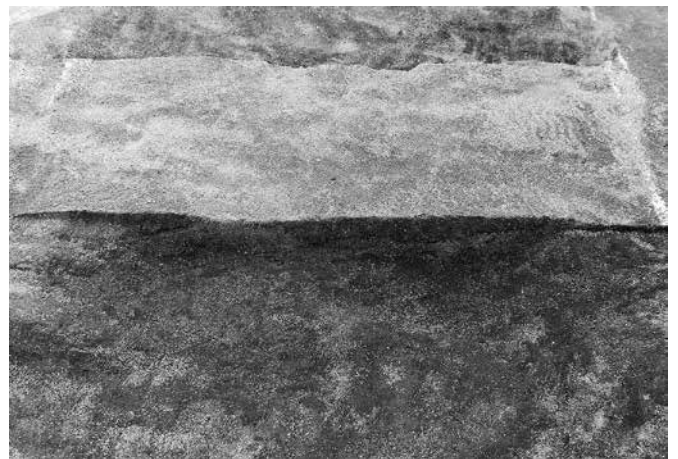
5 44号溝 I 全景 南から



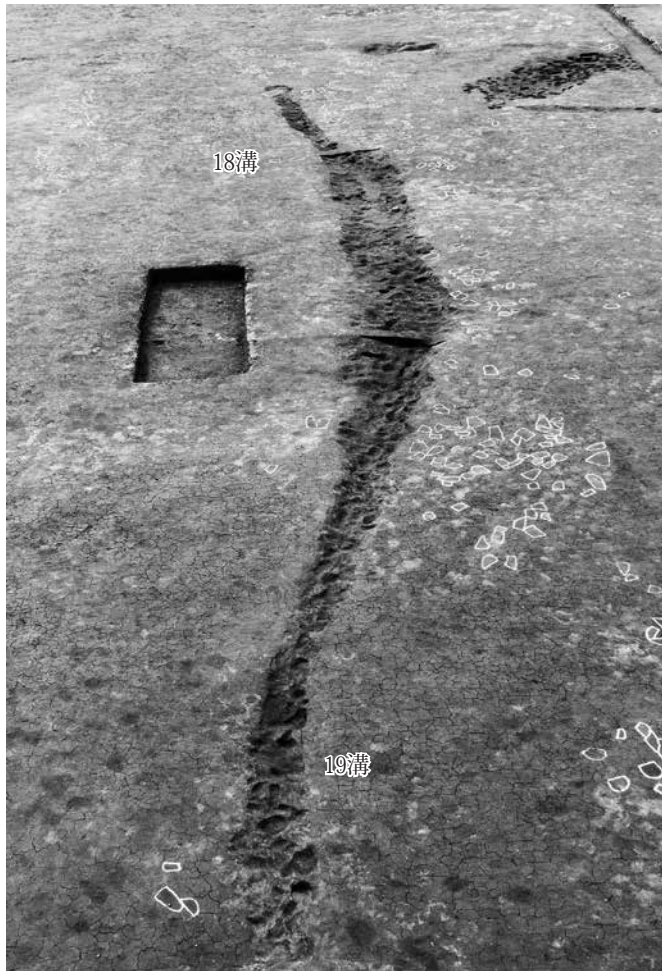
7 21号溝B 全景 東から



6 44号溝断面(B-B') 南から



8 21号溝断面(B-B') 東から



1 18・19号溝A全景 東から



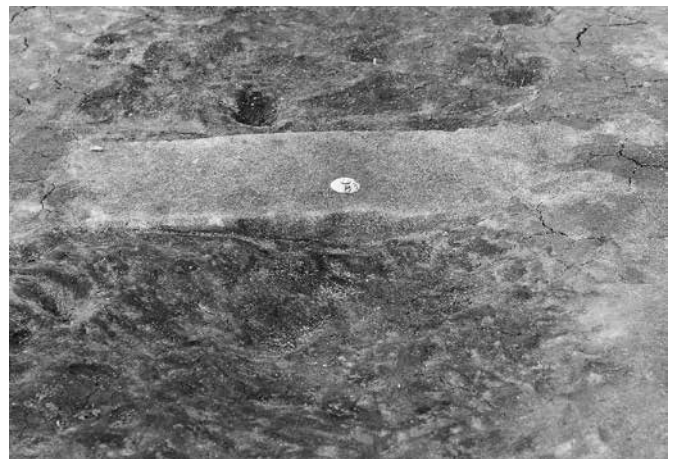
2 18(左)・19号溝断面(B-B') 東から



3 18(左)・19号溝断面(C-C') 東から



4 20号溝A B全景 南から



5 20号溝断面(A-A') 南から



6 20号溝断面ベルト部分 南から

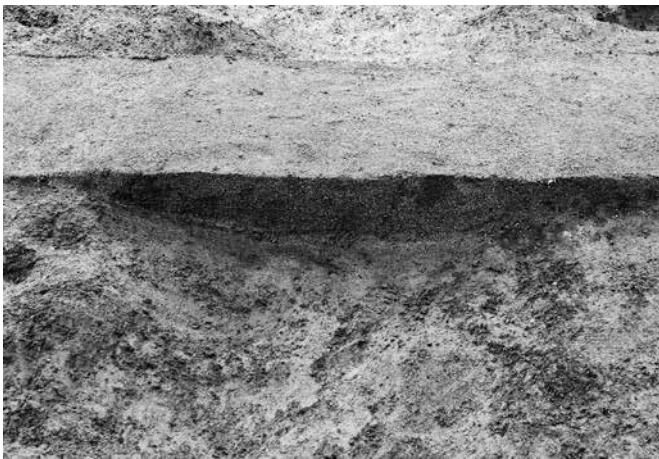
2区溝6



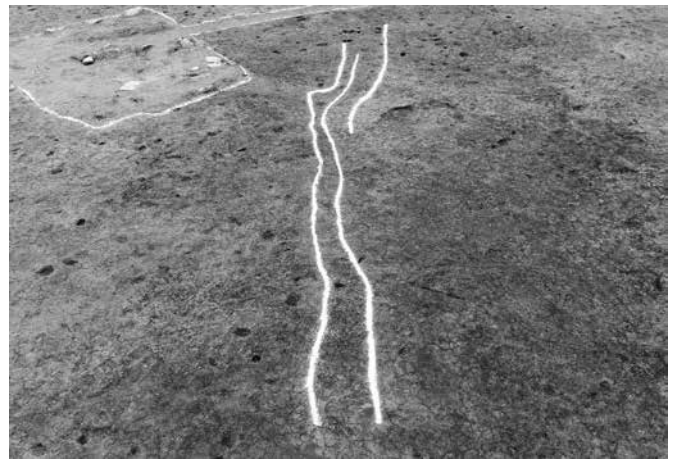
1 37号溝 F E 全景 北西から



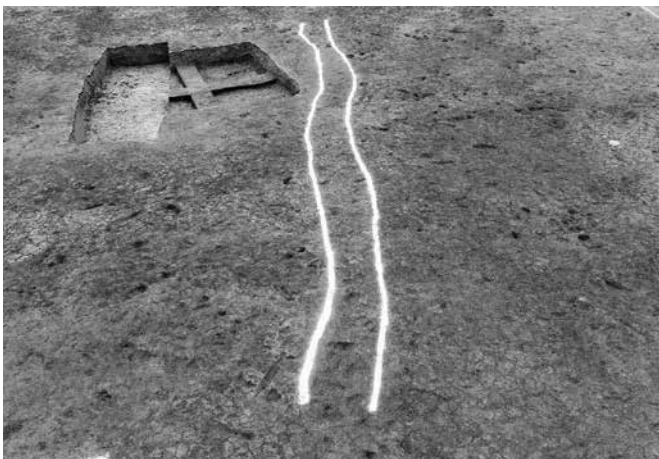
3 48号溝 I 全景 東から



2 37号溝断面(B-B') 南東から



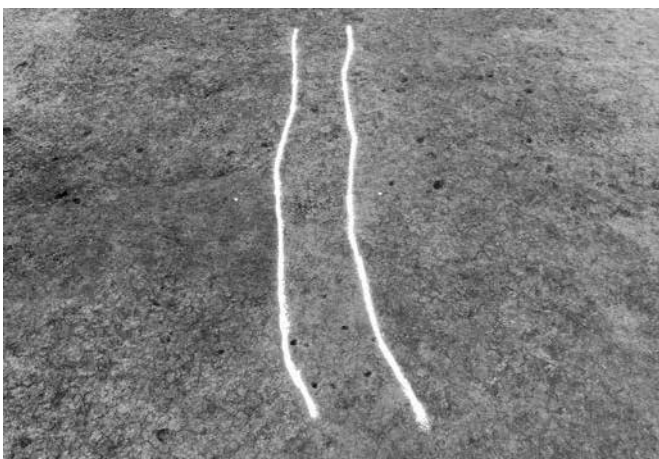
4 49号溝 I 全景 北から



5 50号溝 I 全景 西から



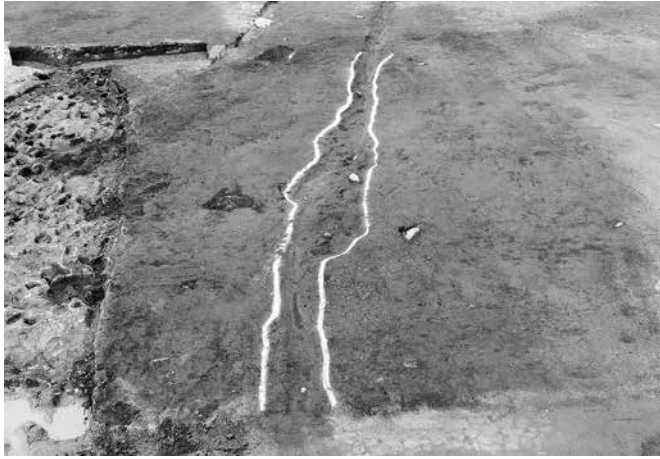
7 28号溝 B C 全景 南から



6 51号溝 I 全景 東から



8 28号溝断面(B-B') 南西から



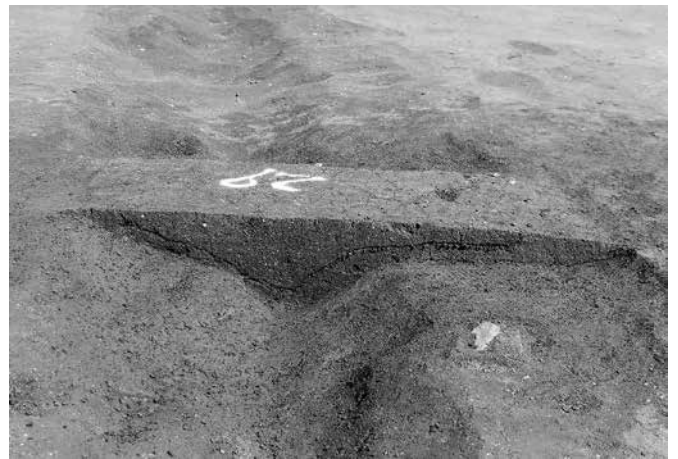
1 26号溝E全景 南から



5 26号溝断面(C-C') 南から



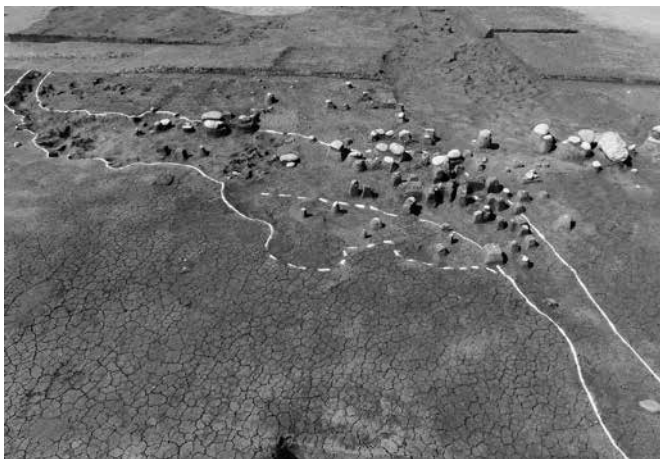
2 26号溝D全景 南から



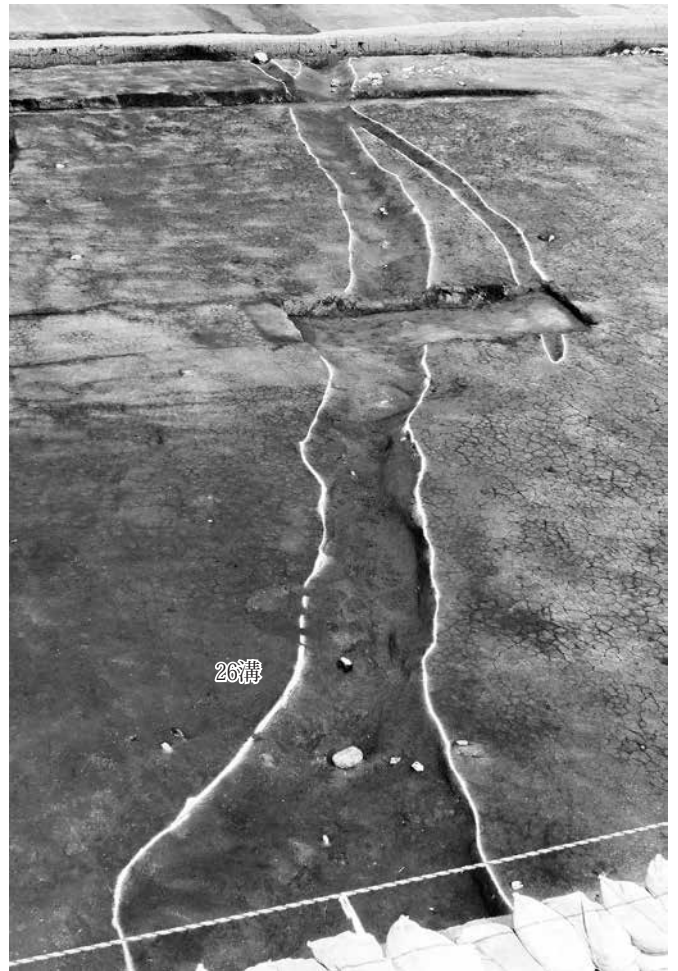
6 26号溝断面(D-D') 南から



3 26号溝C B全景 南から



4 26号溝B全景 南から



7 26号溝A全景 南から

2区溝8



1 27号溝B全景 南から



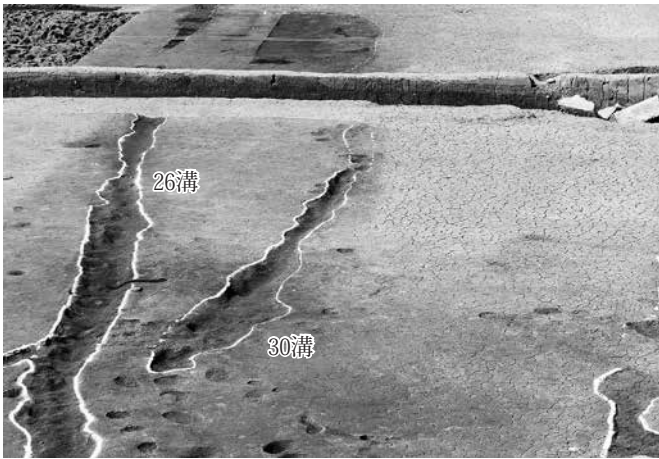
3 29号溝F G全景 南から



2 27号溝A全景 南から



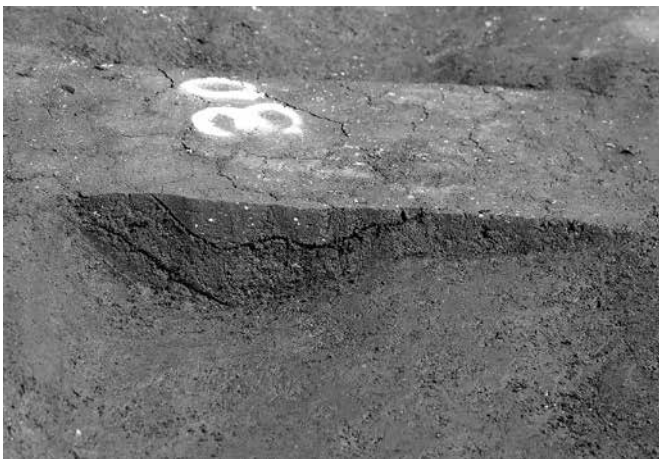
4 29号溝断面(B-B') 南から



5 30号溝C全景 南から



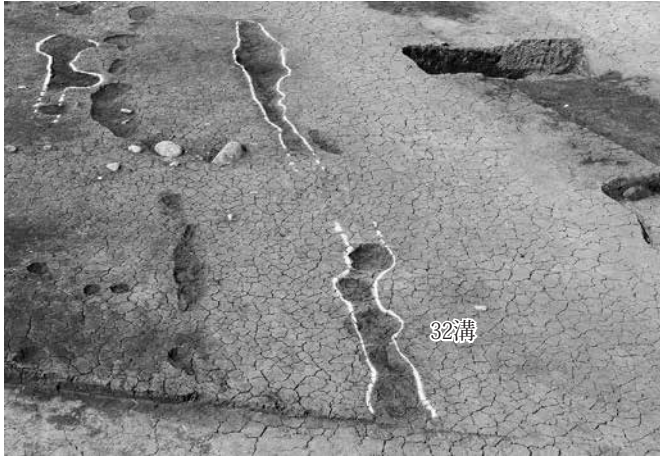
7 31号溝C全景 南から



6 30号溝断面(A-A') 南から



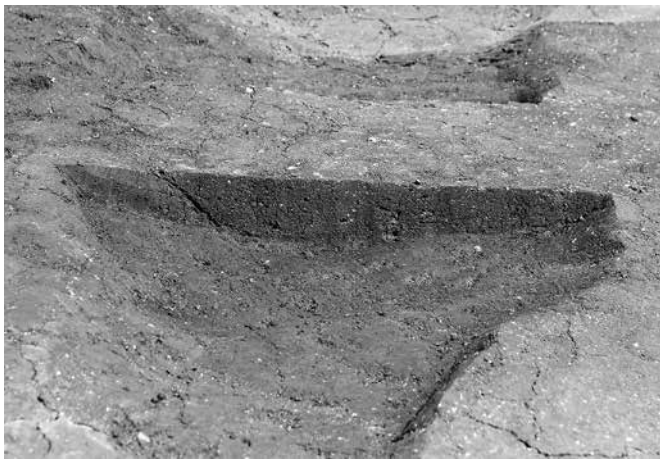
8 31号溝断面(A-A') 南から



1 32号溝C全景 南から



3 33号溝FG全景 北から



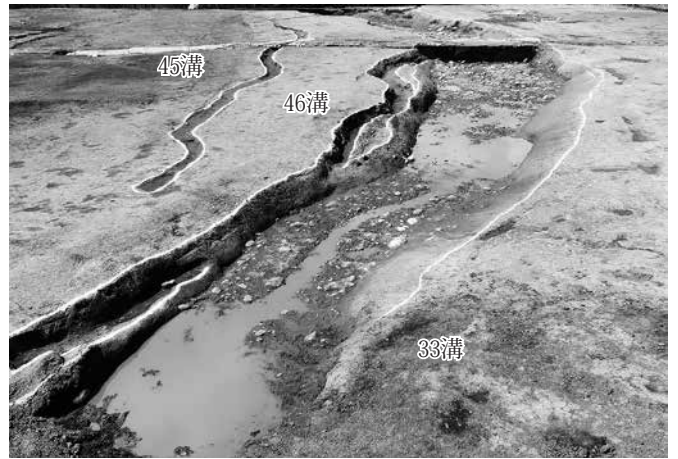
2 32号溝断面(A-A') 南から



4 33号溝FG全景 南から



6 33号溝F 遺物出土状態1



5 33(右)・46号溝EF全景 南から

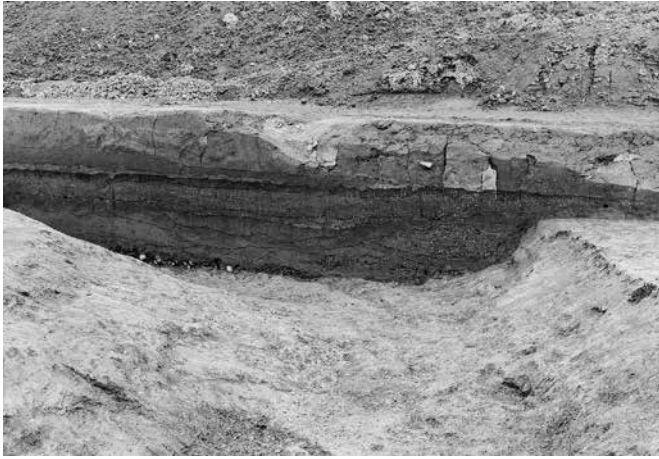


7 33号溝F 遺物出土状態2



8 33号溝F 遺物出土状態3

2区溝10



1 46号溝断面(F-F') 北から



2 33号溝断面(F-F') 南から



3 46・33号溝断面(H-) 南から



4 46・33号溝断面(-H') 南から



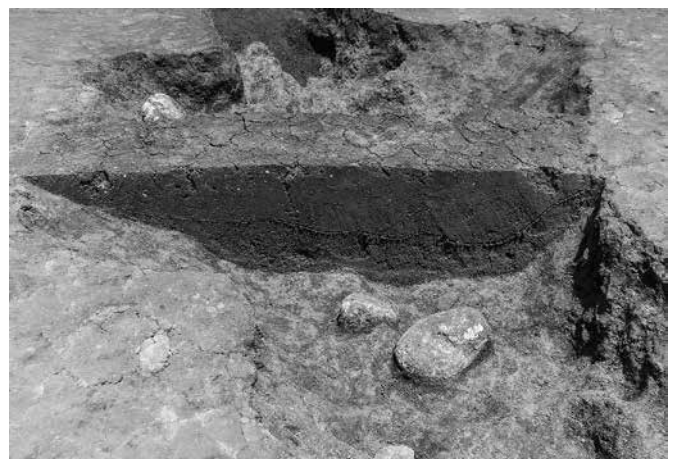
5 34号溝F全景 南から



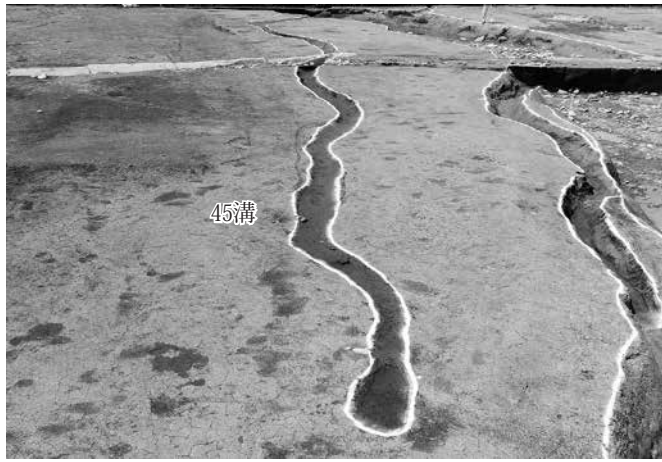
7 35号溝E F全景 南から



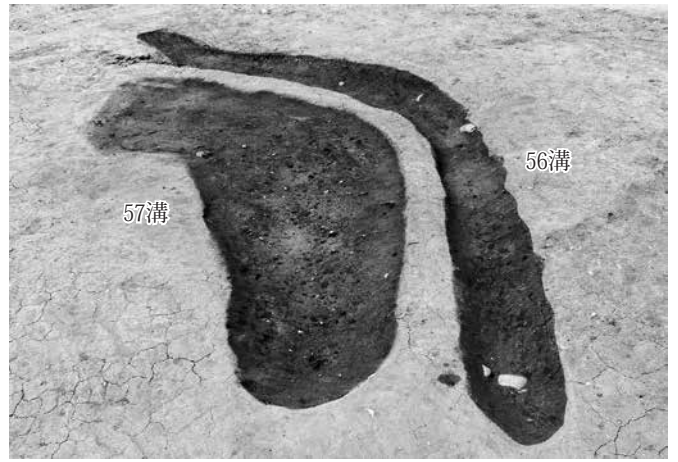
6 34号溝断面(B-B') 南から



8 35号溝断面(B-B') 南西から



1 45号溝 E F 全景 南から



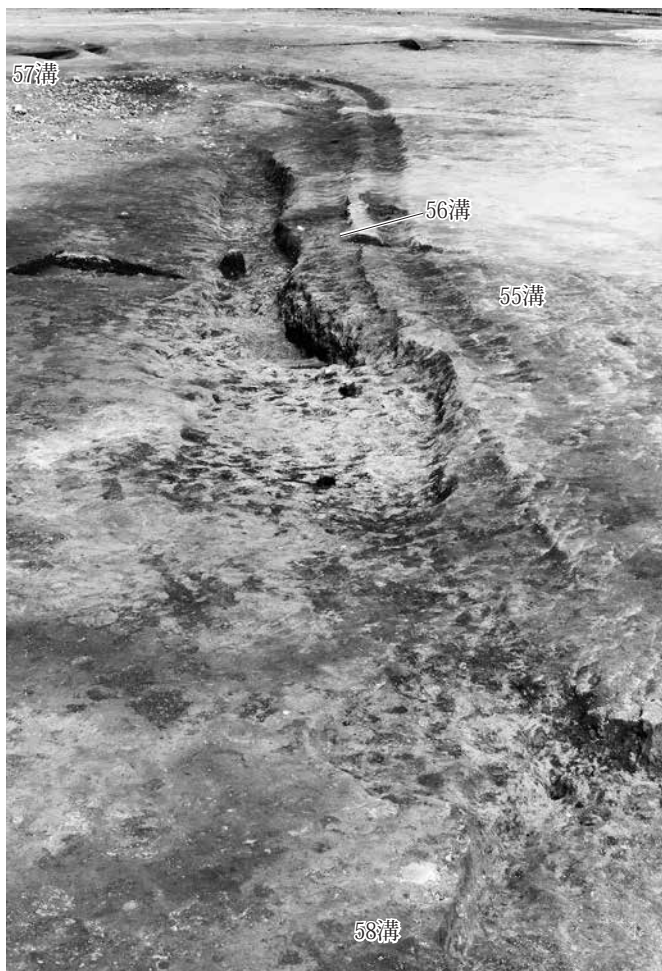
3 56(右)・57号溝 I 全景 南東から



2 45号溝断面(D-D') 南から



4 57号溝断面(A-A') 東から



5 55~58号溝 I 全景 南東から



6 55(右)~57号溝断面(C-C') 南東から



7 58号溝断面(E-E') 南東から



1 61号溝、173号土坑 I 全景 南西から



3 62号溝 I 全景 西から



2 61号溝(左)、173号土坑断面(B-B') 南西から



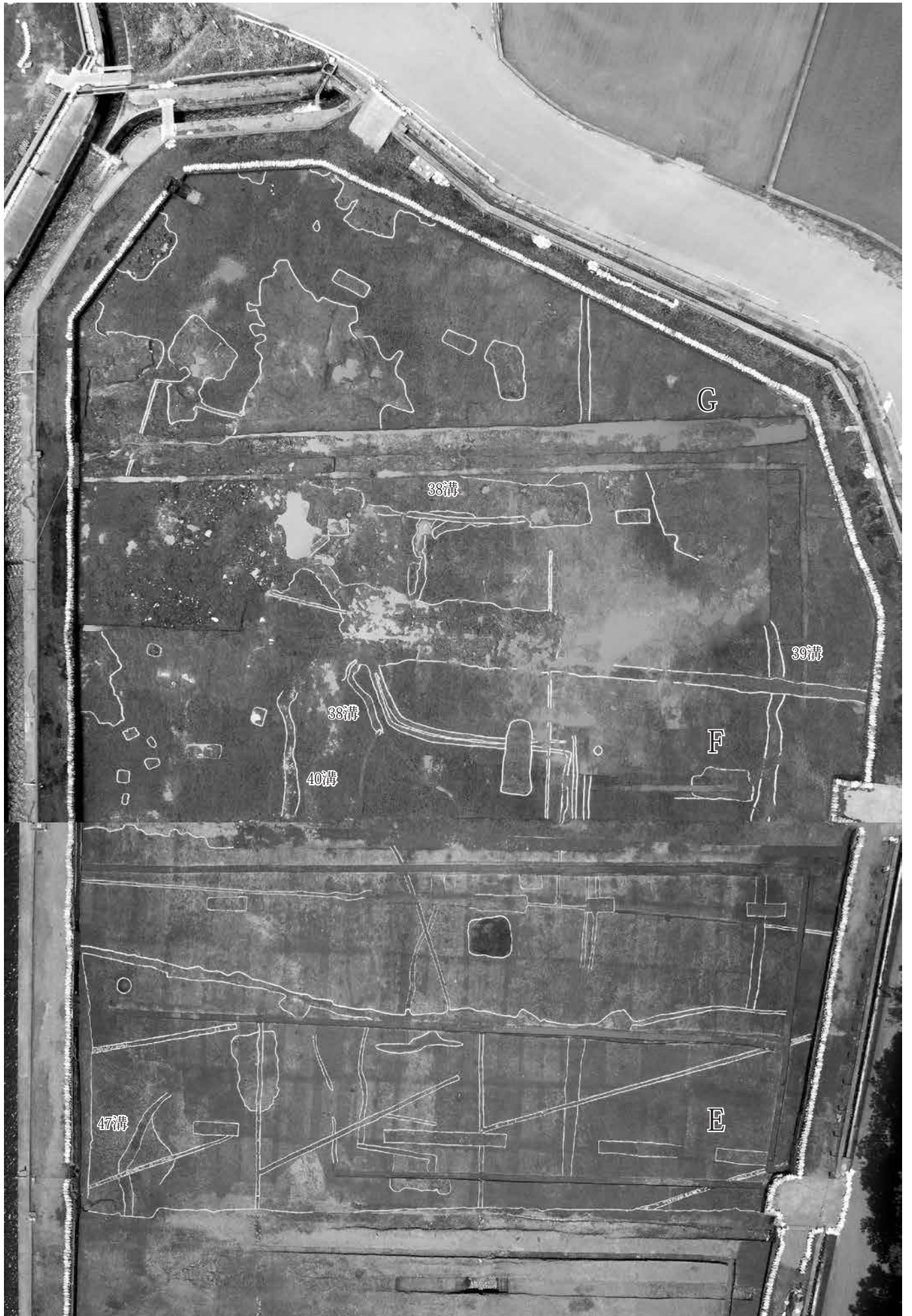
4 62号溝断面(B-B') 北東から



5 調査区 F 5面全景 南から



6 調査区 F~H 4面全景 南から



1 調査区E～G 1～3面 南から

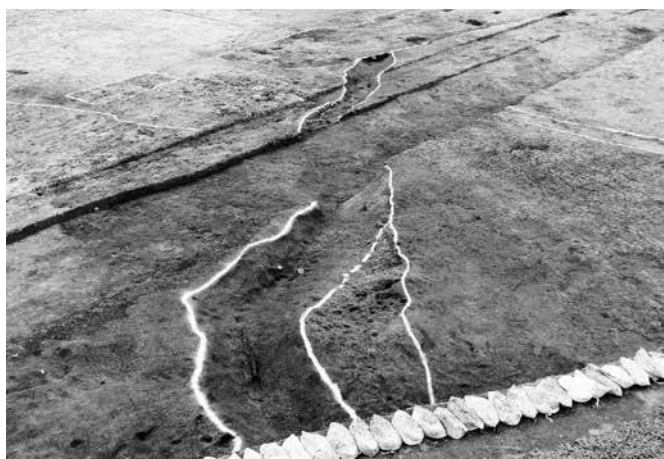
3区溝2



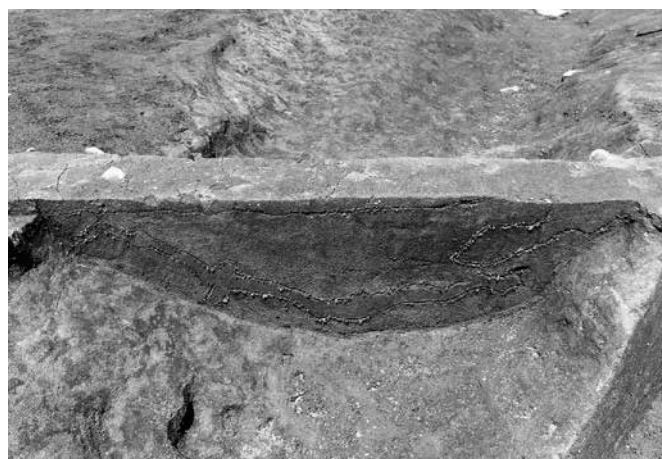
1 38号溝G遺物出土状態 北西から



3 38号溝、4面60号溝北壁断面 南から



2 38号溝G全景 北東から



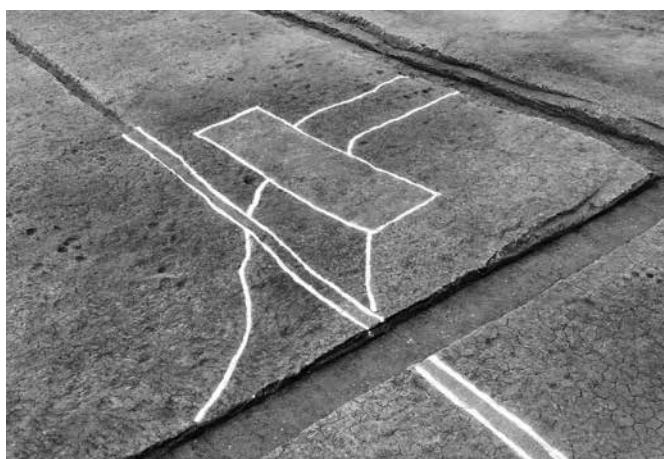
4 38号溝断面(A-A') 南西から



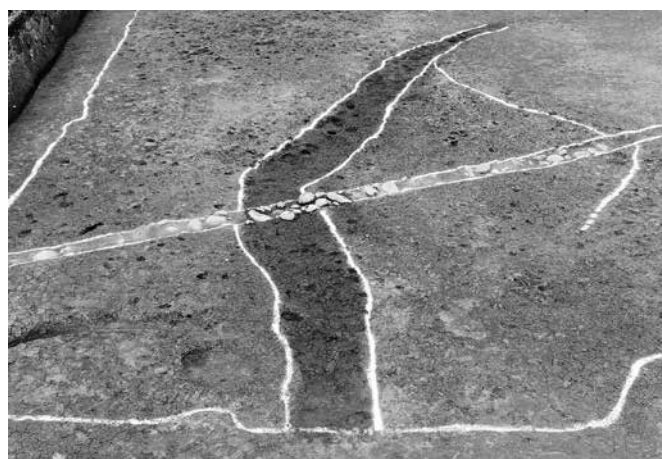
5 39号溝F北半部全景 南から



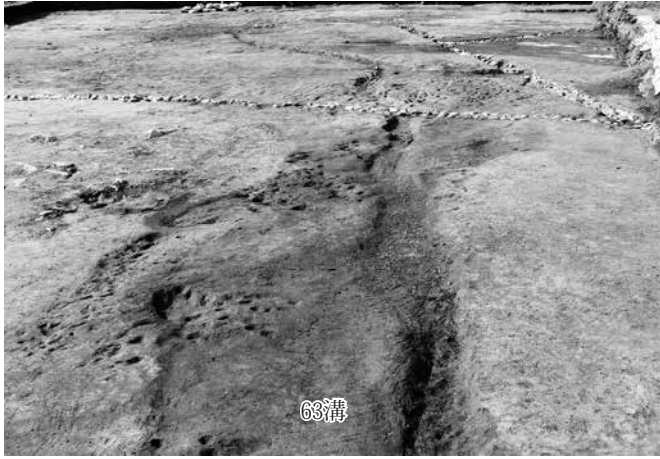
7 40号溝F全景 南から



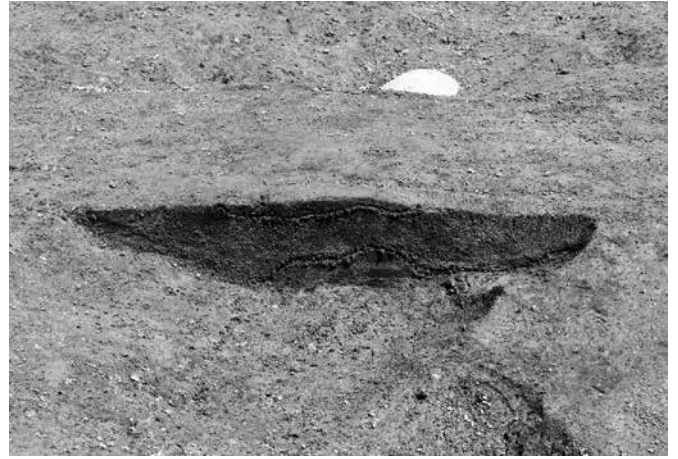
6 39号溝E南寄り全景 南東から



8 47号溝E全景 南から



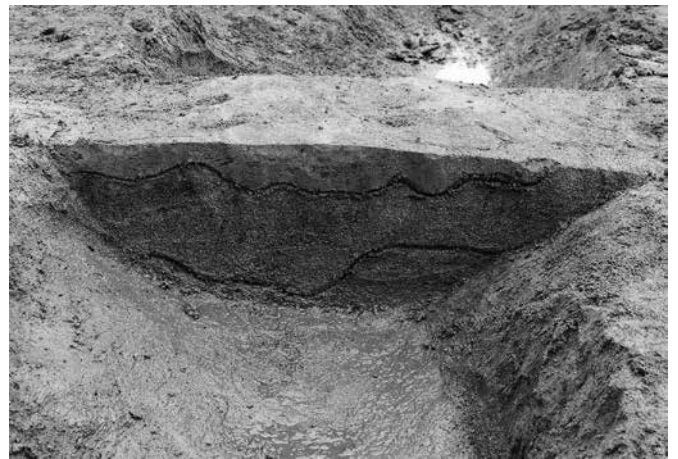
1 63号溝 B C 全景 南から



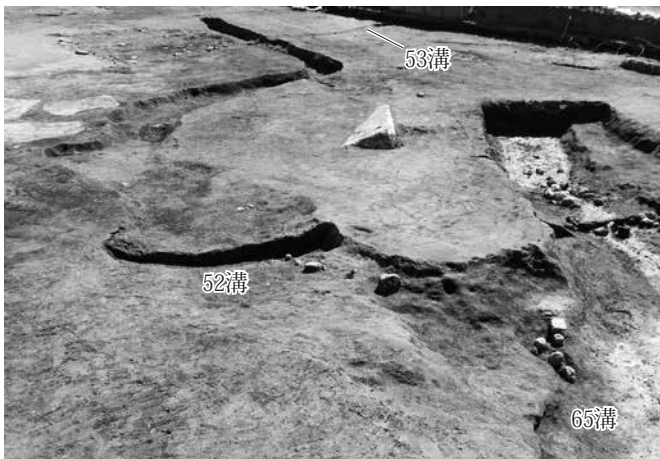
3 63号溝断面(B-B') 南から



2 63号溝 B 南端部全景 南から



4 63号溝断面(D-D') 北から



5 52・53・65号溝 G F 全景 北東から



7 52号溝断面(C-C') 南から

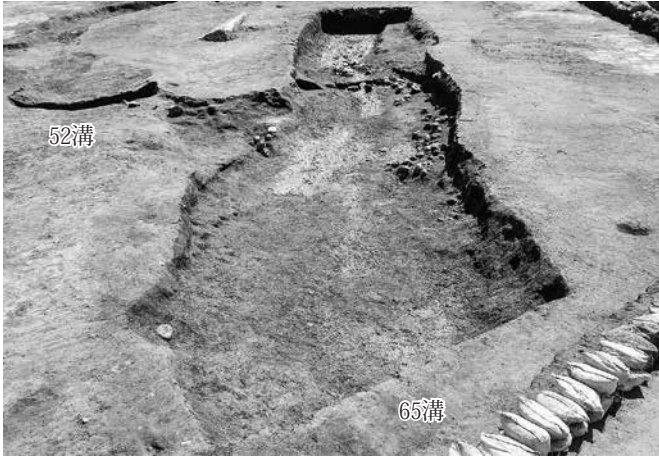


6 52号溝断面(A-A') 南から



8 53号溝 F 全景 東から

3区溝4



1 65号溝G全景 北東から



4 60号溝GF全景 北東から



2 65号溝断面(B-B') 南西から



5 60号溝断面(B-B') 南から



3 65号溝遺物出土状態(1) 南から



6 60号溝遺物出土状態1



7 60号溝遺物出土状態2 南から



8 60号溝遺物出土状態3



1 54号溝 F G 全景と断面(A-A') 南から



3 54号溝遺物出土状態 南から



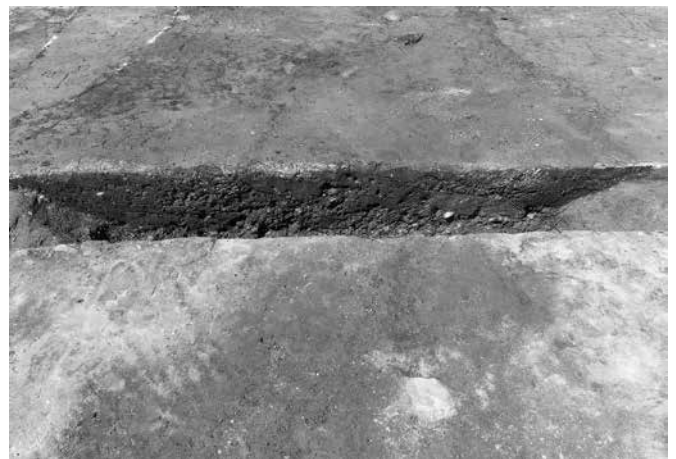
2 54号溝 E 全景 南から



4 54号溝遺物出土状態(種子)



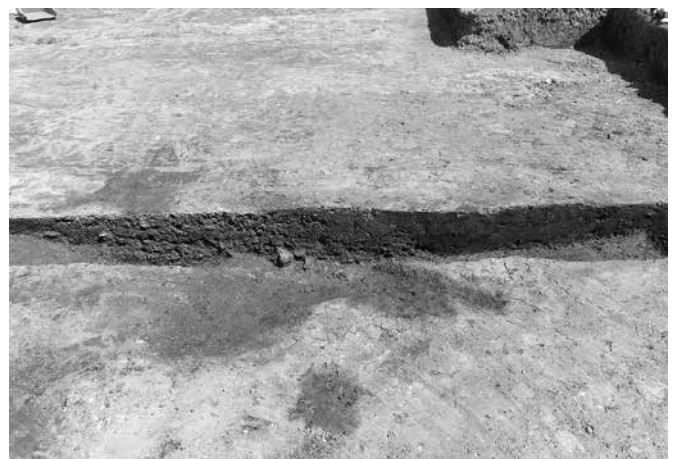
5 64号溝 C 全景 南から



7 64号溝断面(B-B') 南から



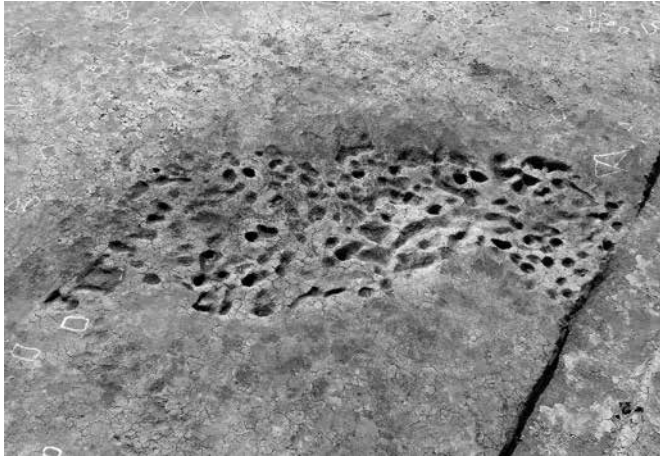
6 64号溝 C B 全景 北から



8 64号溝断面(C-C') 南から



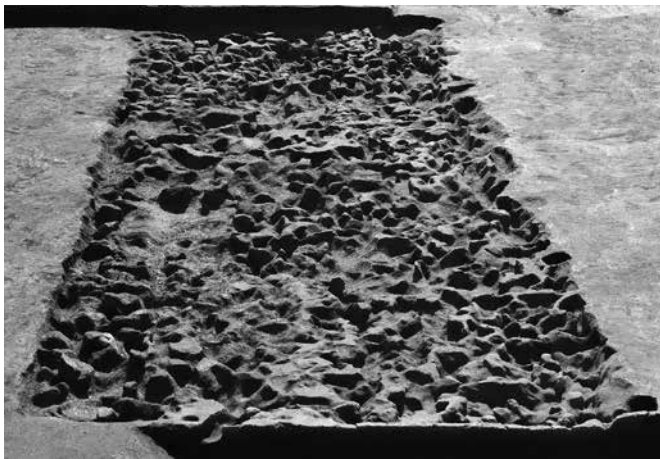
1 1号耕作痕群A～D 南から



1 1号耕作痕群A部分 北東から



2 1号耕作痕群A近景 北東から



3 2号耕作痕群D西寄り 北から



4 2号耕作痕群E 南から



5 4号耕作痕群I北寄り 西から



6 4号耕作痕群I南部分 南から



7 5号耕作痕群I全景 西から



8 5号耕作痕群I全景 東から

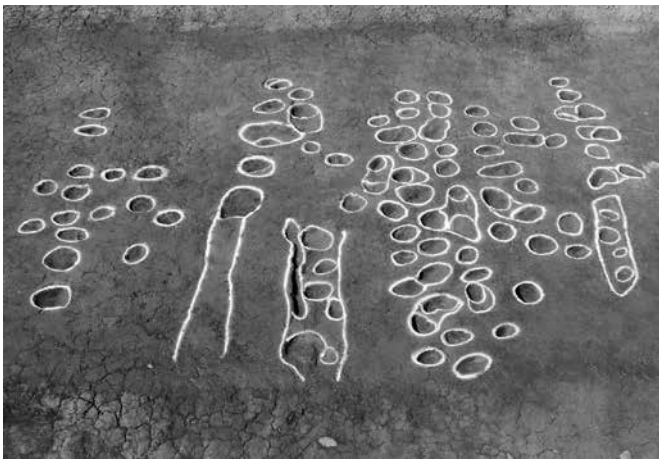
2区耕作痕群3、3区耕作痕群



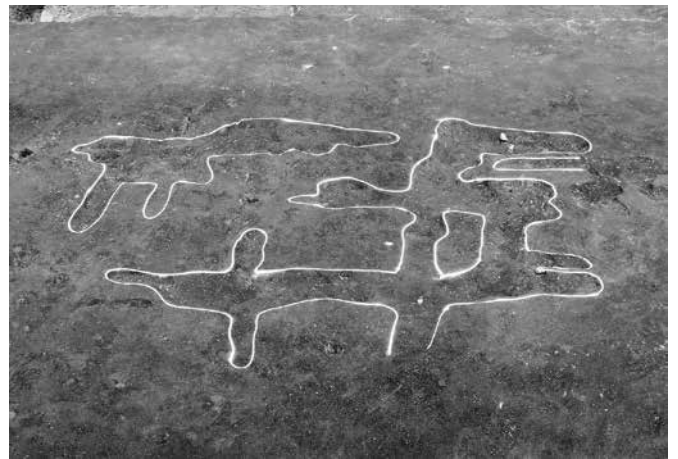
1 6号耕作痕群G全景 東から



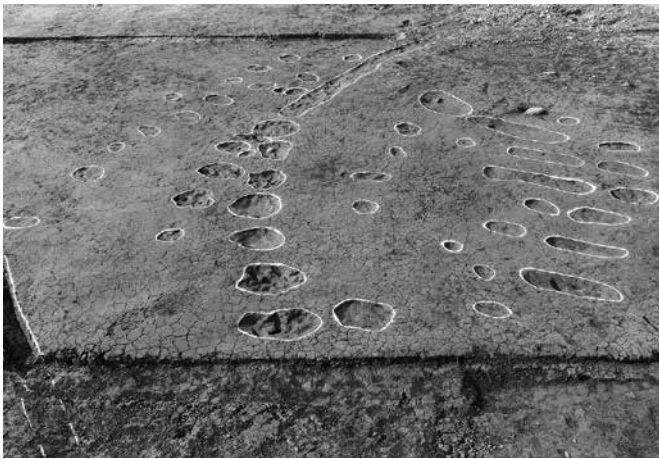
3 8号耕作痕群A全景 南から



2 7号耕作痕群H全景 東から



4 8号耕作痕群A西寄り 南から



6 9号耕作痕群H全景 南から



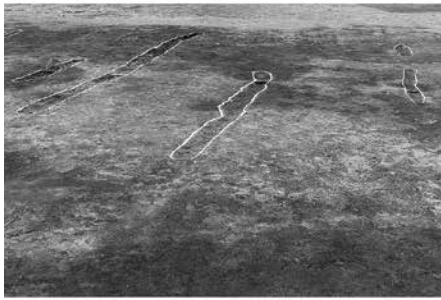
5 8号耕作痕群A東寄り 南から



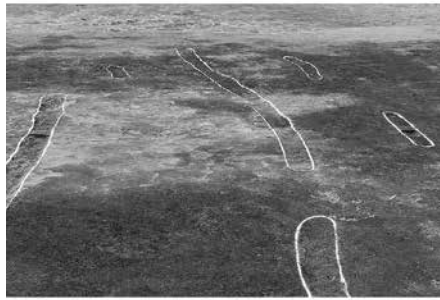
7 10号耕作痕群G全景 南西から



8 11号耕作痕群B全景 南から



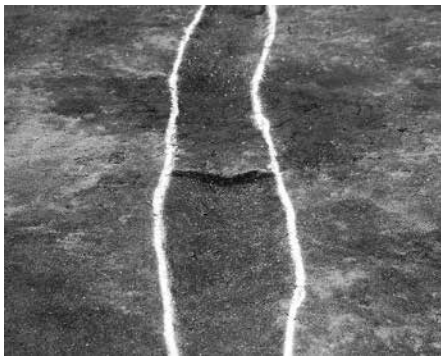
1 1号畑①～④ 東から



6 1号畑⑤～⑧ 東から



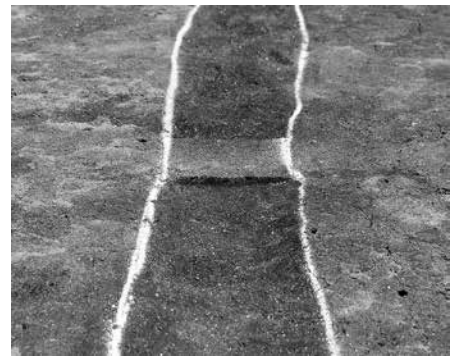
11 2号畑全景 南から



2 1号畑断面① 東から



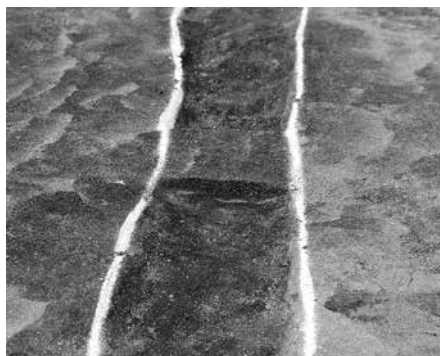
7 1号畑断面⑤ 東から



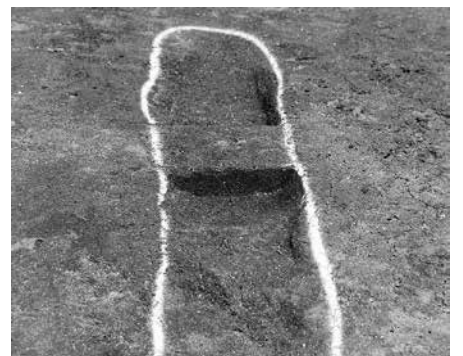
12 2号畑断面① 南から



3 1号畑断面② 東から



8 1号畑断面⑧ 東から



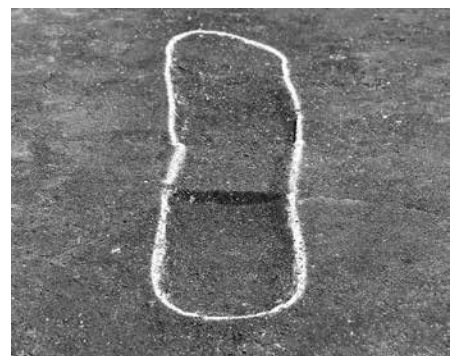
13 2号畑断面② 南から



4 1号畑断面③ 東から



9 1号畑①～⑧全景 南から



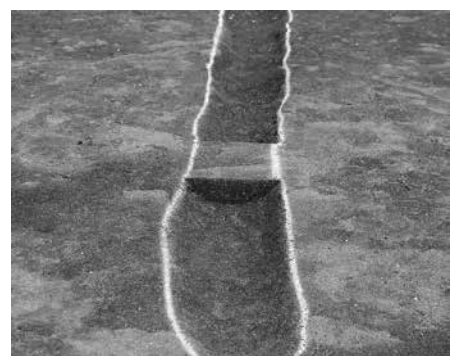
14 2号畑断面③ 南から



5 1号畑断面④ 東から



10 1号畑F全景 南西から



15 2号畑断面④ 南から



1 3号畑E全景 南から



2 4号畑I全景 北から



1 4号畑①～④ 東から



6 4号畑⑤～⑧ 東から



11 4号畑⑨～⑭ 東から



2 4号畑断面① 東から



7 4号畑断面⑤ 東から



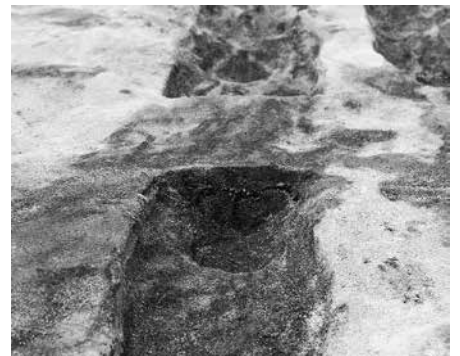
12 4号畑断面⑨ 東から



3 4号畑断面② 東から



8 4号畑断面⑥ 東から



13 4号畑断面⑩ 東から



4 4号畑断面③ 東から



9 4号畑断面⑦ 東から



14 4号畑断面⑪ 東から



5 4号畑断面④ 東から



10 4号畑断面⑧ 東から



15 4号畑断面⑫ 東から



1 4号畑断面⑬ 東から



6 4号畑断面⑰ 東から



11 4号畑断面⑰ 東から



2 4号畑断面⑭ 東から



7 4号畑断面⑱ 東から



12 4号畑断面⑲ 東から



3 4号畑⑮～⑳ 東から



8 4号畑断面⑲ 東から



13 4号畑断面㉑ 東から



4 4号畑断面⑮ 東から



9 4号畑断面㉒ 東から



14 4号畑断面㉒ 東から



5 4号畑断面⑯ 東から



10 4号畑⑰・⑲・㉑～㉓ 東から



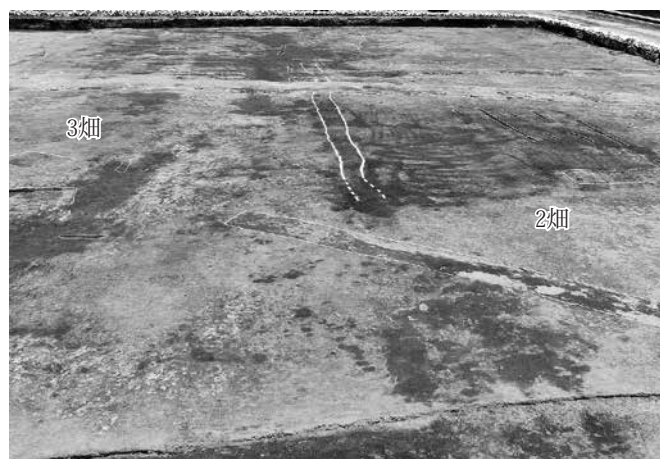
15 4号畑断面㉓ 東から



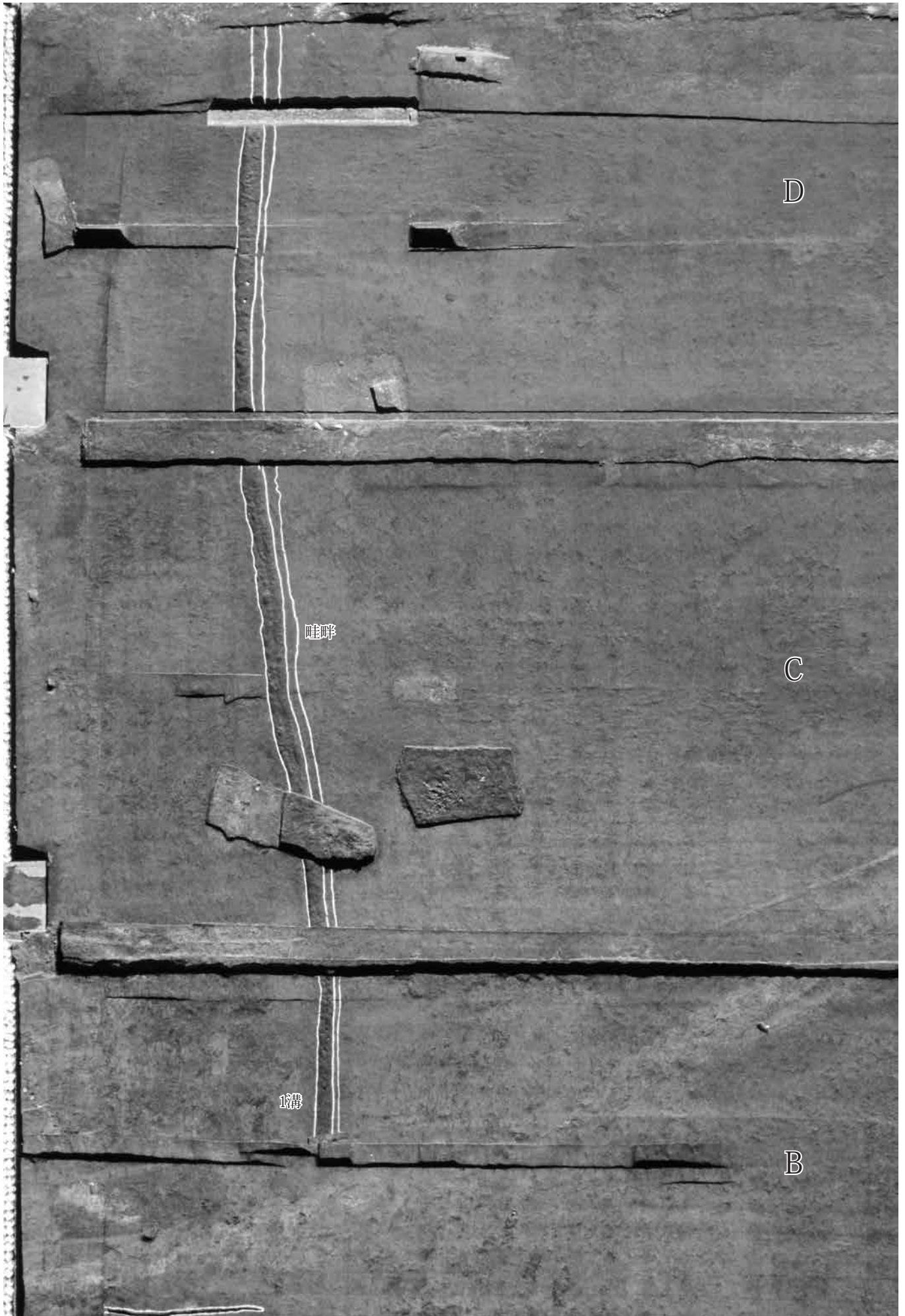
1 調査区F～H 5～7号畑、3・6・7号耕作痕群



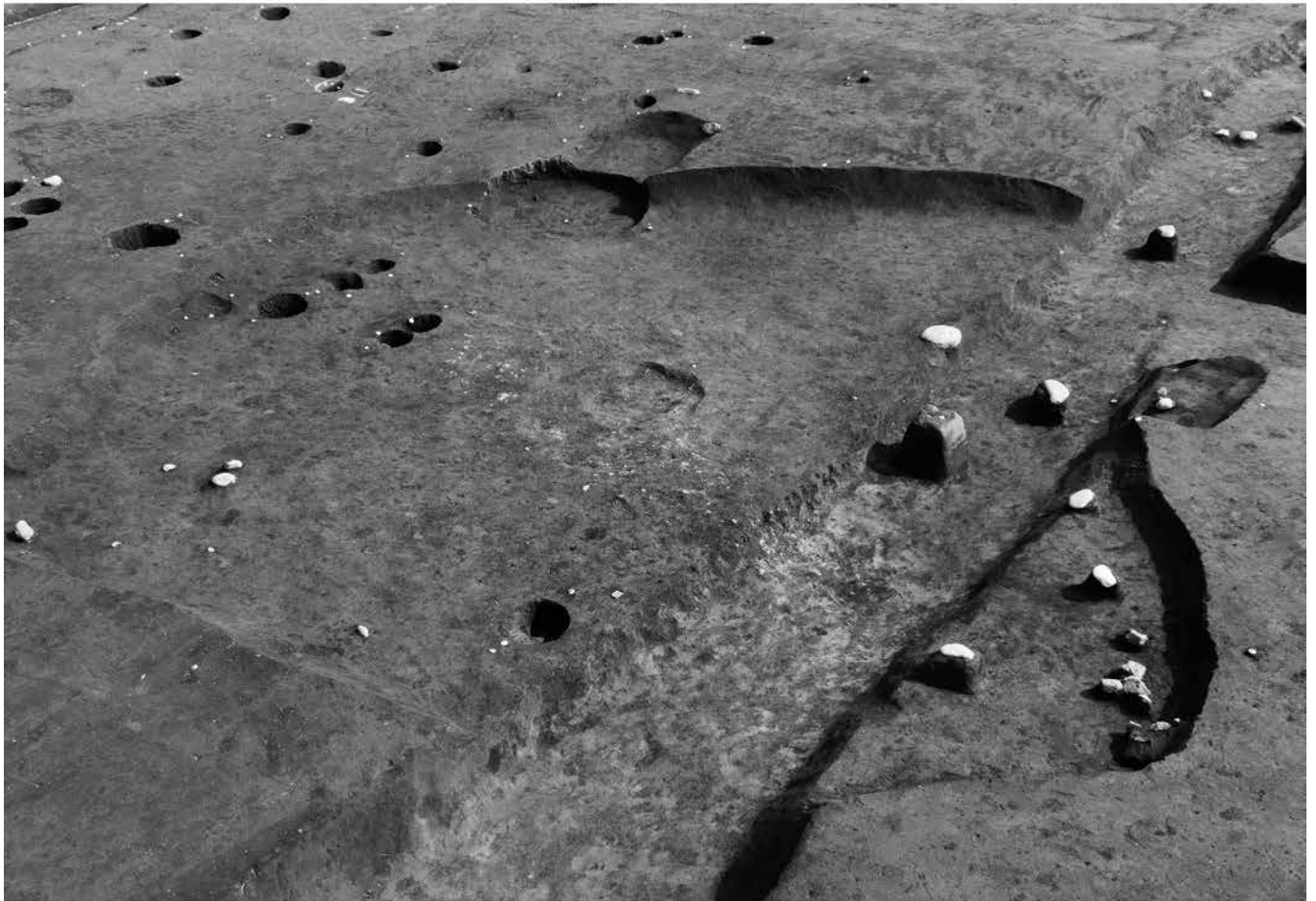
2 調査区E F東寄り 南東から



3 調査区E F 2・3号畑 南から



1 B~D 1面 畦畔、水田面西半部 南から



1 28号住居全景 南西から



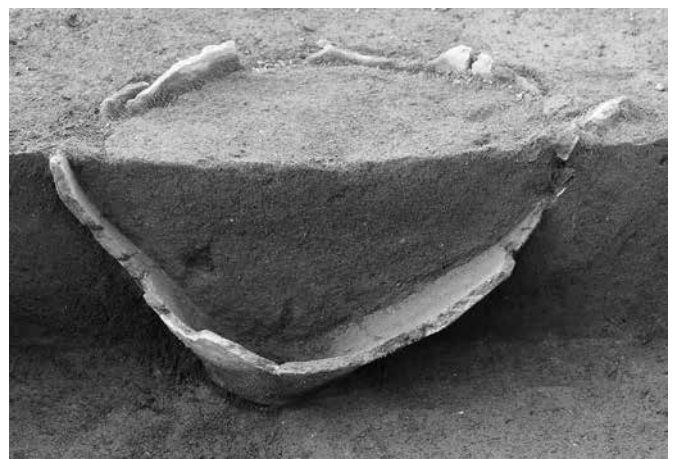
2 28号住居炉 北から



4 1号埋設土器出土状態(1) 南西から



3 28号住居遺物出土状態(1・3・9・10) 北から



5 1号埋設土器断面 南から



1 調査区D 南から



2 1号縄文土器包含層 西から



3 1号縄文土器包含層 南から



1 調査区A～C 1号縄文土器包含層 南から

トレンチ断面



1 1区C旧石器トレンチ1 西から



2 1区C旧石器トレンチ2 東から



3 1区C旧石器トレンチ3 南から



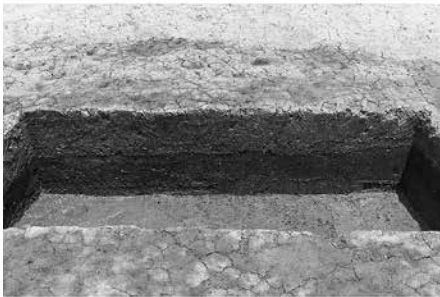
4 1区D旧石器トレンチ4 南から



5 1区D旧石器トレンチ5 南から



6 1区トレンチ調査状態 南西から



7 2区A B境トレンチ全景 南東から



8 2区A B境トレンチ断面 南から



11 2区C D境トレンチ断面2 南から



9 2区C D境トレンチ全景 南東から



10 2区C D境トレンチ断面1 南から



12 2区D 5号トレンチ先端南壁断面 北東から



13 3区G 3号トレンチ断面 南から

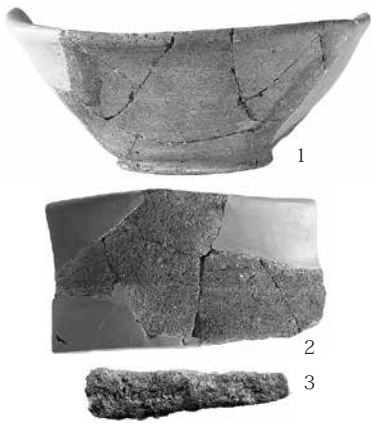


14 3区F 5号トレンチ断面 南から

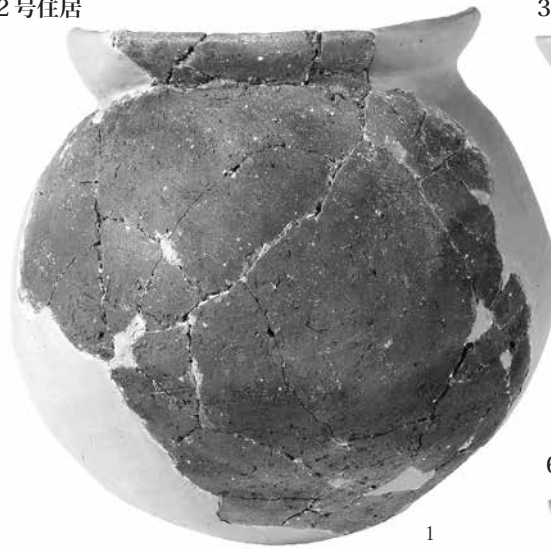


15 3区F 7号トレンチ断面 南から

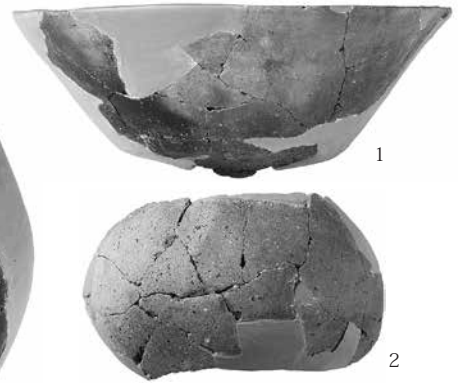
1号住居



2号住居



3号住居



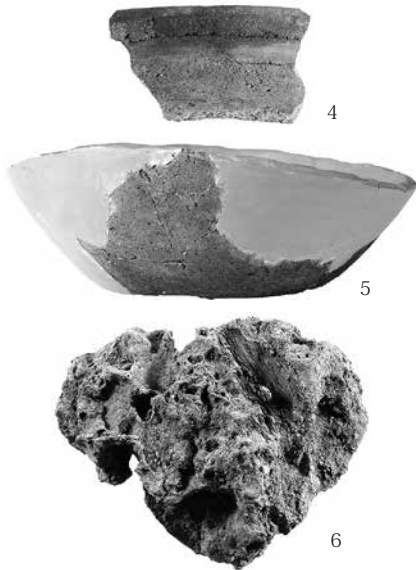
4号住居



6号住居



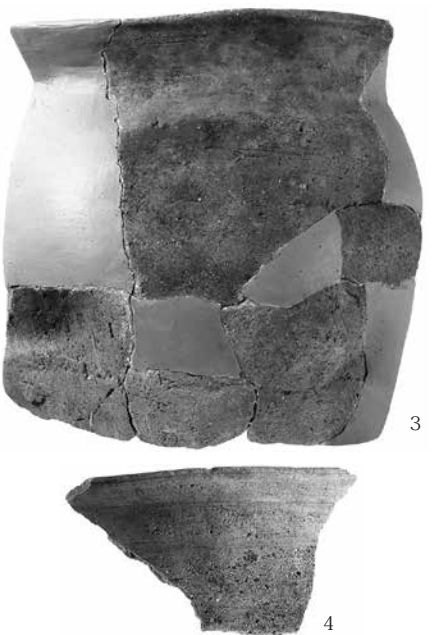
5号住居



8号住居



9号住居



1区9~13号住居出土遺物
9号住居



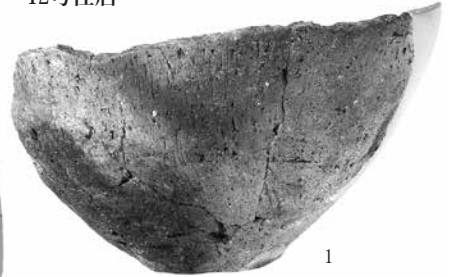
10号住居



11号住居



12号住居



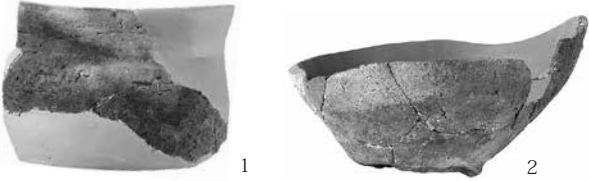
13号住居



13号住居



16号住居



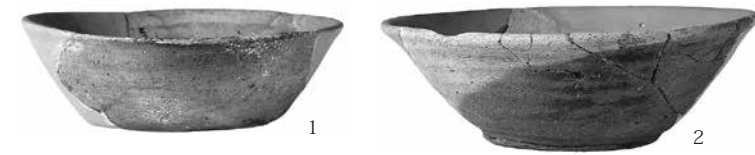
17号住居



18号住居

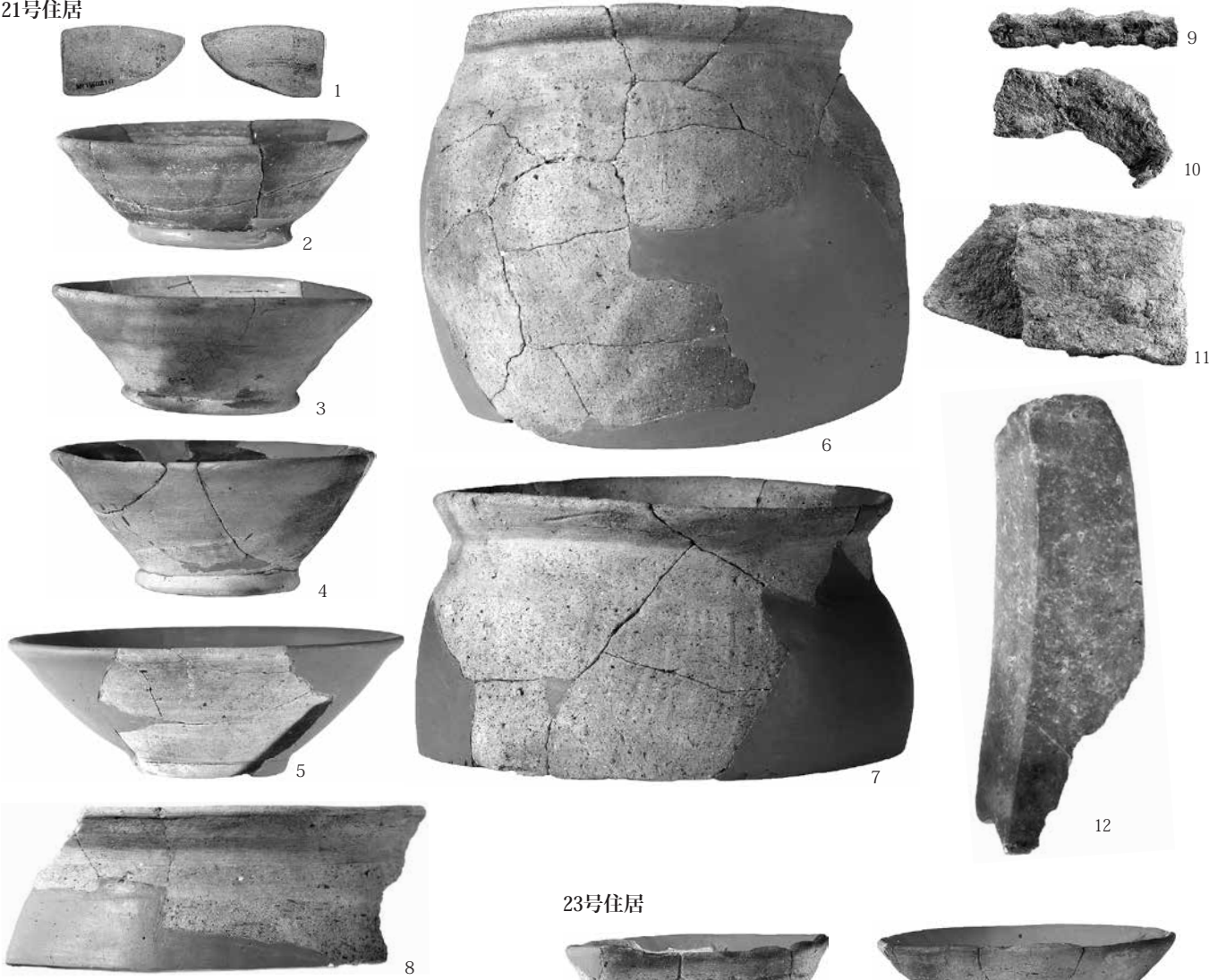


19号住居



1区21~23・29号住居出土遺物

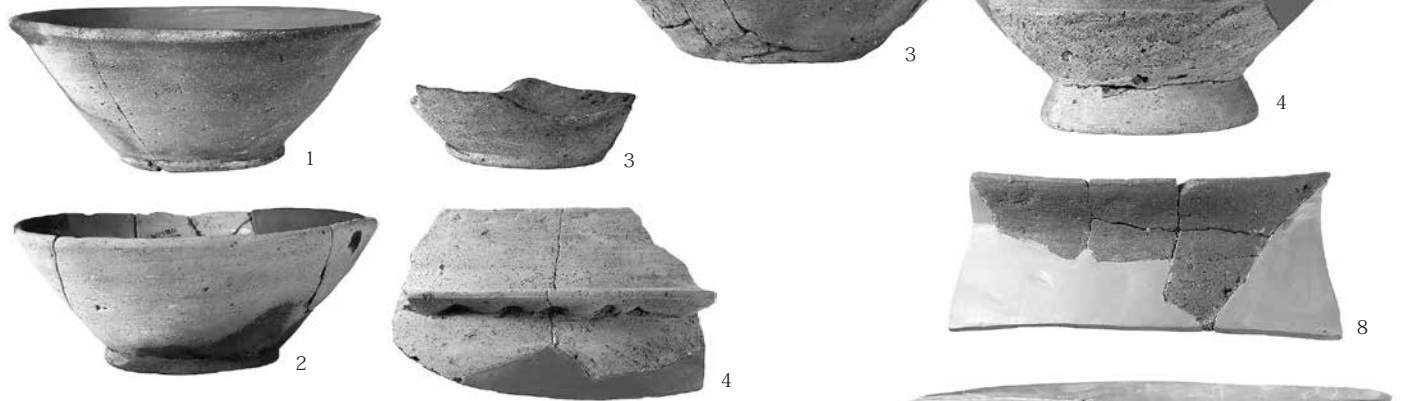
21号住居



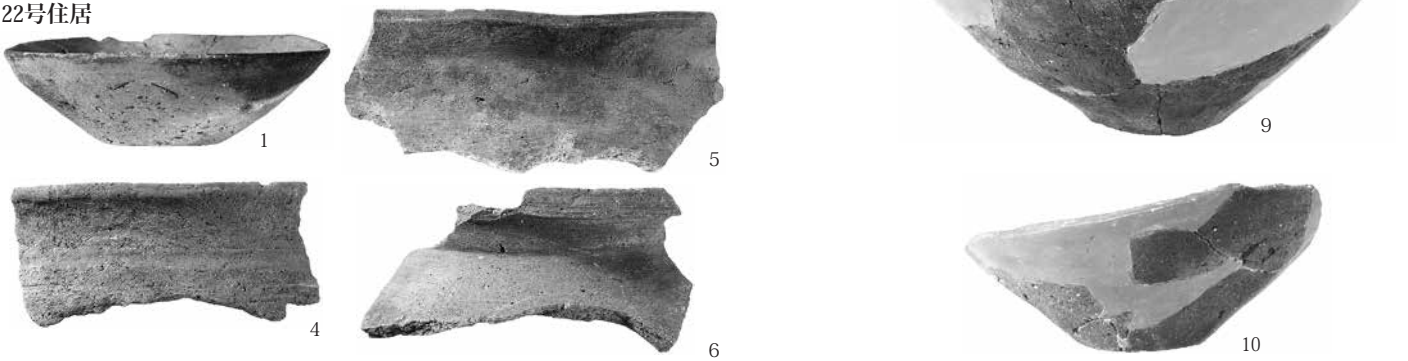
23号住居



29号住居



22号住居



23号住居



5



6

27号住居



1



2



3



4



5

25号住居



1



2



6

1区27号住居、1号竖穴状遺構、1号製鉄関連遺構、48・114・135号土坑、4号溝 2区21・33号溝 3区60・65号溝出土遺物 27号住居

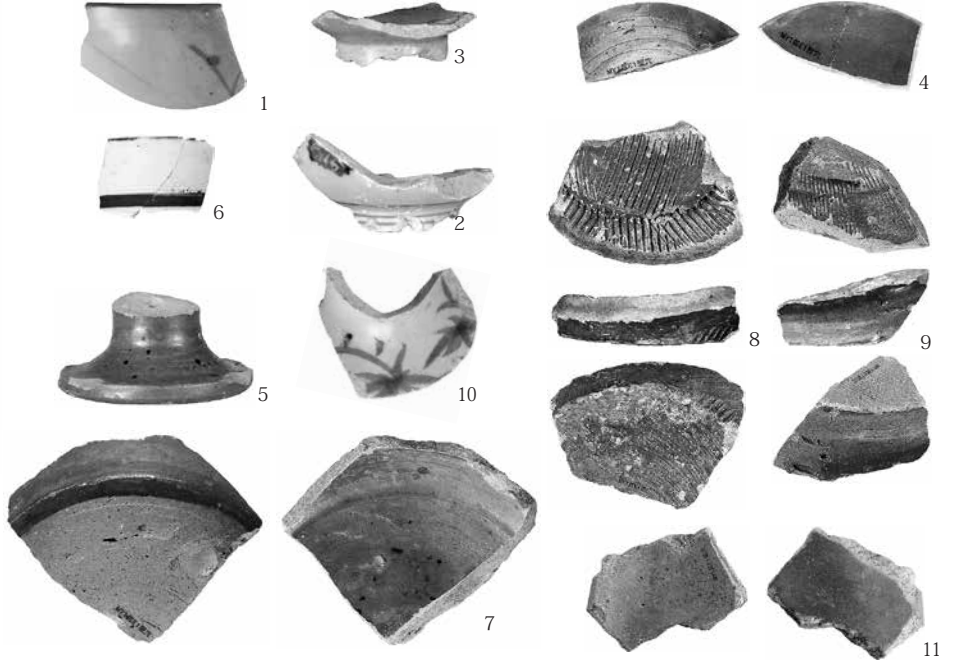
1号竖穴状遺構



7



8



33号溝



1



2



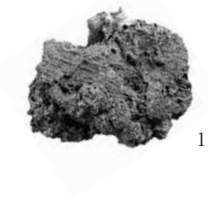
3



6

1号製鉄関連遺構

21号溝



1



1

48号土坑



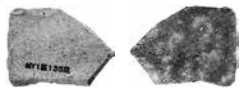
1

114号土坑



1

135号土坑



1

4号溝



1



2

60号溝



1

65号溝



写真掲載遺物 1

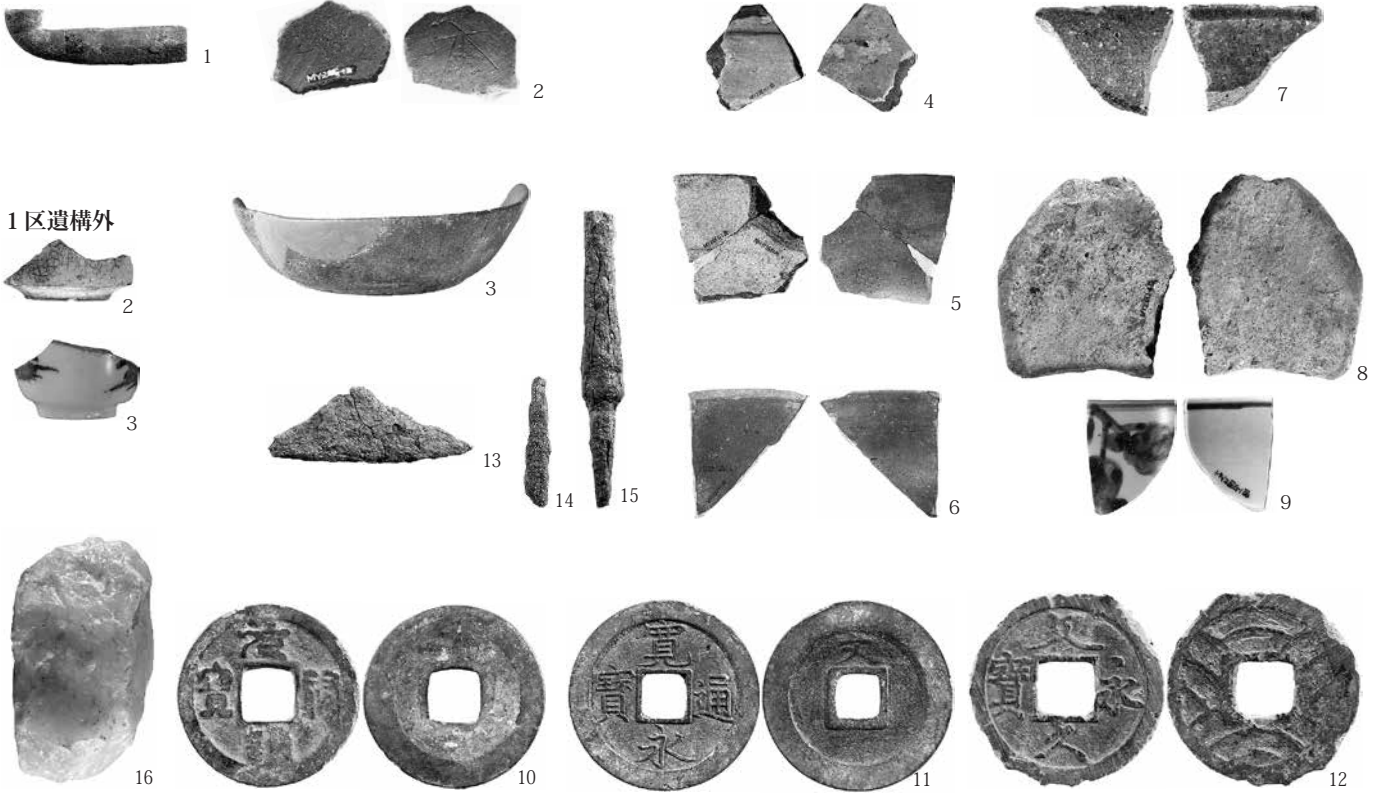
5号溝



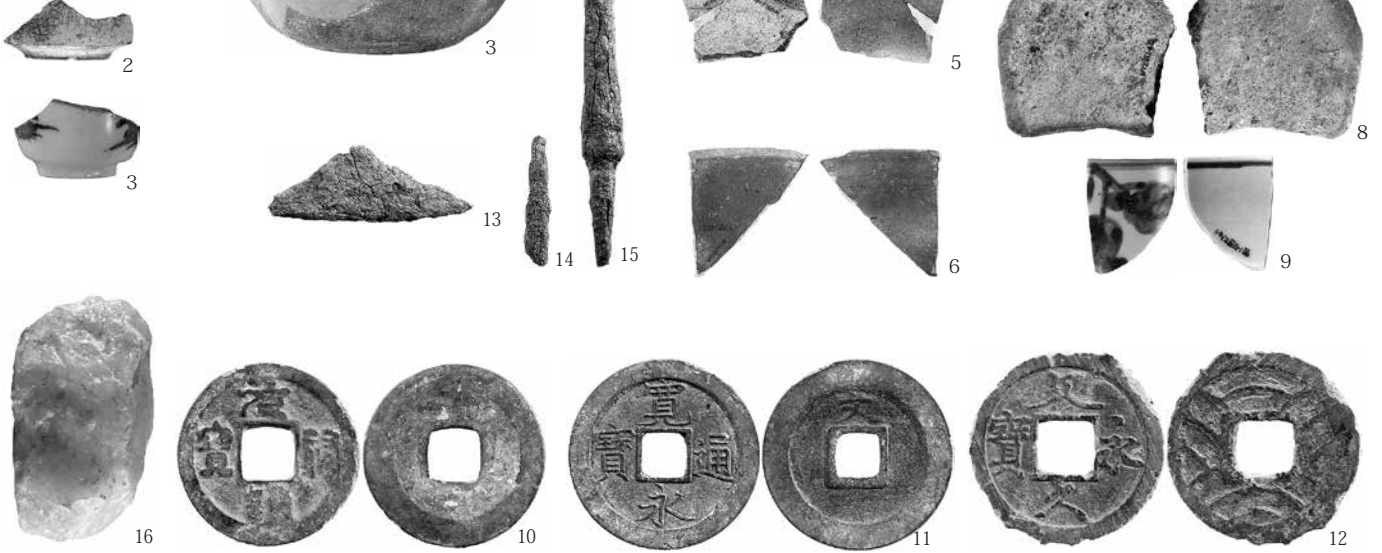
表採 1区・2区・3区遺構外出土遺物

表採

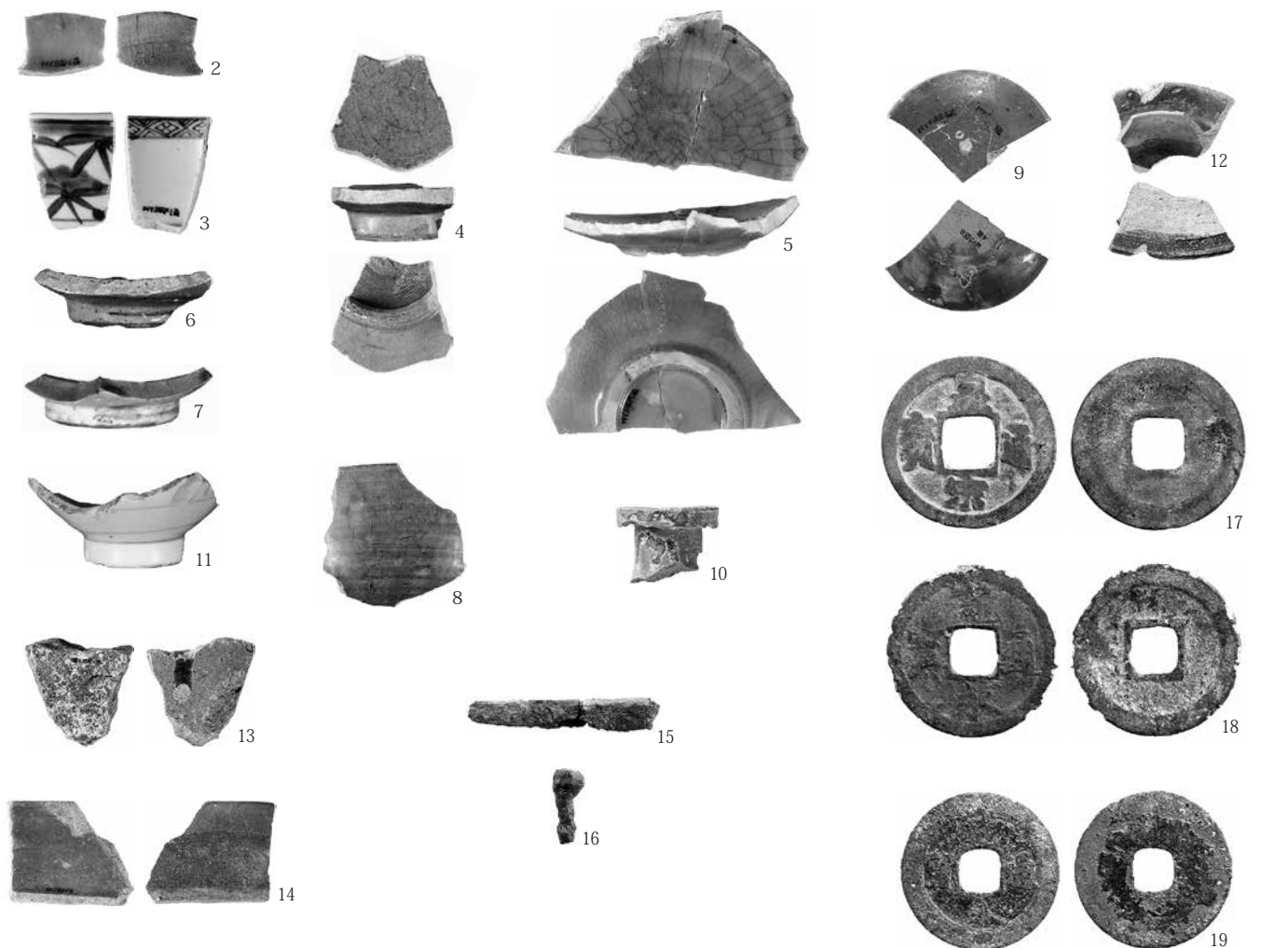
2区遺構外



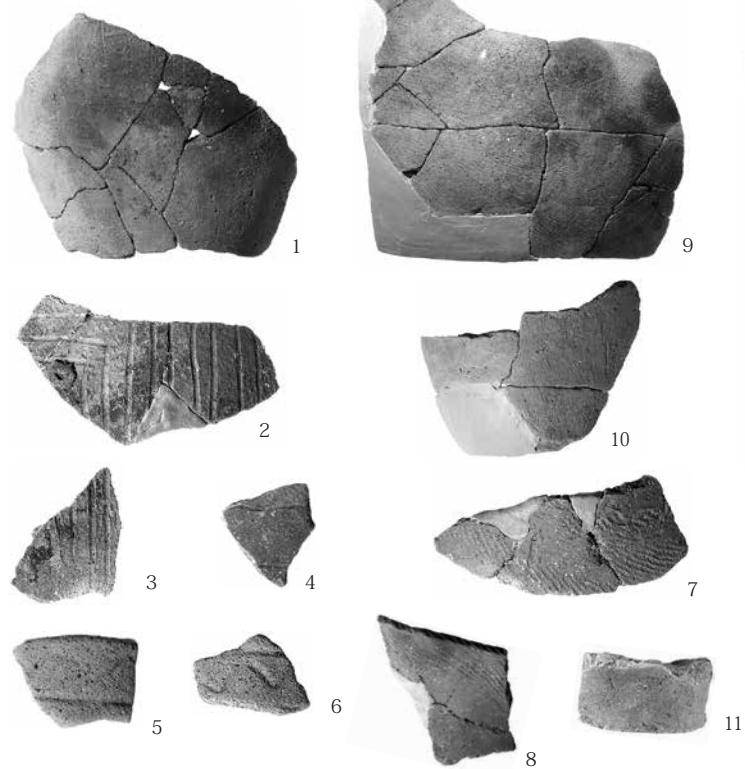
1区遺構外



3区遺構外



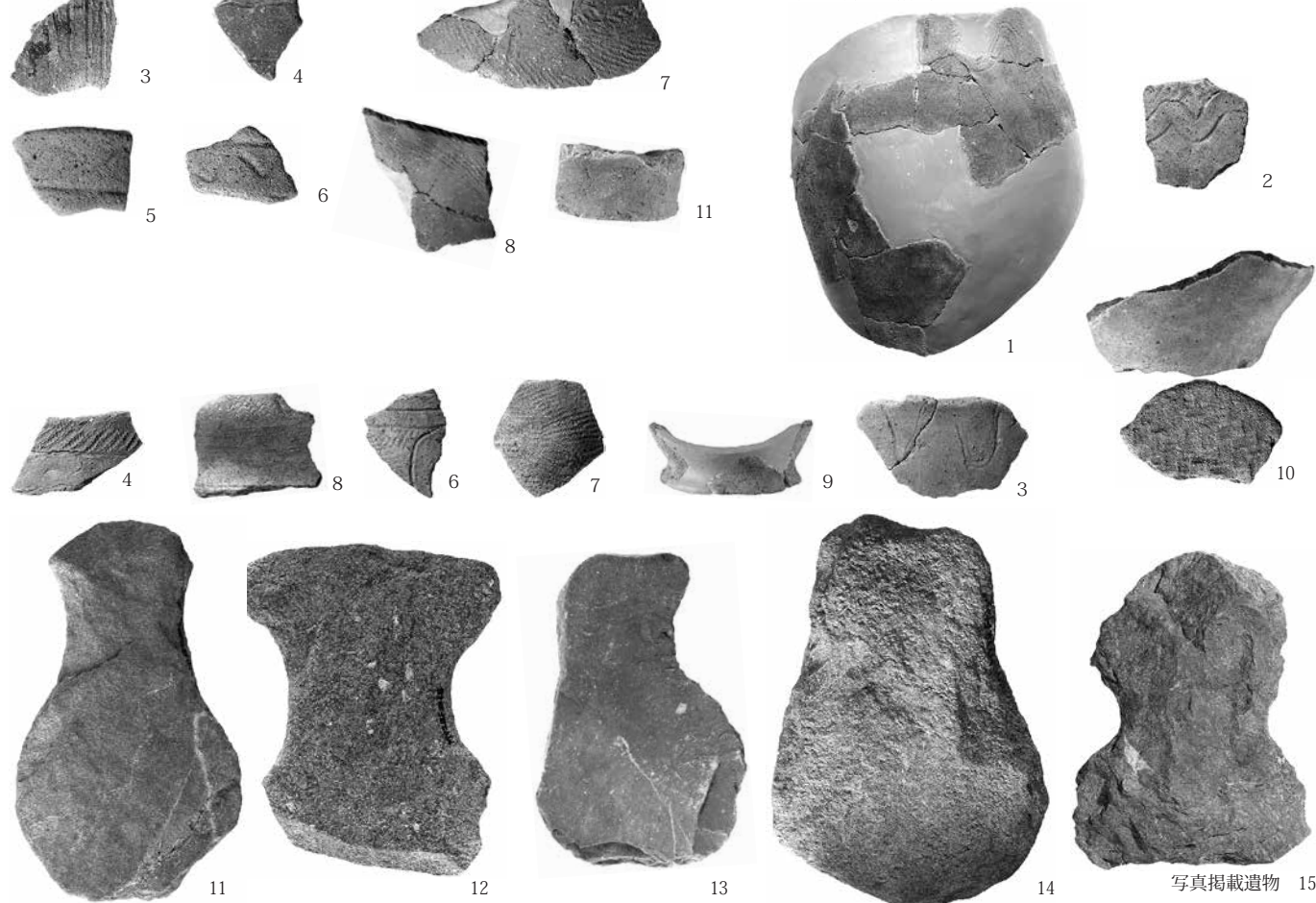
28号住居



1号埋設土器

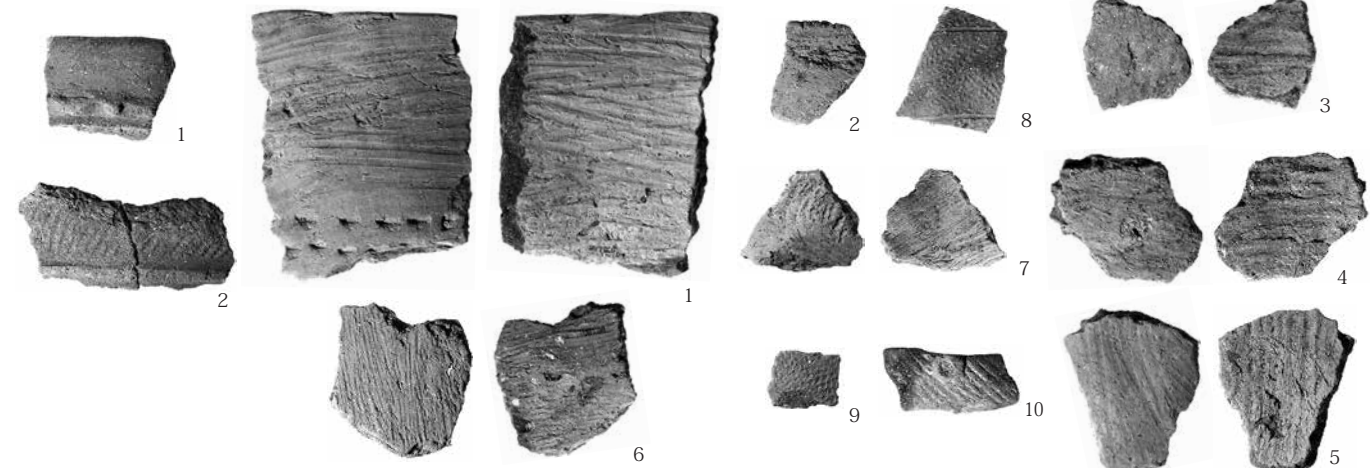


弥生時代遺構外

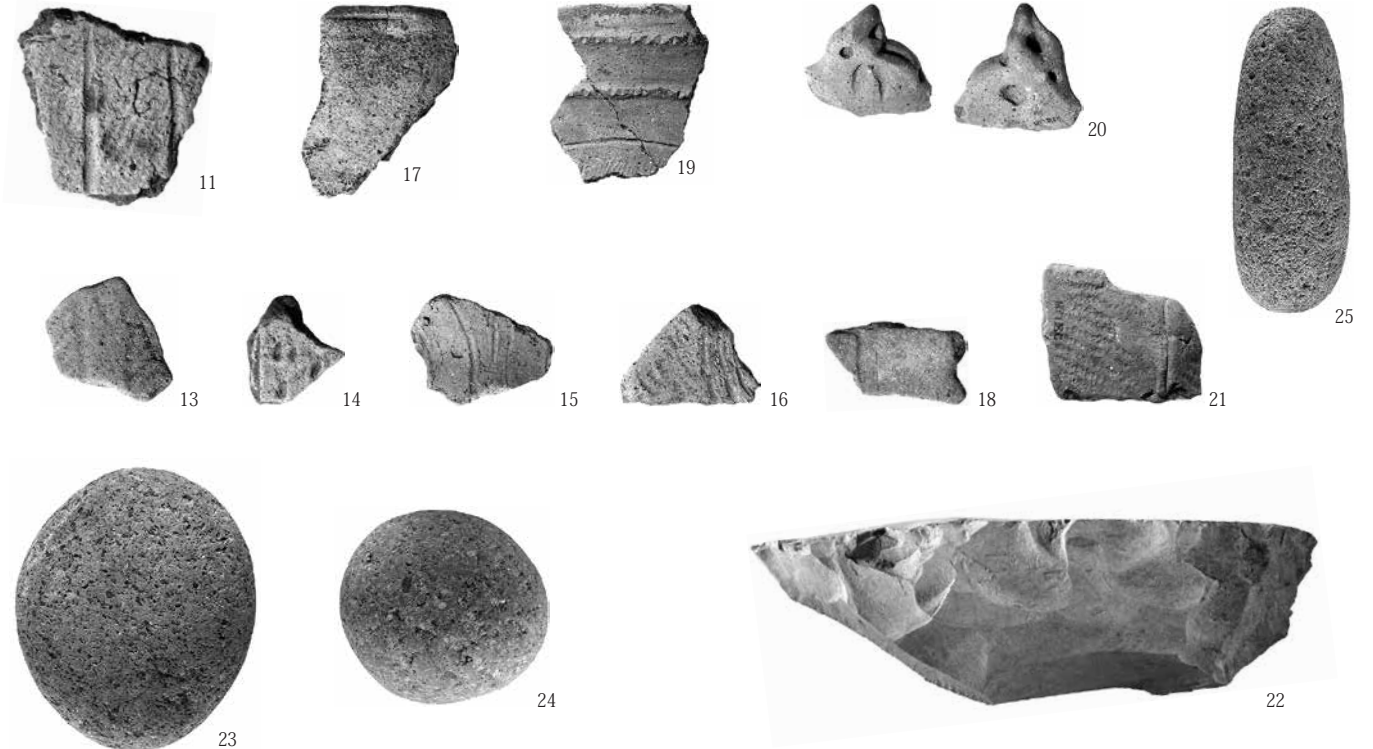


1号縄文土器包含層

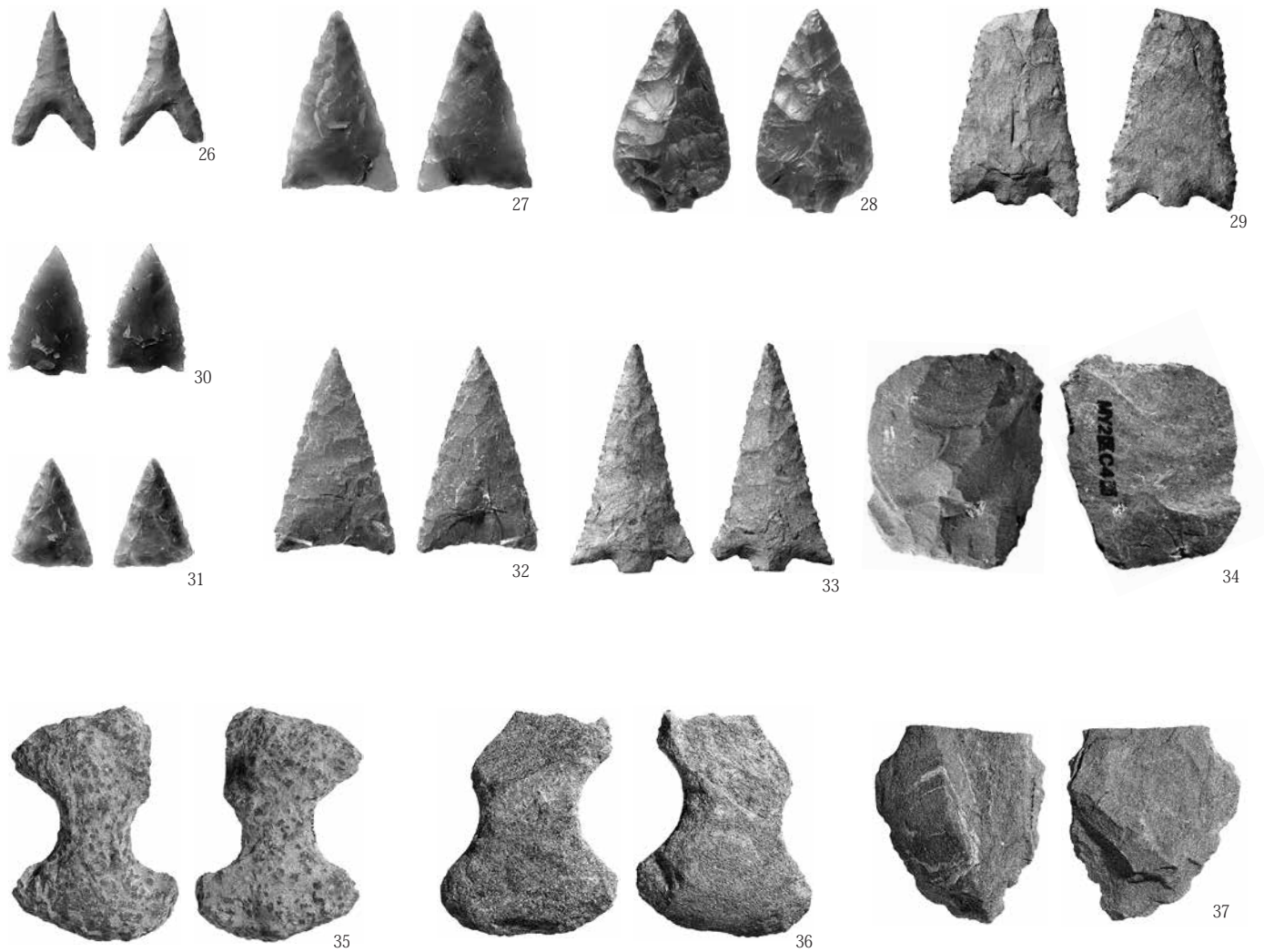
縄文時代遺構外

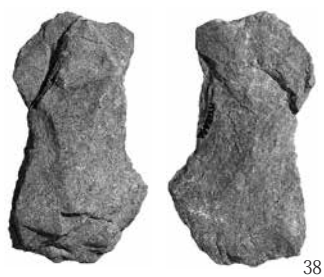


縄文時代遺構外



(写真掲載遺物)





38



39



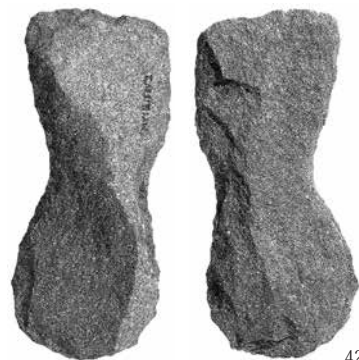
40



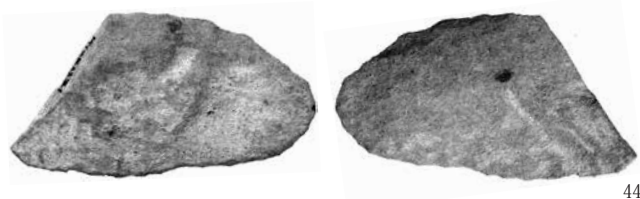
41



43



42



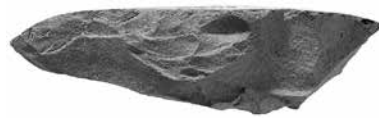
44



45



46



47

抄 録

書名ふりがな	みやくぼいせき
書 名	宮久保遺跡
副 書 名	(一)石田川C 1 調節池社会資本総合整備(防災・安全)事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻 次	
シリーズ名	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	613
編 著 者 名	飛田野正佳／田村博
編 集 機 関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発 行 機 関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20160311
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住 所	群馬県渋川市北橘町下箱田784-2
遺跡名ふりがな	みやくぼいせき
遺 跡 名	宮久保遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんみどりしかさかけちょうあざみ
遺跡所在地	群馬県みどり市笠懸町阿左美
市町村コード	10212
遺跡番号	K0051
北緯(世界測地系)	362239
東経(世界測地系)	1391822
調査期間	20131201-20140331 / 20140401-20140930
調査面積	39,759
調査原因	調節池建設
種 別	集落／生産
主 な 時 代	弥生／古墳／古代／中世／近世
遺跡概要	集落－弥生－竪穴住居1＋埋設土器1－弥生土器／古墳－竪穴住居4＋溝1－土師器＋石製品／古代－竪穴住居23＋土坑42＋溝1－土師器＋須恵器＋灰釉陶器＋鉄製品＋石製品／中世－掘立柱建物15＋柵8＋竪穴状遺構3＋溝9＋井戸3＋土坑28＋ピット314－陶磁器＋人歯／近世－竪穴状遺構1／陶磁器＋馬歯／生産－古代－溝26＋耕作痕群3／中世－溝30＋畑7＋耕作痕群8／近・現代－溝2
特 記 事 項	弥生時代の竪穴住居と埋設土器、古墳時代～古代の竪穴住居27軒、区画溝内外から中世と考えられる掘立柱建物15棟、柵8基が検出された。
要 約	本遺跡は、大間々扇状地敷塚面と八王子丘陵荒神山とに挟まれた谷底平野に位置し、弥生時代～中世に至る集落と古代～中世の耕作痕群・畑、溝などの生産関連遺構が確認された複合遺跡である。古代の竪穴住居は、8世紀後半から10世紀後半まで間断なく認められ、継続的に集落が形成されている。

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第613集

宮久保遺跡

(一)石田川C 1 調節池社会資本総合整備(防災・安全)事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

平成28年3月4日 印刷

平成28年3月11日 発行

編集／発行 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784-2

電話 0279-52-2511 (代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org>

印刷／松本印刷工業株式会社

